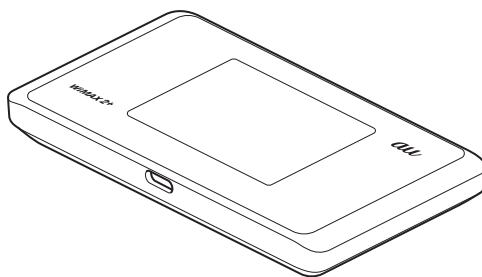


Speed Wi-Fi NEXT WX05

User Guide 取扱説明書 詳細版



技術基準適合認証品



ごあいさつ

このたびは、Speed Wi-Fi NEXT WX05 (以下、「本製品」と表記します)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

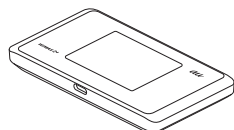
ご使用前に『取扱説明書 詳細版』(本書)をお読みいただき、正しくお使いください。

本製品の取扱説明書として、同梱の『つなぎかたガイド』および『ご利用にあたっての注意事項』または『取扱説明書 詳細版』(本書)をご用意しています。本書ではこれらを総称して『取扱説明書』と表記します。

同梱品一覧

ご使用いただく前に、下記の同梱物がすべてそろっていることをご確認ください。

Speed Wi-Fi NEXT WX05 (本体)



電池パック (NAD34UAA または NAD35UAA) *

* どちらかが同梱 (製品仕様は同じです。)



背面カバー



USB2.0 TypeC-A変換ケーブル (試供品) (GXE-000771)
本製品とパソコンを接続する場合に使用します。



つなぎかたガイド

ご利用にあたっての注意事項 (保証書付)

* 保証書を含め同梱品は大切に保管してください。

* AC アダプタは同梱されていません。指定の充電用機器 (別売) をお買い求めください。詳しくは、「11-4 周辺機器」(▶ P.126) を参照してください。

* 本文中で使用している本製品のイラストはイメージです。実際の製品と違う場合があります。

取扱説明書について

■ つなぎかたガイド

本製品をお使いになるための、主な機能の主な操作および設定のみ説明しています。

■ 『取扱説明書 詳細版』(本書)

本製品のさまざまな機能のより詳しい説明を記載しています。

本書の PDF ファイルは、本製品内にも保管されています。(▶ P.102)



■ 『取扱説明書』ダウンロード

・『取扱説明書』の PDF ファイルは、au ホームページからダウンロードできます。
<https://www.au.com/support/service/mobile/guide/manual/>



・WiMAX Support Information ホームページからもダウンロードできます。
<https://www.necplatforms.co.jp/support/wimax/wx05/index.html>



■ For Those Requiring an English Instruction Manual 英語版の『取扱説明書』が必要な方へ

You can download the English version of the "Setup Guide" and "Notes on usage" from the au website.

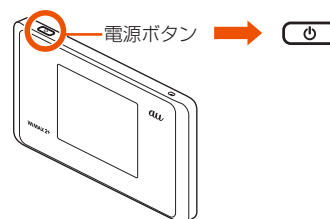
・『つなぎかたガイド』(英語版)と『ご利用にあたっての注意事項』(英語版)を au ホームページに掲載しています。

Download URL : <https://www.au.com/english/support/manual/>

本書の表記方法について

■ 掲載されているボタン表示について

◎本書では、ボタンの図を次のように簡略化しています。



■ 項目／アイコン／ボタンなどを選択する操作の表記方法について

◎本書では、操作手順を以下のように表記しています。

・タップとは、ディスプレイに表示されているボタンやアイコンを指で軽く叩いて選択する動作です。

・スライドとは、ディスプレイに指を触れたまま滑らせて画面を動かす動作です。

【表示例】

[端末情報] をタップしてスライドし、「認証情報」を表示する



■ 掲載されているイラスト・画面表示について

本書は au Nano IC Card O4 LE を取り付けた状態の画面表示・操作方法となります。

- ◎本書に記載されているイラストや画面は、実際のイラストや画面とは異なる場合があります。また、画面の一部を省略している場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ◎本書では本体カラー「ソニックレッド」（販売なし）の表示を例に説明しています。本体カラー「ピュアホワイト」と表示色が異なりますが、内容は同じです。
- ◎本書では「au Nano IC Card O4 LE」の名称を「au ICカード」と表記しています。
- ◎本書では同梱品の「USB2.0 Type-C-A変換ケーブル」の名称を「USB ケーブル」と表記しています。
- ◎本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中では、TM、® マークを省略している場合があります。

本製品のご利用について

- 本製品をご利用になる前に、本書の「安全上のご注意（必ずお守りください）」（▶P.5）をお読みのうえ、正しくご使用ください。
- 故障とお考えの前に、本書の「11-2 故障とお考えになる前に」（▶P.123）で症状をご確認ください。
- 通信中は、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属（部分）が含まれないようにしてください。
- サービスエリア内でも電波の届かない場所（トンネル・地下など）では通信できません。また、電波状態の悪い場所では通信できないこともあります。なお、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通信が途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品は電波を使用しているため、第三者に通信を傍受される可能性はないとは言えませんので、ご注意ください。（ただし、WiMAX 2+方式およびLTE方式は通信上の高い秘話・秘匿機能を備えています。）
- 本製品は国内でのご利用を前提としています。国外での使用はできません。（This Product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.）
- 本製品は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受ける場合があります。その際にはお使いの本製品を一時的に検査のためご提供いただく場合がございます。
- 本製品は電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として、「技適マーク」が本製品ディスプレイにて確認することができます。確認方法は、ホーム画面 - [情報] - [端末情報] とタップしてスライドし、「認証情報」よりご確認ください。
- 「本製品の保守」と「稼動状況の把握」のために、お客様が利用されている本製品のIMEI情報を自動的にKDDI（株）に送信いたします。
- 地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる附随的な損害（記録内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社は一切責任を負いません。
- 『取扱説明書』の記載内容を守らないことにより、生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の故障・修理・その他取り扱いによって、設定内容などが変化または消失することがありますが、これらにより生じた損害・逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。
- 大切なデータはコンピュータのハードディスクなどに保存しておくことをおすすめします。万一、登録された情報内容が変化・消失してしまうことがあっても、故障や障害の原因にかかわらず当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品に登録された内容は、事故や故障・修理、その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は必ず控えをお取りください。万一内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品はディスプレイに液晶を使用しております。低温時は表示応答速度が遅くなることもありますが、液晶の性質によるもので故障ではありません。常温になれば正常に戻ります。
- 本製品で使用しているディスプレイは、非常に高度な技術で作られていますが、一部に点灯しないドット（点）や常時点灯するドット（点）が存在する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 通常のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要となった本製品（オプション品含む）や電池パックの回収にご協力ください。auショップなどで本製品や使用済み電池パックの回収を行っております。
- 仕様および外観は、改良のため予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 本文中で使用しているイラストはイメージです。実物とは形状が異なる場合や、一部省略などがあります。ご了承ください。

※本書で表す「当社」とは、以下の企業を指します。

発売元：KDDI株式会社・沖縄セルラー電話株式会社

製造元：NECプラットフォームズ株式会社

- ◎本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- ◎本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
- ◎本書の内容につきましては万全を期しておりますが、万一、ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたら、ご連絡ください。

目次

ごあいさつ	1
同梱品一覧	1
取扱説明書について	1
本書の表記方法について	1
本製品のご利用について	2
目次	3
注意事項	5
安全上のご注意（必ずお守りください）	5
材質一覧	7
取り扱い上のご注意	7
Bluetooth® / 無線 LAN (Wi-Fi®) 機能について	9
電波障害自主規制について	10
各種暗証番号 / PIN コードについて	10
マナーも携帯する	10
1章 ご利用の準備	
1-1 本製品の使いかた	12
ご利用になる前に	12
本製品との接続について	12
1-2 各部の名称と機能	13
本体	13
クレードル（別売）	14
1-3 au IC カードについて	15
au IC カードを取り付ける	15
au IC カードを取り外す	16
1-4 電池パックを取り付ける / 取り外す	17
電池パックを取り付ける	17
電池パックを取り外す	17
1-5 充電する	18
指定の AC アダプタ（別売）を使って充電する	18
充電時間	18
電池残量	18
ロングライフ充電	19
1-6 電源を入れる / 切る	20
電源を入れる	20
電源を切る	20
再起動する	20
画面をロックする / 画面ロックを解除する	20
1-7 端末情報を確認する	22
接続情報の確認方法	22
1-8 あらかじめ確認してください	23
接続端末の準備	23
2章 基本操作	
2-1 基本的な操作を覚える	27
タッチパネルの使いかた	27
数字を入力する	27
2-2 クイック設定 Web について	28
クイック設定 Web を起動する	28
クイック設定 Web のトップページ	28
詳細設定にログインする	29
詳細設定のトップページ設定画面	29
3章 無線 LAN (Wi-Fi®) 接続 / USB 接続 / Bluetooth® 接続	
3-1 無線 LAN (Wi-Fi®) で接続する	31
ディスプレイメニューで Wi-Fi 情報を確認する	32
設定ウィザードを利用して Wi-Fi® 接続する	32
Windows パソコンを接続する	35
Mac を接続する	37
スマートフォン / タブレット (Android 端末) を接続する	37

iPhone/iPod touch/iPad/iPad mini を接続する	38
ニンテンドー 3DS を接続する	40
Wii U を接続する	41
PlayStation® Vita を接続する	42
PSP® 「プレイステーション・ポータブル」を接続する	44
WPS 対応の無線 LAN (Wi-Fi®) 端末を接続する	44
3-2 USB で接続する	46
USB で接続する	46
3-3 Bluetooth® 機能で接続する	47
本製品の Bluetooth デバイス名などをあらかじめ控えておく	47
LAN 接続の設定を Bluetooth® に切り替える	47
設定する	47

4章 WAN 側回線の接続設定

4-1 WAN 側回線接続	52
接続先設定方法	52
4-2 通信モードを切り替える	53
「ハイスピードプラスエリア」モードに切り替える	53
「ワンタイム HS+A」モードに切り替える	53

5章 便利な機能

5-1 らくらく QR スタートを使う	56
5-2 Wi-Fi 設定お引越し機能を使う	57
設定方法	57
5-3 ECO 機能を使う	58
無線スリープ	58
自動省電力	58
5-4 おまかせ一括設定機能	60
おまかせ一括設定機能を使う	60
5-5 スケジュール機能	61
設定方法	61
5-6 スマートフォンアプリを使う	62
「NEC WIMAX 2+ Tool」をダウンロード / インストールする	62
接続設定ウィザード（らくらく QR スタート）	62
情報表示	62
5-7 休止状態から起動する（リモート起動）	65
5-8 お知らせ機能	66
5-9 5GHz 帯で利用する	67
5-10 最適な設置場所を探す	68
電波レベルのインジケータを表示する	68
5-11 Wi-Fi チャンネルを切り替える	69
Wi-Fi チャンネル使用状況を表示する	69
Wi-Fi チャンネルを切り替える	69
5-12 電池残量推移を確認する	70
電池残量推移を表示する	70
5-13 データ通信量推移を確認する	71
データ通信量推移を表示する	71
5-14 データ通信量で通信を制限する	72
通信停止画面から通信を再開する	72
5-15 その他の便利な機能	73
IP パケットフィルタリング	73
ポートマッピング	73
UPnP 機能	73

6章 セキュリティ対策をする




6-1 セキュリティ機能について	75
セキュリティ機能について	75
暗号化	75
ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）	75
MAC アドレスフィルタリング機能	76
ネットワーク分離機能	76
プライバシーセパレータ機能	76
アドバンスド NAT（IP マスカレード / NAPT）	76
不正アクセス検出機能	76

ダイナミックポートコントロール機能.....	76	Wi-Fi 設定	109
7章 工場出荷時の状態に戻す (初期化)		WPS 設定	109
7-1 ディスプレイメニューで初期化する.....	78	9-5 ECO 設定.....	110
ディスプレイメニューで初期化する.....	78	ECO 設定	110
7-2 クイック設定 Web で初期化する.....	79	9-6 詳細設定.....	111
クイック設定 Web で初期化する.....	79	その他の設定.....	111
8章 機能設定		9-7 メンテナンス	112
8-1 クイック設定 Web について	81	管理者パスワードの変更	112
クイック設定 Web を起動する.....	81	設定値の初期化.....	112
クイック設定 Web のトップページ.....	81	ファームウェア更新.....	112
詳細設定にログインする	82	10章 本製品のディスプレイメニューについて	
詳細設定のトップページ設定画面.....	82	10-1 ディスプレイメニュー一覧.....	114
8-2 各種機能の詳細設定をする (詳細設定).....	83	10-2 メッセージ一覧.....	117
8-3 ネットワーク設定.....	84	11章 付録	
基本設定	84	11-1 ファームウェアを更新する	119
接続設定	84	ディスプレイメニューからのバージョンアップ.....	119
プロファイル設定.....	85	クイック設定 Web 画面でのバージョンアップ.....	120
通信量カウンター.....	85	11-2 故障とお考えになる前に	123
8-4 Wi-Fi 設定	87	11-3 アフターサービスについて	125
Wi-Fi 設定	87	11-4 周辺機器	126
MAC アドレスフィルタリング.....	88	11-5 製品仕様	127
WPS 設定	89	Speed Wi-Fi NEXT WX05 本体仕様	127
8-5 Bluetooth 設定	90	USB2.0 TypeC-A 変換ケーブル (試供品) 仕様.....	128
Bluetooth ペ어링情報	90	WX05 クレードル (NAD35PUA) (別売) 仕様.....	128
8-6 ECO 設定.....	91	11-6 データ通信端末の比吸収率 (SAR) について	129
ECO 設定	91	11-7 輸出管理規制	130
8-7 セキュリティ設定.....	92	11-8 知的財産権について	131
セキュリティ設定.....	92	商標について.....	131
8-8 詳細設定	93	11-9 索引.....	132
LAN 側設定.....	93	本製品で使用しているソフトウェアについて	134
LAN 側無線設定.....	93		
DHCP 除外設定	93		
DHCP 固定割当設定	94		
IPv4 パケットフィルタ設定	94		
IPv6 パケットフィルタ設定	95		
ポートマッピング設定.....	96		
その他の設定.....	96		
8-9 メンテナンス	98		
管理者パスワードの変更	98		
設定値の保存&復元.....	98		
設定値の初期化.....	99		
ファームウェア更新	99		
PING テスト.....	100		
PIN コード管理	100		
再起動	101		
8-10 情報.....	102		
現在の状態	102		
通信情報ログ.....	102		
UPnP の状態.....	102		
マニュアル	102		
9章 スマートフォン用クイック設定 Web			
9-1 スマートフォン用クイック設定 Web について	104		
クイック設定 Web を起動する.....	104		
クイック設定 Web のトップページ	104		
詳細設定のトップページ設定画面.....	105		
9-2 各種機能の詳細設定をする (詳細設定).....	106		
9-3 ネットワーク設定.....	107		
基本設定	107		
接続設定	107		
プロファイル設定.....	108		
9-4 Wi-Fi 設定	109		

注意事項







安全上のご注意 (必ずお守りください)

- ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 ^{*1} を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 ^{*1} を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷 ^{*2} を負う可能性が想定される場合および物的損害 ^{*3} の発生が想定される」内容です。

- ※ 1 重傷：失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。
- ※ 2 軽傷：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。
- ※ 3 物的損害：家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を指します。

禁止・強制の絵表示の説明

 禁止 (してはいけないこと) を示す記号です。	 濡れ手禁止
 分解禁止	 指示
 水濡れ禁止	 電源プラグを抜く

■ 本体、電池パック、充電用機器、au IC カード、周辺機器共通

危険

- 高温になる場所や熱のこもりやすい場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- 電子レンジ、IH 調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高压容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- 砂や土、泥を掛けたり、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- 水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡れた状態では、充電しないでください。
また、風呂場などの水に触れる場所では、充電しないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- 本製品に強い圧力を加えたり、折損させたりしないでください。特に衣類のポケットに入れて持ち運ぶ場合は、ぶつけたり、物に挟んだりしないでください。
電池パックの破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。
※ご注意いただきたい例
 - ズボンやスカートのポケットに入れた状態で座ったり、しゃがんだりする
 - 上着のポケットに入れた状態で、扉や自動車のドアに挟む
 - ソファやベッド、布団など柔らかい物の上や、床の上で踏みつける
- 分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- 水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

- 接続端子に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）を入れないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- オプション品は、au が指定したものを使用してください。
指定以外のものを使用すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

警告

- 落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- 接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにしてください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。誤って内部に異物が入ったときは、本製品の電源を切り、au ショップ、トヨタ au 取扱店、故障紛失サポートセンターまでご連絡ください。
- 使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災、やけどなどの原因となります。
- 所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。
過充電などにより、火災、やけど、けがなどの原因となります。
- ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する可能性のある場所や粉塵が発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本製品の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。
引火性ガスなどが発生する場所で使用すると、爆発や火災などの原因となります。
- 使用中、充電中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は次の作業を行ってください。
 - 充電用機器（別売）の電源プラグをコンセントから抜く。
 - 本製品の電源を切る。
 - 電池パックを本製品から取り外す。
 上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。au ショップ、トヨタ au 取扱店、故障紛失サポートセンターまでご連絡ください。
- ペットなどが本製品に噛みつかないようにご注意ください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

注意

- 破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。
- ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがなどの原因となります。
- 湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。
- 子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。
けがなどの原因となります。
- 乳幼児の手の届く場所に置かないでください。
誤飲、けが、感電などの原因となります。
- 本製品を継続して使用される場合や充電中は温度が高くなる場合がありますのでご注意ください。また、衣類のポケットに入れたり、眠ってしまうなどして、意図せず継続して触れることがないようにご注意ください。
データ通信など、継続しての使用や充電中は、本製品や電池パック・充電用機器（別売）の温度が高くなる場合があります。温度の高い部分に直接継続して触れるとお客様の体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となります。

■ 本体について

危険

- 火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。
- 鋭利なもの（釘など）を刺したり、硬いもの（ハンマーなど）で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。

- 本製品内部の物質が目や口などの中に入った場合は、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
本製品内部の物質の影響により、失明や体調不良などの原因となります。

警告

- 本製品内の au IC カード挿入口に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。また、au IC カードの挿入場所や向きを間違えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。誤って内部に異物が入ったときは、本製品の電源を切り、auショップ、トヨタ au取扱店、故障紛失サポートセンターまでご連絡ください。
- 航空機へのご搭乗にあたり、本製品の電源を切ってください。
航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
また、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してください。
電波により航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。
なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。
- 病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。
使用を禁止されている場所では、本製品の電源を切ってください。
また、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してください。
電波により電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。
- 医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
電波により医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。
- 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本製品の電源を切ってください。
電波により電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。
※ご注意ください。電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用になる方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。
- ディスプレイ部を破損した際には、割れたガラスや露出した本製品の内部にご注意ください。
破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電などの原因となります。
- ペットなどが本製品に噛みつかないようにご注意ください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

注意

- ストラップなどを持って本製品を振り回さないでください。
けがなどの事故の原因となります。
- ディスプレイを破損し、内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。
目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。
内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。
- 背面カバーを取り外す際は、必要以上に力を入れないでください。
背面カバーが破損し、けがなどの原因となります。
- 背面カバーを取り付けるときは、指などの体の一部を挟まないでください。
けがなどの原因となります。
- 背面カバーを外したまま使用しないでください。
やけど、けが、感電などの原因となります。誤って内部に異物が入ったときは、auショップ、トヨタ au取扱店、故障紛失サポートセンターまでご連絡ください。
- 自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
車種によっては、電波により車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。
- 本製品の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。
各箇所の材質については、「材質一覧」(▶ P.7)を参照してください。

- ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、ある程度の距離をとってください。
暗い場所や近くで見ると視力低下などの原因となります。

■電池パックについて

危険

- 金属片（ネックレスやヘアピンなど）や導電性異物などと接続端子が触れないようにしてください。また、それらのものと一緒を持ち運んだり、保管したりしないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。
- 電池パックを本製品にうまく取り付けできない場合は、無理に取り付けしないでください。また、電池パックを本製品からうまく取り外せない場合は、無理に取り外さないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。
電池パックの取り付けかた、取り外しかたは、「1-4 電池パックを取り付ける／取り外す」(▶ P.17)をご参照ください。
- 火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。
- 鋭利なもの（釘など）を刺したり、硬いもの（ハンマーなど）で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。
- 電池パックを本製品に取り付けるときは、電池パックの向きを確かめてください。
誤った向きで取り付けると、電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。
電池パックの取り付けかたは、「1-4 電池パックを取り付ける／取り外す」(▶ P.17)をご参照ください。
- 電池パック内部の物質が目や口などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
電池パック内部の物質の影響により、失明や体調不良などの原因となります。

警告

- 異臭、発熱、変色、変形、へこみなどの異常がみられた場合は、使用しないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。
- 膨れた電池パックを本製品に無理に取り付けしないでください。
電池パックが変形し、内部や組み込まれている保護機構が壊れ、そのまま使い続けると、火災、やけど、けがなどの原因となります。
- 電池パック内部の物質などが漏れたり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。
- ペットなどが電池パックに噛みつかないようにご注意ください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

注意

- 電池パック内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。
目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。
内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。
- 一般のゴミと一緒に捨てないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。また、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、接続端子にテープなどを貼り、絶縁してから auショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。
- 濡れた電池パックを使用したり充電したりしないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。

■充電用機器について

警告

- 指定の充電用機器（別売）や USB ケーブル（試用品）のコードが傷んだり使用しないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

- 雷が鳴り出したら、充電用機器（別売）や USB ケーブル（試供品）には触れないでください。
感電などの原因となります。
- コンセントにつないだ状態で接続端子をショートさせないでください。また、接続端子に手や指など、体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。
- 指定の充電用機器（別売）や USB ケーブル（試供品）のコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。
- コンセントに充電用機器（別売）を抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。
- 充電用機器（別売）に海外旅行用の変圧器（トラベルコンバーター）を使用しないでください。
発火、発熱、感電などの原因となります。
- 本製品に充電用機器（別売）を接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- 濡れた手で充電用機器（別売）のコードや USB ケーブル（試供品）、接続端子、電源プラグ、クレードル（別売）に触れないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。
- 指定の電源、電圧で使用してください。
誤った電源、電圧で使用すると火災、やけど、感電などの原因となります。
充電用機器：AC100V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）
- 電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。
- 充電用機器（別売）をコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。
確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。
- 電源プラグをコンセントから抜く場合は、充電用機器（別売）のコードを引っ張るなど無理な力を加えず、充電用機器（別売）を持って抜いてください。
充電用機器のコードを引っ張るとコードが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。
- 本製品に充電用機器（別売）や USB ケーブル（試供品）を抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。
正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- 接続端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。
接続端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- 使用しない場合は、充電用機器（別売）の電源プラグをコンセントから抜いてください。
電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、感電などの原因となります。
- 水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）が付着した場合は、直ちにコンセントから充電用機器（別売）の電源プラグを抜いてください。
付着物などによるショートにより、火災、やけど、感電などの原因となります。
- お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
抜かずに行くと、火災、やけど、感電などの原因となります。

⚠ 注意

- コンセントにつないだ状態で充電用機器（別売）に長時間触れないでください。
やけどなどの原因となります。

■ au IC カードについて

⚠ 注意

- au IC カードを取り扱う際は指などの体の一部を傷つけないよう、切断面にご注意ください。
切断面が鋭利になっている場合があり、けがなどの原因となります。

■ 医療機器近くおよび医療機関内での使用について

⚠ 警告

- 植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本製品を 15cm 以上離して携行および使用してください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。
- 自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。
- 身動きが自由に取れないなど、周囲の方と 15cm 未満に近づくとおそれがある場合には、事前に本製品を電波の出ない状態に切り替えてください（電源オフなど）。
付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。
- 医療機関内における本製品の使用については、各医療機関の指示に従ってください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

材質一覧

使用箇所	材質／表面処理
< Speed Wi-Fi NEXT WX05 本体 >	
ディスプレイ（タッチパネル）部	PC 樹脂
外装ケース	PC 樹脂／塗装
電源ボタン	PC 樹脂／印刷
背面カバー	PC 樹脂／塗装
< USB ケーブル（試供品） >	
ケーブル（ジャケット部）	PVC 樹脂
USB コネクタ（Type A）（シールド部）	SPCC／ニッケルメッキ、PBT 樹脂
USB コネクタ（Type A）（樹脂部）	PVC 樹脂
USB コネクタ（Type C）（シールド部）	ステンレス／ニッケルメッキ、LCP 樹脂
USB コネクタ（Type C）（樹脂部）	PVC 樹脂
< 電池パック >	
外装（樹脂部）	PC 樹脂
外装（ラベル）	PET
接続端子部	PCB／金メッキ

取り扱い上のご注意

製品の故障を防ぎ、性能を十分に発揮できるようにお守りいただきたい事項です。よくお読みになって、正しくご使用ください。

■ 本体、電池パック、充電用機器、au IC カード、周辺機器共通

- 本製品に無理な力がかからないように使用してください。多くのものが詰まった荷物の中に入れて、中で重い物の下になつたりしないよう、ご注意ください。衣類のポケットに入れて座つたりするとディスプレイ、内部基板などの破損、故障の原因となります。
- また、外部接続器を外部接続端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。
- 極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。
(周囲温度 5℃～ 35℃、湿度 35%～ 85%の範囲内でご使用ください。)
- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。故障の原因となります。
- 接続端子をときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となる場合があります。また、このとき強い力を加えて接続端子を変形させないでください。
- お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷が付く場合があります。ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。またアルコール、シンナー、ベンジン、洗剤、ガラスクリーナーなどで拭くと、外装の印刷が消えたり、故障の原因となります。
- 一般電話・テレビ・ラジオをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。

- 通信中や充電中など、ご使用状況によっては本製品が温かくなることがありますが異常ではありません。
- 本体が高温になった場合、保護機構が働き、自動的に電源が切れることがあります。その際は、しばらくしてから電源を入れ直して使用してください。
- 電池パックは電源を切ってから取り外してください。電源を切らずに電池パックを取り外すと、保存されたデータが変化・消失するおそれがあります。
- 腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障の原因となります。
- 屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。落雷・感電のおそれがあります。
- 必ず指定の周辺機器をご使用ください。指定の周辺機器以外を使用した場合、故障の原因となります。
- 電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れしないでください。故障の原因となります。
- お客様による分解や改造、修理をしないでください。故障の原因となります。また、本製品の改造は電波法および電気通信事業法違反になります。
- 接続端子をショートさせないため、指などの身体の一部や導電性異物（金属片・鉛筆の芯など）が触れたり、それらの異物が内部に入らないようにしてください。故障の原因となります。誤って内部に異物が入ったときは、auショップ、トヨタ au取扱店、故障紛失サポートセンターまでご連絡ください。
- 水などの液体をかけないでください。また風呂場など湿気が多い場所での使用、または濡れた手での使用は絶対にしないでください。電子回路のショート、腐食による故障の原因となります。
- 水濡れや湿気による故障は、保証の対象外となり有償修理となります。auショップ、トヨタ au取扱店、故障紛失サポートセンターまでご連絡ください。
- 充電中に濡れた場合には直ちに充電用機器（別売）の電源プラグを抜いてください。
- 自動車・原動機付自転車・自転車運転中や歩きながらの使用はしないでください。自動車・原動機付自転車運転中の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。
- かばんの中や布団などで覆われた状態での使用や充電は故障の原因となります。
- 充電用機器や外部機器などをお使いになるときは、接続する端子に対してコネクタをまっすぐに抜き差ししてください。正しい方向で抜き差ししないと、故障の原因となります。
- 直射日光の当たる場所（自動車内など）や高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所で使用、保管、放置しないでください。故障の原因となる場合があります。
- ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。充電中は特にご注意ください。落下して、故障などの原因となります。
- 本製品を充電する際は、たこ足配線などでコンセントや配線器具の定格を超えて使用しないでください。

■ 本体について

- 強く押し、たたくなど故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。傷の発生や破損の原因となる場合があります。
- ボタンやディスプレイの表面に爪や鋭利な物、硬い物などを強く押し付けしないでください。傷の発生や破損の原因となります。
- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押ししたり、先のとがったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。
- 改造された本製品は絶対に使用しないでください。改造された機器を使用した場合は電波法および電気通信事業法に抵触します。
本製品は電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等を受けており、その証として、「技術マーク」が本製品のディスプレイで確認できるようになっております。
《確認方法》ホーム画面表示で「情報」－「端末情報」とタップしてスライドし「認証情報」を表示
本製品本体のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようお願いいたします。
- 磁気カードやスピーカー、テレビなど磁力を有する機器を本製品に近づけると故障の原因となる場合がありますのでご注意ください。強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。
- キャッシュカード・クレジットカード・プリペイドカードなどの磁気カードを近づけたりしないでください。記録内容が消失する場合があります。

- ポケットやかばんなどに収納するときは、ディスプレイが金属などの硬い部材に当たらないようにしてください。傷の発生や破損の原因となります。また金属などの硬い部材がディスプレイに触れるストラップは、傷の発生や破損の原因となる場合がありますのでご注意ください。
- 寒い場所から急に暖かい場所に移動させた場合や、湿度の高い場所、エアコンの吹き出し口の近くなど温度が急激に変化するような場所で使用された場合、本製品内部に水滴が付くことがあります（結露といえます）。このような条件下でのご使用は湿気による腐食や故障の原因となりますのでご注意ください。
- USB コネクタに外部機器を接続した状態で無理な力を加えると破損の原因となりますのでご注意ください。
- 背面カバーを外したまま使用しないでください。また、放置・保管しないでください。内部にほこりなどの異物が入ると故障の原因となります。誤って内部に異物が入ったときは、本製品の電源を切り、auショップ、トヨタ au取扱店、故障紛失サポートセンターまでご連絡ください。
- 本製品内のau ICカード挿入口に液体、金属体などの異物を入れしないでください。故障の原因となります。誤って内部に異物が入ったときは、本製品の電源を切り、auショップ、トヨタ au取扱店、故障紛失サポートセンターまでご連絡ください。
- 落下させる、投げつける、踏みつけるなどの強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- 砂浜などの上に直に置かないでください。本製品本体内に砂などが混入すると故障の原因となります。誤って内部に異物が入ったときは、本製品の電源を切り、auショップ、トヨタ au取扱店、故障紛失サポートセンターまでご連絡ください。

■ タッチパネルについて

- ディスプレイにシールやシート類（市販の保護フィルムや覗き見防止シートなど）を貼ると、タッチパネルが正しく動作しない原因となる場合があります。
- タッチパネルに金属などの導電性物質が近づいた場合、タッチパネルが誤動作する場合がありますので、ポケットやかばんなどに入れて持ち運ぶ前に、電源ボタンを短押ししてディスプレイを消灯してください。

■ 電池パックについて



（本製品の電池パックは、リチウムイオン電池です。）
電池パックはお買い上げ時には、十分充電されていません。充電してからお使いください。初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。

- 夏期、閉めきった（自動車）車内に放置するなど、極端な高温や低温環境では電池パックの容量が低下し、ご利用できる時間が短くなります。また、電池パックの寿命も短くなります。できるだけ、常温でお使いください。
- 長時間使用しない場合は、本体から電池パックを外し、高温多湿を避けて保管してください。
- 電池パックは消耗品です。充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合には寿命ですのでご使用をおやめになり、指定の新しい電池パックをお買い求めください。なお、寿命は使用状態などにより異なります。
- 電池パックは、ご使用条件により寿命が近づくにつれて膨れる場合があります。これはリチウムイオン電池の特性であり、安全上の問題はありません。
- 破損や液漏れした電池パックを使用しないでください。故障原因となる場合があります。
- 電池パックを水などで濡らさないでください。電池パックが濡れると故障の原因となります。誤って水などに落としたりしたときは、直ちに電源を切り、電池パックを外して、auショップ、トヨタ au取扱店、故障紛失サポートセンターまでご連絡ください。また、濡れた電池パックは充電をしないでください。

■ 充電用機器について

- 指定の充電用機器（別売）の電源コードをACアダプタ本体に巻きつけないでください。また、充電用機器のプラグやコネクタと電源コードの接続部を無理に曲げたりしないでください。ACアダプタやUSBケーブル（試供品）のコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。故障の原因となります。
- 指定の充電用機器（別売）の電源プラグをコンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。ケーブルを引っ張るとケーブルが損傷するおそれがあります。

■ au IC カードについて

- au IC カードの取り外し、および挿入時には、必要以上に力を入れないようにしてください。ご使用になる本製品への挿入には必要以上の負荷がかからないようにしてください。
- 他の IC カードリーダー/ライターなどに、au IC カードを挿入して故障した場合は、お客様の責任となりますのでご注意ください。
- au IC カードにシールなどを貼らないでください。
- 変換アダプタを取り付けた au IC カードを挿入しないでください。故障の原因になります。
- カードに損傷を与えるようなこと（高温の場所での使用、火中投下、金属部への異物の接触、衝撃を与える、曲げたり荷重をかける、濡らすなど）はしないでください。データの消失や故障の原因となります。

■ 著作権・肖像権について

- お客様が本製品でインターネット上からダウンロードなどで取得したデータの全部または一部が、第三者の有する著作権で保護されている場合、個人で楽しむなどの他は、著作権法により、権利者に無断で複製、頒布、公衆送信、改変などはできません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用・改変などをすると肖像権の侵害となるおそれがありますので、そのようなご利用もお控えください。

■ 本製品の記録内容の控え作成のお願い

- ご自分で本製品に登録された内容で、重要なものは控えをお取りください。本製品のメモリは、静電気・故障などの不測の要因や、修理・誤った操作などにより、記録内容が消えたり変化する場合があります。

Bluetooth® / 無線 LAN (Wi-Fi®) 機能について

- 本製品の Bluetooth® 機能および無線 LAN (Wi-Fi®) 機能は日本国内での無線規格に準拠し、認定を取得しています。
- 無線 LAN (Wi-Fi®) や Bluetooth® 機器が使用する 2.4GHz 帯は、さまざまな機器が運用されています。場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 電気製品・AV・OA 機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどの近くで使用すると受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数の無線 LAN (Wi-Fi®) アクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- 航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
- 通信機器間の距離や障害物、接続する機器により、通信速度や通信できる距離は異なります。

■ 2.4GHz 帯ご使用上の注意

本製品の Bluetooth® 機能／無線 LAN (Wi-Fi®) 機能は 2.4GHz 帯を使用します。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、ほかの同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「ほかの無線局」と略す）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
 2. 万一、本製品と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
 3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップ、トヨタ au 取扱店、お客さまセンターまでご連絡ください。
- ◎ 本製品はすべての Bluetooth®・無線 LAN (Wi-Fi®) 対応機器との接続動作を確認したものではありません。
- 従って、すべての Bluetooth®・無線 LAN (Wi-Fi®) 対応機器との動作を保証するものではありません。
- ◎ 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®・無線 LAN (Wi-Fi®) の標準

仕様に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®・無線 LAN (Wi-Fi®) によるデータ通信を行う際はご注意ください。

- ◎ 無線 LAN (Wi-Fi®) は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。
- ◎ Bluetooth®・無線 LAN (Wi-Fi®) 通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ◎ Bluetooth® と無線 LAN (Wi-Fi®) は同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いの Bluetooth®、無線 LAN (Wi-Fi®) のいずれかの使用を中止してください。

本製品の Bluetooth® 機能および無線 LAN (Wi-Fi®) 機能は、2.4GHz 帯の周波数を使用します。

- Bluetooth® 機能：2.4FH4/XX8 本製品は 2.4GHz 帯を使用します。変調方式として FH-SS 変調とその他の変調方式を採用し、与干渉距離はそれぞれ約 40m 以下、約 80m 以下です。
- 無線 LAN (Wi-Fi®) 機能：2.4DS4/OF4 本製品は 2.4GHz 帯を使用します。変調方式として DS-SS 方式および OFDM 方式を採用しています。与干渉距離は約 40m 以下です。

航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

2.4DS4/OF4/FH4/XX8	2.4 DS4	: 2.4GHz 帯を使用する無線設備を示す
	OF4	: DS-SS 方式で想定される干渉距離が 40m 以下であることを示す
	FH4	: OFDM 方式で想定される干渉距離が 40m 以下であることを示す
	XX8	: FH-SS 方式で想定される干渉距離が 40m 以下であることを示す
		: 変調方式はその他の方式で想定される干渉距離が 80m 以下であることを示す
IEEE802.11b/g/n		: 全帯域を使用し、かつ本製品としては移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味する

- 本製品を 2.4GHz 帯で運用する場合、干渉低減や周波数利用率向上のため、チャンネル設定として CH1、CH6、CH11 のいずれかにすることを推奨します。ただし、無線 LAN (Wi-Fi®) 以外のシステムとの干渉を避けるために、推奨の CH1、CH6、CH11 以外を使用しなければならない場合はこの限りではありません。（使用チャンネルの設定方法は、「8-4 Wi-Fi 設定」(▶ P.87) を参照してください。)

■ 5GHz 帯ご使用上の注意

本製品の無線 LAN (Wi-Fi®) 機能は 5GHz 帯を使用します。電波法により 5.2GHz 帯および 5.3GHz 帯の屋外利用は禁止されております。本製品が使用するチャンネルは以下の通りです。

IEEE802.11a/n/ac				
J52	W52	W53	W56	
				W52 (5.2GHz 帯 / 36, 40, 44, 48ch)
				W53 (5.3GHz 帯 / 52, 56, 60, 64ch)
				W56 (5.6GHz 帯 / 100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140ch)

- W53 (5.3GHz 帯) と W56 (5.6GHz 帯 / 132, 136, 140ch) は、ご利用できません。(2019 年 3 月現在)
- 本製品は、5GHz 帯 Wi-Fi 利用上の注意事項をディスプレイで電子的に表示しています。
表示方法：ホーム画面表示で「情報」- [5GHz 帯 Wi-Fi 利用上の注意事項] をタップ

電波障害自主規制について

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI - B

- 本装置は、VCCI協会の運用規程に基づく技術基準に適合したマークをディスプレイに電子的に表示しています。
表示の操作方法：ホーム画面表示で【情報】 - 【端末情報】とタップしてスライドし、「認証情報」を表示

各種暗証番号／PINコードについて

■ 各種暗証番号について

本製品をご使用いただく場合に、各種の暗証番号をご利用いただけます。ご利用いただく暗証番号は次の通りとなります。設定された各種の暗証番号は各種操作に必要となりますので、お忘れにならないようご注意ください。

なお、初期値は必ずお客様の独自の番号に変更のうえお使いください。

- ロック解除用暗証番号
使用例 画面ロックの設定／解除をする場合
初期値 1234

なお、初期値は必ずお客様の独自の番号に変更のうえお使いください。

■ PINコードについて

■ PINコード

- 第三者による au IC カードの無断使用を防ぐために、電源を入れるたびに PIN コードの入力を必要にすることができます。また、PIN コードの入力可否を設定する場合にも入力が必要となります。
- PIN コードは 3 回連続で間違えるとコードがロックされます。ロックされた場合は、PIN ロック解除コードを利用して解除できます。
 - お買い上げ時の PIN コードは「1234」、入力可否は「無効にする」に設定されていますが、お客様の必要に応じて PIN コードは 4～8 桁のお好きな番号、入力可否は「有効にする」に変更できます。
「有効にする」で使用する場合、必ずお客様独自の番号に変更のうえご使用ください。

■ PIN ロック解除コード

- PIN コードがロックされた場合に入力することでロックを解除できます。
 - PIN ロック解除コードは、au IC カードが取り付けられていたプラスチックカード裏面に印字されている 8 桁の番号で、お買い上げ時にはすでに決められています。
 - PIN ロック解除コードを入力した場合は、新しく PIN コードを設定してください。
 - PIN ロック解除コードを 10 回連続で間違えた場合は、au ショップ、トヨタ au 取扱店、お客さまセンターまでお問い合わせください。
 - 「PIN コード」はデータの初期化を行ってもリセットされません。

マナーも携帯する

■ こんな場所では、使用禁止！

- 航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。

■ 周りの人への配慮も大切

- 街中では、通行の邪魔にならない場所で使いましょう。
- 本製品の画面を見ながらの歩行は大変危険です。歩行中または急に立ち止まるとの操作は控えましょう。
- 新幹線の車中やホテルのロビーなどでは、迷惑のかからない場所へ移動しましょう。
- 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があります。事前に本製品の電源を切っておきましょう。
- 病院などの医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止と定めている場所では、その指示に従いましょう。

1章 ご利用の準備

1-1 本製品の使いかた.....	12
1-2 各部の名称と機能.....	13
1-3 au IC カードについて	15
1-4 電池パックを取り付ける／取り外す.....	17
1-5 充電する.....	18
1-6 電源を入れる／切る.....	20
1-7 端末情報を確認する.....	22
1-8 あらかじめ確認してください.....	23

1-1 本製品の使いかた

ご利用になる前に

- 本製品は WiMAX 2+ 方式および LTE 方式を利用してデータ通信を行うことができます。ご利用になる際は、以下の通信モードを選択いただけます。

	ハイスピード	ハイスピードプラスエリア
WiMAX 2+	○	○
LTE	—	○

各通信モードの選択、設定方法については、「4-2 通信モードを切り替える」(▶ P.53) を参照してください。

- ※ 初期設定は、「ハイスピード」モードです。「ハイスピードプラスエリア」モードに切り替えるとお客様の料金プランによっては追加料金が掛かる場合がございますので、ご注意ください。
- 本製品は USB 2.0 (パソコンメーカー独自の USB ポートを除く) に対応しており、USB ポートを備えたパソコンでご利用になれます。(同梱品の USB ケーブルは、USB 2.0 規格です。)

本製品との接続について

本製品は、無線 LAN (Wi-Fi[®]) 機能および Bluetooth[®] 機能によりパソコンやゲーム機、スマートフォンなどの複数の端末と接続することができます。また、USB ケーブルやクレードル (別売) を使って有線で接続することができます。

さらに、接続した端末から本製品を経由して WiMAX 2+ 方式または LTE 方式を使ったインターネット接続でデータ通信ができます。

■ 無線 LAN (Wi-Fi[®]) で接続する

本製品とパソコンやゲーム機、スマートフォンなどの無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末を接続し、データ通信ができます。

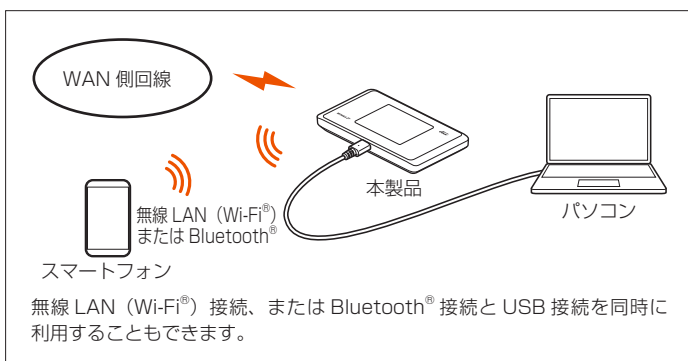
本製品に無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末を最大 10 台まで接続することが可能です。ただし、周囲の電波環境によっては上限まで接続できない場合があります。

※無線 LAN (Wi-Fi[®]) 機能と Bluetooth[®] 機能は同時に利用することはできません。



■ USB で接続する

本製品とパソコンを USB ケーブルで接続するだけで、データ通信ができます。



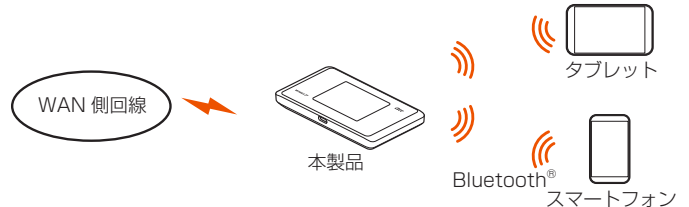
■ Bluetooth[®] 機能で接続する

本製品をアクセスポイントとして、スマートフォンやタブレットなどの Bluetooth[®] 搭載端末をインターネットに接続して利用することができます。電池の持ちが気になる外出先での節電に効果があります。Bluetooth[®] 接続できる上限台数は 3 台です。(ペアリング登録できる上限台数は 3 台です。)

ただし、Bluetooth[®] 搭載端末側の接続状況によっては上限まで接続できない場合があります。

また、複数台接続した状態からペアリングを行う際、接続台数が 3 台以下でもペアリングできない場合があります。その場合は、他の Bluetooth[®] 搭載端末を切断してからペアリングを行ってください。

※無線 LAN (Wi-Fi[®]) 機能と Bluetooth[®] 機能は同時に利用することはできません。



! ご注意

- ペアリング処理中に、他のペアリング済みの Bluetooth[®] 搭載端末から、接続または切断をしないでください。
- ペアリング登録台数が上限に達しているときは、本製品のディスプレイに「最大登録数に達したため設定できません。」と表示されます。その場合は、クイック設定 Web 画面の「Bluetooth 設定」で「Bluetooth ペアリング情報」に表示されているペアリング情報を削除してください。
- ご利用の Bluetooth[®] 搭載端末が Bluetooth 2.1 以上に対応し、かつ、ネットワーク接続ができるプロファイル (PANU) に対応していることを確認してください。
- PANU に対応している機種については、Bluetooth[®] 搭載端末の各メーカーサイトにてご確認ください。

■ 有線 LAN で接続する

クレードル (別売) を使って、パソコンと有線 LAN 接続することができます。

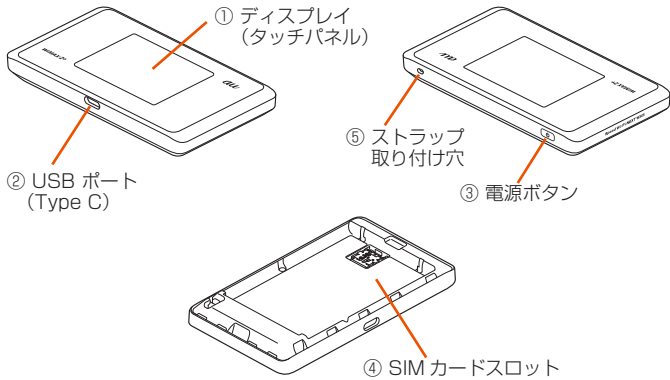
クレードル (別売) の使いかたについては、WX05 クレードル (別売) に同梱の「WX05 クレードル (NAD35PUA) 取扱説明書」を参照してください。

memo

- ◎ USB 接続または有線 LAN 接続と無線 LAN (Wi-Fi[®]) 接続を同時に利用した場合、合わせて最大 11 台まで接続できます。
- ◎ USB 接続または有線 LAN 接続と Bluetooth[®] 接続を同時に利用した場合、合わせて最大 4 台まで接続できます。

1-2 各部の名称と機能

本体



・アンテナは、本体に内蔵されています。通信中に本体を手でおおうと通信品質に影響を及ぼす場合があります。

名称	機能
① ディスプレイ (タッチパネル)	本製品の状態や通知情報などが表示されます。タッチパネルで本製品の主要な設定ができます。
② USB ポート (Type C)	USB ケーブル (同梱品) (試供品) を接続するとき、またはクレードル (別売) に接続するときを使用します。
③ 電源ボタン	電源の ON/OFF を行います。 ディスプレイを点灯 / 消灯させるときに使用します。 休止状態にするときや、休止状態やウェーティングから復帰するときを使用します。
④ SIM カードスロット	au IC カードを挿入します。
⑤ ストラップ 取り付け穴	ストラップを取り付けるときに使用します。

■ ディスプレイ表示について



(例) 通信量の上限值入力画面

＜設定メッセージ表示＞
本製品の設定中などに表示されます。

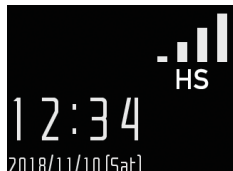


＜休止状態表示＞
電源ボタン を押したときに表示されます。



・ [ファームウェア更新] は、新ファームウェアがあるときに表示
・ [フuntime HS+A] は通信モードがハイスピードプラスエリアモードのときは表示しません

＜時刻常時表示画面＞
クレードル (別売) に接続時に表示されます。(▶ P.97, P.115)



名称	表示	状態	説明
① 電波受信レベル		点灯	WAN 側回線の信号の強度を 4 段階で表示
		点灯	圏外するとき
② 接続状態		点灯	ハイスピードモードでインターネットに接続しているとき
		点灯	ハイスピードプラスエリアモードでインターネットに接続しているとき (※)
		点灯	フuntime HS+A モードでインターネットに接続しているとき (※)
		点灯	Wi-Fi アクセスポイントモードでクレードル (別売) に接続しているとき
③ ファームウェア更新通知		点灯	新ファームウェア公開中で、ファームウェアの更新が必要なとき
④ 有線接続の状態		点灯	LAN 側を USB で接続しているとき
		点灯	クレードル (別売) に接続し、有線 LAN で接続しているとき
⑤ Bluetooth® 機能の状態		点灯	Bluetooth® 機能がオンするとき (右下の数字は接続台数)
		消灯	Bluetooth® 機能がオフのとき
⑥ 無線 LAN (Wi-Fi®) 帯域		点灯	2.4GHz 帯で接続しているとき (右下の数字は接続台数)
		点灯	5GHz 帯 (屋外) で接続しているとき (右下の数字は接続台数)
		点滅	利用チャネル確認中
		点灯	5GHz 帯 (屋内) で接続しているとき (右下の数字は接続台数)
⑦ スケジュール		点灯	スケジュール機能を設定しているとき
		点灯	スケジュール機能を設定時、休止移行まで 10 分未満のとき
⑧ 省電力モード		点灯	エコモードで動作中
		点灯	ノーマルモードで電池残量が少ないとき省電力動作中
		点灯	ノーマルモードで動作中
		点灯	ハイパフォーマンスモードで動作中
⑨ 電池状態		点灯	電池残量を 6 段階で表示
		点灯	充電中
		点灯	電池残量を 6 段階で表示 (ロングライフ充電機能 ON 時)
		点灯	充電中 (ロングライフ充電機能 ON 時)
⑩ データ通信量表示			現在のデータ通信量を表示 (データ通信量の累積値 / 上限設定値) 使用した割合をバーの長さで表示


※ハイスピードプラスエリアモードまたはフuntime HS+A モードへ切り替えてご利用の場合、所定の追加料金が別途かかる場合があります。

！ ご注意

● 本製品の操作が一定時間*なかったときは、本製品のディスプレイ表示が自動的に消えます。再度ディスプレイを表示させるには、電源ボタン を押してください。

※「自動消灯時間」(▶ P.91) と連動しています。「自動消灯時間」で設定した時間が経過すると消灯します。(初期値：15 秒)

memo

◎本製品は工場出荷時の状態で自動消灯時間（15秒）、省電力状態切り替え機能（休止状態）が設定されており、起動後15秒でディスプレイは消灯し、10分後に休止状態になります。電源ボタン  を押して一時的に解除した場合、一定時間はディスプレイが表示されます。ただし、下記の条件では自動消灯（初期値：15秒）は無効となります。

- ・Wi-Fi 設定お引越し中
- ・WPS で Wi-Fi 設定を実行中
- ・らくらく無線スタートを実行中
- ・Wi-Fi 情報を表示中
- ・「新しいファームウェアが見つかりました。更新しますか？」と表示中
- ・ファームウェアのバージョンアップ中
- ・電波レベルのインジケータ表示中
- ・利用チャンネル確認中

◎下記のときは、10分間ディスプレイ表示します。

- ・設定ウィザード画面
- ・Wi-Fi 設定お引越し開始前の確認画面
- ・Wi-Fi 情報画面
- ・らくらく QR コード画面
- ・電池残量推移画面
- ・データ通信量画面
- ・PIN 入力画面

◎下記のような使用状況により、本体が高温になった場合は、自動的に電源を OFF にします。

- ・直射日光に当たるところで使用した場合
- ・高温下で充電しながら使用した場合
- ・かばんなどに入れて密封して使用した場合

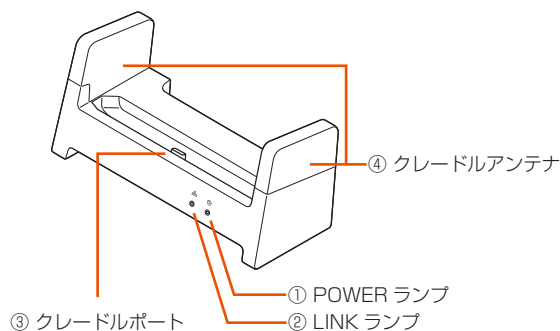
その場合、本体温度が下がってから電源を入れてください。

◎Wi-Fi アクセスポイントモードについてはクレードル(別売)の「WX05 クレードル (NAD35PUA) 取扱説明書」を参照してください。



クレードル（別売）

クレードル（別売）は、本製品を接続し、据え置きで充電をしたり、有線 LAN 接続やブロードバンドルーターを接続して Wi-Fi アクセスポイントとしてご利用いただけます。クレードル（別売）の使いかたについては、別売の WX05 クレードルに同梱の「WX05 クレードル (NAD35PUA) 取扱説明書」を参照してください。

■ 前面



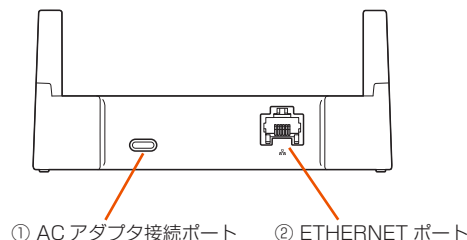
【ランプ表示】

ランプの種類	色	状態	クレードル（別売）の状態
① POWER ランプ (電源) 	緑	点灯	AC アダプタ（別売）が接続され、給電しているとき
	—	消灯	AC アダプタ（別売）が接続されていないとき
② LINK ランプ (有線 LAN 通信状態表示) 	緑	点灯	ETHERNET ポートのリンクが確立しているとき
	緑	点滅	ETHERNET ポートがデータ送受信しているとき
	—	消灯	ETHERNET ポートのリンクが確立していないとき

【各部の名称と機能】

名称	説明
③ クレードルポート	本製品を接続します。
④ クレードルアンテナ	無給電 非接触アンテナ（内蔵）により、WAN 側回線 (WiMAX 2+) と無線 LAN (Wi-Fi [®]) 側の通信性能が向上します。

■ 背面



名称	説明
① AC アダプタ接続ポート	指定の充電用機器（別売）と接続します。
② ETHERNET ポート	ETHERNET ケーブル（市販品）で、パソコンなどと接続します。



ご注意

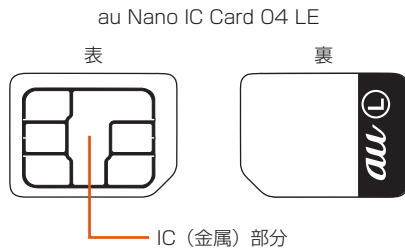
- クレードル（別売）を使用する際は AC アダプタ（別売）を必ず接続してください。
パソコンなどの USB ポートからの給電は、動作しないことがあります。
- 本製品が Wi-Fi アクセスポイントモードに設定されているときに着脱を行うと再起動します。
- 必ず指定の機器をご使用ください。WX04 クレードル(NAD34PUU) は使用できません。指定の機器以外を使用した場合、発熱・発火・破裂・故障・漏洩の原因となります。（「11-4 周辺機器」(▶ P.126) 参照）

memo

- ◎AC アダプタ（別売）は、必ず指定のものをお使いください。
本製品の電源 ON 時にクレードル（別売）で充電する場合は、消費電力が大きいため、TypeC 共通 AC アダプタ O1 (O601PQA)（別売）のご使用を推奨します。
- ◎クレードル（別売）の AC アダプタ接続ポートでは、USB 通信はできません。電源供給用の接続ポートです。
- ◎ETHERNET ケーブル（市販品）をクレードル（別売）に接続する際は、ETHERNET ポートにカチッと音がするまで差し込み、ケーブルを軽く引いて、ロックがかかっていることを確認してください。
- ◎本製品をクレードル（別売）にセットした後、または取り外した後は、切り替え確認をします。本製品のタッチパネル操作をするときは、約 10 秒待ってから操作してください。

1-3 au ICカードについて

WAN 側回線通信サービスをご利用になるには、au から提供される IC カードが必要です。au IC カードにはお客様の電話番号などの情報が記録されています。本製品を使用するには au IC カードを本体に取り付ける必要があります。au IC カードを取り付けないと、WAN 側回線でのデータ通信などをご利用できません。



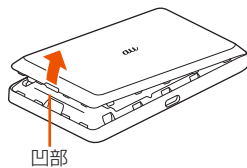
- 本製品は au Nano IC Card 04 LE に対応しております。
- SD カードや変換アダプタを取り付けた IC カードを挿入しないでください。故障の原因になります。

memo

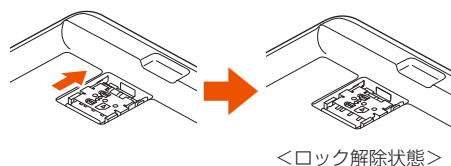
- ◎ au IC カードの取り付け/取り外しは本製品の電源を切ってから行ってください。無理な取り付けや取り外しはしないでください。
- ◎ PIN コードの設定をしている au IC カードをお使いの場合は、PIN コードの入力が必要です。(▶ P.10、P.115)
- ◎ au IC カードには、お客様の電話番号が記録されていますが、本製品で音声電話の発着信などはできません。
- ◎ au IC カードを正しく取り付けしていない場合や au IC カードに異常がある場合はエラーメッセージが表示されます。

au IC カードを取り付ける

- 1** 本製品の電源が ON になっているときは、電源ボタン を長押しし、電源オプションで [電源 OFF] をタップする
- 2** 本製品と AC アダプタ (別売) / USB ケーブル / クレードル (別売) が接続されているときは取り外す
- 3** 背面カバーを取り外す
側面の凹部に指をかけ、矢印の方向に持ち上げて外します。



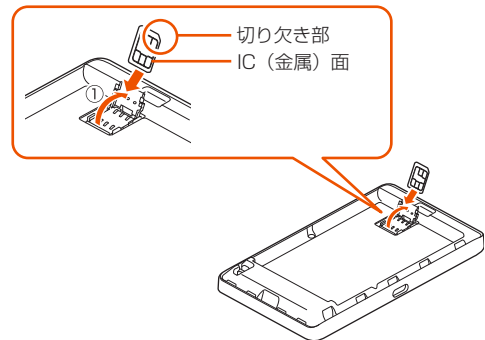
- 4** 電池パックを取り出す
電池パックの取り外しかたは、「1-4 電池パックを取り付ける/取り外す」(▶ P.17) を参照してください。
- 5** カードスロット上面の金具 (カバー) を矢印方向にスライドさせ、ロックを解除する
※ 金具を上から押さないでください。



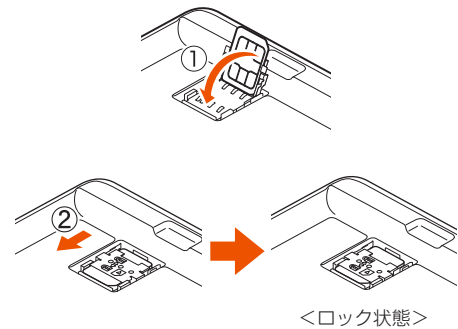
- 6** カードスロットを矢印方向 (①) に立ち上げ、au IC カードの IC (金属) 面を上側にして、カードスロットにまっすぐ挿入する

切り欠き部の位置にご注意ください。

au IC カードの取り付け/取り外しのときは、IC (金属) 部分に触れたり、傷つけたりしないようにご注意ください。



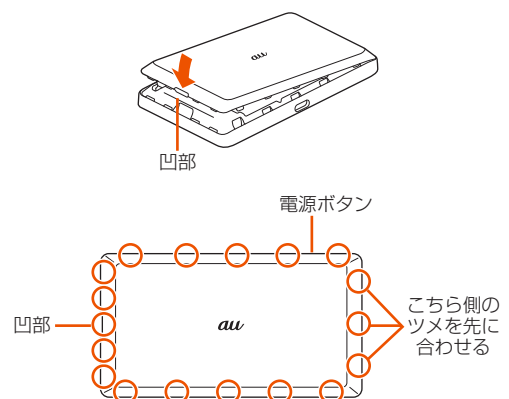
- 7** カードスロットを倒し (①)、上面の金具を軽く押しながら、矢印方向 (②) にカチッと音がするまでスライドさせ、ロックする




- 8** 電池パックを取り付ける (▶ P.17)

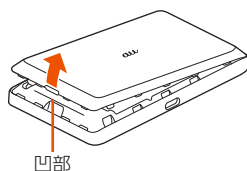
- 9** 背面カバーを取り付ける

背面カバーの向きを確認して本製品に合わせるように装着し、イラスト内の○の部分をしっかり押しながら隙間がないように取り付けてください。

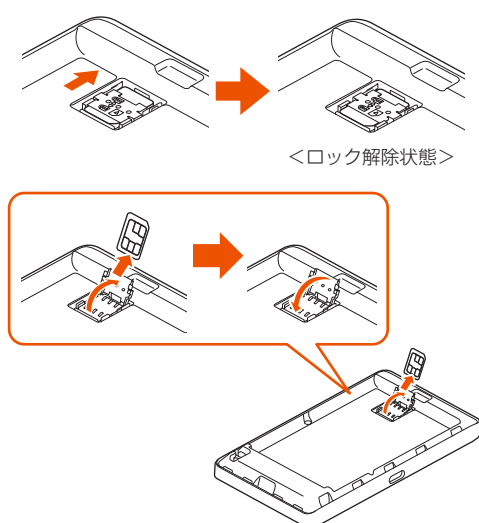


au IC カードを取り外す

- 1 本製品の電源が ON になっているときは、電源ボタン  を長押しし、電源オプションで [電源 OFF] をタップする
- 2 本製品と AC アダプタ (別売) / USB ケーブル / クレードル (別売) が接続されているときは取り外す
- 3 背面カバーを取り外す
側面の凹部に指をかけ、矢印の方向に持ち上げて外します。



- 4 電池パックを取り外す (▶ P.17)
- 5 ロックを外し、カバーを開ける



- 6 レールに沿って au IC カードを矢印の方向へ取り外す
背面カバーと電池パックを取り付ける場合は、「1-4 電池パックを取り付ける / 取り外す」(▶ P.17) を参照してください。

! ご注意

- 取り外した au IC カードは紛失しないようご注意ください。

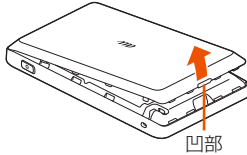
1-4 電池パックを取り付ける／取り外す

電池パックの取り付け／取り外しは、ACアダプタ（別売）/USBケーブルをデータ通信端末から外してから行ってください。また、取り外しは、本製品の電源を切ってから行ってください。

電池パックを取り付ける

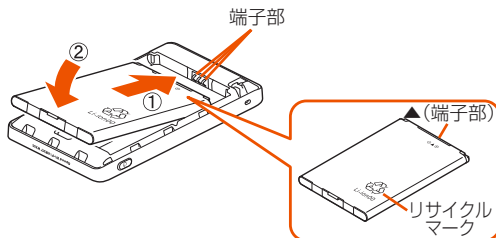
1 背面カバーを取り外す

側面の凹部に指をかけ、矢印の方向に持ち上げて外します。



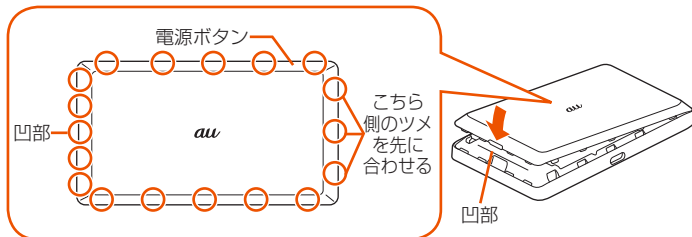
2 リサイクルマークが印刷されている面を上にして、本製品の端子部と電池パックの▲（端子部）を合わせ①の方向に取り付けて、②の方向にはめ込む

電池パックの金属端子部を本製品の金属端子部に突き当ててから押し込んでください。



3 背面カバーを取り付ける

背面カバーの向きを確認して本製品に合わせるように装着し、イラスト内の○の部分をしっかり押しながら隙間がないように取り付けてください。

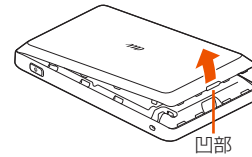


電池パックを取り外す

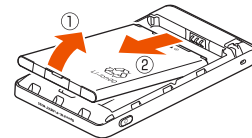
1 本製品の電源が ON になっているときは、電源ボタン を長押しし、電源オプションで [電源 OFF] をタップする

2 背面カバーを取り外す

側面の凹部に指をかけ、矢印の方向に持ち上げて外します。

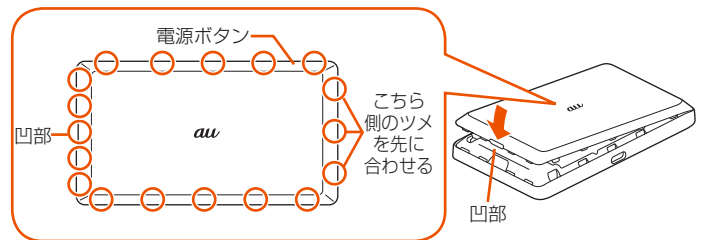


3 電池パックの手前部分を持ち上げ (①) て、矢印の方向に引き出して (②) 取り外す



4 背面カバーを取り付ける

背面カバーの向きを確認して本製品に合わせるように装着し、イラスト内の○の部分をしっかり押しながら隙間がないように取り付けてください。



！ ご注意

- 電池パックを取り付けていない状態で AC アダプタ（別売）を接続しないでください。
- お買い上げ時は、電池パックは十分に充電されておりません。本製品をご使用になる前に、「1-5 充電する」（▶ P.18）を参照して電池パックを充電してください。
- 本製品指定以外の電池パックを使用しないでください。本製品指定以外の電池パックを使用すると本製品が故障する場合があります。
- 電池パックを取り外す場合は、本製品の電源を OFF にしてから取り外してください。本製品を電源 ON にしたまま、電池パックを取り外すと故障の原因となります。
- 本製品の設定変更直後に電池パックを取り外す場合は、本製品の電源を完全電源 OFF（▶ P.20）にしてから取り外してください。完全電源 OFF にしないで電池パックを取り外すと、設定が保持されていない場合があります。
- 電池パックを取り外した後、再度取り付ける場合は、5 秒以上経過してから取り付けてください。すぐに取り付けると電池残量が正しく表示されない場合があります。

1-5 充電する

お買い上げ時、電池パックは十分に充電されていません。

- ・本製品の充電は、電源 OFF または休止状態時に行うことをおすすめします。
- ・電源 ON の状態や、本体や電池パックの温度が高い場合、電池保護のために満充電になっていなくても充電を停止することがあります。また、電源 ON 状態で長時間充電を続けると、電池保護のため自動的に電池残量を徐々に減少させロングライフ充電状態（最大充電容量が約 70%）になります。
- ・ディスプレイが点灯した状態や通信状態でも充電はできますが、充電時間がやや長くなります。
- ・電源を ON にしたとき本製品のディスプレイに「電池残量が不足しています。充電してください。」と表示されたときは、電源を入れることができません。AC アダプタ（別売）を接続して 30 分以上充電してから電源を入れ直してください。
- ・電池の温度が、低温や高温時は電池保護のため、充電が停止したり充電時間が長くなる場合があります。
高温時は電池の温度が下がってから充電してください。
- ・USB ケーブル（同梱品）を使用してパソコンの USB ポートからの充電も可能です。なお、USB ポートからの充電は、指定の充電用機器（別売）を使用した場合よりも充電時間が長くなります。
- ・TypeC 共通 AC アダプタ 01（0601PQA）（別売）をご利用いただければ急速充電可能です。
- ・AC アダプタ（別売）を接続した状態で、電池パックの取り付け/取り外しは行わないでください。故障の原因となります。
- ・本製品は USB ハブ（市販品）を使用して接続しないでください。
- ・充電時間は、本製品の使用環境・状態により異なります。
- ・電池残量が約 80%以上の状態では、充電を開始しない場合があります。

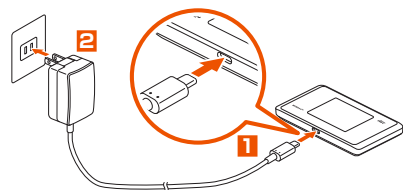
指定の AC アダプタ（別売）を使って充電する

ここでは TypeC 共通 AC アダプタ 01（0601PQA）（別売）を使って充電する方法を説明します。

1 本製品の USB ポート（Type C）に、AC アダプタ（別売）の USB コネクタ（Type C）を接続する

- ・USB コネクタ（Type C）は本製品の USB ポート（Type C）にまっすぐに差し込んでください。
- ・無理に接続すると USB コネクタを破損させる場合がありますのでご注意ください。


2 AC アダプタ（別売）の電源プラグを電源コンセントに接続する





！ ご注意

- ・AC アダプタ（別売）は、必ず本製品指定の周辺機器をお使いください。

3 充電を開始する

※電源 OFF 状態または休止状態での充電中に電源ボタン  を押すと、充電の状態 (%) が表示されます。

- ・充電の状態（電池残量）を確認する場合は、電源ボタン  を押してください。ディスプレイ右上に電池状態アイコン  が表示されます。（▶ P.13）

（電池残量の表示は目安です。本製品の使用環境・状態により異なります。）

memo

- ◎ 電池パック取り付け後のご利用開始時、電池パックの準備を行うため、「電池残量取得中です。」と表示され、充電の表示に時間がかかります。

充電時間

電源 OFF 時の充電時間（電池残量がない状態から満充電になるまで）

充電時間	接続する機器
約 160 分	TypeC 共通 AC アダプタ 01（0601PQA）（別売）を使用

電池残量

以下の方法で確認することができます。

- ・本製品のディスプレイがホーム画面表示のとき

設定方法：ホーム画面 - [設定] - [ディスプレイ設定] - [電池残量表示 (%)] を「ON」（初期設定：OFF）

確認方法：ホーム画面 - [情報] - [端末情報] - 「電池残量」



- ・電池残量推移（▶ P.70）
電池残量の減りかたを表示します。
- ・クイック設定 Web 画面（▶ P.81）
- ・スマートフォンアプリ（▶ P.62）

memo

- ◎ 本製品は、工場出荷時の状態で自動消灯時間（15 秒）、省電力状態切り替え機能（休止状態）が設定されており、起動後 15 秒でディスプレイは消灯し、10 分後に休止状態になります。休止状態から復帰する際、しばらくの間、電池残量が正しく表示されない場合があります。
- ◎ 電池パックの寿命は、お客様のご利用環境により変わります。充電のしかたによっては、劣化しやすくなりますので、寿命が短くなりにくい利用方法をおすすめします。
 - ・電池残量が十分に残っている状態で充電を繰り返すと劣化が早くなりますので、電池残量が、30%以下になってからの充電をおすすめします。
- ◎ 充電が完了してから長時間指定の充電用機器（別売）を接続したままにしていると、電池パックは充電と放電を繰り返し劣化を早めてしまいます。電池パックの充電が完了したら、指定の充電用機器（別売）を外してください。
- ◎ AC アダプタ（別売）やクレードル（別売）に接続したにもかかわらず充電できない場合は、接続し直してください。

ロングライフ充電

「ロングライフ充電」機能を ON にすると、電池残量が約 70%で充電を停止します。

電池残量が十分ある状態で頻繁に充放電を繰り返すことによる電池パックの劣化が早まることを防止します。

充電の上限が約 70%になりますので、使用時間は短くなります。

- 1 本製品のホーム画面から【クイックメニュー】－【ECO 設定】－【ロングライフ充電】をタップし、ON にする



- ・ステータスバーの電池状態が緑色表示になります。


memo

◎ 電池残量が約 60%以上の状態では、充電を開始しない場合があります。

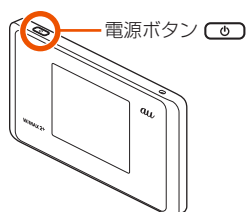
1-6 電源を入れる／切る

電源を入れる

1 電源ボタン を長押しする

本製品のディスプレイに「NEC」と表示されるまで電源ボタン  を長押しして、電源を入れてください。起動するまでにしばらくかかります。

(電池パック取り付け直後もしくは完全電源 OFF から電源を入れた場合は、「NEC」と表示される途中で、電池残量を表示します。)



memo

◎最新のファームウェアであることを、ホーム画面 - [設定] - [メンテナンス] - [ファームウェア更新] で確認してください。本製品のバージョンは、ホーム画面 - [情報] - [端末情報] で確認します。(▶ P.114)

◎電源を ON にしたとき「電池残量が不足しています。充電してください。」と表示された場合は、AC アダプタ (別売) を接続して 30 分以上充電してから電源を入れ直してください。

◎本製品は、工場出荷時の状態で自動消灯時間 (15 秒)、省電力状態切り替え機能 (休止状態) が設定されており、起動後 15 秒でディスプレイは消灯し、10 分後に休止状態になります。それぞれクイック設定 Web から設定を変更することができます。(▶ P.91、P.110)

◎パスコードを設定しているときは、パスコード入力画面が表示されるので、パスコードを入力してください。

電源を切る


1 電源ボタン を長押しする

ホーム画面、ロック画面を表示しているときに電源ボタン  を長押しすると、電源オプション画面が表示されます。


2 電源オプション画面で [電源 OFF] をタップする



memo

◎手順 1 で電源ボタン  を長押しし続けると、「完全電源 OFF に移行します」と表示され、電源 OFF します。

◎本製品の電源を切ると、本製品と接続されていた無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末や Bluetooth[®] 搭載端末などとの接続が自動的に切れます。

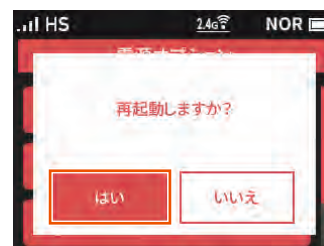
◎電源オプション画面で、[休止] をタップすると、休止状態になります。休止状態から電源を切る場合は、休止状態から復帰 (▶ P.58) させディスプレイがホーム画面表示になってから電源ボタン  を長押しして電源を OFF にしてください。

再起動する

1 電源ボタン を長押しし、電源オプション画面で [再起動] をタップする



2 確認画面で、[はい] をタップする



再起動します。

画面をロックする／画面ロックを解除する

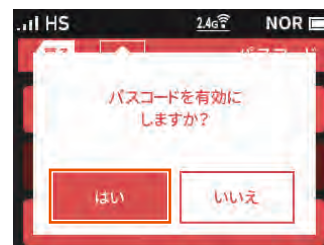
■ 画面をロックする

1 本製品のホーム画面 - [設定] - [セキュリティ設定] - [パスコード] - [ディスプレイ] をタップする

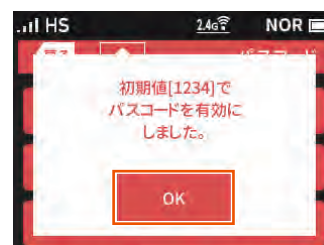
(初期設定：OFF)


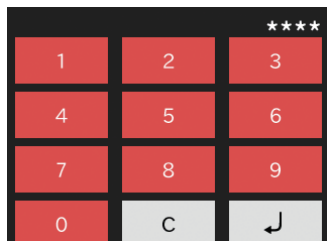




2 「パスコードを有効にしますか?」確認画面で、[はい] をタップする



3 「初期値 [1234] でパスコードを有効にしました。」画面で、[OK] をタップする


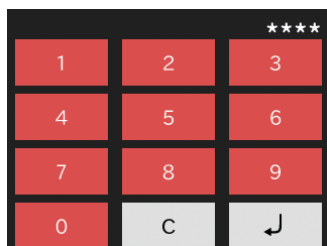


4 [パスコード変更] をタップする**5** 「現在のパスコードを入力」画面で、「1234」（初期値）を入力して  をタップする**6** 「新しいパスコードを入力」画面で、新しいパスコード（数字4桁）を入力して  をタップする**7** 「新しいパスコードを再度入力」画面で、同じパスコードを入力して  をタップする**8** 「パスコードを変更しました。」画面で、[OK] をタップする

画面をロックするパスコード設定をしました。

memo

- ◎ 初期値は必ずお客様の独自の番号に変更のうえお使いください。
- ◎ 変更したパスコードは、忘れないように控えておいてください。
- ◎ すでにパスコードの設定が済んでいる場合は、手順 **3** で「設定した値でパスコードを有効にしました。」と表示されるので、[OK] をタップします。
- ◎ セキュリティ設定の詳細は、「8-7 セキュリティ設定」(▶ P.92) を参照してください。

画面ロックを解除する**1** 電源を入れると、「パスコードを入力してください」画面が表示されるので、設定したパスコード（数字4桁）を入力して  をタップする

画面ロックが解除され、ホーム画面が表示されます。

memo

- ◎ パスコードを OFF にするときは、本製品のホーム画面 - [設定] - [セキュリティ設定] - [パスコード] をタップし、[OFF] をタップします。

1-7 端末情報を確認する

ディスプレイ（タッチパネル）で本製品の端末情報（下記）を確認できます。

- 端末名
- 電話番号（※ 1）
- ICCID（※ 1）
- IMEI
- シリアル番号
- ファームウェアバージョン
- 電池残量（※ 2）
- WAN 側 IP アドレス（※ 1）
- LAN 側 IP アドレス（※ 1）
- USB MAC アドレス
- UIM/PIN
- クイック設定 Web への URL（※ 1）
- 認証情報

（※ 1）「アクセスポイントモード」を「使用する」に設定してクレードル（別売）に接続した場合は、「-」表示します。

（※ 2）「電池残量表示（%）」設定が「OFF」のときは、表示しません。（初期設定：OFF、▶ P.91、P.115 参照）

接続情報の確認方法

- 1 本製品のホーム画面から、[情報] - [端末情報] をタップする



- 2 画面をスライドして、端末情報を確認する



1-8 あらかじめ確認してください

本製品を接続する前に次のことを確認しておきましょう。

接続端末の準備

お使いの接続端末が本製品をご利用になれる環境になっているか順番に確認してください。

- Web ブラウザの設定が「ダイヤルしない」、「プロキシサーバーを使用しない」になっていること (▶ P.24)
- ファイアウォールなど、すべてのソフトの停止
本製品設定の前に、ファイアウォール、ウイルスチェックなどのソフトはいったん停止してください。停止しない(起動したまま)と本製品の設定ができなかったり、通信が正常に行えない場合があります。(パソコンによっては、ファイアウォール、ウイルスチェックなどのソフトがあらかじめインストールされている場合があります。)
- クイック設定 Web で設定を行う場合は、JavaScript を有効にする設定にしておくこと (▶ P.24)

〈無線 LAN (Wi-Fi®) で接続する場合〉

- 無線 LAN (Wi-Fi®) が装備されていること

〈USB で接続する場合〉

- USB ポート (USB2.0 推奨) が装備されていること
USB 1.1 の環境では十分なデータ転送速度が得られないため、USB2.0 以上のご使用をおすすめします。

〈クレードル (別売) を使用して ETHERNET ポートに有線で接続する場合〉

- LAN ポートが装備されていること
- TCP/IP プロトコルスタックに対応していること
必要なネットワークコンポーネントがインストールされていない場合は、パソコンの取扱説明書を参照してインストールしてください。
- パソコンのネットワーク設定を確認すること (▶ 右記)

■ 対応 OS について

本製品は、Windows®, Macintosh、Linux など TCP/IP プロトコルスタックに対応した OS にて、ご利用いただけます (利用可能 OS は日本語版に限ります)。

ただし、USB 接続時の対応 OS は、以下の通りです。

Windows® 10、Windows® 8.1、Windows® 7 (SP1 以降) の日本語版かつ 32bit (x86) 版、または、64bit (x64) 版、macOS v10.14 (Intel)、v10.13 (Intel)、v10.12 (Intel)、OS X v10.11 (Intel)、v10.10 (Intel)、OS X v10.9 (Intel)、v10.8 (Intel)、Mac OS X v10.7 (Intel)、v10.6 (Intel)、v10.5 (Intel) の日本語版

■ 対応ブラウザについて

クイック設定 Web で設定を行う場合にご利用いただける Web ブラウザは以下の通りです。また、サポート対象は、以下 OS のプレインストール製品、またはメーカーが以下 OS の利用を保証している製品です。(自作パソコンはサポート対象外です) (2019 年 3 月現在)

Windows® 10 の場合

- Microsoft Edge に対応
- Internet Explorer 11.0 に対応

Windows® 8.1 の場合

- Internet Explorer 11.0 に対応

Windows® 7 (SP1 以降) の場合

- Internet Explorer 8.0/9.0/10.0/11.0 に対応

macOS v10.14/v10.13/v10.12/OS X v10.11/v10.10/v10.9/v10.8/Mac OS X v10.7/v10.6/v10.5 の場合

- Safari に対応

Android (9.0/8.1/8.0/7.1/7.0/6.0/5.1/5.0/4.4/4.3/4.2/4.1/4.0) の場合

- Google Chrome に対応

iOS (12.0/11.4/11.3/11.2/11.1/11.0/10.3/10.2/10.1/10.0/9.3/9.2/9.1/9.0/8.4/8.3/8.2/8.1/8.0) の場合

- Safari に対応

memo

◎ 対応しているすべてのパソコンについて動作保証するものではありません。

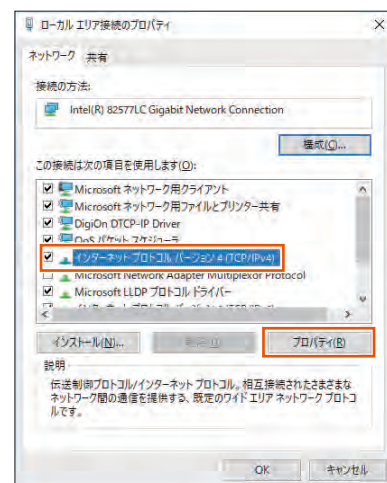
パソコンのネットワークの確認 (USB 接続 / 有線 LAN 接続の場合)

パソコンのネットワークの設定が、Windows の場合は「IP アドレスを自動的に取得する」、Mac OS の場合は「DHCP サーバを参照」になっていることを確認してください。

■ Windows パソコンの場合

以下は Windows 10 を例に説明しています。

- 1 「Windows」キーを押し、表示された一覧から [Windows システムツール] - [コントロールパネル] をクリックする
Windows 7 の場合は、[スタート] (Windows のロゴボタン) - [コントロールパネル] をクリックします。
- 2 [ネットワークとインターネット] - [ネットワークと共有センター] をクリックし、[アダプターの設定の変更] をクリックする
- 3 [イーサネット接続] (または [イーサネット] または [ローカルエリア接続]) を右クリックし、[プロパティ] をクリックする
- 4 [ユーザーアカウント制御] 画面が表示された場合は、[はい] または [続行] をクリックする
- 5 [インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)] を選択し、[プロパティ] をクリックする



(画面は Windows 10 の例です。)

- 6 [IP アドレスを自動的に取得する] と [DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する] を選択する
- 7 [OK] をクリックする
- 8 [閉じる] をクリックする

memo

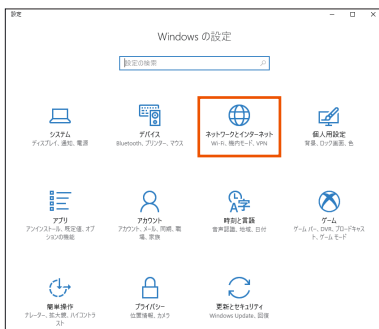
- ◎ 有線 LAN 接続については、WX05 クレードル（別売）に同梱の「WX05 クレードル（NAD35PUA）取扱説明書」を参照してください。
- ◎ Windows 10/8.1/7 の設定により表示内容が異なる場合があります。
- ◎ ここでは、Windows 10/8.1/7 の通常表示モード（カテゴリ表示）を前提に記述しています。

Web ブラウザの設定確認

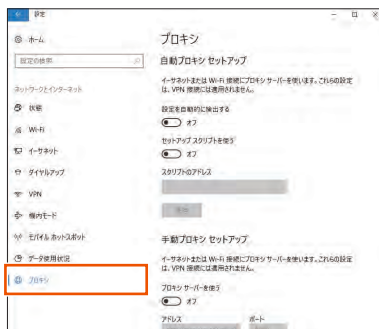
Web ブラウザの接続設定を「プロキシサーバーを使用しない」に変更します。

以下は Windows 10 で Microsoft Edge をご利用の場合の設定方法の一例です。お客様の使用環境（プロバイダやソフトウェアなど）によっても変わりますので詳細はプロバイダやソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

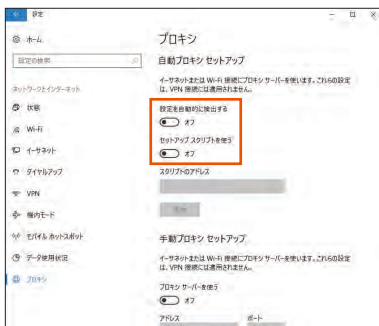
- 1 Windows のロゴボタンをクリックし、[設定] をクリックする
- 2 [ネットワークとインターネット] をクリックする



- 3 [プロキシ] をクリックする

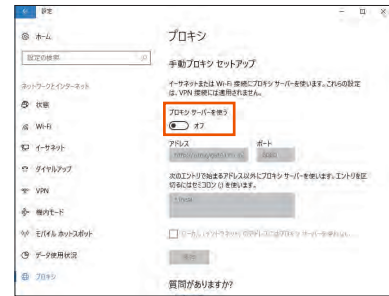


- 4 「自動プロキシ セットアップ」で「設定を自動的に検出する」と「セットアップ スクリプトを使う」を「オフ」にする



- 5 「手動プロキシ セットアップ」で「プロキシサーバーを使う」を「オフ」にする

プロバイダからプロキシの設定指示があった場合は、従ってください。



- 6 [保存] をクリックする

memo

- ◎ 専用の接続ソフトが必要なプロバイダにはルータ接続できない場合があります。プログラムの使用方法など、詳細につきましてはプロバイダやパソコンメーカーにご確認ください。

JavaScript の設定を確認する

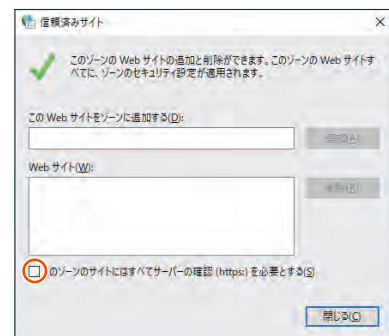
Web ブラウザからクイック設定 Web を利用して設定を行うには JavaScript の設定を有効にする必要があります。Web ブラウザの設定でセキュリティを高く設定した場合、本製品の管理者パスワードの設定ができないことがあります。設定ができない場合は、以下の手順で JavaScript を「有効にする」に設定してください。

■ Internet Explorer をご利用の場合 (Windows 版)

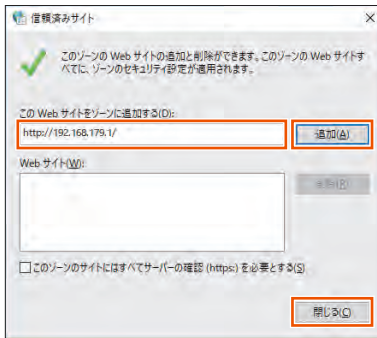
以下は、Windows 10 で Internet Explorer 11.0 を使用している場合の例です。

Microsoft Edge では、「有効」に設定されています。以下の確認は不要です。

- 1 「Windows」キーを押し、表示された一覧から [Windows システムツール] - [コントロールパネル] をクリックする
Windows 7 の場合は、[スタート] (Windows のロゴボタン) - [コントロールパネル] をクリックします。
- 2 [ネットワークとインターネット] - [インターネットオプション] をクリックする
- 3 [セキュリティ] タブをクリックし、[信頼済みサイト] をクリックする
- 4 [サイト] をクリックする
- 5 [このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認 (https:) を必要とする] のチェックを外す

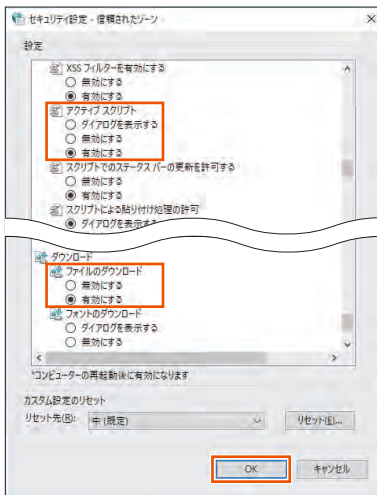


- 6 [この Web サイトをゾーンに追加する] に [http://192.168.179.1/] を入力し [追加] をクリックし、[閉じる] をクリックする



IP アドレスを変更した場合は、設定した IP アドレスを入力してください。

- 7 [レベルのカスタマイズ] をクリックする
- 8 画面をスクロールし、[アクティブスクリプト] と [ファイルのダウンロード] を [有効にする] に変更し、[OK] をクリックする
- 「このゾーンの設定を変更しますか?」の画面が表示された場合は、[はい] (または [はい] - [適用]) をクリックしてください。



- 9 [OK] をクリックする

■ Safari をご利用の場合 (Mac 版)

以下は、macOS v10.13 で Safari を使用している場合の例です。

- 1 Safari を起動する
- 2 メニューバーの [Safari] - [環境設定] をクリックする
- 3 [セキュリティ] をクリックする
- 4 「JavaScript を有効にする」にチェックを入れる



- 5 メニューバーの [Safari] から [Safari を終了] をクリックし、Safari を終了させる

■ Android 端末で Google Chrome をご利用の場合

以下は、Android 8.1 をご利用の場合の例です。

Google Chrome のバージョンにより、手順が異なる場合があります。

- 1 Google Chrome を起動する
- 2 Google Chrome のメニューを開く
- 3 [設定] をタップする
- 4 [サイトの設定] をタップする
- 5 [JavaScript] がオフになっている場合は、ボタンをタップしてオンにする

■ iOS 端末で Safari をご利用の場合

以下は iOS 11.4 で Safari を使用している場合の例です。

- 1 「ホーム」画面の [設定] アイコンをタップする
- 2 設定メニューの [Safari] をタップする
- 3 [詳細] をタップする
- 4 [JavaScript] がオフになっている場合は、ボタンをタップしてオンにする

2章 基本操作

2-1 基本的な操作を覚える	27
2-2 クイック設定 Web について	28

2-1 基本的な操作を覚える

タッチパネルの使いかた

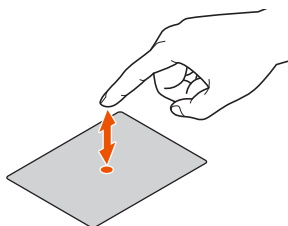
本製品は、直感的に操作可能なタッチパネルを搭載しています。静電容量方式で指の動作を感知することで操作します。

- タッチパネルは指で軽く触れて動作するように設計されています。
指で強く押ししたり、先が尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。
- 次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますので、ご注意ください。
 - 手袋をしたままでの操作
 - 爪の先での操作
 - 異物を操作面に乗せたままでの操作
 - 保護シートやシールなどを貼っての操作
 - ディスプレイ（タッチパネル）に水滴が付着または結露している状態での操作
 - 濡れた指または汗で湿った指での操作
 - 指2本以上での操作

◆タップ

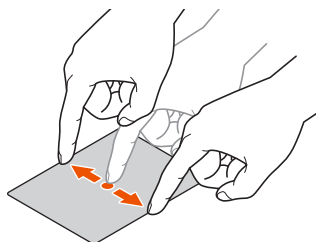
タッチパネルに軽く触れて指を離す

タップする時間が短い場合、反応しない場合があります



◆スライド

タッチパネルに指を触れたまま滑らせる



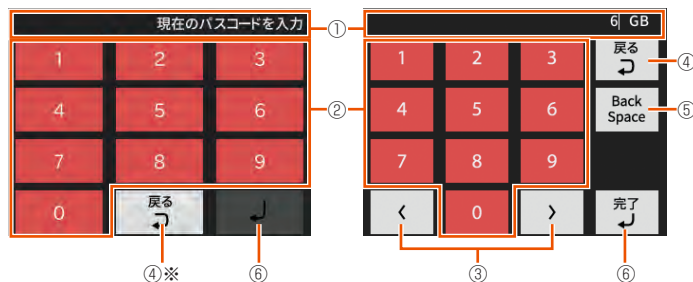
- ロック画面が表示されたら、鍵アイコン  をスライドして解除してください。ホーム画面に戻ります。



- ホーム画面に戻るときは、 ボタンをタップします。



数字を入力する




①数字入力欄

タップした数字が右側から順番に入力されます。パスコード、PINコード、PINロック解除コード

入力時には、入力した数字が「★」で表示されます。


②数字を入力するボタン

③カーソルを移動するボタン

 : カーソルを 1 字左に移動します。

 : カーソルを 1 字右に移動します。

④ 1 つ前の画面に戻るボタン

※パスコード（数字）を入力すると、 を表示します。

 : 入力した数字をすべて削除します。

⑤入力した数字を 1 字削除するボタン

カーソルの左側にある数字を削除します。

⑥数字入力を確定するボタン

2-2 クイック設定 Web について

本製品に接続したパソコンなどの Web ブラウザから、Speed Wi-Fi NEXT WX05 の設定ツールを使用して本製品に設定することができます。手順は無線 LAN (Wi-Fi[®]) で接続した場合を例にしています。本製品では、Speed Wi-Fi NEXT WX05 の設定ツールを「クイック設定 Web」と呼びます。

memo

- ◎ クイック設定 Web が利用できる Web ブラウザについては、「接続端末の準備」(▶ P.23) を参照してください。
- ◎ 説明に使用している画面表示は、お使いの Web ブラウザや OS によって異なります。
- ◎ クイック設定 Web の画面デザインは変更になることがあります。
- ◎ 無線 LAN (Wi-Fi[®]) 接続でクイック設定 Web を表示させる場合は、プライマリ SSID に接続してください。
- ◎ 本製品をクレードル (別売) に接続し、Wi-Fi アクセスポイントモードで使用する場合は、クイック設定 Web を開くことができません。本製品をクレードル (別売) から外してから行ってください。

クイック設定 Web を起動する

1 パソコンを起動する

本製品とパソコンがネットワーク接続されていることを確認します。

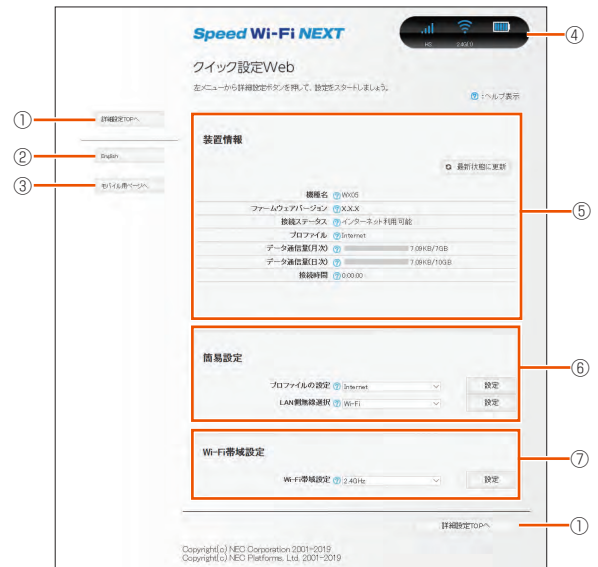
2 Web ブラウザを起動し、アドレス入力欄に「http://192.168.179.1/」を入力する

クイック設定 Web が表示されます。

! ご注意

- 本製品のメニュー操作中など、ディスプレイ点灯中に、クイック設定 Web で設定変更すると「処理中のためリクエストを受け付けることができませんでした。しばらくしてから、再度実行してください。」と表示されます。その場合は、メニュー操作をやめ、ホーム画面表示に戻すまたはロック画面表示し設定変更を行ってください。
- ディスプレイ表示中 (ホーム画面とロック画面以外) のときは、クイック設定 Web で設定できません。また、クイック設定 Web で設定中に本製品のタッチパネルを操作すると、クイック設定 Web の設定が中断される場合があります。

クイック設定 Web のトップページ



① 詳細設定 TOP へ

詳細設定をする場合は、ここからログインをし、各種機能の詳細設定をします。

② 言語

日本語と英語の切り替えができます。

トップページで変更する場合は、ログインが必要です。

③ モバイル用ページへ

スマートフォンから操作するための画面を表示します。

④ ピクト情報

HS/HS+A の電波状態、Bluetooth (接続台数)、Wi-Fi (接続台数)、電池残量を表示します。

⑤ 装置情報

以下の情報が表示されます。

- ・機種名
- ・ファームウェアバージョン
- ・接続ステータス
- ・プロファイル
- ・データ通信量 (月次、日次)
- ・接続時間

⑥ 簡易設定

簡単な設定ができます。

- ・プロファイルの設定
使用するプロファイルを選択します。
- ・LAN 側無線選択
Wi-Fi/Bluetooth を選択します。

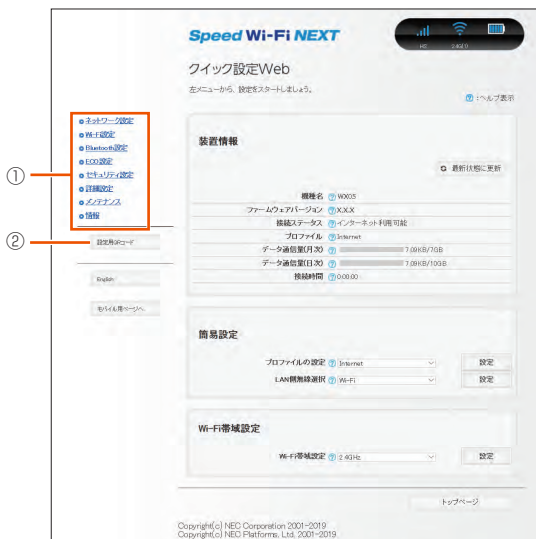
⑦ Wi-Fi 帯域設定

無線 LAN (Wi-Fi[®]) 帯域の切り替えができます。2.4GHz、5GHz (屋内)、5GHz (屋外) から選択します。

詳細設定にログインする

- 1 クイック設定 Web のトップ画面の [詳細設定 TOP へ] ボタンをクリックする
- 2 管理者パスワードの初期設定画面が表示されたら、「パスワード」(パスワード再入力) 欄にパスワード(任意の文字列)を入力し、「設定」をクリックする
設定後、クイック設定 Web のトップ画面に戻りますので、再度 [詳細設定 TOP へ] をクリックしてください。
 - パスワードに使用できる文字は、0 ~ 9、a ~ z、A ~ Z、- (ハイフン)、_ (アンダースコア) で、最大半角 64 文字まで有効です。このパスワードは、本製品「クイック設定 Web」を開くときに必要となります。忘れないように控えておいてください。
 - この画面は管理者パスワードが未設定の場合に表示されます。
- 3 ユーザー名とパスワードを入力する
「ユーザー名」(上段)には「admin」と半角小文字で入力し、「パスワード」(下段)には、手順 2 で控えた管理者パスワードを入力してください。
- 4 [OK] をクリックする

詳細設定のトップページ設定画面



① 設定メニュー

- ネットワーク設定
 - Wi-Fi 設定
 - Bluetooth 設定
 - ECO 設定
 - セキュリティ設定
 - 詳細設定
 - メンテナンス
 - 情報
- マニュアル (PDF) を閲覧できます。

② 設定用 QR コード

3章 無線LAN (Wi-Fi[®]) 接続/USB接続/Bluetooth[®] 接続

3-1 無線 LAN (Wi-Fi [®]) で接続する.....	31
3-2 USB で接続する	46
3-3 Bluetooth [®] 機能で接続する	47

3-1 無線 LAN (Wi-Fi®) で接続する

■ 無線 LAN (Wi-Fi®) 機能について

本製品は IEEE802.11a/b/g/n/ac の無線 LAN (Wi-Fi®) 規格に準拠しており、本製品と無線 LAN (Wi-Fi®) 端末 (パソコンやスマートフォン、ゲーム機など) を無線 LAN (Wi-Fi®) で接続して、データ通信ができます。また、本製品のディスプレイ (タッチパネル) を操作することで WPS (Wi-Fi Protected Setup) 機能やらくらく無線スタートに対応している無線 LAN (Wi-Fi®) 端末に簡単に接続することができます。WPS 機能やらくらく無線スタートに対応していない無線 LAN (Wi-Fi®) 端末でも、本製品に設定されたネットワーク名 (SSID) と暗号化キー (パスワード) を入力するだけで接続できます。本製品のネットワーク名 (SSID) や暗号化キー (パスワード) は、本製品のディスプレイメニューから確認できます。本製品のネットワーク名 (SSID) は、2.4GHz 帯と 5GHz 帯で同じネットワーク名 (SSID) を使用しています。

なお、本製品の工場出荷時状態におけるネットワーク名 (SSID) は、「SPWN_N35_xxxxxx」で表示されます。お客様が変更されない限り、他の表示のネットワークは近隣から送信されてくる無線 LAN (Wi-Fi®) ネットワークですので接続しないよう注意してください。

ここでは、本製品と Windows パソコン、Mac、スマートフォン、iPhone / iPod touch / iPad / iPad mini、ニンテンドー 3DS、Wii U、PlayStation®Vita、WPS 対応機器を初めて無線 LAN (Wi-Fi®) 接続する場合の操作について説明しています。

memo

- ◎ 無線 LAN (Wi-Fi®) 接続のための設定は、本製品と各無線 LAN (Wi-Fi®) 端末を初めて接続するときに行います。設定済みの無線 LAN (Wi-Fi®) 端末は、2 回目以降、自動的に接続が再開されます (無線 LAN (Wi-Fi®) 端末側で「自動的に接続する」や「設定を保存する」などが設定されている場合)。
- ◎ 無線 LAN (Wi-Fi®) 端末は無線 LAN (Wi-Fi®) 接続の設定を行うと、周辺に設定済みの接続可能な Wi-Fi ネットワークがあると、自動的に Wi-Fi ネットワークに接続されます。周辺に設定済みの接続可能な Wi-Fi ネットワークが複数ある場合は、最後に設定した Wi-Fi ネットワークに接続されます。
- ◎ 必要に応じて、無線 LAN (Wi-Fi®) 機能の詳細設定を変更することもできます。詳しくは、「8 章 機能設定」(▶ P.80) を参照してください。
- ◎ セキュリティを確保するため、お買い上げ時に設定されているネットワーク名 (SSID) および暗号化キー (パスワード) を変更してお使いいただくことをおすすめします。変更のしかたは「8-4 Wi-Fi 設定」(▶ P.87)、「9-4 Wi-Fi 設定」(▶ P.109) を参照してください。
- ◎ 本製品は無線 LAN (Wi-Fi®) 端末を同時に 10 台まで接続することができます。
- ◎ 本製品は、電源を入れると自動的にインターネットに接続されます。
- ◎ 本製品の「プライマリ SSID」「セカンダリ SSID」の ESS-ID ステルス機能が有効になっていると、無線 LAN (Wi-Fi®) 端末で本製品を検出できません。ESS-ID ステルス機能については、「6-1 セキュリティ機能について」(▶ P.75) を参照してください。

■ SSID について

本製品はマルチ SSID 機能に対応し、2 つのネットワーク名 (SSID) があります。暗号化方式によって使用する「SSID」「WPA Key」「WEP Key」が異なります。

- ・ ネットワーク名 (プライマリ SSID) : 暗号化方式が WPA2/WPA で接続するときには使用します。
クイック設定 Web に無線 LAN (Wi-Fi®) で接続するときには使用します。
- ・ WPA 暗号化キー (PSK) : 暗号化方式が WPA2/WPA で接続するときには使用する暗号化キー (パスワード) です。
- ・ ネットワーク名 (セカンダリ SSID) : 暗号化方式が WEP で接続するときには使用します。
- ・ 暗号化キー (WEP キー) : 暗号化方式が WEP で接続するときには使用する暗号化キー (パスワード) です。

※通信の安全性を高めるためには、暗号化方式を WEP よりも WPA2/WPA で設定することをおすすめします。ただし、一部のゲーム機などでは WPA2/WPA で接続できない場合がありますのでご注意ください。詳しくは、「6-1 セキュリティ機能について」(▶ P.75) を参照してください。

・セカンダリ SSID (WEP) について

一部のゲーム機などで、無線 LAN (Wi-Fi®) のセキュリティ設定が「プライマリ SSID (WPA2/WPA)」に対応していない場合は、「セカンダリ SSID (WEP)」で無線 LAN (Wi-Fi®) 接続する必要があります。

本製品では、お買い上げ時の状態で「セカンダリ SSID (WEP)」はご利用になれません。無線 LAN (Wi-Fi®) のセキュリティ設定でセカンダリ SSID 設定を ON にしてください。

詳しくは、「10-1 ディスプレイメニュー一覧」(▶ P.114) を参照してください。

■ 5GHz 帯の使用について

・DFS 機能

本製品は無線 LAN (Wi-Fi®) 5GHz 帯での電波干渉を避けるため、法令 (電波法) により、DFS 機能を搭載しています。本製品が利用する無線 LAN (Wi-Fi®) 5GHz の周波数帯は、気象レーダーなどでも利用されているため、本製品を利用する場所によっては気象レーダーなどとの電波干渉が起きる可能性があります。

そこで、本製品が無線 LAN (Wi-Fi®) 5GHz 帯を利用中に気象レーダーなどの電波を検知したときは、DFS 機能が作動し、電波干渉を起こさない無線 LAN (Wi-Fi®) 2.4GHz 帯に自動的に切り替えます。

周囲に同じ無線 LAN (Wi-Fi®) 5GHz 帯を使っている無線 LAN (Wi-Fi®) 端末などが多数あると、干渉を避けられないこともあります。その場合、通信速度が極端に遅くなる場合があります。

・DFS チェックについて

無線 LAN (Wi-Fi®) 5GHz 帯を利用して、屋外で本製品を使用する場合、周囲に電波干渉を起こす気象レーダーなどがいないかを最低でも 1 分間確認し、電波干渉を起こさないチャンネルを使ってネットワークに接続します。この動作を本書では「DFS チェック」と呼びます。本製品を無線 LAN (Wi-Fi®) 2.4GHz 帯から無線 LAN (Wi-Fi®) 5GHz 帯に切り替えたときや、無線 LAN (Wi-Fi®) 5GHz 帯の設定で本製品の電源を入れたときなどに、DFS チェックが作動します。DFS チェック中は、無線 LAN (Wi-Fi®) 機能が一時的に停止され、無線 LAN (Wi-Fi®) 機能が再開するまでに 1 分間*程度の時間がかかります。その間はネットワークに接続することができません。本製品に接続している無線 LAN (Wi-Fi®) 端末との接続も切断されますので、必要に応じて無線 LAN (Wi-Fi®) 端末側で再接続の操作を行ってください。5GHz から 2.4GHz に切り替えるときは、DFS チェックは作動しません。

※ DFS チェックの結果によっては、さらに時間がかかることがあります。

memo

- ◎ ご利用の無線 LAN (Wi-Fi®) 端末が無線 LAN (Wi-Fi®) 5GHz 帯に対応しているかご確認ください。本製品では、無線 LAN (Wi-Fi®) 5GHz 帯と 2.4GHz 帯で同時に接続することはできません。ご利用の無線 LAN (Wi-Fi®) 端末に 5GHz 帯に対応していないものがある場合は、本製品の設定を 2.4GHz 帯にしてご利用ください。
- ◎ 周波数を「5GHz」に設定した場合は本製品のディスプレイに確認メッセージが表示されますので、メッセージを確認して「OK」をタップしてください。本製品の状態によって、その後の動作は以下のように異なります。DFS チェック実行中は、本製品のディスプレイに DFS チェック実行中のメッセージが表示されます。約 1 分間*経過すると DFS チェックが終了し、無線 LAN (Wi-Fi®) 5GHz 帯が利用可能になります。
※ DFS チェックの結果によっては、さらに時間がかかることがあります。また、W56 使用時に気象レーダーなどと干渉した場合は、再度 DFS チェックが実行されます。
- ◎ 5GHz に切り替える方法については、「5-9 5GHz 帯で利用する」(▶ P.67) または「10-1 ディスプレイメニュー一覧」(▶ P.114) を参照してください。
- ◎ 以下の場合は、無線 LAN (Wi-Fi®) 機能が再起動することがあります。
 - ・ キャリアアグリゲーション (CA) が切り替わる時
 - ・ 周波数の 2.4GHz と 5GHz を切り替える時
 - ・ 省電力モードを切り替える時
 - ・ Wi-Fi® の設定項目を変更するとき
 - ・ 通信モードのハイスピードとハイスピードプラスエリアを切り替えるとき

ディスプレイメニューで Wi-Fi 情報を確認する

- 1 本製品のディスプレイ (タッチパネル) がホーム画面表示のとき、[情報] - [Wi-Fi 情報] をタップする ([プライマリ SSID] と [パスワード] が表示されます)



- 2 [Wi-Fi 情報] 画面をスライドすると、[セカンダリ SSID] と [パスワード] が表示されます



[Wi-Fi 情報 (初期値)]

下記の「xxx…」[yyy…] は端末ごとに違う値です。

ネットワーク名	暗号化キー (パスワード)	暗号化
プライマリ SSID	SPWN_N35_XXXXXX-XXXXXX	AES
セカンダリ SSID	SPWN_N35_XXXXXX_2-YYYYYYYYYYYY	WEP (128bit)

■ セカンダリ SSID (WEP) について

本製品には 2 つのネットワーク「プライマリ SSID」「セカンダリ SSID」があります。

AES に対応していない無線 LAN (Wi-Fi®) 端末 (ニンテンドー DS など) は、「セカンダリ SSID (WEP)」に接続する必要があります。本製品では、工場出荷時の状態で、「セカンダリ SSID (WEP)」はご利用できません。

クイック設定 Web にて、セカンダリ SSID を有効にしてください。

(▶ P.88)

memo

◎ PSP®、「プレイステーション・ポータブル」をらくらく無線スタートで接続すると、セカンダリ SSID が自動的に有効になります。(▶ P.44)

■ 暗号化キー

暗号化キーは、セキュリティキー、パスフレーズ、ネットワークキー、パスワードとも呼ばれています。

初期値は、半角英数 13 桁 (0 ~ 9, a ~ f を使用) に設定されています。

- アルファベットの大文字 (ABCDEF) と小文字 (abcdef) は区別されます。
- 「b」(ビー) と「6」(ロク) を間違えないようご注意ください。なお「o」(オー) は使用していません。
- 暗号化モードが WEP の場合は、下記を参考に設定してください。
 - キーは自動的に提供されません。また、キーインデックスは「1」となります。
 - IEEE802.1X は使用していません。
 - 英数字を 16 進数で入力する場合は読み替えてください。

読み替え方法：

英数字	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	a	b	c	d	e	f
16 進数	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	61	62	63	64	65	66

読み替え例：

0123456789abc → 30313233343536373839616263646566

- 暗号化キーに使用できる文字は次の通りです。
[8 ~ 63 桁の場合] 英数記号 (0 ~ 9, a ~ z, A ~ Z, 下記の記号)

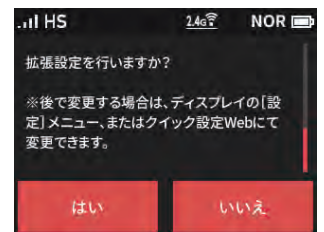
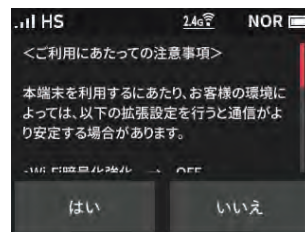
!	%)	-	:	@	^	
"	&	*	.	<	[_	}
#	'	+	/	=	\	`	~
\$	(,	:	>]	{	

- 「\」(バックスラッシュ) はパソコンの設定によっては、「¥」と表示されます。
[64 桁の場合] 16 進数 (0 ~ 9, a ~ f, A ~ F)

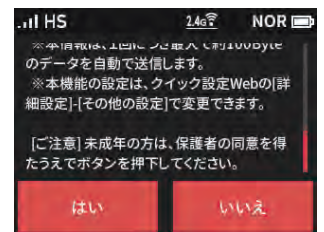
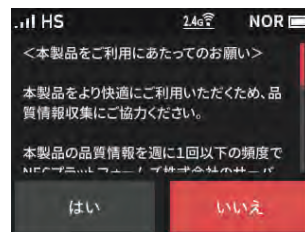
設定ウィザードを利用して Wi-Fi® 接続する

設定ウィザードでは、WPS 機能を利用して簡単に接続する方法と、Wi-Fi® 設定情報を手動入力して接続する方法のどちらかを選択し、本製品と無線 LAN (Wi-Fi®) 端末を接続します。WPS 機能に対応していない無線 LAN (Wi-Fi®) 端末を利用する場合は、手動入力で行ってください。

- ご使用開始時、最初に電源を入れたとき (または初期化したあと) は、設定ウィザードの前に「ご利用にあたっての注意事項」画面が表示されます。通信がより安定する拡張設定をするかどうかの確認です。スライドして下まで読んで [はい] または [いいえ] をタップします。



- 「本製品をご利用にあたってのお願い」画面が表示されます。品質情報を製造元 (NEC プラットフォームズ (株)) ヘレポート送信するかどうかの確認です。スライドして下まで読んで [はい] または [いいえ] をタップします。



■ Wi-Fi 設定お引越し機能について

[Wi-Fi 設定お引越し] 機能を使うと、以前に使用していたルータの無線 LAN (Wi-Fi®) 設定を、本製品に引き継ぐことができます。設定のやり直しなどの作業が不要です。(15-2 Wi-Fi 設定お引越し機能を使う) (▶ P.57) 参照)

memo

◎ 本製品のプライマリ SSID とパスワード (セキュリティキー) は、本製品の情報メニューから確認できます。

操作方法：ホーム画面 - [情報] - [Wi-Fi 情報]

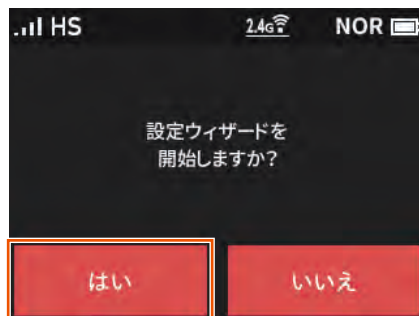
■ WPS 機能を利用して Wi-Fi® 接続する場合

WPS 機能のプッシュボタン方式に対応している無線 LAN (Wi-Fi®) 端末であれば、接続するために必要な SSID やセキュリティ方式などを入力することなく、簡単な操作で設定できます。お使いの無線 LAN (Wi-Fi®) 端末が WPS 機能のプッシュボタン方式に対応しているかどうかは、お使いの無線 LAN (Wi-Fi®) 端末の取扱説明書などをご覧ください。

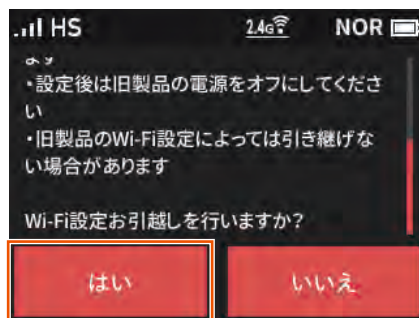
- 1 本製品のホーム画面で [設定] をタップし、[設定ウィザード] をタップする



- 2 「設定ウィザードを開始しますか?」と表示されるので、[はい] をタップする



- 3 「Wi-Fi 設定お引越し」機能の案内をスライドして下まで読んで、[はい] をタップする



memo

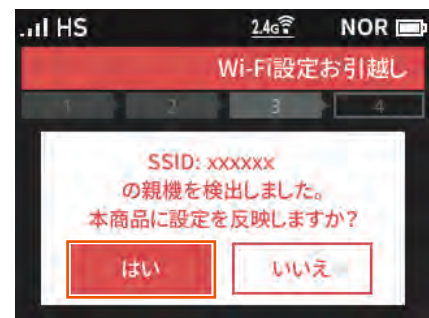
- ◎ 「Wi-Fi 設定お引越し」を行わないときは [いいえ] をタップします。Wi-Fi 端末の設定画面 (手順 8) に進みます。
- ◎ これまでお使いのルータが WPS に対応している必要があります。また、これまでお使いのルータの機能・設定方法によって、無線 LAN (Wi-Fi®) 設定が引き継がれない場合があります。(詳細は、[5-2 Wi-Fi 設定お引越し機能を使う] (▶ P.57) 参照。)

- 4 「Wi-Fi 設定お引越し」をタップする

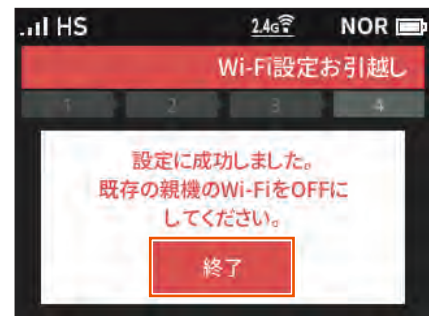


- 5 これまでお使いのルータの WPS 機能を実行する (WPS 機能の実行方法は、お使いのルータの取扱説明書を参照してください。)

- 6 親機検出画面で [はい] をタップする



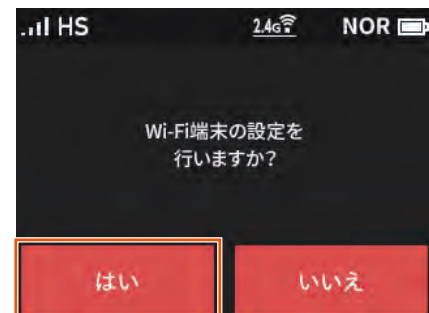
- 7 設定成功画面で、[終了] をタップする
これまでお使いのルータの電源を切る



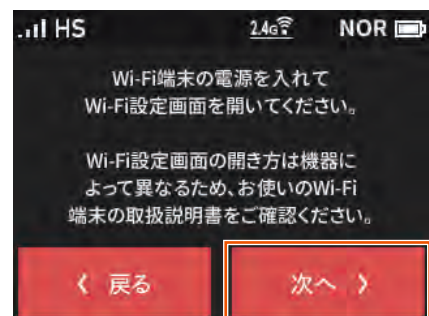
memo

- ◎ ホーム画面 - [情報] - [Wi-Fi 情報] で、「プライマリ SSID」がこれまでお使いのルータの SSID になっていることを確認できます。

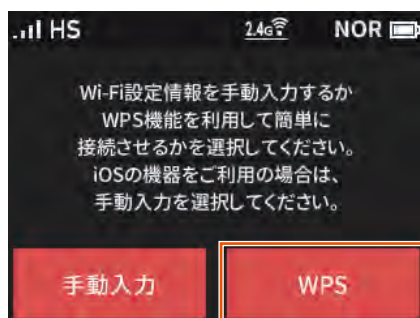
- 8 Wi-Fi 端末の設定確認画面で [はい] をタップする



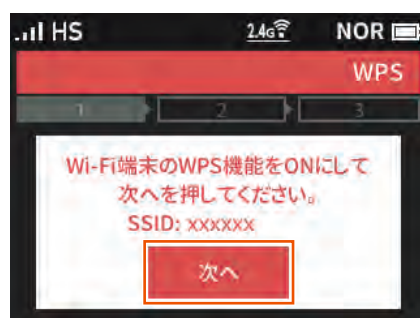
- 9 メッセージを確認し、[次へ] をタップする



10 [WPS] をタップする



11 SSIDを確認し、[次へ] をタップする



memo

© WPS 接続開始の画面は、ホーム画面 - [設定] - [簡単無線設定] - [WPS] でも表示します。

12 無線 LAN (Wi-Fi®) 端末の接続設定画面を表示し、必要に応じて WPS 接続の準備をする

無線 LAN (Wi-Fi®) 端末によって操作方法が異なります。お使いの無線 LAN (Wi-Fi®) 端末の取扱説明書などをご覧ください。

13 無線 LAN (Wi-Fi®) 端末の WPS ボタンを押す

14 本製品の [WPS] をタップする

本製品のディスプレイ (タッチパネル) の「POWER」が緑/橙の交互点滅をします。



15 本製品に「接続に成功しました。」と表示されたら [終了] をタップし、[OK] をタップする



memo

© 無線 LAN (Wi-Fi®) 端末が WPS 機能の PIN コード入力方式に対応している場合は、WPS PIN コードを利用して接続することもできます。お使いの無線 LAN (Wi-Fi®) 端末の操作方法については、お使いの無線 LAN (Wi-Fi®) 端末の取扱説明書などをご覧ください。本製品との接続は、クイック設定 Web を利用して行ってください。(▶ P.44)

© WPS 設定を利用した機器の接続中は、他の無線 LAN (Wi-Fi®) 端末の通信が切断される場合があります。

© MAC アドレスフィルタリングが設定された無線 LAN (Wi-Fi®) 端末は、WPS 設定に失敗する場合があります。

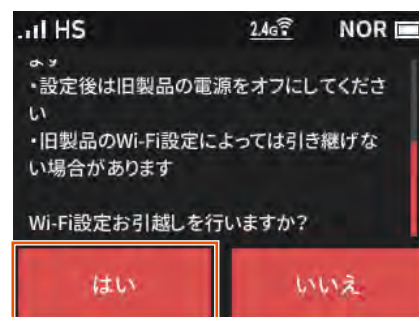
■ 手動で接続する場合

お使いの無線 LAN (Wi-Fi®) 端末が WPS 機能に対応していない場合や、WPS 接続ができない場合などに手動で接続します。

1 本製品のホーム画面で [設定] - [設定ウィザード] をタップする

2 「設定ウィザードを開始しますか？」と表示されるので、[はい] をタップする

3 「Wi-Fi 設定お引越し」機能の案内をスライドして下まで読んで、[はい] をタップする



memo

© 「Wi-Fi 設定お引越し」を行わないときは [いいえ] をタップする Wi-Fi 端末の設定画面 (手順 8) に進みます。

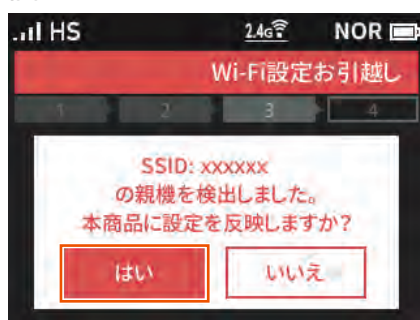
© これまでお使いのルータが WPS に対応している必要があります。また、これまでお使いのルータの機能・設定方法によって、無線 LAN (Wi-Fi®) 設定が引き継がれない場合があります。(詳細は、「5-2 Wi-Fi 設定お引越し機能を使う」(▶ P.57) 参照。)

4 「Wi-Fi 設定お引越し」をタップする

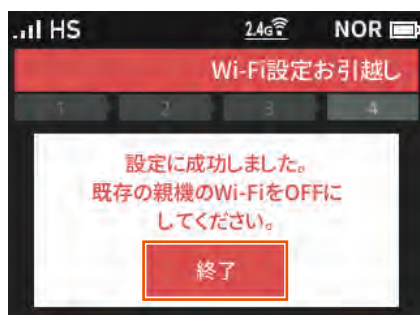


5 これまでお使いのルータの WPS 機能を実行する

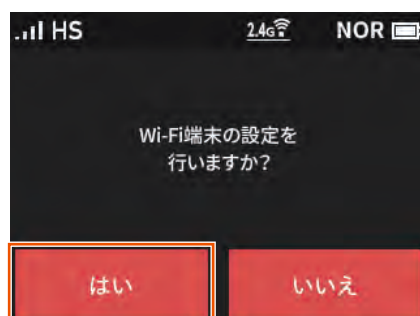
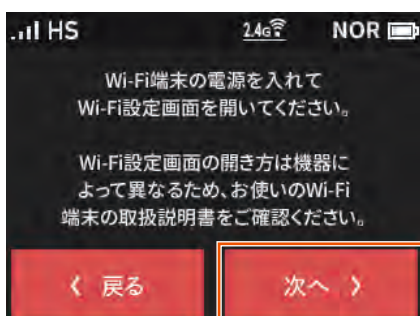
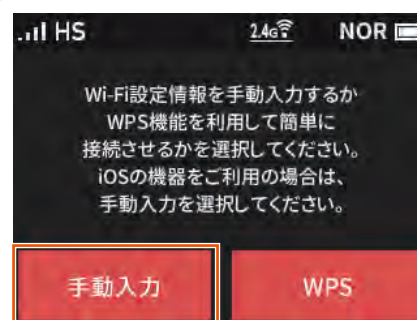
(WPS 機能の実行方法は、お使いのルータの取扱説明書を参照してください。)

6 親機検出画面で [はい] をタップする**7** 設定成功画面で、[終了] をタップする

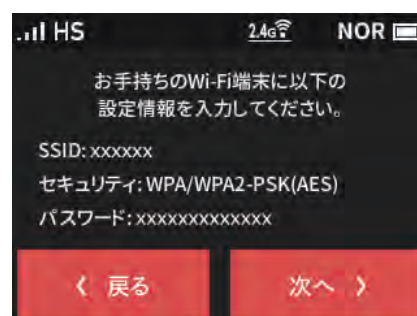
これまでお使いのルータの電源を切る

**memo**

◎ ホーム画面 - [情報] - [Wi-Fi 情報] で、「プライマリ SSID」がこれまでお使いのルータの SSID になっていることを確認できます。

8 Wi-Fi 端末の設定確認画面で [はい] をタップする**9** メッセージを確認し、[次へ] をタップする**10** [手動入力] をタップする

本製品の「SSID」と「パスワード」が表示されます。

**11** 無線 LAN (Wi-Fi®) 端末の接続設定画面を表示する

無線 LAN (Wi-Fi®) 端末によって操作方法は異なります。お使いの無線 LAN (Wi-Fi®) 端末の取扱説明書などを参照してください。

12 ネットワークを検索する

Wi-Fi® 機能を「ON」にしたり、「検索する」などして近くにあるネットワークを表示します。

13 無線 LAN (Wi-Fi®) 端末のネットワーク一覧から、手順 **10** の画面で表示された本製品の SSID を選択する**14** 手順 **10** の画面で表示されたパスワード(セキュリティキー)を入力し、設定を保存する**15** 本製品の [次へ] をタップし、[OK] をタップする**Windows パソコンを接続する**

Windows 10 で WPS による接続方法と手動で接続する方法を説明します。

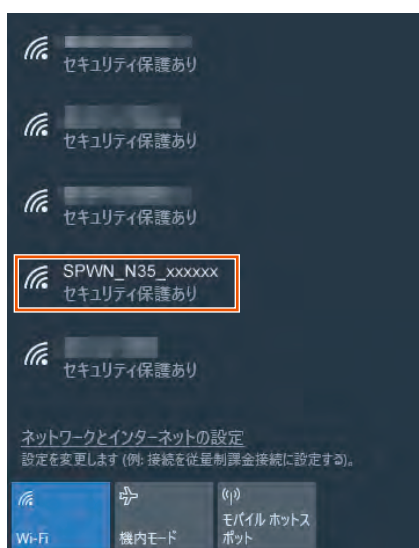
■ WPS で接続する**1** パソコンの無線 (ワイヤレス) 機能を有効にする

設定方法は、パソコンの取扱説明書などを参照してください。

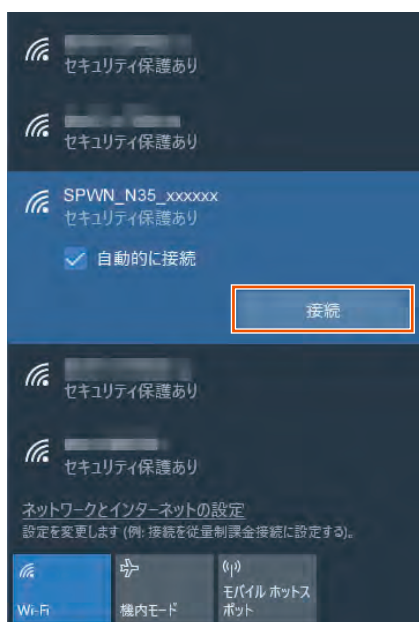
2 通知領域 (タスクトレイ) に表示されているネットワークアイコンをクリックする

3 ネットワークの一覧の中から、本製品のネットワーク名 (SSID) を選択する

本製品のネットワーク名 (SSID) は、ホーム画面 - [情報] - [Wi-Fi 情報] から確認してください。(▶ P.32)



4 「自動的に接続」にチェックマークを付けて、[接続] をクリックする



5 本製品のディスプレイがホーム画面表示のとき、[設定] - [簡単無線設定] - [WPS] をタップする

本製品のディスプレイが消灯している場合、電源ボタン  を押してホーム画面表示にしてください。

6 [Wi-Fi 端末の WPS 機能を ON にして次へを押してください。SPWN_N35_xxxxxx] 画面で [次へ] をタップする

7 [WPS ボタンをタップすると、設定を開始します] 画面で [WPS] をタップする

8 「接続に成功しました。」と表示されるので、[終了] をタップする

9 本製品のディスプレイで、 の右下の数字が「1」以上になっていることを確認する

接続台数が数字で表示されます。

■ 手動で接続する

1 パソコンの無線 (ワイヤレス) 機能を有効にする

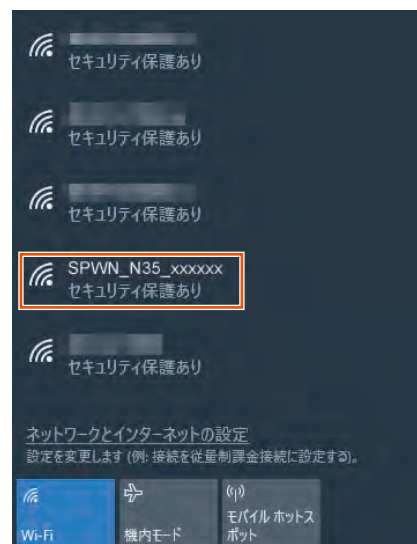
設定方法は、パソコンの取扱説明書などを参照してください。

2 通知領域 (タスクトレイ) に表示されているネットワークアイコンをクリックする



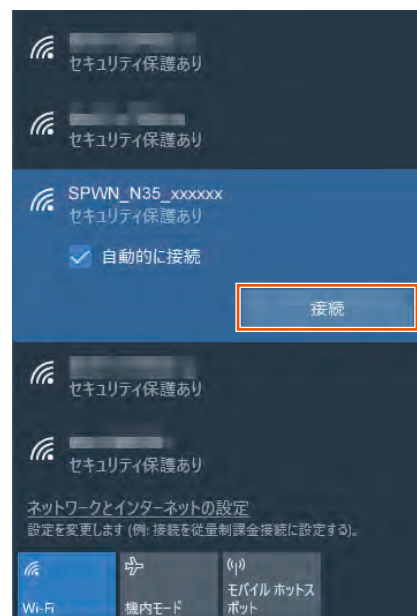
3 ネットワークの一覧の中から本製品のネットワーク名 (SSID) を選択する

本製品のネットワーク名 (SSID) は、ホーム画面 - [情報] - [Wi-Fi 情報] から確認してください。(▶ P.32)

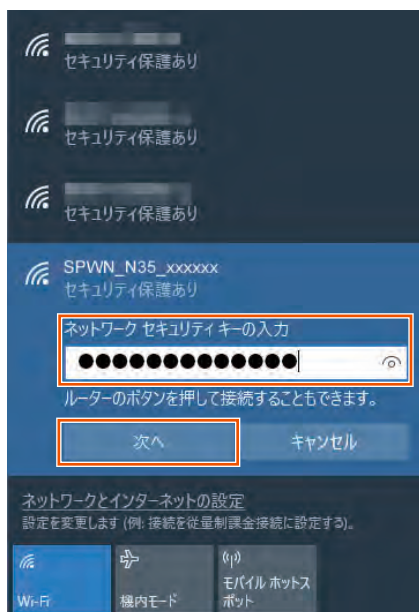


4 [接続] をクリックする

「自動的に接続」にチェックを入れておくと、次の接続からは自動的に接続されます。



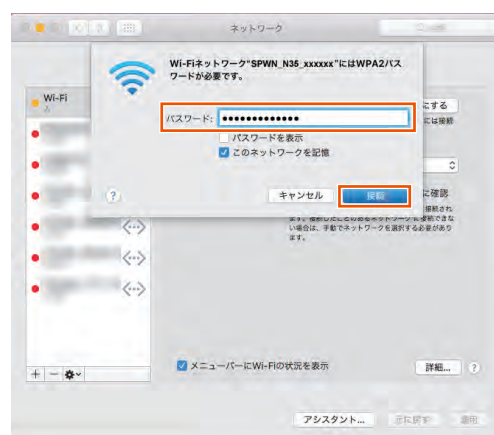
- 5 本製品の暗号化キーを入力し、[次へ] をクリックする
本製品の暗号化キーは、ホーム画面 - [情報] - [Wi-Fi 情報] から確認してください。(▶ P.32)



- 6 本製品のディスプレイで、 の右下の数字が「1」以上になっていることを確認する
接続台数が数字で表示されます。

- 5 [パスワード] に本製品の暗号化キーを入力して、[接続] をクリックする

本製品の暗号化キーは、ホーム画面 - [情報] - [Wi-Fi 情報] から確認してください。(▶ P.32)



- 6 「状況」に「接続済み」と表示される



- 7 画面を閉じる

- 8 本製品のディスプレイで、 の右下の数字が「1」以上になっていることを確認する

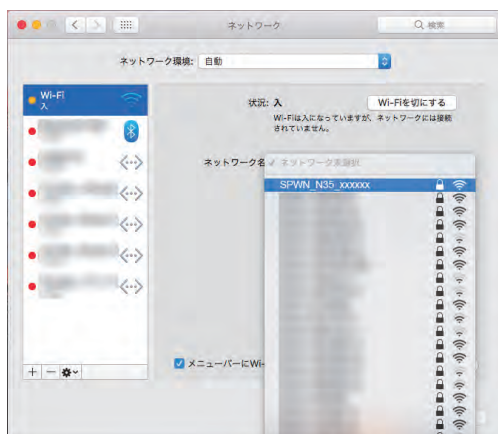
接続台数が数字で表示されます。

Mac を接続する

macOS v10.13 を手動で接続する方法を説明します。

■ 手動で接続する

- 1 パソコンの無線 (ワイヤレス) 機能を有効にする
設定方法は、パソコンの取扱説明書などを参照してください。
- 2 アップルメニューの [システム環境設定] - [ネットワーク] アイコンをクリックする
- 3 サービスリストから [Wi-Fi] を選択する
- 4 [ネットワーク名] のプルダウンメニューで本製品のネットワーク名 (SSID) を選択する
本製品のネットワーク名 (SSID) は、ホーム画面 - [情報] - [Wi-Fi 情報] から確認してください。(▶ P.32)



スマートフォン／タブレット (Android 端末) を接続する

Android 端末でらくらく QR スタートで設定する方法と手動で接続する方法を説明しています。

■ らくらく QR スタートで設定する

- 1 Play ストアで「Aterm らくらく QR スタート for Android」のアプリを検索して、ダウンロードおよびインストールする
下記の「Aterm らくらく QR スタート」の Web サイトにアクセスしてもダウンロードできます。(2019 年 3 月現在)

<http://qr.aterm.jp/>

memo

©「Aterm らくらく QR スタート」は、インターネット接続機能およびカメラ機能に対応しているスマートフォン／タブレット端末でご利用いただけます。利用可能な端末の最新情報は、「Aterm らくらく QR スタート」の Web サイト (▶ 上記) でご確認ください。2019 年 3 月現在では、Android 端末 (対応 OS : Android 9.0/8.1/8.0/7.1/7.0/6.0/5.1/5.0/4.4) でのご利用となります。なお、本アプリは無料です。ただしインターネット接続のパケット通信料はお客様ご負担となります。

- 2 ホーム画面から、「Aterm らくらく QR スタート」のアイコンをタップしてアプリを起動する

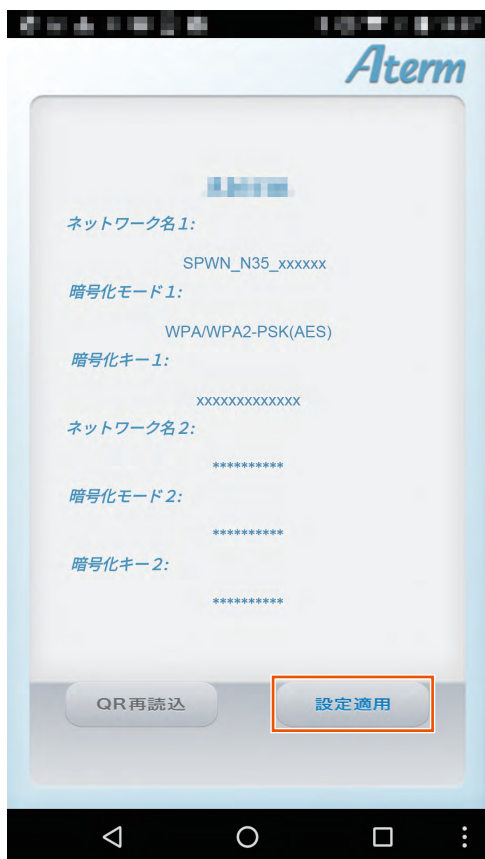


- 3 カメラビュー画面で、本製品のディスプレイから Wi-Fi 設定用 QR コードを読み取る

表示方法：ホーム画面 - [設定] - [簡単無線設定] - [らくらく QR] - [プライマリ SSID] - 確認画面で [はい] - QR コードを表示

・設定用 QR コードは、クイック設定 Web でも表示できます。(▶ P.56)

- 4 [設定適用] をタップする




- 5 接続が完了する
- 6 [OK] をタップする
- 7 本製品のディスプレイで、 の右下の数字が「1」以上になっていることを確認する
接続台数が数字で表示されます。

■ 手動で接続する

以下は、接続例です。Android 端末の取扱説明書などを参照してください。

- 1 Android 端末を起動し、[設定] をタップする
- 2 [Wi-Fi] を [ON] にしてから [Wi-Fi] をタップする
- 3 ネットワーク一覧画面より、本製品のネットワーク名 (SSID) をタップする
本製品のネットワーク名 (SSID) は、ホーム画面 - [情報] - [Wi-Fi 情報] から確認してください。(▶ P.32)
- 4 本製品の暗号化キー (半角小文字) を入力する
本製品の暗号化キーは、ホーム画面 - [情報] - [Wi-Fi 情報] から確認してください。(▶ P.32)

- 5 [接続] をタップする
- 6 Android 端末のステータスバーに Wi-Fi® のアイコンが表示されたら、接続完了
- 7 本製品のディスプレイで、 の右下の数字が「1」以上になっていることを確認する
接続台数が数字で表示されます。

iPhone/iPod touch/iPad/ iPad mini を接続する

iOS 端末でらくらく QR スタートで設定する方法と手動で接続する方法を説明しています。

■ らくらく QR スタートで設定する

- 1 App Store で「Aterm らくらく QR スタート for iOS」のアプリを検索して、ダウンロードおよびインストールする

下記の「Aterm らくらく QR スタート」の Web サイトにアクセスしてもダウンロードできます。(2019年3月現在)

<http://qr.aterm.jp/>

memo

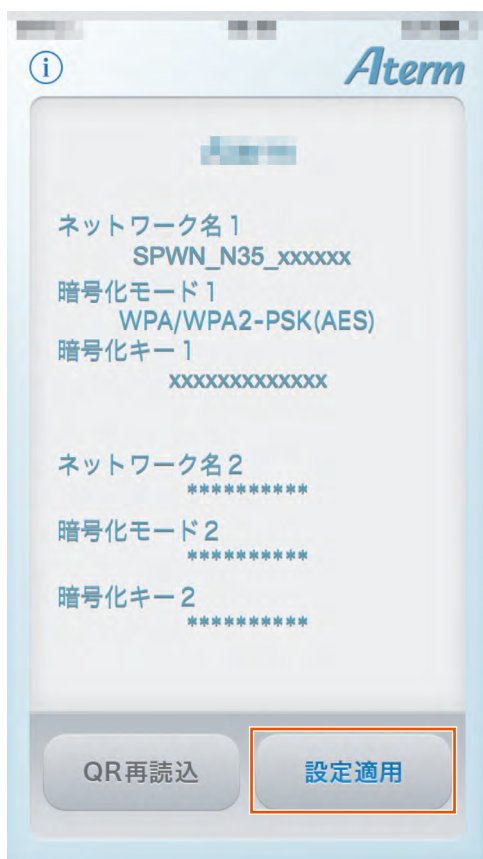
◎「Aterm らくらく QR スタート」は、インターネット接続機能およびカメラ機能に対応しているスマートフォン/タブレット端末でご利用いただけます。利用可能な端末の最新情報は、「Aterm らくらく QR スタート」の Web サイト (▶ 上記) でご確認ください。2019年3月現在では、iOS 端末 (対応 OS: iOS 12.0/11.4/11.3/11.2/11.1/11.0/10.3/10.2/10.1/10.0/9.3/9.2/9.1/9.0/8.3/8.2/8.1/8.0) でのご利用となります。なお、本アプリは無料です。ただしインターネット接続のパケット通信料はお客様ご負担となります。

- 2 ホーム画面から [設定] をタップし、[機内モード] をオフに、[Wi-Fi] をオンにする
- 3 ホーム画面から「Aterm らくらく QR スタート」のアイコンをタップして、[OK] をタップする
起動後、しばらくするとカメラビューが表示されます。



- 4 カメラビュー画面で、本製品のディスプレイから Wi-Fi 設定用 QR コードを読み取る
表示方法：ホーム画面 - [設定] - [簡単無線設定] - [らくらく QR] - [プライマリ SSID] - 確認画面で [はい] - QR コードを表示
・設定用 QR コードは、クイック設定 Web でも表示できます。(▶ P.56)

5 [設定適用] をタップする



6 [OK] をタップする



7 [インストール] をタップする



8 [インストール] をタップする

9 [インストール] をタップする

10 [完了] - [OK] をタップする

11 本製品のディスプレイで、 の右下の数字が「1」以上になっていることを確認する

接続台数が数字で表示されます。

■ 手動で接続する

1 ホーム画面から [設定] をタップし、[機内モード] をオフに、[Wi-Fi] をオンにする

2 ネットワーク一覧画面より、本製品のネットワーク名 (SSID) をタップする

本製品のネットワーク名 (SSID) は、ホーム画面 - [情報] - [Wi-Fi 情報] から確認してください。(▶ P.32)

3 [パスワード] に本製品の暗号化キー (半角英数) を入力し、[Join] をタップする

本製品の暗号化キーは、ホーム画面 - [情報] - [Wi-Fi 情報] から確認してください。(▶ P.32)

4 ステータスバーに Wi-Fi® のアイコンが表示されたら、接続完了

5 本製品のディスプレイで、 の右下の数字が「1」以上になっていることを確認する

接続台数が数字で表示されます。

ニンテンドー3DS を接続する

ニンテンドー3DS をらくらく無線スタートで接続する方法を説明します。
事前に、ニンテンドー3DS 本体の無線機能が「ON」になっていることをご確認ください。

！ ご注意

- らくらく無線スタートでの設定中は、他の無線 LAN (Wi-Fi®) 接続はいったん切断されます。

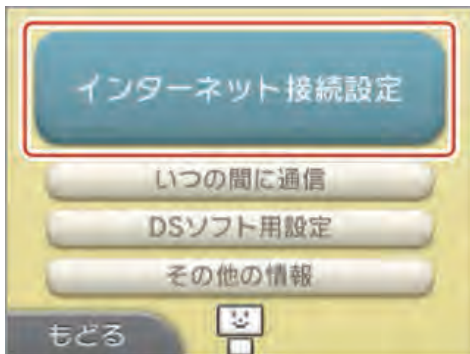
- ニンテンドー3DS の HOME メニューから [本体設定] を選択し、[はじめる] を選択する



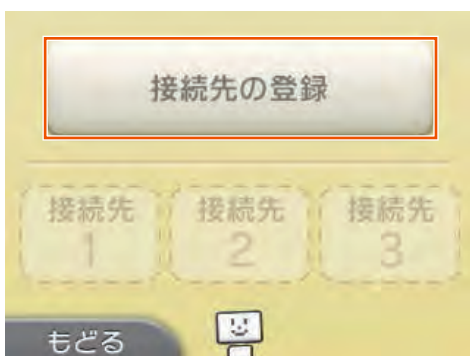
- [インターネット設定] を選択する



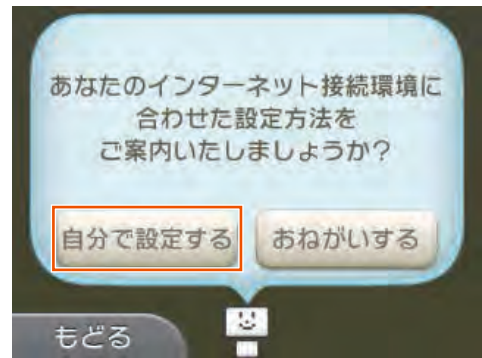
- [インターネット接続設定] を選択する



- [接続先の登録] を選択する



- [自分で設定する] を選択する



- 本製品のディスプレイ (タッチパネル) がホーム画面表示のとき、[設定] - [簡単無線設定] - [らくらく無線] をタップする

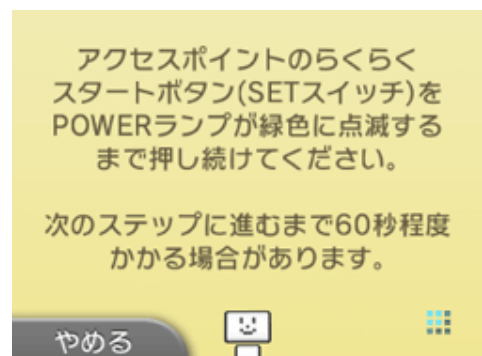
本製品のディスプレイが消灯している場合、電源ボタン  を押してホーム画面表示にしてください。



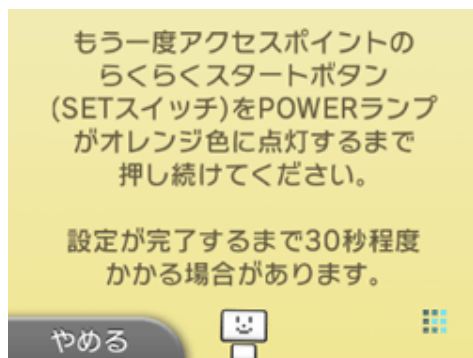
- ニンテンドー3DS の [らくらく無線スタート] を選択する



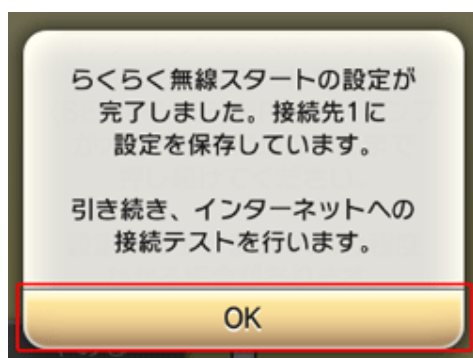
- 次の画面が表示されたら、1 分以内に本製品のディスプレイに表示されている [らくらく無線] ボタンをタップする



- 9 本製品のディスプレイ（タッチパネル）に表示されている「POWER」が橙点滅に変わったら、30秒以内に【らくらく無線】ボタンをタップする



- 10 本製品のディスプレイ（タッチパネル）に「接続に成功しました。」と表示されたら、【終了】をタップする
設定が完了したら接続テストを行うので、ニンテンドー3DSの画面で【OK】を選択する



Wii U を接続する

Wii U をらくらく無線スタートで接続する方法を説明します。

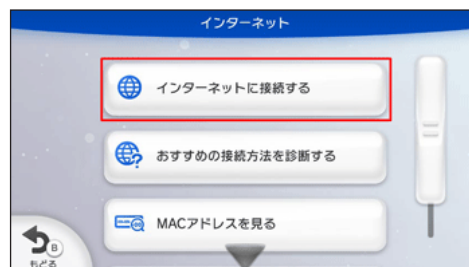
！ ご注意

- らくらく無線スタートでの設定中は、他の無線 LAN (Wi-Fi®) 接続はいったん切断されます。

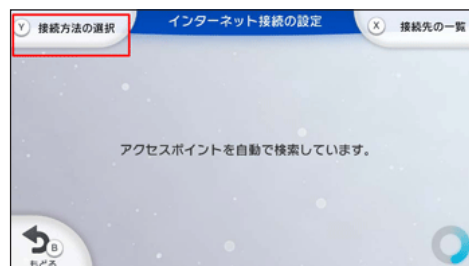
- 1 Wii U メニューの【本体設定】を選択する
- 2 Wii U の【インターネット】を選択する



- 3 【インターネットに接続する】を選択する



- 4 【接続方法の選択】を選択する



- 5 【らくらく無線スタート】を選択する

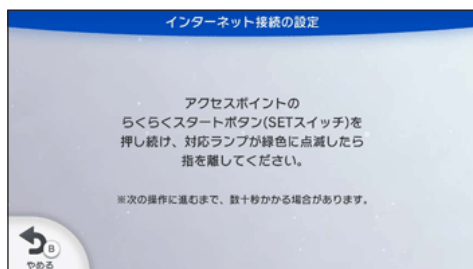


- 6 本製品のディスプレイ（タッチパネル）がホーム画面表示のとき、[設定] - [簡単無線設定] - [らくらく無線] をタップする

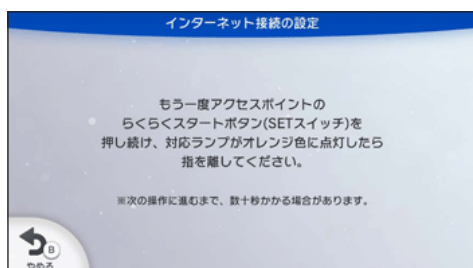
本製品のディスプレイが消灯している場合、電源ボタン  を押してホーム画面表示にしてください。



- 7 次の画面が表示されたら、1 分以内に本製品のディスプレイ（タッチパネル）に表示されている [らくらく無線] ボタンをタップする



- 8 Wii U に次の画面が表示され、本製品のディスプレイ（タッチパネル）に表示されている「POWER」が橙点滅に変わったら、30 秒以内に [らくらく無線] ボタンをタップする



- 9 本製品のディスプレイ（タッチパネル）に「接続に成功しました。」と表示されたら、[終了] をタップする



PlayStation® Vita を接続する

PlayStation® Vita をらくらく無線スタートで接続する方法を説明します。

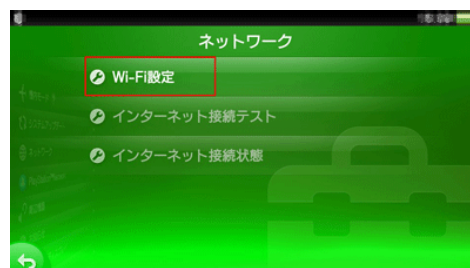
! ご注意

- らくらく無線スタートでの設定中は、他の無線 LAN (Wi-Fi®) 接続はいったん切断されます。

- PlayStation® Vita のホーム画面より [設定] を選択し、[設定] を選択する
- [ネットワーク] を選択する

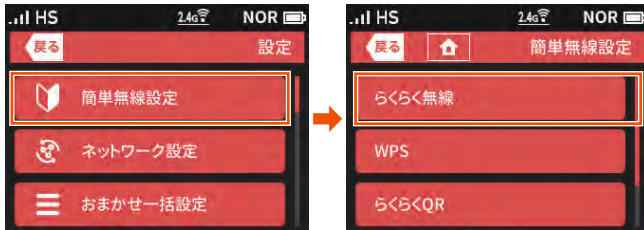


- [Wi-Fi 設定] を選択する

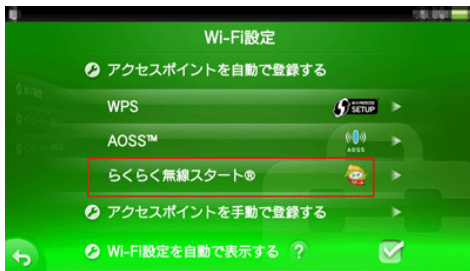


- 4 本製品のディスプレイ（タッチパネル）がホーム画面表示のとき、[設定] - [簡単無線設定] - [らくらく無線] をタップする

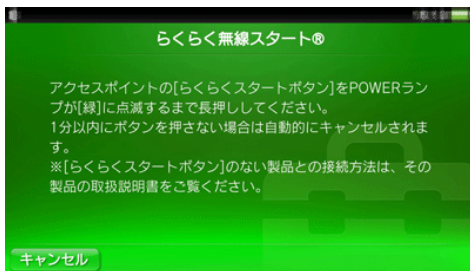
本製品のディスプレイが消灯している場合、電源ボタン  を押してホーム画面表示にしてください。



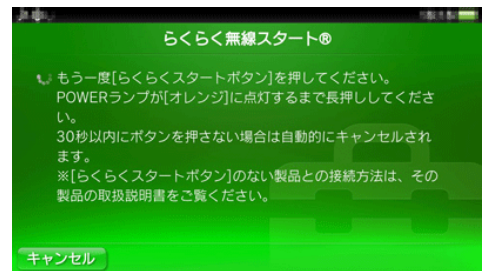
- 5 PlayStation® Vita の [らくらく無線スタート] を選択する



- 6 PlayStation® Vita に次の画面が表示されたら、1 分以内に本製品のディスプレイ（タッチパネル）に表示されている [らくらく無線] ボタンをタップする



- 7 PlayStation® Vita に次の画面が表示され、本製品のディスプレイ（タッチパネル）に表示されている [POWER] が橙点滅に変わったら、30 秒以内に [らくらく無線] ボタンをタップする



- 8 本製品のディスプレイ（タッチパネル）に「接続に成功しました。」と表示されたら、[終了] をタップする

本製品から Wi-Fi® 設定情報が転送され、無線 LAN (Wi-Fi®) 接続が完了します。



PSP®「プレイステーション・ポータブル」を接続する

PSP®「プレイステーション・ポータブル」をらくらく無線スタートで接続する方法を説明します。

- PSP®「プレイステーション・ポータブル」をらくらく無線スタートで接続すると、セカンダリ SSID が自動的に有効になります。(▶ P.88)

！ ご注意

- らくらく無線スタートでの設定中は、他の無線 LAN (Wi-Fi®) 接続はいったん切断されます。

- 1 PSP®「プレイステーション・ポータブル」のホームメニュー画面から [設定] を選択し、[ネットワーク設定] を選択する
- 2 リストから [インフラストラクチャーモード] を選択する
- 3 [新しい接続の作成] を選択する
- 4 [ワイヤレス LAN 設定] で、リストから [アクセスポイント別自動設定] を選択する
- 5 本製品のディスプレイ (タッチパネル) がホーム画面表示のとき、[設定] - [簡単無線設定] - [らくらく無線] をタップする
本製品のディスプレイが消灯している場合、電源ボタン () を押してホーム画面表示にしてください。
- 6 本製品のディスプレイ (タッチパネル) に表示されている [らくらく無線] ボタンをタップする
- 7 1 分以内に PSP®「プレイステーション・ポータブル」の [らくらく無線スタート®] を選択する
- 8 PSP®「プレイステーション・ポータブル」に [アクセスポイントの [らくらくスタートボタン] を...] と表示される
- 9 PSP®「プレイステーション・ポータブル」に [もう一度 [らくらくスタートボタン] を...] と表示され、本製品のディスプレイに表示されている [POWER] が橙点滅に変わったら、30 秒以内に [らくらく無線] ボタンをタップする
- 10 PSP®「プレイステーション・ポータブル」に [接続名] を入力する
- 11 本製品のディスプレイ (タッチパネル) に [接続に成功しました。] と表示されたら、[終了] をタップする
本製品から Wi-Fi 設定情報が転送され、設定一覧が表示されます。
- 12 [○] ボタンを押し、設定内容を保存する

WPS 対応の無線 LAN (Wi-Fi®) 端末を接続する

本製品は、WPS (Wi-Fi Protected Setup) に対応した無線 LAN (Wi-Fi®) の自動設定を行うことができます。

設定するには、無線 LAN (Wi-Fi®) 端末側も WPS に対応している必要があります。

WPS とは、Wi-Fi アライアンスが策定した無線 LAN (Wi-Fi®) の接続設定を簡単に行うための規格です。

設定には、以下の方法があります。

- ディスプレイメニューによる設定 (▶ 下記)
- PIN 方式による設定 (▶ 下記)

memo

- ◎ WPS 機能の接続設定は機器によって異なりますので、お使いの無線 LAN (Wi-Fi®) 端末の取扱説明書などを参照してください。
- ◎ 本製品の設定で [ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽)] (▶ P.75) にチェックがはっていると、WPS 機能での設定に失敗します。本製品側の設定を確認してください。(▶ P.87)
- ◎ WPS 機能での設定中は他の無線接続はいったん切断されることがあります。
- ◎ 本製品は、工場出荷時の状態で自動消灯時間 (120 秒)、省電力状態切り替え機能 (休止状態) が設定されており、起動後 120 秒でディスプレイは消灯し、10 分後に休止状態になります。ディスプレイメニューによる設定を実行する際は、電源ボタン () を押してディスプレイを通常点灯させてから行ってください。

ディスプレイメニューによる設定

本製品のディスプレイメニューで WPS 機能を起動させて無線 LAN (Wi-Fi®) 接続します。設定方法は、「Windows パソコンを接続する」(▶ P.35) を参照してください。

設定の際は、本製品と無線 LAN (Wi-Fi®) 端末は近くに置いた状態で設定してください。(目安: 1m 程度)

memo

- ◎ 本製品の設定で [MAC アドレスフィルタリング] が [使用する] になっている場合、無線 LAN (Wi-Fi®) 端末の MAC アドレスが登録されていないと、無線 LAN (Wi-Fi®) 端末によっては WPS 機能で設定できません。本製品側の設定を確認してください。(▶ P.88)

PIN 方式による設定

PIN 方式を使って、本製品の無線 LAN (Wi-Fi®) 設定を無線 LAN (Wi-Fi®) 端末に設定します。

memo

- ◎ 本製品の設定で [MAC アドレスフィルタリング] が [使用する] になっている場合、無線 LAN (Wi-Fi®) 端末の MAC アドレスが登録されていないと、無線 LAN (Wi-Fi®) 端末によっては WPS 機能で設定できません。本製品側の設定を確認してください。(▶ P.88)

- 1 パソコンと本製品を USB ケーブルで接続します。
- 2 Web ブラウザを起動し、アドレス入力欄に [http://192.168.179.1/] を入力してクイック設定 Web を開く
- 3 [詳細設定 TOP へ] ボタンをクリックする
- 4 ユーザー名と、管理者パスワードを入力し、[OK] をクリックする
[ユーザー名] (上段) には [admin] と半角小文字で入力し、[パスワード] (下段) には管理者パスワードを入力してください。
• 管理者パスワードについては「詳細設定にログインする」(▶ P.82) を参照してください。
- 5 [Wi-Fi 設定] - [WPS 設定] をクリックする

6 「Wi-Fi 端末の PIN コード」に無線 LAN (Wi-Fi®) 端末の PIN コードを入力する

無線 LAN (Wi-Fi®) 端末の PIN コードは、無線 LAN (Wi-Fi®) 端末の取扱説明書などを参照してください。



7 [WPS (PIN 方式)] をクリックする



<画面は参考例です>

8 [OK] をクリックする

9 パソコンから USB ケーブルを取り外して、10 秒待つ

10 無線 LAN (Wi-Fi®) 端末側で WPS 機能を起動する

起動方法については、無線 LAN (Wi-Fi®) 端末の取扱説明書などを参照してください。

11 本製品のディスプレイに「接続に成功しました。」と表示され、設定が完了する

3-2 USB で接続する

本製品とパソコンを USB ケーブル（同梱品）で接続して、データ通信ができます。

本製品には次の 2 つの接続モードがあります。

- USB 通信「ON」：USB 接続したパソコンから充電を行いながら、データ通信ができます。
- USB 通信「OFF」：USB 接続したパソコンから充電のみを行います。

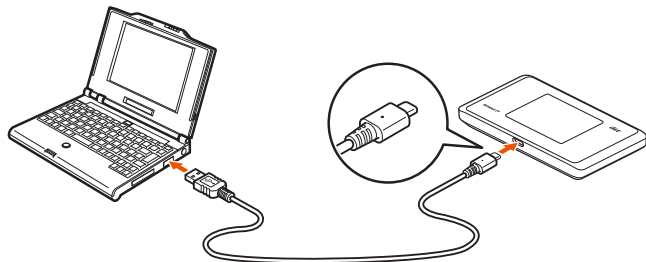
お買い上げ時の USB 接続モードは USB 通信「ON」に設定されています。USB 接続でデータ通信を行うには、USB 接続モードを USB 通信「ON」に設定したままご利用ください。（▶ P.115）

USB で接続する

1 本製品の USB ポートとパソコンの USB ポートを USB ケーブルで接続する

本製品ディスプレイに USB アイコン  が表示されます。

- USB コネクタ (Type C) は本製品の USB ポート (Type C) にまっすぐに差し込んでください。
- USB コネクタ (Type A) の表と裏を逆にすると接続できません。逆にした状態で無理に挿すと USB コネクタを破損させる場合がありますのでご注意ください。



Mac で USB 接続を利用してネットワークに接続する場合

本製品を USB 接続ではじめてネットワーク接続するとき、以下の設定が必要な場合があります。

OS X v10.11 の例：

- ①本製品とパソコンを USB ケーブルで接続すると「新しいネットワークインターフェイスが検出されました」と画面表示される
- ②[“ネットワーク” 環境設定] をクリックする
- ③[“ネットワーク”] の画面が表示されたら、IPv4 の構成で「DHCP サーバを使用」が表示されているのを確認し、[適用] をクリックする



memo

- ◎ USB コネクタ (Type A) の表と裏を逆にすると接続できません。無理に接続すると USB コネクタを破損させる場合がありますのでご注意ください。
- ◎ USB 1.1 の環境では十分なデータ転送速度が得られないため、USB 2.0 以上での使用をおすすめします。
なお、すべてのパソコンについて動作保証するものではありません。本製品は USB ハブ（市販品）を使用して接続しないでください。
- ◎ 本製品を USB ケーブル経由でパソコンに取り付けた状態でスタンバイ（サスペンド/レジューム）または休止（ハイバネーション）を行うと、正常に動作しない場合があります。必ず USB ケーブルを取り外してから、スタンバイ（サスペンド/レジューム）または休止（ハイバネーション）を行ってください。また、本製品を USB ケーブル経由でパソコンに取り付けた状態で再起動や電源を入れると、正常に動作しない場合があります。この場合、パソコンを起動する前に USB ケーブルを取り外してください。
- ◎ 本製品を USB ケーブル経由でパソコンに取り付けても動作しない場合は、いったん USB ケーブルを取り外したうえで約 5 秒以上待ってから再度取り付けてください。（お使いのパソコンや環境によっては、約 5 秒待ってから取り付けても正しく認識できない場合があります。その場合は、さらに時間をおいて、いったん本製品の電源を OFF/ON してから取り付けてください。）

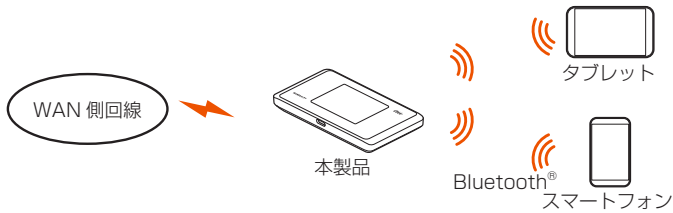
3-3 Bluetooth® 機能で接続する

本製品をアクセスポイントとして、スマートフォンやタブレットなどの Bluetooth® 搭載端末をインターネットに接続して利用することができます。電池の持ちが気になる外出先での節電に効果があります。Bluetooth® 接続できる上限台数は 3 台です。(ペアリング登録できる上限台数は 3 台です。)

ただし、Bluetooth® 搭載端末側の接続状況によっては上限まで接続できない場合があります。

また、複数台接続した状態からペアリングを行う際、接続台数が 3 台以下でもペアリングできない場合があります。その場合は、他の Bluetooth® 搭載端末を切断してからペアリングを行ってください。Wi-Fi/Bluetooth WAN 側連動機能や無線スリープ機能により、Bluetooth® アイコン  が表示されていないときは、ペアリングできません。Bluetooth® アイコン  が表示されていることを確認してから、ペアリングを行ってください。

※無線 LAN(Wi-Fi®)機能と Bluetooth® 機能は同時に利用することはできません。



memo

- ◎ ペアリング処理中に、他のペアリング済みの Bluetooth® 搭載端末から、接続または切断をしないでください。
- ◎ ペアリング登録台数が上限に達しているときは、本製品のディスプレイに「最大登録数に達したため設定できません。」と表示されます。その場合は、クイック設定 Web 画面の「Bluetooth 設定」で「Bluetooth ペアリング情報」に表示されているペアリング情報を削除してください。
- ◎ ご利用の Bluetooth® 搭載端末が Bluetooth2.1 以上に対応し、かつ、ネットワーク接続ができるプロファイル (PANU) に対応していることを確認してください。
 - ・ PANU に対応している機種については、Bluetooth® 搭載端末の各メーカーサイトにてご確認ください。

Bluetooth® 機器使用時のご注意

良好な接続を行うために、以下の点にご注意ください。

- ・ 本製品とほかの Bluetooth® 機器とは、見通し距離 10m 以内で接続してください。周囲の環境 (壁、家具など) や建物の構造によっては、接続可能距離が極端に短くなることがあります。
- ・ほかの機器 (電気製品、AV 機器、OA 機器など) から 2m 以上離れて接続してください。特に電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、必ず 3m 以上離れてください。近づいていると、ほかの機器の電源が入っているときに正常に接続できないことがあります。また、テレビやラジオに雑音が入ったり映像が乱れたりすることがあります。

無線 LAN (Wi-Fi®) 機器との電波干渉について

Bluetooth® 機能と無線 LAN (Wi-Fi®) 機能 (IEEE802.11b/g/n) は同一周波数帯 (2.4GHz) を使用しています。そのため、無線 LAN (Wi-Fi®) 機能を搭載した機器が近辺で使用されていると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になることがあります。このようなときは、以下の対策を行ってください。


- ・ 本製品と無線 LAN (Wi-Fi®) 機能を搭載した機器は、10m 以上離してください。
- ・ 10m 以内で使用する場合は、無線 LAN (Wi-Fi®) 機能を搭載した機器の電源を切ってください。

本製品の Bluetooth デバイス名などをあらかじめ控えておく

- 1 本製品のディスプレイ (タッチパネル) がホーム画面表示のとき、[情報] - [Bluetooth 情報] をタップする
- 2 デバイス名 (テザリング) を表示する
「デバイス名 (テザリング)」に本製品の Bluetooth デバイス名が表示されます。

Bluetooth デバイス名 控え欄

LAN 接続の設定を Bluetooth® に切り替える

- 1 本製品のディスプレイ (タッチパネル) がホーム画面表示のとき、[設定] - [LAN 側設定] - [LAN 側無線選択] をタップする
- 2 [Bluetooth] をタップしてチェックを入れる
- 3 ホーム画面のステータスバーに  が表示されることを確認する



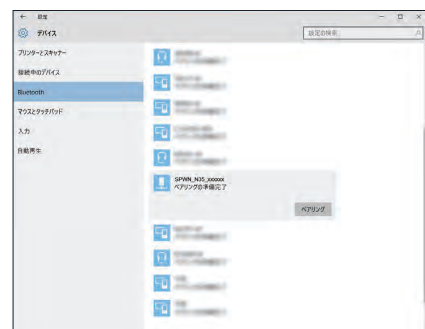
設定する

Windows パソコン (Windows 10) の場合

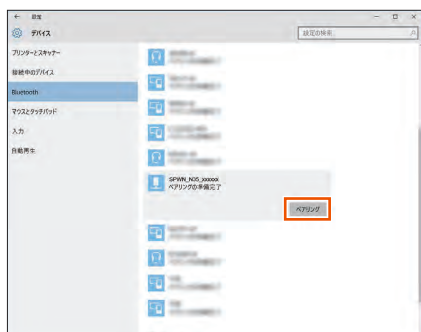
- 1 ご利用のパソコンの Bluetooth® 機能を起動する
パソコンの取扱説明書などを参照してください。
- 2 本製品のディスプレイ (タッチパネル) がホーム画面表示のとき、[設定] - [Bluetooth 設定] - [Bluetooth ペアリング] をタップする



- 3 本製品のディスプレイに「Bluetooth のペアリングを設定しています。」と表示される
- 4 パソコン側に、本製品の Bluetooth デバイス名が表示されるので、クリックする

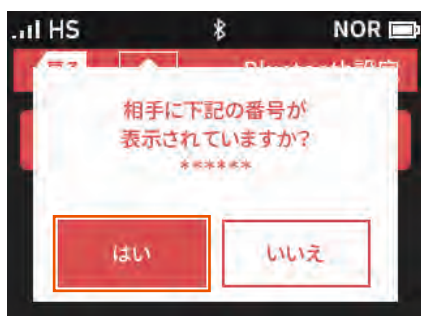


5 パソコン側の [ペアリング] をクリックする



6 本製品のディスプレイに「相手に下記の番号が表示されていますか? *****」と表示されたら、パソコン側に同じ番号が表示されていることを確認する

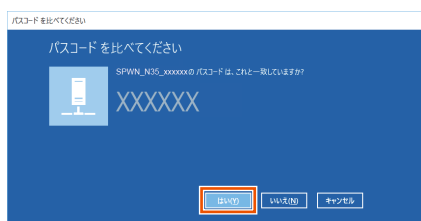
「*****」は端末間で使用する認証用番号です。ペアリングするたびに変更されます。



7 本製品のディスプレイ (タッチパネル) で [はい] をタップする

8 パソコン側の [はい] をクリックする

パソコン側で、本製品とパソコンをペアリングするためのパスコードが表示されますが、確認は不要です。



9 本製品のディスプレイ (タッチパネル) に「ペアリングに成功しました。」と表示されたら、[終了] をタップする

「ペアリングに失敗しました。」と表示された場合、手順 1 からやり直してください。



10 パソコン側に表示されている Bluetooth デバイス名が表示されたら、画面を閉じる

11 パソコン側の「コントロールパネル」 - 「デバイスとプリンター」を選択し、「デバイス」にある Bluetooth デバイス名を右クリックする

12 「接続方法」 - 「アクセスポイント」を選択し、クリックすると接続する

13 本製品のディスプレイで の右下の数字が「1」以上になっていることを確認する

接続台数が数字で表示されます。

Mac (macOS v10.13) の場合

1 ご利用のパソコンの Bluetooth® 機能を起動する

パソコンの取扱説明書などを参照してください。

2 ご利用のパソコンの Bluetooth® 設定画面より [Bluetooth を入にする] をクリックする

3 本製品のディスプレイ (タッチパネル) がホーム画面表示のとき、[設定] - [Bluetooth 設定] - [Bluetooth ペアリング] をタップする



4 ディスプレイに「Bluetooth のペアリングを設定しています。」と表示される

5 パソコン側に、本製品の Bluetooth デバイス名が表示されるので、デバイス名を選択し、[ペアリング] をクリックする



6 本製品のディスプレイに「相手に下記の番号が表示されていますか? *****」と表示されたら、パソコン側に同じ「*****」が表示されていることを確認する

番号は端末間で使用する認証番号です。ペアリングするたびに変更されます。

OS X 10.10 以前の場合は、本端末に「XX:XX:XX:XX:XX:XX の接続を許可しますか」と表示されます。「XX:XX:XX:XX:XX:XX」はパソコン側の MAC アドレスと同じです。



7 本製品のディスプレイ (タッチパネル) で [はい] をタップする

- 8 本製品のディスプレイ（タッチパネル）に「ペアリングに成功しました。」と表示されたら、[終了] をタップする



- 9 パソコン側で本製品の Bluetooth デバイス名に「接続済み」と表示される

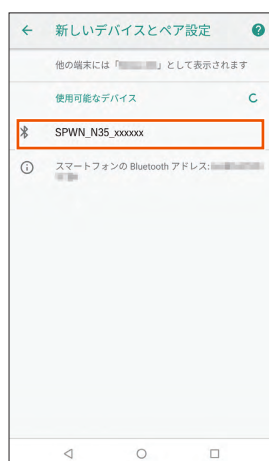
「未接続」の場合は、Bluetooth デバイス名をダブルクリックして接続します。

- 10 本製品のディスプレイで  の右下の数字が「1」以上になっていることを確認する

接続台数が数字で表示されます。

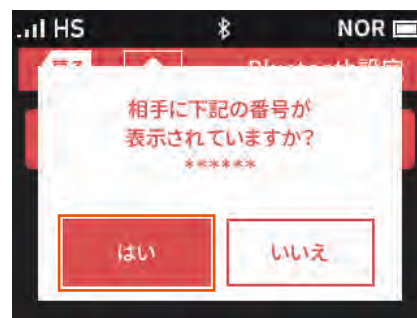
スマートフォン / タブレット (Android 端末) の場合

- 1 本製品のディスプレイ（タッチパネル）がホーム画面表示のとき、[設定] - [Bluetooth 設定] をタップする
- 2 [Bluetooth ペアリング] をタップする
ディスプレイに「Bluetooth のペアリングを設定しています。」と表示されます。
- 3 ご利用の Bluetooth® 搭載端末の [設定] - [接続済みの端末] - [Bluetooth] をタップし「ON」にして、[新しいデバイスとペア設定する] をタップする
- 4 ご利用の Bluetooth® 搭載端末に、本製品の Bluetooth デバイス名が表示されるのでタップする



- 5 本製品のディスプレイ（タッチパネル）に「相手に下記の番号が表示されていますか? *****」と表示されたら、番号を確認し、[はい] をタップする

「*****」は端末間で使用する認証番号です。ペアリングするたびに変更されます。



- 6 ご利用の Bluetooth® 搭載端末の [ペア設定する] をタップする

Bluetooth® 搭載端末によっては表示が異なる場合があります。

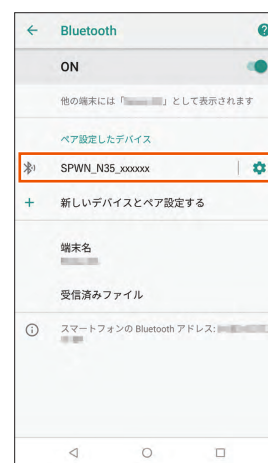
- 7 本製品のディスプレイに「ペアリングに成功しました。」と表示される

「ペアリングに失敗しました。」と表示された場合、手順 1 からやり直してください。

- 8 ご利用の Bluetooth® 搭載端末に本製品の Bluetooth デバイス名が表示されるのでタップし、インターネットに接続する

インターネットに接続できないときは、デバイス名の右にあるアイコンをタップし、設定の画面を開いてインターネットアクセス（*）にチェックが入っているか確認してください。

（*）Bluetooth® 搭載端末によっては表示が異なる場合があります。



- 9 本製品のディスプレイで  の右下の数字が「1」以上になっていることを確認する

接続台数が数字で表示されます。

iPad/iPhone/iPod touch の場合

- 1 本製品のディスプレイ（タッチパネル）がホーム画面表示のとき、[設定] - [Bluetooth 設定] をタップする

- 2 [Bluetooth ペアリング] をタップする

ディスプレイに「Bluetooth のペアリングを設定しています。」と表示されます。

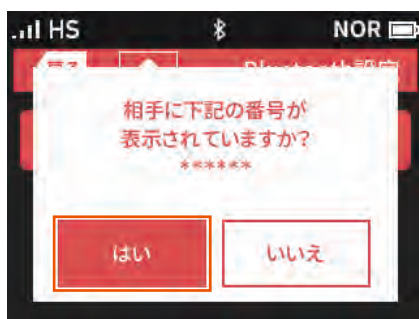
- 3 ご利用の Bluetooth® 搭載端末の [設定] - [Bluetooth] をタップし「ON」にする

- 4** ご利用の Bluetooth® 搭載端末に、本製品の Bluetooth デバイス名が表示されるのでタップする



- 5** 本製品のディスプレイ（タッチパネル）に「相手に下記の番号が表示されていますか? *****」と表示されたら、番号を確認し、[はい] をタップする

「*****」は端末間で使用する認証番号です。ペアリングするたびに変更されます。



- 6** ご利用の Bluetooth® 搭載端末の [ペアリング] をタップする

Bluetooth® 搭載端末によっては表示が異なる場合があります。

- 7** 本製品のディスプレイに「ペアリングに成功しました。」と表示される

「ペアリングに失敗しました。」と表示された場合、手順 1 からやり直してください。

- 8** ご利用の Bluetooth® 搭載端末に、「SPWN_N35_xxxxxx 接続済み」と表示されていることを確認する

「SPWN_N35_xxxxxx」は本製品の Bluetooth デバイス名が表示されます。



- 9** 本製品のディスプレイで  の右下の数字が「1」以上になっていることを確認する

接続台数が数字で表示されます。

4章 WAN側回線の接続設定

4-1 WAN側回線接続	52
4-2 通信モードを切り替える	53

4-1 WAN 側回線接続

本製品は、初期値で指定の WAN 側回線のプロファイル（インターネットサービスプロバイダなどの接続設定）が設定されていますので、通常はそのままお使いいただけます。プロファイルの新規設定や編集が必要な場合は以下の方法で設定を行ってください。

memo

- ◎ インターネット接続に必要な接続設定情報（ユーザー名、パスワード等）が指定されている場合は、以下の手順に従いプロファイルの追加を行ってください。
- ◎ 本製品にあらかじめ設定されているプロファイル（プロファイル名「Internet」）でインターネットの接続ができます。

接続先設定方法

クイック設定 Web で設定します。

1 パソコンを起動する

本製品とパソコンがネットワーク接続されていることを確認します。

2 Web ブラウザを起動し、アドレス入力欄に「http://192.168.179.1/」を入力してクイック設定 Web を開く

3 [詳細設定 TOP へ] ボタンをクリックする

4 ログイン画面が表示されたらユーザー名／管理者パスワードを入力し、[OK] を選択する

「ユーザー名」(上段)には「admin」と半角小文字で入力し、「パスワード」(下段)には管理者パスワードを入力してください。

- ・ 管理者パスワードについては「詳細設定にログインする」(▶ P.82)を参照してください。

管理者パスワード未設定の場合はパスワードの設定画面が表示されません。(▶ P.82)

5 [ネットワーク設定] - [プロファイル設定] をクリックする

6 [プロファイルリスト] で [no setup] を選択後、[選択] をクリックし、アクセスポイント名 (APN) などの設定情報を入力し、[設定] をクリックする

- ・ 表示内容はグレーアウトされている場合があります。
- ・ ご不明な点は au ショップ、トヨタ au 取扱店もしくはお客さまセンターにお問い合わせください。



7 [ネットワーク設定] - [接続設定] をクリックする

8 プロファイル選択で、上記で設定したプロファイルを選択し、[設定] をクリックする

4-2 通信モードを切り替える

WAN 側回線の電波受信レベルが不安定なときや圏外のとくに、通信モードを切り替えると電波受信レベルが上がり、安定した WAN 側回線接続ができる場合があります。

本製品は、通信モードとして、次のものがあります。

	ハイスピード	ハイスピードプラスエリア
WiMAX 2+	○	○
LTE	—	○

※ 初期設定は、「ハイスピード」モードです。「ハイスピードプラスエリア」モードに切り替えるとお客様の料金プランによっては追加料金が掛かる場合がございますので、ご注意ください。

「ワнтаイム HS+A」モード（**HS+A**）は、「ハイスピード」モードで通信できないエリアに移動した場合に、一時的に「ハイスピードプラスエリア」モードに切り替えたい場合に使用します。

！ ご注意

- 「ハイスピードプラスエリア」モードまたは「ワнтаイム HS+A」モードを設定すると所定の追加料金が別途かかる場合がありますのでご注意ください。

「ハイスピードプラスエリア」モードに切り替える

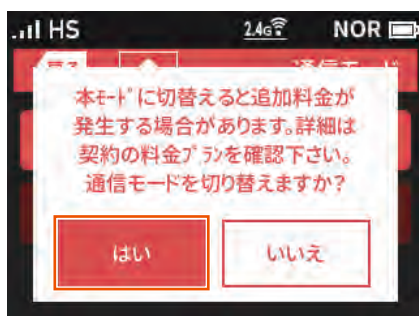
- 1 本製品のホーム画面から [クイックメニュー] - [通信モード] をタップする



- 2 「ハイスピードプラスエリア」をタップする



- 3 通信モード切り替えの確認画面で、[はい] をタップする



- 4 ステータスバーに、**HS+A** が表示されることを確認する

「ワнтаイム HS+A」モードに切り替える

「ワнтаイム HS+A」モードに設定した時、「ハイスピードプラスエリア」モードに切り替わりますが、下記の条件になった場合に「ハイスピード」モードに戻ります。

- ・ 休止
- ・ 電源 OFF
- ・ 約 10 時間経過後
- ・ 解除するデータ通信量に達したとき
- ・ 再起動

一時的に WiMAX 2+ 圏外で通信する時など、通信モードの戻り忘れがなく便利です。

「解除するデータ通信量」を設定できます。（▶ P.84）

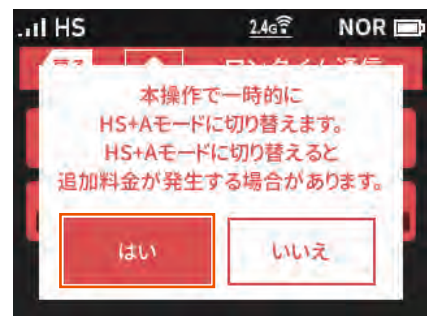
- 1 本製品のホーム画面から [クイックメニュー] - [ワнтаイム HS+A] をタップする



- 2 「ワнтаイム HS+A」をタップして、「ON」にする
[解除するデータ通信量] は、1 ~ 99 [GB] の範囲で入力する（初期値：6GB）



- 3 通信モード切り替えの確認画面で、[はい] をタップする



- 4 ステータスバーに、**HS+A** が表示されることを確認する

memo

- ◎「ワンタイム HS+A」モードを解除するときは、手順 2 の画面で「ワンタイム HS+A」をタップする、またはホーム画面から【設定】 - 【ネットワーク設定】 - 【ワンタイム HS+A 設定】 - 【ワンタイム HS+A】をタップし、【OFF】にする。



- ◎「ワンタイム HS+A」モード設定時、通信モードを「ハイスピードプラスエリア」モードに設定した場合、「ワンタイム HS+A」モード設定は解除されます。
- ◎「解除するデータ通信量」設定の数値を超えた場合は、「ハイスピード」モードに切り替わります。
- ◎「解除するデータ通信量」設定（▶ P.84）は、通信量カウンターやカウントしたデータ通信量表示には影響しません。

5章 便利な機能

5-1	らくらく QR スタートを使う	56
5-2	Wi-Fi 設定お引越し機能を使う	57
5-3	ECO 機能を使う	58
5-4	おまかせ一括設定機能	60
5-5	スケジュール機能	61
5-6	スマートフォンアプリを使う	62
5-7	休止状態から起動する (リモート起動)	65
5-8	お知らせ機能	66
5-9	5GHz 帯で利用する	67
5-10	最適な設置場所を探す	68
5-11	Wi-Fi チャンネルを切り替える	69
5-12	電池残量推移を確認する	70
5-13	データ通信量推移を確認する	71
5-14	データ通信量で通信を制限する	72
5-15	その他の便利な機能	73

5-1 らくらく QR スタートを使う

スマートフォン/タブレット端末の場合、「Aterm らくらく QR スタート for Android」、「Aterm らくらく QR スタート for iOS」をご利用いただくと、Wi-Fi 設定用の QR コードを読み取るだけで、本製品へ簡単に無線 LAN (Wi-Fi®) 接続することができます。

本製品では、無線 LAN (Wi-Fi®) 接続に必要な設定用の QR コードを、クイック設定 Web から表示することができます。

ディスプレイメニューからも設定用の QR コードを表示することができます。

クイック設定 Web で無線設定内容を変更した場合も、変更した内容の QR コードを表示できます。

下記の手順で、設定用 QR コードを表示し、スマートフォン/タブレット端末から無線 LAN (Wi-Fi®) 接続してください。

- ・スマートフォン/タブレット (Android 端末) を接続する (▶ P.37)
- ・iPhone/iPod touch/iPad/iPad mini を接続する (▶ P.38)

クイック設定 Web で設定用 QR コードを表示する

QR コードはプライマリ SSID 用とセカンダリ SSID 用の 2 種類あります。

1 パソコンを起動する

本製品とパソコンがネットワーク接続されていることを確認します。

2 Web ブラウザを起動し、「http://192.168.179.1/」を入力してクイック設定 Web を開く

3 [詳細設定 TOP へ] ボタンをクリックする

4 ログイン画面が表示されたらユーザー名/管理者パスワードを入力し、[OK] を選択する

「ユーザー名」(上段)には「admin」と半角小文字で入力し、「パスワード」(下段)には管理者パスワードを入力してください。

- ・管理者パスワードについては「詳細設定にログインする」(▶ P.82) を参照してください。

管理者パスワード未設定の場合はパスワードの設定画面が表示されません。(▶ P.82)

5 画面左のメニューにある [設定用 QR コード] ボタンをクリックする

[OK] をクリックすると設定用 QR コードを作成する Web サイトにリンクします。



6 画面に従って、設定用 QR コードを作成・表示する

ディスプレイで設定用 QR コードを表示する

1 本製品のディスプレイ (タッチパネル) がホーム画面表示のとき、[設定] - [簡単無線設定] - [らくらく QR] - [プライマリ SSID] または [セカンダリ SSID] をタップする

2 確認画面をスライドして下まで読んで、[はい] をタップする
QR コードが表示されます。

memo

◎「Aterm らくらく QR スタート」は、インターネット接続機能およびカメラ機能に対応しているスマートフォン/タブレット端末でご利用いただけます。利用可能な端末の最新情報は、「Aterm らくらく QR スタート」の Web サイト (<http://qr.aterm.jp/>) でご確認ください。2019 年 3 月現在では、Android 端末 (対応 OS : Android 9.0/8.1/8.0/7.1/7.0/6.0/5.1/5.0/4.4) および iOS 端末 (対応 OS : iOS 12.0/11.4/11.3/11.2/11.1/11.0/10.3/10.2/10.1/10.0/9.3/9.2/9.1/9.0/8.3/8.2/8.1/8.0) でご利用となります。なお、本アプリは無料です。ただしインターネット接続のパケット通信料はお客様ご負担となります。

5-2 Wi-Fi 設定お引越し機能を使う

以前に使用していたルータの無線 LAN (Wi-Fi®) 設定を、本製品へ引き継ぐことができます。

Wi-Fi® 設定のやり直しなどの作業が不要になります。

memo

- ◎ これまでお使いのルータが WPS に対応している必要があります。
また、これまでお使いのルータの機能・設定内容 (使用不可の文字や暗号化モードなど) によって、無線 LAN (Wi-Fi®) 設定が引き継がれない場合があります。
- ◎ これまでお使いのルータから引き継ぐ内容は、下記の通りです。
 - ・ SSID
 - ・ 暗号化モード
 - ・ 暗号化キー
 引き継いだ SSID は、プライマリ SSID に引き継ぎします。

設定方法

- 1 本製品のホーム画面から [設定] - [簡単無線設定] - [Wi-Fi 設定お引越し] をタップする

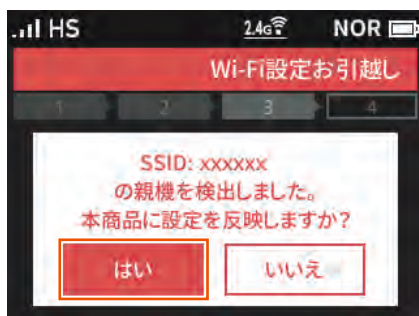


- 2 確認画面をスライドして下まで読んで [はい] をタップし、次の画面で [Wi-Fi 設定お引越し] をタップする



- 3 これまでお使いのルータの WPS 機能を実行する (WPS 機能の実行のしかたは、これまでお使いのルータの取扱説明書を参照してください)

- 4 検出画面で、[はい] をタップする



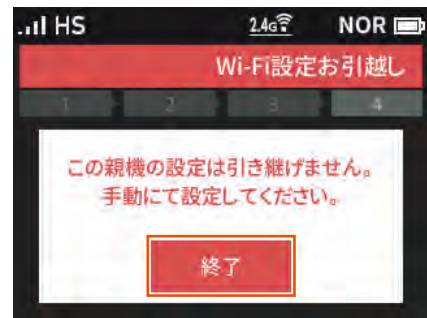
- 5 設定成功画面で、[終了] をタップする
これまでお使いのルータの電源を切る



- 6 ホーム画面が表示される
[情報] - [Wi-Fi 情報] 画面で、「プライマリ SSID」がこれまでお使いのルータの SSID になっていることを確認する

memo

- ◎ これまでお使いのルータの暗号化モードが WEP のとき、暗号化なしの場合、SSID・暗号化キーに使えない記号、スペース文字が含まれている場合は、本機能は無効となります。
(使用できる文字は、「8-4 Wi-Fi 設定」の「Wi-Fi 設定」(▶ P.87) を参照してください。)
- 「この親機の設定は引き継げません。手動にて設定してください。」とディスプレイに表示されるので、[終了] をタップして手動で設定してください。



! ご注意

- Wi-Fi 設定お引越し機能で引き継いだ SSID と暗号化キー (パスワード) は、控えておいてください。本製品を初期化 (▶ P.78) すると、工場出荷時の設定に戻ります。

5-3 ECO 機能を使う

無線スリープ

本製品を USB ケーブルで接続して通信する場合、無線 LAN (Wi-Fi[®]) 機能および Bluetooth[®] 機能をスリープさせて消費電力を抑えます。クイック設定 Web から詳細設定にログインして設定します。[詳細設定] - [その他の設定] の「USB 接続時」、「無線スリープ設定」で設定します。(▶ P.97) 初期値は「使用しない」です。

自動省電力

クイック設定 Web から詳細設定にログインして設定します。「ECO 設定」 - [ECO 設定] の「自動省電力設定」で設定します。(▶ P.91) ディスプレイが自動消灯するまでの時間や、省電力状態切り替え機能のモード (ウェイトング/休止状態/電源 OFF) の選択や切り替えまでの時間を設定できます。

無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末または Bluetooth[®] 搭載端末との接続がない場合、一定時間経過した後、指定した状態に移行し、電力の消費を抑えます。指定した状態に移行するまでの時間を設定することができます。ディスプレイ表示がホーム画面表示以外の場合は、自動省電力状態になりません。

無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末または Bluetooth[®] 搭載端末と通信している場合や AC アダプタ接続、USB 接続、およびクレードル接続しているときは、省電力状態切り替え機能は無効となります。

ウェイトング

ウェイトングとは、動作中の消費電力を抑え、利用可能時間を長くする機能です。

ウェイトングに移行するのは、無線 LAN (Wi-Fi[®]) 利用時のみです。Bluetooth[®] 接続の場合は、リモート起動可能な休止状態になります。本製品を起動してから一定時間 (初期値: 10 分) が経過すると、ウェイトング状態になります。ただし、無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末の検出状況によっては、設定している時間よりも長くなる場合があります。

無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末側の仕様によっては、無通信でも接続が維持されてしまい、一定時間が経過してもウェイトングに入らない場合があります。そのときは、無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末側の無線接続を OFF にしてください。

WAN 側回線通信は切断されます。

AC アダプタ接続、USB 接続およびクレードル接続している場合は、ウェイトングは無効となります。


ウェイトング中の待機可能時間は、最大約 50 時間です。

ウェイトングに設定する

クイック設定 Web 画面で設定できます。


「省電力状態切り替え設定時間」でウェイトングに移行する時間を設定します。初期値は「10 分」です。

ウェイトングからの復帰

ウェイトングからの復帰は、無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末との無線接続が開始されると復帰します。また、電源ボタン  のいずれかを押ししたときに復帰し、ホーム画面表示になります。

休止状態

休止状態とは、無線の停止状態からでもすばやく利用可能状態にする機能です。

本製品を起動してから一定時間 (初期値: 10 分) が経過すると、休止状態になります。ただし、無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末の検出状況によっては、設定している時間よりも長くなる場合があります。ディスプレイがホーム画面表示のときに、電源ボタン  を長押しし、電源オプション画面で、「休止」をタップすると、休止状態に移行します。

休止状態に設定した場合、最大約 700 時間待機できます。

本製品は、工場出荷時「休止状態」に設定されています。

■ 休止状態に設定する

クイック設定 Web 画面で設定できます。

「省電力状態切り替え設定時間」で休止状態に移行する時間を設定します。初期値は「10 分」です。

■ 休止状態からの復帰

電源ボタン  を長押しすると「NEC」と表示され、本製品が起動します。

スマートフォンアプリを用いて本製品を休止状態から起動させることができます。(▶ P.65)

■ 切り忘れ防止タイマー

切り忘れ防止タイマーとは、電源の切り忘れまたは休止状態への移行忘れによる電力の消費を防ぐため、一定時間 (約 60 分) 経過後、強制的に本製品を休止状態にする機能です。(▶ P.91)

本機能を使用した場合、通信中であっても一定時間 (約 60 分) 経過後、強制的に休止状態になります。ただし、ウェイトング中または充電中は休止状態になりません。また、切り忘れ防止タイマー動作中で残り時間 30 分未満のときに本製品の操作 (ボタン操作、クレードル着脱、AC アダプタ/USB ケーブルの抜き差し) を行った場合、30 分延長します。

■ 省電力モードについて

WAN 側回線、Wi-Fi[®] での通信速度を制限することにより電力の消費を抑え、連続動作時間を延ばすことができます。

ハイパフォーマンスモード、ノーマルモード、エコモードから選択します。初期設定は「ノーマルモード」です。

ホーム画面 - [クイックメニュー] - [ECO 設定] - [省電力モード] または、クイック設定 Web の「ネットワーク設定」 - [基本設定] で設定します。



ハイパフォーマンスモードは、通信速度は制限しませんが、連続動作時間は短くなります。

エコモードは、通信速度を制限して、連続動作時間が長くなるようにします。

ノーマルモードは、電池残量が十分にある状態では通信速度を制限しませんが、電池残量が少ない状態では通信速度を制限し連続動作時間が長くなるようにします。この切り替えは、WAN 側回線の無通信状態が継続した際に行います。

また、クイック設定 Web で、充電時高パフォーマンスを「使用する」に設定すると、充電時に省電力モードによる WAN 側回線の通信速度の制限がなくなります。(「8-3 ネットワーク設定」、基本設定参照)

memo

- ◎省電力モード切替時には、Wi-Fi[®] 接続が途切れることがあります。
- ◎エコモードまたはノーマルモードに設定時、通信中にディスプレイ（タッチパネル）を操作すると、製品のパフォーマンスが低下する場合があります。
- ◎自動消灯は、下記の条件では無効となります。
 - ・Wi-Fi 設定お引越し中
 - ・WPS で無線設定を実行中
 - ・らくらく無線スタートを実行中
 - ・Wi-Fi 情報を表示中
 - ・「新しいファームウェアが見つかりました。更新しますか?」と表示中
 - ・ファームウェアのバージョンアップ中
 - ・電波レベルのインジケータ表示中
 - ・利用チャンネル確認中
- ◎本製品がウェイトリングに移行するとき、無線 LAN（Wi-Fi[®]）端末側の仕様によっては、無通信でも接続が維持されてしまい、一定時間が経過してもウェイトリングに入らない場合があります。そのときは、無線 LAN（Wi-Fi[®]）端末側の無線接続を OFF にしてください。

5-4 おまかせ一括設定機能

本製品のディスプレイ（タッチパネル）から、ワンタッチで使用目的ごとのお勧め設定に変更する機能です。

おまかせ一括設定機能は、ディスプレイ（タッチパネル）で設定します。（初期値：一括設定しない（個別設定））

メニュー	特徴
通信速度を優先	通信速度が最大値になる設定にします 省電力モードは、「ハイパフォーマンス」設定になります
スタンダード設定	通信速度と連続動作時間をバランスよく設定します 省電力モードは、「ノーマル」設定になります
バッテリー持ちを優先	通信速度、電波送信出力、ディスプレイ設定をコントロールして連続動作時間が長くなるように省電力（エコモード）の設定にします
一括設定しない（個別設定）	おまかせ一括設定機能を OFF し、「WiMAX ハイパワー」「省電力モード」「Wi-Fi 暗号強化」「輝度調整」の個別設定ができます（OFF する前の設定を保持します）

※表記の通信速度はシステム上の最大速度です。通信速度は、通信環境やネットワークの混雑状況などに応じて変化します。

！ ご注意

- おまかせ一括設定機能を使用すると、対象とする設定が変更できません。また、通信速度、無線 LAN（Wi-Fi®）の送信出力が変更される場合があります、再接続することがあります。

memo

◎ ホーム画面の [メニュー] ボタンを [おまかせ一括設定] に変更できます。
設定方法：ホーム画面 - [設定] - [ディスプレイ設定] - [ホームメニュー設定] で [おまかせ一括設定] を選択（初期設定：クイックメニュー）
（「10-1 ディスプレイメニュー一覧」の「ディスプレイ設定」(▶ P.115) 参照）

おまかせ一括設定機能を使う

- 1 本製品のホーム画面から [クイックメニュー] - [おまかせ一括設定] をタップする

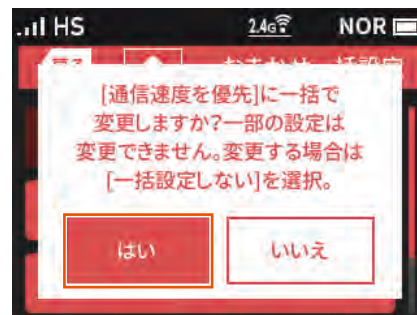


- 2 選択メニューから使用目的のおまかせ一括設定を選択しタップする



- 3 おまかせ一括設定の確認画面で、[はい] をタップする
[一括設定しない（個別設定）] からおまかせ一括設定すると、再接続します。

（例）手順 2 で [通信速度を優先] を選択したときの画面



- 4 ホーム画面に戻る

5-5 スケジュール機能

指定した時刻に電源 OFF に移行し、指定した時刻に休止状態／電源 OFF から復帰する機能です。使用しない時間帯に自動的に省電力することができます。

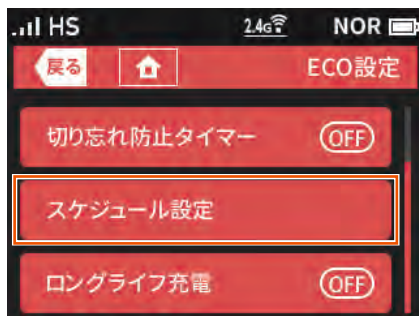
初期設定は「OFF」です。

memo

- ◎ 設定時刻の初期値は、「電源 ON 6:00」、「電源 OFF 22:00」です。設定時刻の変更は、クイック設定 Web (パソコン用) の「ECO 設定」－「ECO 設定」－「スケジュール機能設定」でも設定できます。(▶ P.91)

設定方法

- 1 本製品のホーム画面から【クイックメニュー】－【ECO 設定】－【スケジュール設定】をタップする



- 2 スケジュール設定画面で、【スケジュール】をタップして「ON」にする



- 3 【電源 OFF】または【電源 ON】をタップして、数字入力画面で時刻を 4 桁の数字で入力する

- ・ 時刻を変更するには、Back Space をタップして数値をクリアしてから、時刻を入力し、完了 をタップします。



- 4 ステータスバーにスケジュールアイコン (🕒 または 🕒) が表示されることを確認する

memo

- ◎ 電源 ON (終了時刻) と電源 OFF (開始時刻) が同じ時刻の場合は、本機能は無効となります。
- ◎ 時刻情報が取得できない場合は、機能しません。
- ◎ ファームウェア更新中は、電源 OFF しないで、更新完了後に電源 OFF します。
- ◎ スケジュール機能を設定時、電源 OFF 移行まで 10 分未満のとき、ステータスバーにスケジュールアイコン 🕒 が表示されます。

5-6 スマートフォンアプリを使う

本製品の情報を、スマートフォンなどにインストールした「NEC WiMAX 2+ Tool」で確認することができます。
ファームウェアの更新や休止状態への移行、インターネットの接続先切り替えなどを画面操作で行うこともできます。

「NEC WiMAX 2+ Tool」をダウンロード／インストールする

- 1 スマートフォンなどから、Google PlayストアやApp Storeで「NEC WiMAX 2+ Tool」をキーワードにアプリを検索してダウンロードページを開く



(2019年3月現在)

- 2 ダウンロードページから「NEC WiMAX 2+ Tool」をダウンロードおよびインストールする

- 3 「NEC WiMAX 2+ Tool」を起動する

「Wi-Fiの通信性能を最適にしますか？」メッセージが表示します。
[はい] をタップすると、「Wi-Fi 暗号化強化」をOFFにします。
[いいえ] をタップするとメッセージを再表示しません。

接続設定ウィザード (らくらく QR スタート)

本製品とスマートフォンなどとの接続が切断されている場合、[接続設定ウィザード]の ボタンが青色で表示します。[接続設定ウィザード]の ボタンをタップすると、Wi-Fi 接続設定を開始し、らくらく QR スタート機能を使って本製品と接続できます。

- ・ クイック設定 Web のパスワードが必要です。



カメラビュー画面で、本製品のディスプレイから Wi-Fi 設定用 QR コードを読み取る。



- ・ 本製品の表示方法：ホーム画面 → [設定] → [簡単無線設定] → [らくらく QR] → [プライマリ SSID] → 確認画面をスライドして下まで読んで [はい] → QR コードを表示
- ・ らくらく QR スタート機能での接続方法は、「スマートフォン/タブレットを接続する」(▶ P.37)、「iPhone/iPod touch/iPad/iPad mini を接続する」(▶ P.38) を参照してください。

memo

- ◎ 本製品との通信に失敗、もしくは、本製品側が処理中で情報の取得ができなかった場合は、エラーが表示されるので、「情報更新」をタップして情報取得してください。
- ◎ スマートフォンアプリのメニューや機能は、バージョンアップによって変更される場合があります。
- ◎ LAN 側無線選択が「Bluetooth」の場合、自動省電力機能で移行するのはリモート起動可能な休止状態となります。

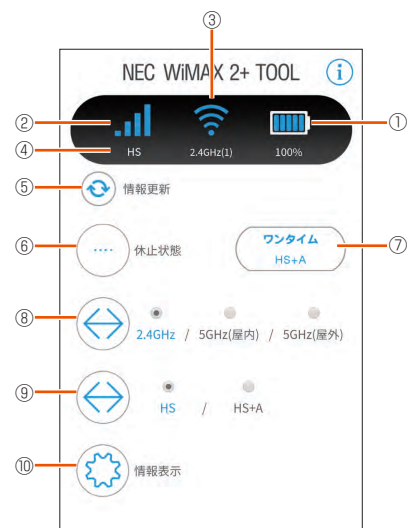
情報表示

情報は、一定間隔で更新されます。現在のステータスを確認したい場合は、「NEC WiMAX 2+ Tool」アプリのメイン画面で「情報更新」をタップしてください。

本製品とスマートフォンなどとの接続が切断されている場合は、「情報更新」をタップしても、情報が更新されません。接続し直してください。表示内容は参考です。OS やバージョンによって異なります。

※本製品で、ディスプレイ (タッチパネル) 表示中のときは、「NEC WiMAX 2+ Tool」で設定できません。また、「NEC WiMAX 2+ Tool」で設定中に本製品のディスプレイ (タッチパネル) を操作すると、「NEC WiMAX 2+ Tool」での設定が中断される場合があります。ディスプレイをホーム画面またはロック画面表示にしてください。

メイン画面



Android 端末の画面例です

- 1 電池残量

電池アイコンで表示します。 は充電中の表示です。

%単位で表示するときは、「電池残量表示 (%)」を「ON」にします。(▶ P.91, P.115)

- 2 アンテナレベル (アンテナバーで表示)

WAN 側回線の信号の強度を 4 段階で表示します。(圏外の時は、アイコン表示しません。)

③ LAN 側情報

無線 LAN(Wi-Fi[®])の状態(電波状態および接続している無線 LAN(Wi-Fi[®])帯域)と接続している無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末の台数を表示します。Bluetooth[®] 機能使用時は、「Bluetooth(1)」(数字は接続している Bluetooth[®] 搭載端末の台数)と表示します。

④ 通信モード

利用している通信モード (HS、HS+A) を表示します。

⑤ 情報更新

手動で情報を取得できます。


⑥ 休止状態

休止状態にするときはタップします。

⑦ ワンタイム HS+A

ワンタイム HS+A モードに切り替えるときはタップします。
※ ワンタイム機能を「OFF」にしている場合は表示されません。

⑧ Wi-Fi 帯域切り替え

2.4GHz 帯 /5GHz 帯 (屋内) /5GHz 帯 (屋外) から選択します。接続している Wi-Fi 帯域が青文字で表示されます。接続したい帯域をタップして選択し、 をタップして切り替えができます。

⑨ 通信モード切り替え

HS (ハイスピードモード) / HS+A (ハイスピードプラスエリアモード) から選択します。

接続しているモードが青文字で表示されます。

接続したいモードをタップして選択し、 をタップして切り替えができます。

⑩ 情報表示

情報表示画面を表示します。

memo

◎ アプリを起動したときに「管理者パスワードが設定されていません。管理者パスワードを設定してください。」と表示された場合は、画面の案内に従って設定を行ってください。

- ・管理者パスワードは、本製品を設定するときに必要となりますので控えておいてください。忘れた場合は、クイック設定 Web 画面を開くことができず、本製品を初期化してすべての設定がやり直しになります。

以下は情報表示をタップすると表示され、[完了] をタップして戻ります。



Android 端末の画面例です

⑪ WAN 側 IP 情報

WAN 側 IP アドレスを表示します。

⑫ ファームウェアバージョン

ファームウェアのバージョンを表示します。

⑬ データ通信量

日次通信量または月次通信量のどちらかのデータ通信量を表示できます。画面例では、日次通信量を表示している場合で、前日までの3日間の通信量と本日までの3日間の通信量および上限値を表示します。

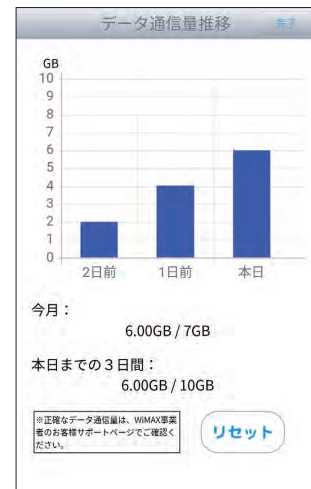
月次通信量は、ディスプレイメニューから月次通信量の表示設定を行った場合、現在の通信量(月の累計値)と上限の通信量を表示します。(ホーム画面 - [設定] - [データ通信量設定] - [データ通信量表示機能] - [1ヶ月] 選択時 (▶ P.116))

また、クイック設定 Web の「通信量カウンター」(▶ P.85) で、設定値を変えることができます。

⑭ グラフ

[グラフ] をタップすると、データ通信量推移のグラフを表示します。

[リセット] をタップすると、データ通信量をクリアします。

**⑮ 再起動**

再起動するときはタップします。

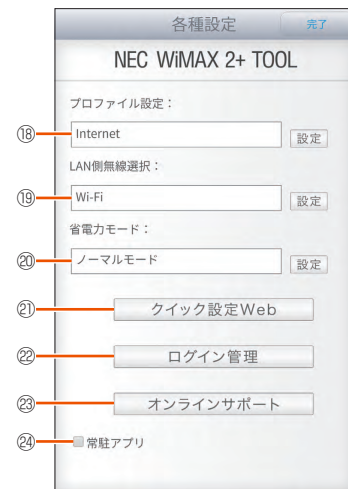
⑯ WAN 側通信確認

インターネットに接続しているか確認する場合にタップします。

⑰ 各種設定

プロファイルや通信モードなどの設定ができます。

以下は、⑰各種設定で実行できるメニューが表示されます。



Android 端末の画面例です

⑱ プロファイル設定

プロファイルを設定します。

⑲ LAN 側無線選択

Wi-Fi/Bluetooth の設定ができます。

「Bluetooth」を選択する場合は、あらかじめ本製品とスマートフォンをペアリングしておく必要があります。

⑳ 省電力モード

ハイパフォーマンスモード/ノーマルモード/エコモードの設定ができます。

㉑ クイック設定 Web

モバイル用クイック設定 Web にアクセスします。



㉒ ログイン管理


ユーザー名と管理者パスワードの入力欄と IP アドレスが表示されます。

㉓ オンラインサポート

オンラインサポートページを表示します。

④ 常駐アプリ (Android 端末のみ)

チェックを入れるとスマートフォンのステータスバーに  アイコンが表示されます。
お知らせ機能の通知 (▶ P.66) があるときは、 が表示されます。

以下は、メイン画面で  ボタンをタップすると、バージョン情報で、情報が表示されます。



Android 端末の画面例です

⑤ バージョン情報

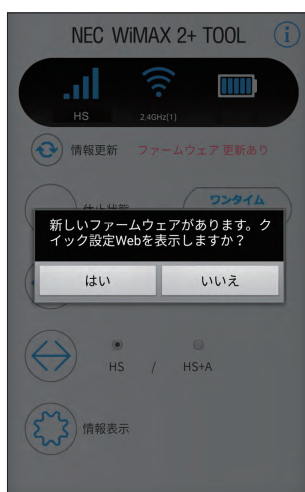
NEC WiMAX 2+ Tool のバージョンや Bluetooth デバイス名、リモート起動用デバイス名が表示されます。

■ ファームウェアの更新

新しいファームウェアが存在している場合、アプリを起動すると、「新しいファームウェアがあります。クイック設定 Web を表示しますか?」と表示されるので、メッセージを確認し、[はい] をタップします。クイック設定 Web が起動するのでログインします。(▶ P.104) ファームウェア更新画面が表示されたら、[確認 / 更新] ボタンをタップし、ファームウェアの更新を完了してください。

! ご注意

- 「管理者パスワードが設定されていません。管理者パスワードを設定しますか?」と表示されたときは、画面の案内に従って設定を行ってください。
- 管理者パスワードは、本製品を設定するときに必要となりますので控えておいてください。忘れた場合は、クイック設定 Web 画面を開くことができず、本製品を初期化してすべての設定がやり直しになります。



< 画面例 >

■ リモート起動

スマートフォンアプリを用いて本製品を休止状態から起動させることができます。リモート起動を使用するときは、あらかじめクイック設定 Web 画面にて次の設定が必要です。

- 「ECO 設定」 - 「ECO 設定」 - 「自動省電力設定」の「省電力状態切り替え機能」を「休止状態」に設定

リモート起動はスマートフォンの Bluetooth[®] 機能を用いて手動でも行うことができます。設定方法の詳細については、「5-7 休止状態から起動する (リモート起動)」(▶ P.65) を参照してください。

5-7 休止状態から起動する（リモート起動）

本製品が休止状態のときにスマートフォンなどにインストールした「NEC WiMAX 2+ Tool」や Bluetooth® 搭載端末からの操作で、すぐに起動することができます。

！ ご注意

- リモート起動は、本製品が休止状態のときにご利用いただけます。
- スマートフォンの機種によっては、他の Bluetooth® 機器を使用しているとリモート起動の動作が正常に動作しない場合があります。その場合は、他の Bluetooth® 機器をいったん停止してから使用してください。
- リモート起動をご利用する際は、無線 LAN（Wi-Fi®）端末と本製品の距離を 10m 以上離さないでください。

■ 休止状態にする

■ アプリで休止状態にする



- 1 本製品とスマートフォンが無線 LAN（Wi-Fi®）接続されていることを確認する
- 2 「NEC WiMAX 2+ Tool」を起動する
- 3 「休止状態」をタップする
メッセージが表示されるのでメッセージの内容を確認後、「はい」をタップします。画面がグレースアウトし、休止状態となります。


■ クイック設定 Web で休止状態に設定する

クイック設定 Web の「ECO 設定」－「ECO 設定」で設定します。「自動省電力設定」の「省電力状態切り替え機能」で「休止状態」に設定します。

■ 本製品の電源ボタン を長押しして、休止状態に設定する

あらかじめ休止状態に設定されているか確認してください。

- 本製品のディスプレイで休止状態に設定していることを確認するには、充電中に電源ボタン  を押ししてください。休止状態のときは、 が表示されます。


- 1 ディスプレイがホーム画面表示されていることを確認し、電源ボタン  を長押しする
- 2 「電源オプション」画面で、「休止」をタップする

■ 起動方法

■ アプリでリモート起動する

- 1 「NEC WiMAX 2+ Tool」を起動する
- 2 グレースアウトしている画面に「リモート起動」のボタンが表示されたらタップする
メッセージが表示されるので「はい」をタップします。
- 3 本製品がリモート起動する
本製品のディスプレイに「NEC」と表示され、起動します。

！ ご注意

- 本製品の電源ボタン  長押し、またはクイック設定 Web にて休止状態にしていた場合、「NEC WiMAX 2+ Tool (iOS 版)」でリモート起動ボタンが表示されないことがあります。その場合は、「NEC WiMAX 2+ Tool (iOS 版)」を終了し、再起動させてください。

■ スマートフォンから Bluetooth® 機能でリモート起動する

デバイス名は本製品のホーム画面－「情報」－「Bluetooth 情報」で前もって確認しておきます。

- デバイス名は、「NEC WiMAX 2+ Tool」のバージョン情報でも確認できます。（▶ P.62）

- 1 スマートフォン側の Bluetooth® 機能を有効にする
スマートフォン側の Bluetooth® 機能についてはスマートフォンのマニュアルを確認してください。
- 2 Bluetooth® 検索をする
- 3 検索結果から本製品のデバイス名を選択してタップする
● デバイス名は、本製品が休止状態のときにスマートフォン側の Bluetooth® 検索結果に表示されます。
- 4 本製品がリモート起動する
本製品のディスプレイに「NEC」と表示され、起動します。

！ ご注意

- Bluetooth® 機能を使ってリモート起動する際、スマートフォン側で「ペアリング失敗 *****.bt と通信できません」などと表示されてもリモート起動が正常に行われている場合があります。

5-8 お知らせ機能

スマートフォンなどにインストールした「NEC WiMAX 2+ Tool」で、本製品の電池残量低下やデータ通信量などの状況（お知らせ）を通知します。

事前に、本製品のバッテリー切れや速度制限がかかるデータ通信量などの状況を把握することができます。

！ ご注意

- スマートフォンが通知を受け取れる状態（通知許可）であることが必要です。
- 本製品のディスプレイメニューで、「データ通信量超過通知機能」が「通知する」（初期値）の設定時に有効です。（▶ P.116）
- iOS は、通知が遅くなる場合があります。

■ 表示内容

メッセージ	表示例	説明
バッテリー残量が低下しています。	①	電池残量が20%以下になると通知します。
本日までの3日間の通信量が上限を超えました。	②	日次通信量を表示している時に、通信量が上限を超えると通知します。（※1）
月次通信量が上限を超えました。	③	月次通信量を表示している時に、通信量が上限を超えると通知します。（※2）
データ通信量が通知するデータ通信量を超えています。	④	月次通信量を表示している時に、通信量が通知する設定値を超えると通知します。（※3）
スケジュール機能発動10分前です。	⑤	スケジュール機能で電源OFFになる10分前に通知します。


※1：本製品のディスプレイメニューで、「データ通信量表示機能」が「3日」設定（▶ P.116）時、上限値はクイック設定 Web の「上限値（3日間）」（▶ P.86）で設定した数値






※2：本製品のディスプレイメニューで、「データ通信量表示機能」が「1ヶ月」設定（▶ P.116）時、上限値はクイック設定 Web の「最大データ通信量設定」（▶ P.86）で設定した数値

※3：本製品のディスプレイメニューで、「データ通信量表示機能」が「1ヶ月」設定（▶ P.116）時、通信量はディスプレイメニューで、「通知する設定値」（▶ P.116）で設定した数値（クイック設定 Web の「通知するデータ通信量設定」（▶ P.86）でも設定できます。）

・「データ通信量超過通知機能」を「通知して通信を停止」に設定していると、通信を停止します。（「5-14 データ通信量で通信を制限する」（▶ P.72）参照）

■ 表示例

スマートフォンなどのステータスバーに  アイコンが表示されたら通知内容を確認してください。

- ①  NEC WiMAX 2+ Tool・現在
NEC WiMAX 2+ Tool
バッテリー残量が低下しています。
- ②  NEC WiMAX 2+ Tool・現在
NEC WiMAX 2+ Tool
本日までの3日間の通信量が上限を超えました。
- ③  NEC WiMAX 2+ Tool・現在
NEC WiMAX 2+ Tool
月次通信量が上限を超えました。
- ④  NEC WiMAX 2+ Tool・現在
NEC WiMAX 2+ Tool
データ通信量が通知するデータ通信量を超えています。
- ⑤  NEC WiMAX 2+ Tool・現在
NEC WiMAX 2+ Tool
スケジュール機能発動10分前です。

5-9 5GHz 帯で利用する

本製品では、無線 LAN (Wi-Fi[®]) に 5GHz 帯を利用することができます。

！ ご注意

- 5GHz 帯域を使用する場合、5.2GHz 帯域の屋外での使用は電波法により禁じられています。
- 5GHz 帯 (屋内) で使用しているとき、ウェイティングに移行しても、5GHz 帯 (屋内) を使用しています。屋外に移動しないでください。屋外に移動する場合は、設定を 5GHz (屋外 /W56) に変更してください。
- 屋外を選択したときは、気象レーダーなどとの干渉を避けるために DFS 機能によるチャンネルのサーチが 1 分程度かかります。(ディスプレイ上は「利用チャンネル確認中」が表示されます。)
- 設定後、無線 LAN (Wi-Fi[®]) 接続が切断されます。再度、無線 LAN (Wi-Fi[®]) 接続してください。
- 屋内とは天井と四方が壁に囲われた建造物の内部の空間をいい、駅のホームや自動車など乗り物の中は屋外の扱いとなりますので注意してください。

クイック設定 Web または本製品のディスプレイメニューで設定します。

■ クイック設定 Web で設定する場合

- 1** クイック設定 Web の [詳細設定 TOP へ] をクリックし、ログインする (▶ P.81)
- 2** ユーザー名とパスワードを入力し [OK] をクリックする
「ユーザー名」(上段)には「admin」と半角小文字で入力し、「パスワード」(下段)には管理者パスワードを入力してください。
・ 管理者パスワードについては「詳細設定にログインする」(▶ P.82) を参照してください。
- 3** [Wi-Fi 設定] - [Wi-Fi 設定] をクリックする
- 4** [Wi-Fi アクセスポイント(親機)設定]の帯域設定で、「5GHz (屋内)」または「5GHz 帯 (屋外)」を選択する
「5GHz 帯 Wi-Fi 利用にあたっての同意書」が表示されます。
同意書の内容を確認し、同意する場合は [OK] を選択してください。
- 5** [設定] をクリックする
- 6** メッセージが表示されるので、内容を確認して [OK] をクリックする

■ ディスプレイメニューで設定する場合

- 1** 本製品のディスプレイ (タッチパネル) をホーム画面表示にしてから、[クイックメニュー] - [Wi-Fi 設定] をタップする
- 2** [5GHz (屋内 /W52)] または [5GHz (屋外 /W56)] をタップする
「5GHz 帯 Wi-Fi 利用にあたっての同意書」が表示されます。
同意書の内容を確認し、同意する場合は [OK] を選択してください。
- 3** ディスプレイ (タッチパネル) に次のメッセージが表示されることを確認し、[OK] をタップする
屋内の場合：「5GHz (屋内 /W52) を使用します。屋内でのみご利用ください。屋外移動時は帯域を変更してください」
屋外の場合：無線チャンネル確認の後、「5GHz (屋外 /W56) を使用します」

5-10 最適な設置場所を探す

電波レベルのインジケータを12段階で、ディスプレイに表示します。電波レベルを確認しながら、本製品の最適な設置場所を探ることができます。

- 電波レベルは、20秒前から現在までの状態を表示するので、電波の安定度を確認できます。
- WX05 クレードル（別売）を使用すると、拡張アンテナにより通信品質が向上します。
- 電波レベルのインジケータ表示中は、ディスプレイは自動消灯しません。

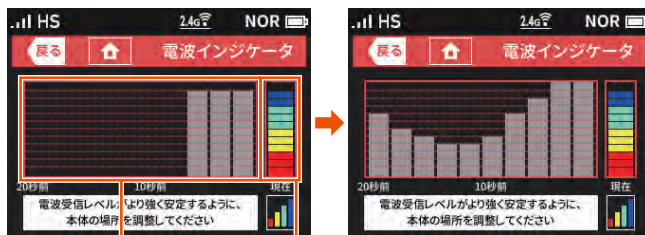
電波レベルのインジケータを表示する

- 1 本製品のディスプレイ（タッチパネル）をホーム画面表示してから、[クイックメニュー]－[電波インジケータ]をタップする



- 2 「電波インジケータ」画面で、電波レベルを確認する

電波レベルの推移を表示し、右側に現在の状態を表示します。



20秒前までの電波レベルの推移を表示（画面左側に推移していきます）
現在の電波レベルを表示（高いほど電波が強いです）

※ 電波レベルのインジケータ表示はイメージです。

電波インジケータがより高いレベルで安定するように、本製品の向きを変えて設置場所を決める。

- 3  ボタンをタップして、ホーム画面に戻す

5-11 Wi-Fi チャンネルを切り替える

周辺の Wi-Fi チャンネル (2.4GHz) の混雑状況をディスプレイに表示します。混雑状況を確認して、別のチャンネルに切り替えることができます。

- Wi-Fi 設定が、「2.4GHz」(初期値) のときに、「Wi-Fi チャンネル使用状況」画面を表示します。
(LAN 側無線選択が「Bluetooth」設定時、および Wi-Fi 設定が「5GHz (屋内/W52)」・「5GHz (屋外/W56)」・「OFF」時は、表示しません。)
- 「Wi-Fi チャンネル使用状況」画面は、1 分周期で更新します。

! ご注意

- 「Wi-Fi チャンネル使用状況」画面を表示中は、無線 LAN (Wi-Fi®) 接続を停止します。
- チャンネルを切り替えてもパフォーマンスが向上しない(変わらない)場合があります。
- 「Wi-Fi チャンネル使用状況」ボタンがグレー表示のときは、本機能を使用できません。

Wi-Fi チャンネル使用状況を表示する

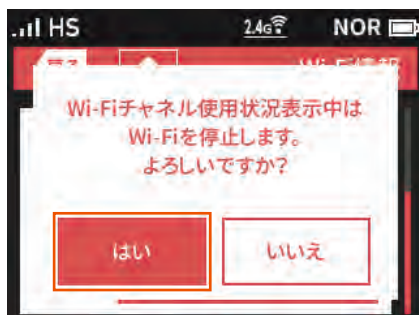
- 1 本製品のホーム画面から【情報】 - 【Wi-Fi 情報】 をタップする



- 2 「Wi-Fi 情報」画面をスライドし、「Wi-Fi チャンネル使用状況」をタップする

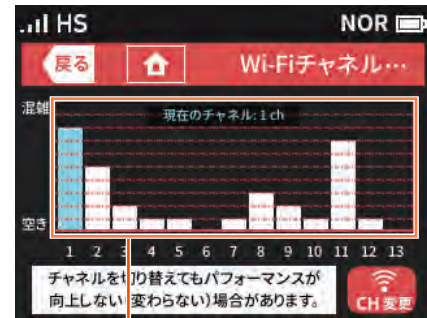


- 3 確認画面で、「はい」をタップする



- 4 Wi-Fi チャンネル使用状況画面で、周辺の Wi-Fi チャンネルの混雑状況を確認する

本製品で使用しているチャンネルは表示の色が異なります。(画面例は、1ch 使用)

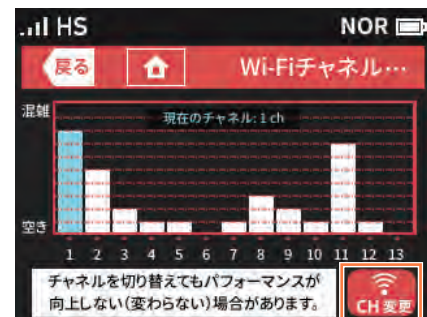


チャンネルごとの混雑状況を表示
(レベルが高いほど電波が混雑しています)

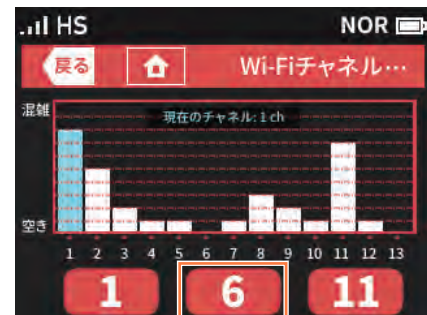
※ Wi-Fi チャンネル使用状況表示はイメージです。

Wi-Fi チャンネルを切り替える

- 1 Wi-Fi チャンネル使用状況画面で、「CH 変更」をタップする



- 2 電波の混雑状況を確認して、変更するチャンネル (1/6/11) をタップする



- 3 チャンネル変更処理後、ホーム画面に戻る

! ご注意

- 1/6/11 以外のチャンネル変更は、クイック設定 Web 「8-4 Wi-Fi 設定」(▶ P.87) からできます。

5-12 電池残量推移を確認する

電池残量の減りかたをディスプレイに表示します。残り予測時間は目安(参考値)です。

- 電池残量推移画面は、ACアダプタ接続時(充電中)・USBケーブル接続時・クレードルに接続時は表示しません。
- 電池残量表示(%)が「OFF」(初期設定)のとき、電池残量推移ボタンは表示しません。ホーム画面から[設定] - [ディスプレイ設定] - [電池残量表示(%)]で「ON」にします。(▶ P.115)
- 電池残量推移画面から、「省電力モード」画面を開くことができます。
- 「残り予測時間」は、電池残量が50%以下のとき表示します。

！ ご注意

- 電池残量推移は、以下のタイミングでリセットされます。
 - ACアダプタ接続時
 - USBケーブル接続時
 - クレードルに接続時
 - 休止時
 - ウェイトング時
 - 再起動時
 - 電源OFF時

電池残量推移を表示する

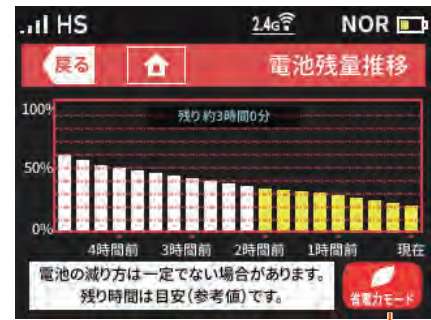
- 1 本製品のホーム画面から[情報] - [端末情報] をタップする



- 2 「端末情報」画面をスライドし、[電池残量推移] をタップする



- 3 電池残量推移画面で、減りかたを確認する



省電力モード

※ 残り予測時間表示はイメージです。

[省電力モード] をタップすると、省電力の設定ができます。「5-3 ECO機能を使う」(▶ P.58)の「省電力モードについて」を参照してください。

- 4  ボタンをタップして、ホーム画面に戻す

5-13 データ通信量推移を確認する

データ通信量推移をディスプレイに表示します。

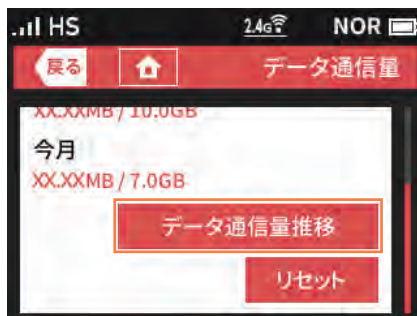
- データ通信量推移画面は、Wi-Fi アクセスポイントモードでクレードル（別売）に接続しているときは表示しません。
- データ通信量推移画面から、通信量設定画面を開くことができます。
- 正確なデータ通信量は、au ホームページ（My au）でご確認ください。

データ通信量推移を表示する

- 1 本製品のホーム画面から【情報】 - 【データ通信量】をタップする

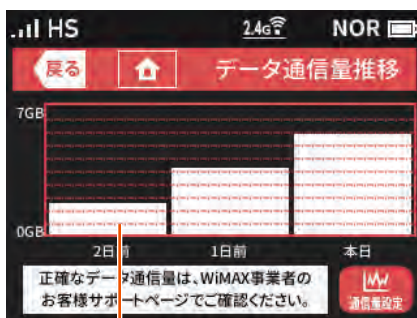


- 2 「データ通信量」画面をスライドし、【データ通信量推移】をタップする



【リセット】をタップすると、データ通信量をリセットします。

- 3 データ通信量推移画面で、データ通信量推移を確認する



3日間のデータ通信量（前日までの合計値）を表示

※ データ通信量推移表示はイメージです。

【通信量設定】をタップすると、通信量の設定ができます。

「10-1 ディスプレイメニュー一覧」（▶ P.114、P.115）の「設定」 - 「データ通信量」を参照してください。

- 4  ボタンをタップして、ホーム画面に戻す

5-14 データ通信量で通信を制限する

月ごとのデータ通信量に応じて、通信を制限（停止）することができます。通信を停止したとき、通信モードを選択して通信を再開できます。

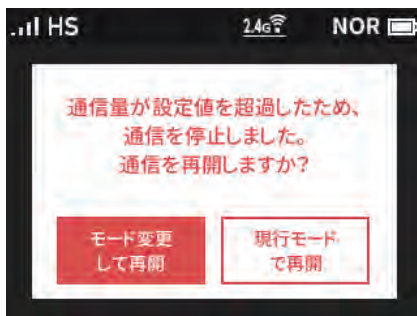
！ ご注意

- 「データ通信量超過通知機能」を「通知して通信を停止」に設定しておきます。
（初期設定：通知する）
操作方法：ホーム画面 - [設定] - [データ通信量設定] - [月次通信量設定] - [データ通信量超過通知機能] - [通知して通信を停止] をタップ
（「10-1 ディスプレイメニュー一覧」(▶ P.113 ~ 115) 参照）
- 「通知する設定値」の数字入力範囲は、1 ~ 99 [GB] です。
（初期設定：6 [GB]）
操作方法：ホーム画面 - [設定] - [データ通信量設定] - [月次通信量設定] - [通知する設定値] で数値を入力
（「10-1 ディスプレイメニュー一覧」(▶ P.113 ~ 115) 参照）
- 通信量カウントは、通信モード「ハイスピードモード（HS）」と「ハイスピードプラスエリアモード（HS+A）」それぞれまたは両方の合算値に設定できます。
（初期設定：通信量カウント（HS）：ON、通信量カウント（HS+A）：ON（両方の合算値））
（「10-1 ディスプレイメニュー一覧」(▶ P.113 ~ 115) 参照）

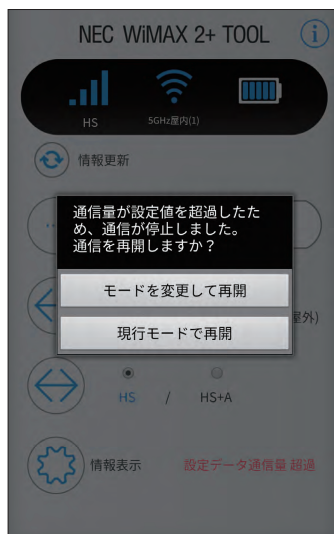
通信停止画面から通信を再開する

- 1 月次通信量の「通知する設定値」（初期設定：6 [GB]）を超えたとき、確認画面が表示されて、通信を停止する

<ディスプレイ画面>



<スマートフォンアプリ画面>



- 2 再開する通信モードを選択する

[モード変更して再開] または [現行モードで再開] をタップする

- 3 確認画面で、[OK] をタップする

通信が再開されます。

！ ご注意

- 通信モード変更で、「ハイスピードプラスエリアモード」に切り替えると、追加料金が別途かかる場合があります。手順 2 のあと、確認画面が表示されます。

5-15 その他の便利な機能

IP パケットフィルタリング

あらかじめ設定した条件に従って、インターネットへ通過するパケットを制限する機能です。

不必要なパケットの送受信を制限することができるので、セキュリティの高いネットワークが構築できます。

本製品では、「パケットフィルタエントリ」のパターンを最大50個設定できます。クイック設定 Web で設定します。(▶ P.94、▶ P.95)

ポートマッピング

ポートマッピング機能とは、あらかじめ固定的に使用するポート番号とパソコンを結びつける機能です。

本機能によりグローバルネットワーク側からの特定ポートの通信を指定したパソコンに送信できます。

必要に応じて NAT エントリ設定をすることで、外部のサイトから特定のパソコンへ直接アクセスすることが可能です。

ルータ機能ではアドバンスド NAT 機能 (IP マスカレード /NAPT) が働いてネットワークゲームができなくなる場合があります。

これは、外部のサイトから特定のポートへのアクセスができなかったり、ネットワークゲームで使用するポートが動的に変換されてしまったりするために起こります。本機能を使用することで、この問題を回避できることがあります。

そのほか、本製品のルータ機能を使っている環境に Web カメラなどを設置して、外部からアクセスすることが可能です。

クイック設定 Web で設定します。(▶ P.96)

UPnP 機能

UPnP (ユニバーサル・プラグアンドプレイ) 機能を利用すると、NAT による IP アドレスやポート番号の変換を気にすることなく、UPnP 機能対応アプリケーションを複数のパソコンから同時にご利用いただけます。

本製品とパソコン側の設定が必要です。本製品の設定は初期値で「使用する」になっていますので、パソコンで、UPnP の設定をすることで、利用できます。

クイック設定 Web で設定します。(▶ P.97)

Windows パソコンで UPnP 設定をする

Windows 10 の場合の例です。

- 1 「Windows」キーを押し、表示された一覧から [Windows システムツール] - [コントロールパネル] をクリックする
Windows 7 の場合は、[スタート] (Windows のロゴボタン) - [コントロールパネル] をクリックします。
- 2 [ネットワークとインターネット] をクリックする
- 3 [ネットワークと共有センター] をクリックする
- 4 [共有の詳細設定の変更] をクリックする
- 5 「ネットワーク探索を有効にする」にチェックして [変更の保存] または [適用] をクリックする
- 6 本製品の UPnP が正常に動作すると、「ネットワーク」に「Speed Wi-Fi NEXT router」アイコンが表示される

memo

© UPnP 機能は、Windows 10/8.1/7 のパソコンでのみご利用になれます。

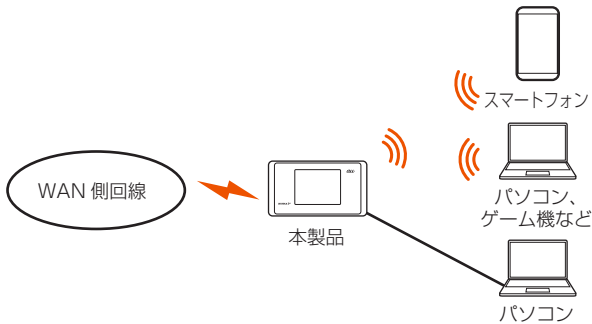
6章 セキュリティ対策をする

6-1 セキュリティ機能について	75
------------------------	----

6-1 セキュリティ機能について

セキュリティ機能について

本製品には、WAN 側からの不正なアクセスを防ぐセキュリティ機能と、無線 LAN (Wi-Fi[®]) ネットワーク内のデータのやりとりを他人に見られたり、不正に利用されないためのセキュリティ機能があります。必要に応じてセキュリティの対策を行うことができます。セキュリティ対策の詳細については各ページを参照してください。



WAN 側セキュリティ

- IP パケットフィルタリング (▶ P.73)
- アドバンスド NAT (IP マスカレード /NAPT) (▶ P.76)
- 不正アクセス検出機能 (▶ P.76)
- ダイナミックポートコントロール機能 (▶ P.76)

無線 LAN (Wi-Fi[®]) 内ネットワークセキュリティ

- 暗号化※ (▶ 右記)
- MAC アドレスフィルタリング機能 (▶ P.76)
- ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽) (▶ 右記)
- ネットワーク分離機能 (▶ P.76)
- プライバシーセパレータ機能 (▶ P.76)

※本製品は、工場出荷時の状態で「プライマリ SSID」に AES、「セカンダリ SSID」に WEP (128bit) の暗号化が設定されています。

セキュリティ対策を行うことの重要性について

- ◎ インターネットに接続すると、ホームページを閲覧したり、電子メールで情報をやりとりすることができ、とても便利です。しかし、同時に、お使いのパソコンはインターネットからの不正なアクセスの危険にさらされることになります。悪意のある第三者から、パソコンやルータに不正にアクセスされることによって、大事なデータを盗まれたり、ブロードバンド回線を無断利用されたりすることも考えられます。特にインターネットに常時接続したり、サーバなどを公開したりする場合にはその危険性を考慮して、必要なセキュリティ対策を行う必要があります。本製品の機能を利用してセキュリティ対策を行ってください。また、ウイルス対策ソフトウェアの導入など、パソコン側のセキュリティ対策も合わせて行うことをおすすめします。
- ◎ 無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末による無線通信を行う場合は、無線 LAN (Wi-Fi[®]) 内のセキュリティを行うことをおすすめします。無線 LAN (Wi-Fi[®]) 内のセキュリティがない状態では、離れた場所から、お使いの無線ネットワークに入り込まれる危険性があります。無線ネットワーク内に入り込まれると、パソコンのデータに不正にアクセスされたり、あなたになりすましてブロードバンド回線を使用し、インターネット上で違法行為などを行われることがあります。

暗号化

本製品で使用している暗号化キー（任意の文字列）と同じキーを登録した無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末のみ無線 LAN (Wi-Fi[®]) 通信できるようになる機能です。これにより、送受信される無線データを暗号化して保護しますので、第三者からの傍受や盗聴から守ります。1 つのネットワークでご利用になれる暗号化モードは 1 つです。

■ 暗号化モードについて

● WEP

WEP (Wired Equivalent Privacy) とは、ユーザーが指定した任意の文字列（暗号化キー）を本製品と無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末（パソコン、スマートフォンなど）に登録することによって、暗号化キーが一致した場合のみ通信ができるようになる機能です。

● TKIP/AES

TKIP (Temporal Key Integrity Protocol) は、Wi-Fi Alliance のセキュリティプロトコル (WPA/WPA2) に採用された暗号化モードです。

一定パケット量や一定時間ごとにキーを自動的に変更して暗号化を行うため、WEP よりさらに強固なガードを実現します。

AES (Advanced Encryption Standard) は、米国商務省標準技術局 (NIST) が選定した次世代の暗号化モードです。TKIP よりさらに強固な暗号化を行うことができます。

memo

- ◎ 暗号化の設定は必ず本製品と無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末で同じ設定にしてください。
- ◎ 複数の無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末を使用する場合、すべての無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末に本製品と同じ暗号化キーを設定してください。
- ◎ TKIP, AES の暗号化モードをご利用になるには、対応した無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末が必要です。
- ◎ 本製品を初期化した場合は、Wi-Fi 設定内容が工場出荷時の状態に戻ります。

ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽)

無線 LAN (Wi-Fi[®]) 機器が、通信するお互いを識別する ID としてネットワーク名 (SSID と呼びます) があります。

このネットワーク名 (SSID) が一致しないと無線 LAN (Wi-Fi[®]) 通信ができません。

一般に、ネットワーク名 (SSID) は無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末から検索することができるため、本製品に接続していない無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末からも本製品のネットワーク名 (SSID) が見えてしまいます。この機能を利用し、外部からネットワーク名 (SSID) を検索されたときに知らせないことでセキュリティを強化することができます。クイック設定 Web で設定します。(▶ P.87)

memo

- ◎ ESS-ID ステルス機能を有効にすると、無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末から、検索できなくなるため、ネットワーク名 (SSID)、暗号化モード、暗号化キーを直接入力してください。
- ◎ Windows パソコンで ESS-ID ステルス機能を有効にすると、「ネットワーク名をブロードキャストしない」状態になり、パソコンを再起動後に無線接続できなくなる場合があります。

MAC アドレスフィルタリング機能

本製品は、工場出荷時で無線 LAN (Wi-Fi®) のセキュリティ設定 (暗号化) されていますが、MAC アドレスフィルタリング機能を設定することでさらに無線 LAN (Wi-Fi®) のセキュリティを強化することができます。通常、無線 LAN (Wi-Fi®) のネットワークは電波の届く範囲からならどこからでも接続できるため、正規の利用者以外は利用できないようにする必要があります。本機能は、特定の MAC アドレスからしか接続できないようにする機能です。登録した無線 LAN (Wi-Fi®) 端末以外は接続できなくなります。クイック設定 Web で設定します。(▶ P.87、▶ P.88)

memo

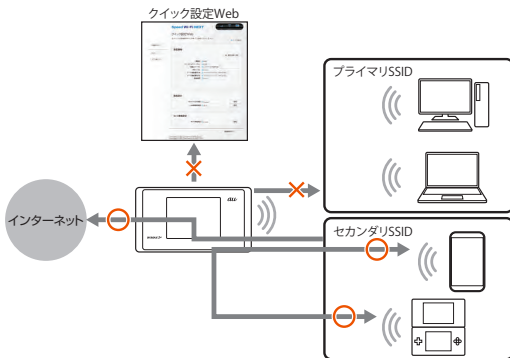
◎ MAC アドレスフィルタリング設定後に無線 LAN (Wi-Fi®) 端末を増設する場合は、「らくらく無線スタート」をご利用ください。それ以外の方法で無線 LAN (Wi-Fi®) 設定する場合は、すでに利用している端末などから増設する無線 LAN (Wi-Fi®) 端末の MAC アドレスをあらかじめ登録するか、いったん MAC アドレスフィルタリングの設定を解除する必要があります。

ネットワーク分離機能

本製品には 2 つのネットワーク「プライマリ SSID」「セカンダリ SSID」がありますが、「ネットワーク分離機能」を使用することで、異なる SSID (接続先) のネットワークを分離してアクセスを制限することができます。

セカンダリ SSID は、工場出荷状態で「ネットワーク分離機能」が「使用する」に設定されています。その結果、セカンダリ SSID に接続した無線 LAN (Wi-Fi®) 端末からは、プライマリ SSID に接続した無線 LAN (Wi-Fi®) 端末や本製品に有線で接続した端末へのアクセスが制限され、インターネットやセカンダリ SSID に接続した無線 LAN (Wi-Fi®) 端末への接続のみが可能になります。

■セカンダリ SSID を「使用する」に設定した場合の例



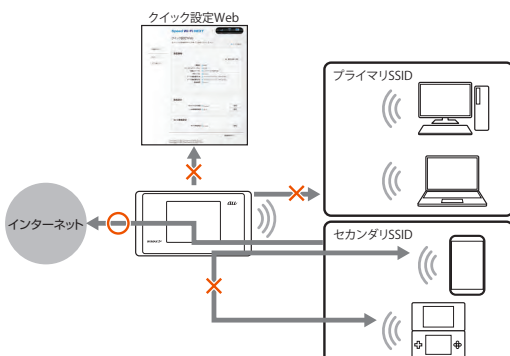
セカンダリ SSID に接続した無線 LAN (Wi-Fi®) 端末からは、次へのアクセスができなくなります。

- ・ クイック設定 Web
 - ・ プライマリ SSID のネットワークに接続された無線 LAN (Wi-Fi®) 端末
 - ・ 本製品に有線で接続された端末
- インターネットやセカンダリ SSID のネットワークに無線 LAN (Wi-Fi®) 接続された端末との通信は可能です。

プライバシーセパレータ機能

「ネットワーク分離機能」のセキュリティをさらに高めるために、「プライバシーセパレータ機能」を使用することで同一のネットワークに無線 LAN (Wi-Fi®) 接続された端末との通信も制限することができます。

■セカンダリ SSID を「使用する」に設定した場合の例



セカンダリ SSID に接続した無線 LAN (Wi-Fi®) 端末からは、次へのアクセスができなくなります。

- ・ クイック設定 Web
 - ・ 本製品に接続された無線 LAN (Wi-Fi®) 端末
 - ・ 本製品に有線で接続された端末
- インターネットへの通信のみ可能です。

memo

◎「プライバシーセパレータ機能」は、「ネットワーク分離機能」を使用する場合のみご利用いただけます。

アドバンスド NAT (IP マスカレード /NAPT)

アドバンスド NAT (IP マスカレード /NAPT) とは、WAN 側の 1 つの IP アドレスを LAN 側の複数のプライベートアドレスに変換する機能です。

これにより、1 つの IP アドレスで、プライベート IP アドレスを持つ複数のパソコンなどが同時にインターネット接続することができます。通信事業者によっては WAN 側にプライベート IP アドレスを割り当てられる場合があります。

不正アクセス検出機能

外部からの不正と思われるアクセスを監視し、通信情報ログに残すとともに不正パケットを廃棄します。

検出できる不正アクセスの種類は、下記の通りです。

- ・ LAND 攻撃
- ・ Smurf 攻撃
- ・ IP Spoofing 攻撃

「LAND 攻撃」を防ぐフィルタは、「セキュリティ保護機能」で「使用する」を選択していなくても有効になります。

クイック設定 Web の「セキュリティ設定」で設定します。(▶ P.97)

ダイナミックポートコントロール機能

LAN 側の無線 LAN (Wi-Fi®) 端末 (パソコンなど) がアクセスすると、それに応じて WAN 側のポートが開き、通信を開始します。

データの受け取りが終わるか、または内部のタイマ (TCP タイマ / UDP タイマ) で設定してある一定の時間を超えると、自動的に WAN 側のポートが閉じます。

このような動的開閉制御をダイナミックポートコントロールと呼びます。

本機能により外部へのアクセスが行われていないときは、ポートがすべてフィルタリングされていますので、外部からの不正なアクセスを防ぐことができます。

クイック設定 Web の「NAPT 設定」の「TCP タイマ」「UDP タイマ」で設定します。(▶ P.97)

memo

◎ TCP タイマ / UDP タイマは、NAPT 機能 (IP マスカレード) を使用する際の IP アドレス / ポート番号の動的変換テーブルの有効保持時間 (秒) です。

◎ NAPT テーブルが枯渇して通信ができなくなるアプリケーションを利用する場合は、TCP タイマ / UDP タイマを短めに設定すると解決できることがあります。

7章 工場出荷時の状態に戻す（初期化）

7-1 ディスプレイメニューで初期化する.....	78
7-2 クイック設定 Web で初期化する.....	79

7-1 ディスプレイメニューで初期化する

初期化とは、本製品に設定した内容を消去して工場出荷時の状態に戻すことを言います。

本製品がうまく動作しない場合は、本製品を初期化してはじめてから設定し直すことをおすすめします。

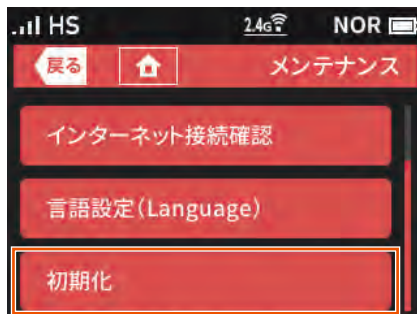
初期化をしても、お客様がバージョンアップしたファームウェアはそのままです。

！ ご注意

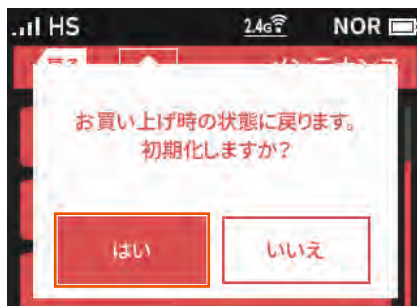
- 設定値を初期化すると、今までに設定した内容は消去されます。設定内容を復元したい場合は、クイック設定 Web の「メンテナンス」－「設定値の保存&復元」で現在の設定内容を保存し、初期化後に復元してください。

ディスプレイメニューで初期化する

- 1 本製品のディスプレイ（タッチパネル）をホーム画面表示にしてから、[設定]－[メンテナンス]－[初期化] をタップする



- 2 「お買い上げ時の状態に戻ります。初期化しますか？」と表示されるので、[はい] をタップする



- 3 「再起動します。」と表示される



- 4 再起動し、ディスプレイがホーム画面表示される

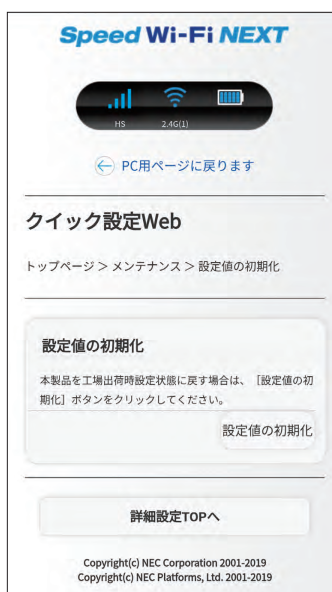
7-2 クイック設定 Web で初期化する

クイック設定 Web で初期化する

- 1 パソコンまたはスマートフォンを起動する
本製品とパソコンまたはスマートフォンがネットワーク接続されていることを確認します。
- 2 Web ブラウザを起動し、「http://192.168.179.1/」を入力してクイック設定 Web を開く
- 3 [詳細設定 TOP へ] ボタンをクリックする
- 4 ログイン画面が表示されたらユーザー名/管理者パスワードを入力し、[OK] を選択する
「ユーザー名」(上段)には「admin」と半角小文字で入力し、「パスワード」(下段)には管理者パスワードを入力してください。
・ 管理者パスワードについては「詳細設定にログインする」(▶ P.82) または「クイック設定 Web を起動する」(▶ P.104) を参照してください。
管理者パスワード未設定の場合はパスワードの設定画面が表示されません。(▶ P.82)
- 5 「メンテナンス」の「設定値の初期化」を選択する
- 6 「設定値の初期化」をクリックする



(パソコンの画面)



(スマートフォンの画面)

- 7 [OK] をクリックする
再起動します。

8章 機能設定

8-1 クイック設定 Web について	81
8-2 各種機能の詳細設定をする（詳細設定）	83
8-3 ネットワーク設定	84
8-4 Wi-Fi 設定	87
8-5 Bluetooth 設定	90
8-6 ECO 設定	91
8-7 セキュリティ設定	92
8-8 詳細設定	93
8-9 メンテナンス	98
8-10 情報	102

8-1 クイック設定 Web について

本製品に接続したパソコンなどの Web ブラウザから、Speed Wi-Fi NEXT WX05 の設定ツールを使用して本製品に設定することができます。手順は無線 LAN (Wi-Fi®) で接続した場合を例にしています。本製品では、Speed Wi-Fi NEXT WX05 の設定ツールを「クイック設定 Web」と呼びます。

memo

- ◎ クイック設定 Web が利用できる Web ブラウザについては、「接続端末の準備」(▶ P.23) を参照してください。
- ◎ 説明に使用している画面表示は、お使いの Web ブラウザや OS によって異なります。
- ◎ クイック設定 Web の画面デザインは変更になることがあります。
- ◎ 無線 LAN (Wi-Fi®) 接続でクイック設定 Web を表示させる場合は、プライマリ SSID に接続してください。
- ◎ 本製品をクレードル (別売) に接続し、Wi-Fi アクセスポイントモードで使用する場合は、クイック設定 Web を開くことができません。
本製品をクレードル (別売) から外してから行ってください。

クイック設定 Web を起動する

1 パソコンを起動する

本製品とパソコンがネットワーク接続されていることを確認します。

2 Web ブラウザを起動し、アドレス入力欄に

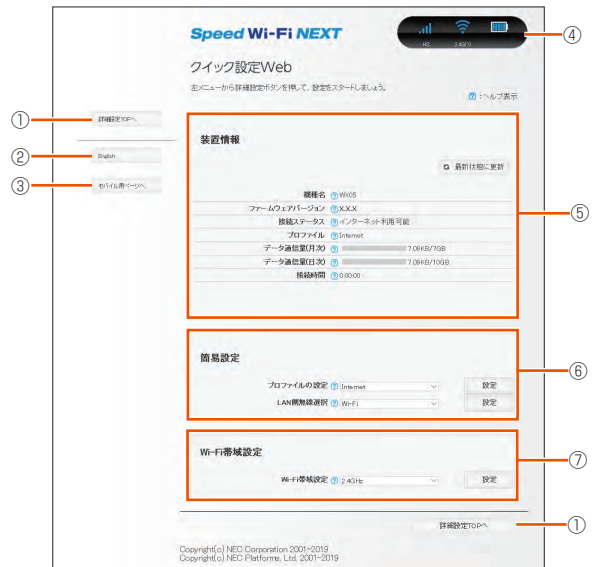
「http://192.168.179.1/」を入力する

クイック設定 Web が表示されます。

! ご注意

- 本製品のメニュー操作中など、ディスプレイ点灯中に、クイック設定 Web で設定変更すると「処理中のためリクエストを受け付けることができません。しばらくしてから、再度実行してください。」と表示されます。その場合は、メニュー操作をやめ、ホーム画面表示に戻すまたはロック画面表示し設定変更を行ってください。
- ディスプレイ表示中 (ホーム画面とロック画面以外) のときは、クイック設定 Web で設定できません。また、クイック設定 Web で設定中に本製品のタッチパネルを操作すると、クイック設定 Web での設定が中断される場合があります。

クイック設定 Web のトップページ



① 詳細設定 TOP へ

詳細設定をする場合は、ここからログインをし、各種機能の詳細設定をします。

② 言語

日本語と英語の切り替えができます。

トップページで変更する場合は、ログインが必要です。

③ モバイル用ページへ

スマートフォンから操作するための画面を表示します。

④ ピクト情報

WAN 側回線の電波状態、Bluetooth (接続台数)、Wi-Fi (接続台数)、電池残量を表示します。

⑤ 装置情報

以下の情報が表示されます。

- ・機種名
- ・ファームウェアバージョン
- ・接続ステータス
- ・プロファイル
- ・データ通信量 (月次、日次)
- ・接続時間

⑥ 簡易設定

簡単な設定ができます。

- ・プロファイルの設定
使用するプロファイルをプルダウンで選択します。
- ・LAN 側無線選択
Wi-Fi/Bluetooth を選択します。

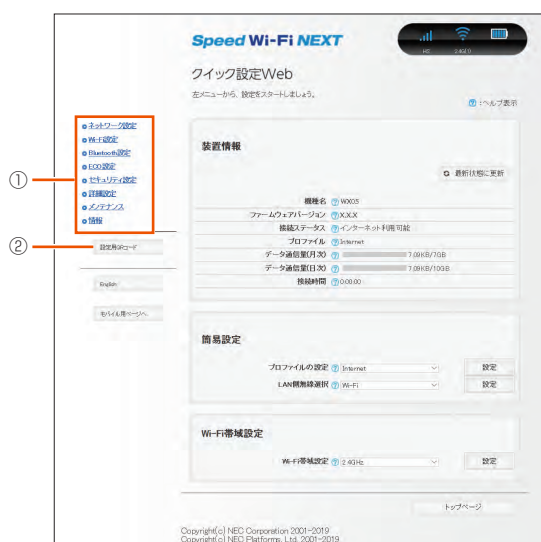
⑦ Wi-Fi 帯域設定

無線 LAN (Wi-Fi®) 帯域の切り替えができます。2.4GHz、5GHz (屋内)、5GHz (屋外) から選択します。

詳細設定にログインする

- 1 クイック設定 Web のトップ画面の [詳細設定 TOP へ] をクリックする
- 2 管理者パスワードの初期設定画面が表示されたら、「パスワード」(パスワード再入力) 欄にパスワード(任意の文字列)を入力し、「設定」をクリックする
 設定後、クイック設定 Web のトップ画面に戻りますので、再度 [詳細設定 TOP へ] をクリックしてください。
 - パスワードに使用できる文字は、0 ~ 9、a ~ z、A ~ Z、- (ハイフン)、_ (アンダースコア) で、最大半角 64 文字まで有効です。このパスワードは、本製品「クイック設定 Web」を開くときに必要となります。忘れないように控えておいてください。
 - この画面は管理者パスワードが未設定の場合に表示されます。
- 3 ユーザー名とパスワードを入力する
 「ユーザー名」(上段)には「admin」と半角小文字で入力し、「パスワード」(下段)には、手順 2 で控えた管理者パスワードを入力してください。
- 4 [OK] をクリックする

詳細設定のトップページ設定画面



- ① 設定メニュー
 - ネットワーク設定
 - Wi-Fi 設定
 - Bluetooth 設定
 - ECO 設定
 - セキュリティ設定
 - 詳細設定
 - メンテナンス
 - 情報
- ② 設定用 QR コード

8-2 各種機能の詳細設定をする (詳細設定)

画面左の設定メニューから設定する機能を選択する

- ネットワーク設定
WAN 側回線の接続に関する詳細機能を設定します。(▶ P.84)
- Wi-Fi 設定
無線 LAN (Wi-Fi[®]) 機能に関する詳細機能を設定します。(▶ P.87)
- Bluetooth 設定
Bluetooth[®] テザリング機能に関する情報を表示します。(▶ P.90)
- ECO 設定
ECO 機能に関する詳細機能を設定します。(▶ P.91)
- セキュリティ設定
本製品が、紛失・盗難などにより不正に利用されないために、セキュリティとしてパスコードを設定します。(▶ P.92)
- 詳細設定
ポートマッピングや IP パケットフィルタリングなどのセキュリティに関する詳細機能を設定します。(▶ P.93)
- メンテナンス
ファームウェアの更新や初期化などのメンテナンスに関する詳細機能を設定します。(▶ P.98)
- 情報
現在の状態などを表示します。(▶ P.102)

8-3 ネットワーク設定

WAN 側回線への接続方法や省電力モードなどを設定します。

基本設定

通信モードの設定ができます。ハイスピードモード、ハイスピードプラスエリアモードから選択します。

ハイスピードプラスエリアモードに切り替えてご利用の場合、所定の追加料金が別途かかる場合があります。

パフォーマンスの設定ができます。ハイパフォーマンスモード、ノーマルモード、エコモードから選択します。

ハイパフォーマンスモードは、通信速度は制限しませんが、連続動作時間は短くなります。

エコモードは、通信速度を制限して、連続動作時間が長くなるようにします。

ノーマルモードは、電池残量が十分にある状態では通信速度は制限しませんが、電池残量が少ない状態では通信速度を制限し連続動作時間が長くなるようにします。この切り替えは、WAN 側回線の無通信状態が継続した際に行います。

充電時高パフォーマンスを「使用する」に設定すると、充電時に省電力モードによる WAN 側回線 (WiMAX 2+ / LTE) の通信速度の制限がなくなります。

ワンタイム機能の使いかたは、「4-2 通信モードを切り替える」の「ワンタイム HS+A」モードに切り替える」(▶ P.53) を参照してください。



1 項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
基本設定			
通信モード	通信モードを選択します。	ハイスピードモード、ハイスピードプラスエリアモード(※ 1)	ハイスピードモード
WiMAX ハイパワー	WAN 側の送信出力強化 (HPUE) を使用する場合は、有効にします。充電時のみ ON を選択した場合、充電中に送信出力強化が有効になります。建物内などの電波が弱いエリアでの通信速度が改善します。	充電時のみ ON、常時 ON、OFF(※ 2)	常時 ON
省電力モード	本製品を省電力モードに設定すると WAN 側回線および無線 LAN (Wi-Fi®) の通信を制限して省電力化します。	ハイパフォーマンス、ノーマル、エコ	ノーマル
充電時高パフォーマンス	充電時に省電力モードによる WAN 側回線 (WiMAX 2+ / LTE) の通信速度の制限がなくなります。		(チェックなし)

ワンタイム HS+A 設定

解除するデータ通信量	解除するデータ通信量を入力します。解除するデータ通信量の値を少し越えたところで解除する可能性があります。通知するデータ通信量を停止した値から少し余裕を持って設定してください。	1 ~ 99 GB	6 GB
ワンタイム HS+A(※ 1)	一時的にハイスピードプラスエリアモードに切替後、時間経過でハイスピードモードに切替わります。		

※ 1: 「ハイスピードプラスエリアモード」または「ワンタイム HS+A モード」へ切り替えてご利用の場合、所定の追加料金が別途かかる場合があります。

※ 2: WiMAX ハイパワーの送信出力強化は、連続動作時間に影響します。電力の消耗を抑える場合は、「充電時のみ ON」または「OFF」を設定してください。

2 「設定」をクリックする

接続設定

プロファイルの選択ができます。



1 項目を設定する

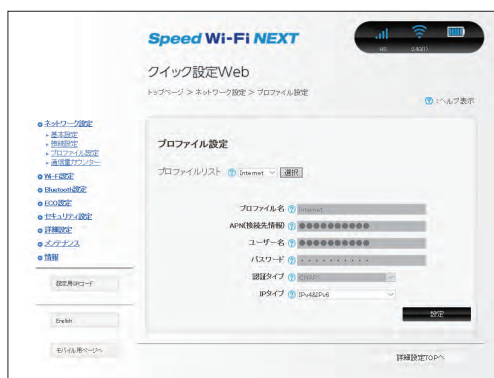
設定項目	説明	設定範囲	初期値
プロファイル選択	使用するプロファイルを選択します。	お買い上げ時に登録されているプロファイルを含む最大 12 件※	Internet (登録されているプロファイル名) ※

※お買い上げ時に設定されているプロファイル「Internet」は、変更、削除できません。

2 「設定」をクリックする

プロフィール設定

プロフィール（インターネットサービスプロバイダなどの接続設定）の登録、編集ができます。



（画面はお買い上げ時に設定されているプロフィールです）

■ プロファイルを新規に設定する場合

- 1 「プロフィールリスト」のプルダウンで「no setup」を選択し、[選択]をクリックする
- 2 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
プロフィール名	新規に設定する場合、任意のプロファイル名を入力します。	最大 64 文字（半角）までの文字列。全角の場合は 32 文字まで（?、半角スペースを除く）	Internet（登録されているプロフィール名） ※ 1、※ 2
APN（接続先情報）	APN（接続先情報）を入力します。	最大 62 文字（半角英数記号）（?、（半角スペース）、&、.、:、;、<、>、\を除く）	●●●●●●●● ※ 1、※ 2
ユーザー名	ユーザー名を入力します。	最大 63 文字（半角英数記号）（?、半角スペースを除く）	●●●●●●●● ※ 1、※ 2
パスワード	パスワードを入力します。	最大 63 文字（半角英数記号）（?、半角スペースを除く）	●●●●●●●● ※ 1、※ 2
認証タイプ	認証タイプを選択します。	CHAP、PAP	CHAP ※ 1、※ 2
IP タイプ	IP タイプを選択します。	IPv4、IPv4&IPv6、IPv6	IPv4&IPv6 ※ 2

※ 1 お買い上げ時に設定されているプロフィール「Internet」は、変更、削除できません。

※ 2 新規設定では、「プロフィール名」から「パスワード」までは空欄です。「認証タイプ」の「CHAP」、「IP タイプ」の「IPv4」が表示されます。

- 3 [設定] をクリックする

■ 作成したプロフィールを編集する場合

- 1 「プロフィールリスト」から編集したいプロフィールを選択し、[選択] をクリックする
- 2 編集が終了したら [設定] をクリックする

作成したプロフィールを個別に削除することはできません。

ただし、削除したいプロフィールに新規に登録するプロフィールを上書きすることはできます。

！ ご注意

- 初期化にて工場出荷時の状態に戻した場合、お買い上げ時に設定されているプロフィール以外はすべて削除され、その他の設定済みの項目も工場出荷時の状態に戻ります。

通信量カウンター

データ通信量の確認や設定を行います。カウントするデータ通信量は目安であり、実際のデータ通信量とは異なる場合があります。データ通信量を手動でクリアするときは、[クリア] をクリックしてください。

また、本製品を初期化した場合、別の au IC カードを挿して起動した場合（PIN 認証が有効のときは、認証後）は、データ通信量はクリアされます。起動中に電池パックを脱着した場合には、その時点で保存されていないデータ通信量はクリアされます。



1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
月次通信量			
通信量カウント (HS) ※ 1	ハイスピードモードでデータ通信量をカウントする場合はチェックします。		使用する
通信量カウント (HS+A) ※ 1	ハイスピードプラスエリアモードでデータ量をカウントする場合はチェックします。		使用する
最大データ通信量設定	最大データ通信量を設定します。通知するデータ通信量より小さい値は設定できません。	入力できる範囲は「1-99(GB)」です。	7
カウント開始日 ※ 2	通信量カウンターのカウント開始日を入力します。毎月、カウント開始日に通信量カウントをクリアします。	入力できる範囲は「1～31(日)」です。	1
通知設定	使用する通知設定を選択します。通知する場合、「通知するデータ通信量設定」で設定したデータ通信量を超えると通信量カウンターのページにダイアログが表示され、通知します。通知して通信を停止する場合、通知と合わせて通信を停止します。	使用しない、通知する、通知して通信を停止	通知する
通知するデータ通信量設定	通知するデータ通信量を設定します。最大データ通信量より大きい値は設定できません。	入力できる範囲は「1-99(GB)」です。	6
日次通信量 ※ 3			
通信量カウント (HS)	ハイスピードモードでデータ量をカウントする場合はチェックします。		使用する
通信量カウント (HS+A)	ハイスピードプラスエリアモードでデータ量をカウントする場合はチェックします。		使用する
上限値 (3日間)	日次カウンターの通信量表示の上限値を設定します。	入力できる範囲は「1-99(GB)」です。	10

※ 1 「通信量カウント (HS)」と「通信量カウント (HS+A)」を両方共に「使用する」(初期値)にすると、「データ通信量表示」に HS モードと HS+A モードの通信量の合算値を表示します。

※ 2 「カウント開始日」を毎月 31 日に設定したとき、31 日までない月の場合は、その月の最終日にカウントが開始されます。

※ 3 日次通信量は、時刻情報が取得できないと表示しません。

2 [設定] をクリックする

8-4 Wi-Fi 設定

無線 LAN (Wi-Fi[®]) 機能の各種設定ができます。

Wi-Fi 設定

本製品は、無線 LAN (Wi-Fi[®]) アクセスポイント (親機) として複数のネットワーク名 (SSID) を持つことができます。それぞれのネットワーク名 (SSID) に対して異なるセキュリティ設定 (暗号化機能、ESS-ID ステルス機能、MAC アドレスフィルタリング機能) を行うことができます。

本製品の SSID は、2.4GHz 帯と 5GHz 帯で同じ SSID を使用しています。



(画面はプライマリ SSID の設定画面です)

■ 対象ネットワークを選択

- 1 設定するネットワーク名 (SSID) を選択する
- 2 [選択] をクリックする

■ プライマリ SSID (WPA2/WPA) を設定する場合

- 1 各項目を設定する

以下の項目は、プライマリ SSID で設定できる項目のみです。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
Wi-Fi アクセスポイント (親機) 設定			
無線機能	無線 LAN (Wi-Fi [®]) を使用する場合はチェックします。		使用する
ネットワーク名 (SSID)	ネットワーク名 (SSID) を入力します。	最大 32 文字までの半角英数字、- (ハイフン)、_ (アンダースコア)	SPWN_N35_XXXXX ※ 1
帯域設定	使用する無線 LAN (Wi-Fi [®]) の帯域を設定します。	2.4GHz、5GHz (屋内)、5GHz (屋外)	2.4GHz
ネットワーク分離機能	ネットワーク分離機能を使用する場合はチェックします。		(チェックなし)

設定項目	説明	設定範囲	初期値
プライバシーセパレータ機能	プライバシーセパレータ機能を使用する場合はチェックします。		(チェックなし)
SSID・暗号化キー表示	SSID 表示を使用する場合はチェックします。「使用する」に設定した場合は、ディスプレイメニューにて SSID と暗号化キーを表示できます。		使用する
2.4GHz 設定			
デュアルチャネル機能	デュアルチャネル機能を使用する場合はチェックします。		(チェックなし)
使用チャネル	使用チャネルを選択します。オートチャネルセレクト機能を選択した場合、空いているチャネルを検出し、電波状態の良いチャネルを自動選択します。	オートチャネルセレクト機能、1、2、…、12、13	オートチャネルセレクト機能 ※ 2
暗号化			
暗号化モード	暗号化モードを選択します。	暗号化無効、WPA/WPA2-PSK (AES)、WPA2-PSK (AES)、WPA/WPA2-PSK (TKIP/AES)	WPA/WPA2-PSK (AES)
WPA 暗号化キー (PSK)	暗号化キーを入力します。	8 文字以上 63 文字までの英数記号 (0 ~ 9、a ~ z、A ~ Z) または、64 桁の 16 進数 (0 ~ 9、a ~ f、A ~ F)	XXXXXXXXXX XXX
暗号化キー更新間隔 (分)	暗号化キーの更新間隔 (分) を入力します。WPA では、暗号化キーは一定期間ごとに自動更新され、より安全な状態を保ちます。	0 (更新なし)、1 ~ 1440 分	30
Wi-Fi 端末 (子機) の接続制限			
ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽)	ESS-ID ステルス機能を使用する場合はチェックします。あらかじめ本製品のネットワーク名 (SSID) を知っている無線 LAN (Wi-Fi [®]) 端末以外からの本製品への接続を制限できます。		(チェックなし)
MAC アドレスフィルタリング機能	本製品に設定されている MAC アドレスを持つ無線 LAN (Wi-Fi [®]) 端末以外から本製品への接続を制限する場合は、チェックします。		(チェックなし)
拡張設定			
送信出力	無線 LAN (Wi-Fi [®]) の送信出力を選択します。送信出力を抑えると他のネットワークへの電波干渉を回避できます。	100%、50%、25%、12.5%	100%
Wi-Fi 暗号化強化	Wi-Fi 管理フレームの一部を保護する機能 (PMF) を有効にします。本機能の使用を要求してきた無線 LAN (Wi-Fi [®]) 端末に対してのみ、保護機能が働きます。		使用する ※ 3

※ 1 ご利用の端末ごとの SSID が表示されます。

※ 2 無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末の通信で、オートチャネルセレクトは、1/6/11ch のいずれかを選択します。

オートチャネルセレクトはチャンネル設定として、1/6/11ch のいずれかにすることを推奨していますが、無線 LAN (Wi-Fi[®]) 以外のシステムとの干渉を避けるために推奨のチャンネル以外を使用しなければならないときは、手動でチャンネル変更してください。

※ 3 本製品をご使用開始時、最初に電源を入れたとき (または初期化したあと) に表示される「ご利用にあたっての注意事項」画面で [はい] を選択した場合、または [NEC WIMAX 2+ Tool] を起動時の「Wi-Fi の通信性能を最適にしますか？」画面で [はい] を選択した場合は、「(チェックなし)」になります。

2 [設定] をクリックする

■ セカンダリ SSID (WEP) を設定する場合

「対象ネットワークを選択」で「セカンダリ SSID」を選択し、[選択] をクリックしてください。

1 各項目を設定する

セカンダリ SSID を有効にしてから設定内容の変更をしてください。「無線機能」の「使用する」にチェックします。

以下の項目は、セカンダリ SSID で設定できる項目のみです。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
Wi-Fi アクセスポイント (親機) 設定			
無線機能	無線 LAN (Wi-Fi [®]) を使用する場合はチェックします。		(チェックなし)
ネットワーク名 (SSID)	ネットワーク名 (SSID) を入力します。	最大 32 文字までの半角英数字、- (ハイフン)、_ (アンダースコア)	SPWN_N35_XXXXXX_2※
ネットワーク分離機能	ネットワーク分離機能を使用する場合はチェックします。		使用する
プライバシーシーセパレータ機能	プライバシーシーセパレータ機能を使用する場合はチェックします。		(チェックなし)
暗号化			
暗号化モード	暗号化モードを選択します。	暗号化無効、WEP、WPA/WPA2-PSK (AES)、WPA2-PSK (AES)、WPA/WPA2-PSK (TKIP/AES)	WEP
暗号強度	WEP を利用する場合は、暗号強度は 128bit になります。本製品と通信する無線 LAN (Wi-Fi [®]) 端末も同じ暗号強度に対応している必要があります。	128bit	128bit
指定方法	WEP を利用する場合の暗号化キーの指定方法を表示します。	英数字 (13 桁)	英数字 (13 桁)
暗号化キー (WEP キー)	「指定方法」で選んだ文字列を「暗号強度」で設定した桁数を暗号化キー (WEP キー) として入力します。本製品と通信する無線 LAN (Wi-Fi [®]) 端末も同じ暗号化キーを入力する必要があります。	英数字の場合は、0 ~ 9、a ~ z、A ~ Z、16 進数の場合は、0 ~ 9、a ~ f、A ~ F	XXXXXXXXXX XXX
Wi-Fi 端末 (子機) の接続制限			
ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽)	ESS-ID ステルス機能を使用する場合はチェックします。あらかじめ本製品のネットワーク名 (SSID) を知っている無線 LAN (Wi-Fi [®]) 端末以外からの本製品への接続を制限できます。		(チェックなし)
MAC アドレスフィルタリング機能	本製品に設定されている MAC アドレスを持つ無線 LAN (Wi-Fi [®]) 端末以外から本製品への接続を制限する場合は、チェックします。		(チェックなし)

※ ご利用の端末ごとの SSID が表示されます。

2 [設定] をクリックする

MAC アドレスフィルタリング

本機能は、特定の MAC アドレスからしか接続できないようにする機能です。登録した無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末以外は接続できなくなります。



(画面は MAC アドレスエントリ追加画面です)

! ご注意

- MAC アドレスフィルタリング設定後に、無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末を増設する場合は、「らくらく無線スタート」をご使用ください。
- それ以外の方法で無線 LAN (Wi-Fi[®]) 接続する場合は、すでに利用している端末などから増設する無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末の MAC アドレスを登録するか、いったん MAC アドレスフィルタリングの設定を解除する必要があります。
- 無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末の MAC アドレスを本製品に登録しますので、あらかじめ MAC アドレスを確認 (メモするなど) してください。
- 設定変更後、無線 LAN (Wi-Fi[®]) 接続が切断されます。無線 LAN (Wi-Fi[®]) 接続し直してください。

1 [追加] をクリック

MAC アドレスエントリ追加画面が表示されます。

2 各項目を設定する

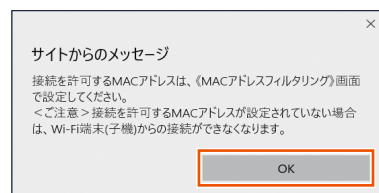
設定項目	説明	設定範囲	初期値
指定方法	追加する無線 LAN (Wi-Fi [®]) 端末の MAC アドレスの指定方法を選択します。	手動設定、選択設定	手動設定
MAC アドレス	本製品に設定する無線 LAN (Wi-Fi [®]) 端末の MAC アドレスを入力します。	「手動設定」の場合、[xx:xx:xx:xx:xx:xx] 形式で直接入力。 「選択設定」の場合、「接続子機一覧」の中から指定する無線 LAN (Wi-Fi [®]) 端末の MAC アドレスを選択する。 [00:00:00:00:00:00] のようにすべて「0」は入力不可	(なし)

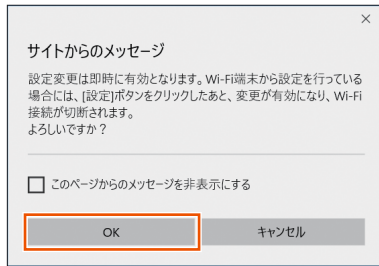
3 [設定] をクリックする

4 [前のページへ戻る] をクリックし、エントリー一覧に登録した MAC アドレスが表示されていることを確認する

5 「Wi-Fi 設定」 - 「Wi-Fi 設定」 - 「Wi-Fi 端末 (子機) の接続制限」の「MAC アドレスフィルタリング機能」にチェックする

6 メッセージが表示されるので [OK] をクリックする



7 [設定] をクリックする**8** メッセージが表示されるので [OK] をクリックする**!** **ご注意**

- 本機能を設定変更後、無線 LAN (Wi-Fi[®]) 接続が切断されますのでご注意ください。無線 LAN (Wi-Fi[®]) 接続し直してください。

WPS 設定

本製品に WPS 設定の PIN 方式で無線 LAN (Wi-Fi[®]) 設定をします。詳細は、「WPS 対応の無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末を接続する」(▶ P.44) を参照してください。

**1** 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
WPS (PIN 方式)	PIN 方式で WPS を設定する場合はチェックします。		使用する
Wi-Fi 端末の PIN コード	無線 LAN (Wi-Fi [®]) 端末の PIN コードを入力します。		(なし)

2 「Wi-Fi 端末の PIN コード」 入力欄に PIN コードを入力し、[WPS (PIN 方式)] をクリックする**3** [設定] をクリックする

8-5 Bluetooth 設定

本製品の Bluetooth[®] デバイスやリモート起動用デバイスを表示します。Bluetooth[®] テザリングで接続したペアリングの一覧が表示されません。また、ペアリング情報を削除することができます。

Bluetooth ペアリング情報

本製品に Bluetooth[®] 接続された無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末の MAC アドレスが表示されます。

ペアリング情報を削除する場合は、削除したいペアリングの [削除] をクリックします。



memo

◎無線 LAN (Wi-Fi[®]) 動作時は、Bluetooth[®] ペアリング情報は表示されません。

8-6 ECO 設定

本製品の電池残量が表示されたり、省電力に関する設定をします。詳細は、「5-3 ECO 機能を使う」(▶ P.58)、「5-5 スケジュール機能」(▶ P.61)を参照してください。

ECO 設定

「電池残量と充電」では、本製品の電池残量を表示します。(％単位で表示)「最新状態に更新」をクリックすると画面が最新の情報に更新されます。



1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
電池残量と充電			
電池残量表示 (%)	本製品の端末情報 (▶P.22)、スマートフォンアプリ (▶P.62) およびクイック設定 Web のピクト情報 (▶P.81、▶P.104) に電池残量 (%) を表示する場合はチェックします。		(チェックなし)
ロングライフ充電	ロングライフ充電を使用する場合はチェックします。		(チェックなし)
自動省電力設定			
自動消灯時間	ディスプレイが自動消灯するまでの時間を選択します。	15 秒、30 秒、60 秒、120 秒 ※ 1	15 秒
省電力状態切り替え機能	省電力状態切り替え機能のモードを設定します。	ウェイティング、休止状態、電源 OFF、使用しない	休止状態
省電力状態切り替え設定時間	省電力状態切り替え機能で設定したモードになるまでの時間を入力します。	1 ~ 60 (分)	10
切り忘れ防止タイマー	一定時間 (約 60 分固定) 経過後、強制的に本製品を休止状態にします。		(チェックなし)
スケジュール機能設定			
スケジュール機能	スケジュール機能を使用する場合はチェックします。		(チェックなし)
電源 OFF	スケジュール機能の開始 (自動 OFF) 時刻を入力します。	00:00 ~ 23:59 ※ 2	22:00
電源 ON	スケジュール機能の終了 (自動 ON) 時刻を入力します。	00:00 ~ 23:59 ※ 2	06:00

※ 1 自動消灯時間の設定にかかわらず、ディスプレイの「Wi-Fi 情報」画面は約 10 分表示します。

※ 2 電源 OFF と電源 ON を同じ時刻に設定できません。

2 「設定」をクリックする

8-7 セキュリティ設定

本製品が、紛失・盗難などにより不正に利用されないために、セキュリティとしてパスコードを設定します。

パスコードを設定すると、本製品の起動時や休止状態から復帰したとき、タッチパネルを点灯表示させたときなどに、パスコードの入力を求められます。本機能により他人に不正利用されることを防ぎます。

- パスコードは、お買い上げ時の状態で、初期値（1234）が設定されていますが、パスコード変更されることをおすすめします。
- パスコードと管理者パスワードを両方忘れてしまった場合、本製品の初期化ができないため、本製品のご利用ができなくなってしまう可能性があります。
- 変更したパスコードやクイック設定 Web の管理者パスワードは、忘れないように控えておいてください。

セキュリティ設定

パスコード機能を設定します。本製品のディスプレイロックを使用する場合は、「ディスプレイ」を選択してください。本製品のセキュリティロックを使用する場合は、「セキュリティ」を選択してください。

- 「ディスプレイ」…ディスプレイ操作（メニュー操作）を抑制します。
- 「セキュリティ」…ディスプレイ操作（メニュー操作）を抑制します。
 - USB 接続時およびクレードル（別売）で有線 LAN 接続時に、インターネット接続や PING テストなどの通信機能を抑制します。

解除用パスコードの初期値は、「1234」です。

パスコードを変更することができます。

パスコードを初期化するときは、「パスコード初期化」ボタンをクリックします。



1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
パスコード設定			
パスコード機能	本製品のディスプレイロックを使用する場合は、ディスプレイを選択します。本製品のセキュリティロックを使用する場合は、セキュリティを選択します。	使用しない、ディスプレイ、セキュリティ	使用しない
セキュリティタイマー	本製品のセキュリティタイマーを入力します。無線 LAN (Wi-Fi®) 接続が無い状態で、設定した時間を経過するとセキュリティロック状態になります。	1 ~ 10 (分)	5
パスコード変更			
現在のパスコード	現在のパスコードを入力します。	0 ~ 9 の数字 4 桁	(1234)
新しいパスコード	新しいパスコードを入力します。	0 ~ 9 の数字 4 桁	(なし)
新しいパスコードの再入力	確認のため、新しいパスコードを再入力します。	0 ~ 9 の数字 4 桁	(なし)

2 【設定】または【パスコード変更】をクリックする

■ パスコードの初期化方法

1 【パスコードの初期化】をクリックする

8-8 詳細設定

本製品の LAN 側の設定やセキュリティに関するパケットフィルタやポートマッピングの設定ができます。

LAN 側設定



1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
IP アドレス			
IP アドレス/ ネットマスク (ビット指定)	本製品の LAN 側の IP アドレスとネットマスクを入力します。通常、変更する必要はありません。変更する場合は、WAN 側の IP アドレスと競合しないネットワークアドレス範囲となるように入力してください。	ネットマスクはビット形式で 1 ~ 30 例： 0 ~ 255 の 4 組の数字の形式 [255.255.255.0] の場合は、ビット形式では「24」になります。	192.168.179.1/24
DHCP サーバ			
DHCP サーバ機能	本製品の DHCP サーバを使用する場合は、チェックします。		使用する
リースタイム (時間)	DHCP サーバでクライアントに割り当てる IP アドレスの貸出時間が変更可能です。	0 (無制限)、 1 ~ 72 (時間)	24
アドレス割当パターン	割り当てパターンを選択できます。[自動設定] の場合は、本製品 LAN インタフェースの IP アドレスの次の IP アドレスから割当数分のアドレスプールを確保します。[手動設定] の場合、DHCP エントリで設定されたアドレス割当パターンが使用されます。	自動設定、手動設定	自動設定
割当先頭アドレス	アドレス割当パターンで [手動設定] を選択した場合は、DHCP クライアントに割り当てる IP アドレスの先頭アドレスを入力します。		(なし)
割当数	DHCP クライアントの割り当てられる IP アドレス割当数を入力します。	1 ~ 32	32
WINS サーバアドレス	DHCP クライアントに通知する WINS サーバアドレスを設定します。		(なし)

2 [設定] をクリックする

LAN 側無線設定



1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
LAN 側無線 選択	本製品の LAN 側無線を選択します。「Bluetooth」を選択した場合は、Bluetooth® テザリングをすることができます。また Wi-Fi 設定の無線機能が有効になっていても、ここで「Bluetooth」を選択すると無効になります。	Wi-Fi、Bluetooth	Wi-Fi
Wi-Fi/ Bluetooth WAN 側運動	Wi-Fi/Bluetooth WAN 側運動を使用する場合は、チェックします。本機能を使用する場合、インターネット切断時に無線を停止します。使用する場合、無線接続では、クイック設定 Web が開けなくなる可能性があります。		(チェックなし)

2 [設定] をクリックする

DHCP 除外設定

DHCP サーバがクライアントに割り当てる IP アドレスを設定します。LAN 側設定の「DHCP サーバ機能」が使用する、「アドレス割当パターン」が [手動設定] の場合に選択できます。DHCP 除外設定 エントリ追加で、DHCP クライアントに割り当てを行わない IP アドレスの範囲を設定します。[先頭アドレス] で指定した IP アドレスから、[除外数] で指定した数の分を DHCP サーバの割り当て範囲から除外します。除外エントリは 2 エントリの指定が可能です。



(画面は DHCP 除外設定 エントリ追加画面です)

1 [追加] をクリック

DHCP 除外設定エントリ追加画面が表示されます。

2 DHCP 除外設定 エントリ追加の画面が表示されたら、各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
先頭アドレス	DHCP クライアントに割り当てしない IP アドレス範囲の先頭アドレスを入力します。		(なし)
除外数	DHCP クライアントに割り当てを行わない IP アドレス数を入力します。	1 ~ 255	(なし)

3 [設定] をクリックする

4 [前のページへ戻る] をクリックし、エントリー一覧に登録内容が表示されていることを確認する

DHCP 固定割当設定

特定の MAC アドレスに固定 IP アドレスを割り当てます。



(画面は DHCP 固定割当エントリー追加画面です)

1 [追加] をクリックする

DHCP 固定割当エントリー追加画面が表示されます。

2 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
MAC アドレス	特定端末に固定の IP アドレスを割り当てする場合に入力します。	[XX:XX:XX:XX:XX:XX] 形式で入力	(なし)
IP アドレス	特定端末に割り当てを行う固定の IP アドレスを入力します。[MAC アドレス] で指定した端末に [IP アドレス] で指定した IP アドレスを入力します。		(なし)

3 [設定] をクリックする

4 [前のページへ戻る] をクリックし、エントリー一覧に登録内容が表示されていることを確認する

IPv4 パケットフィルタ設定

IP パケットフィルタを設定します。インターネットへ通過するパケットを制限します。本製品では「パケットフィルタエントリー」のパターンを最大 50 個設定できます。

設定するときは、「対象インタフェースを選択」で「WAN」または「LAN」を選択し、「選択」をクリックしてください。



(画面は IPv4 パケットフィルタエントリー追加画面です)

1 [追加] をクリックする

IPv4 パケットフィルタエントリー追加画面が表示されます。

2 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
種別	フィルタ条件に一致したパケットの扱いを選択します。	通過 (accept)、破棄 (drop)	通過 (accept)
方向	選択したインタフェースでのフィルタ評価方向を選択します。本製品に向かっていくパケットが「in」、本製品から離れていくパケットが「out」です。	in, out	in
プロトコル	フィルタ対象とする IP プロトコルの種別を選択します。「その他」は IP プロトコル番号を入力します。「ICMP」は、ICMP MESSAGE を選択できます。「TCP」は TCP FLAG を選択できます。	IP すべて、ICMP、TCP、UDP、その他	IP すべて
送信元 IP アドレス	フィルタ対象とするパケットの送信元 IP アドレスを入力します。指定した IP アドレスに対して、設定を有効にする場合は、「/」の後に「32」を入力します。「any」は全 IP アドレスを対象、「localhost」は本製品からの通信を対象です。	any, localhost	any
送信元ポート番号	パケットの送信元ポート番号を入力します。「プロトコル」が「TCP」、「UDP」以外は「any」のみの選択です。	any	any
宛先 IP アドレス	フィルタ対象とするパケットの宛先 IP アドレスを入力します。指定した IP アドレスに対して設定を有効にする場合は、「/」の後に「32」を入力します。「any」は全 IP アドレスを対象、「localhost」は本製品からの通信を対象です。	any, localhost	any
宛先ポート番号	パケットの宛先ポート番号を入力します。「プロトコル」が「TCP」、「UDP」以外は「any」のみの選択です。	any	any
優先度	フィルタエントリーの優先度を入力します。複数ある場合は、優先度の数字が小さいエントリーから評価します。	1 ~ 50	(なし)

3 [設定] をクリックする**4** [前のページへ戻る] をクリックし、エントリー一覧に登録内容が表示されていることを確認する

設定値を間違えた場合は、修正できません。「削除」して設定をやり直してください。

設定例

ここでは、LAN 側のパソコンの通信を制限（※ 1）する設定と Web ページの閲覧を制限（※ 2）する方法を例に説明します。

制限対象ではないパソコンで設定を行ってください。それ以外の環境を構築する場合は、設定内容などをご利用の環境に合うように設定してください。

（※ 1）インターネット、メール、FTP、クイック設定 Web などすべて利用不可

（※ 2）インターネット、クイック設定 Web は利用不可、メール、FTP などは利用可能

1 IPv4 パケットフィルタ設定エントリー一覧画面の「対象インタフェースを選択」で「LAN」を選択し、[選択] をクリックする**2** [追加] をクリックする**3** DHCP 固定割当てが動作するように設定を行い、[設定] をクリックする

パソコンに IP アドレスを固定している場合、Web ページの閲覧のみ制限する場合は、この手順は必要ありません。

- 種別：「通過」
- 方向：「in」
- プロトコル：「IP すべて」
- 送信元 IP アドレス：「localhost」指定した IP アドレスに対して、設定を有効にする場合は、「/」の後ろに「32」を入力します。
- 送信先ポート番号：「any」
- 宛先 IP アドレス：「localhost」
- 宛先ポート番号：「any」
- 優先度：「1」

4 [前のページへ戻る] をクリックする**5** エントリー一覧に設定内容が表示されるので、再度 [追加] をクリックする**6** パソコンの通信を制限する設定を行い、[設定] をクリックする

（※ 1 の設定例）

- 種別：「破棄」
- 方向：「in」
- プロトコル：「IP すべて」
- 送信元 IP アドレス：「192.168.x.y/32」
- 送信元ポート番号：「any」
- 宛先 IP アドレス：「any」
- 宛先ポート番号：「any」
- 優先度：「2」

（※ 2 の設定例）

- 種別：「破棄」
- 方向：「in」
- プロトコル：「TCP」
- 送信元 IP アドレス：「192.168.x.y/32」
- 送信元ポート番号：「any」
- 宛先 IP アドレス：「any」
- 宛先ポート番号：「80」
- 優先度：「2」

7 [前のページへ戻る] をクリックする**8** 「IPv4 パケットフィルタエントリー一覧」に設定内容が表示される**IPv6 パケットフィルタ設定**

IP パケットフィルタを設定します。インターネットへ通過するパケットを制限します。本製品では「パケットフィルタエントリー」のパターンを最大 50 個設定できます。

設定するときは、「対象インタフェースを選択」で「WAN」または「LAN」を選択し、「選択」をクリックしてください。



（画面は IPv6 パケットフィルタエントリー追加画面です）

1 [追加] をクリックする

IPv6 パケットフィルタエントリー追加画面が表示されます。

2 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
種別	フィルタ条件に一致したパケットの扱いを選択します。	通過 (accept)、破棄 (drop)	通過 (accept)
方向	選択したインタフェースでのフィルタ評価方向を選択します。本製品に向かっていくパケットが「in」、本製品から離れていくパケットが「out」です。	in, out	in
プロトコル	フィルタ対象とする IP プロトコルの種別を選択します。「その他」は IP プロトコル番号を入力します。「ICMPv6」は、ICMPv6 MESSAGE を選択できます。「TCP」は TCP FLAG を選択できます。	IPv6 すべて、ICMPv6、TCP、UDP、その他	IPv6 すべて
送信元 IP アドレス	フィルタ対象とするパケットの送信元 IP アドレスを入力します。指定した IP アドレスに対して、設定を有効にする場合は、「/」の後ろに「128」を入力します。「any」は全 IP アドレスを対象、「localhost」は本製品からの通信を対象です。	any, localhost	any
送信元ポート番号	パケットの送信元ポート番号を入力します。「プロトコル」が「TCP」、「UDP」以外は「any」のみの選択です。	any	any
宛先 IP アドレス	フィルタ対象とするパケットの宛先 IP アドレスを入力します。指定した IP アドレスに対して設定を有効にする場合は、「/」の後ろに「128」を入力します。「any」は全 IP アドレスを対象、「localhost」は本製品からの通信を対象です。	any, localhost	any

設定項目	説明	設定範囲	初期値
宛先ポート番号	パケットの宛先ポート番号を入力します。「プロトコル」が「TCP」、「UDP」以外は「any」のみの選択です。	any	any
優先度	フィルタエントリの優先度を入力します。複数ある場合は、優先度の数字が小さいエントリから評価します。	1 ~ 50	(なし)

3 [設定] をクリックする

4 [前のページへ戻る] をクリックし、エントリー一覧に登録内容が表示されていることを確認する

設定値を間違えた場合は、修正できません。「削除」して設定をやり直してください。

ポートマッピング設定

ポートマッピング機能とは、あらかじめ固定的に使用するポート番号とパソコンを結びつける機能です。グローバルネットワーク側からの特定ポートの通信を指定したパソコンに送信できます。必要に応じて NAT エントリ設定することで、外部のサイトから特定のパソコンへ直接アクセスすることが可能です。

ルータ機能ではアドバンスド NAT 機能 (IP マスカレード /NAPT) が働いてネットワークゲームができなくなる場合があります。これは、外部のサイトから特定のポートへのアクセスができなかったり、ネットワークゲームで使用するポートが動的に変換されてしまったりするために起こります。本機能を使用することで、この問題を回避することができます。

memo

◎ ポートマッピングを設定する無線 LAN (Wi-Fi®) 端末は、DHCP サーバ機能により IP アドレスが自動的に割り当てられないように、IP アドレスを固定しておいてください。固定する場合は、DHCP の割り当て範囲外で IP アドレスを指定することをおすすめします。

1 [追加] ボタンをクリックする

NAT エントリ追加画面が表示されます。



(画面は NAT エントリ追加画面です)

2 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
LAN 側ホスト	ポートマッピングを適用する LAN 側ホストの IP アドレス (パソコン、ゲーム機など) を入力します。		(なし)
プロトコル	対象とするプロトコルを選択します。「その他」を選択した場合は、「プロトコル番号」を入力してください。	TCP、UDP、ESP、その他	TCP

設定項目	説明	設定範囲	初期値
ポート番号	プロトコルに「TCP」「UDP」を選択した場合のみ設定できます。「any」のチェックを外し、ポートマッピングの対象とするポート番号を入力します。		any
優先度	NAT エントリの優先度を入力します。複数ある場合は、優先度の数字が小さいエントリから評価します。	1 ~ 50	(なし)

3 [設定] をクリックする

4 [前のページへ戻る] をクリックし、エントリー一覧に登録内容が表示されていることを確認する

設定値を間違えた場合は、修正できません。「削除」して設定をやり直してください。

5 ポートを開放する機器に、以下の情報を設定する

- IP アドレス : LAN 側ホストに入力した IP アドレス
- ネットマスク : 255.255.255.0 (本製品の初期値)
- ゲートウェイ : 192.168.179.1 (本製品の IP アドレス初期値)
- プライマリ DNS : 192.168.179.1 (本製品の IP アドレス初期値)

その他の設定

その他の設定をします。



1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
セキュリティ設定			
セキュリティ保護機能	セキュリティ保護機能を使用する場合は、チェックをします。セキュリティ保護機能を使用すると既知の外部からの攻撃や不正アクセスを検出し、「通信情報ログ」画面にて表示するとともに、その不正パケットを廃棄します。検出可能な不正アクセスは、「LAND 攻撃」「Smurf 攻撃」「IP Spoofing 攻撃」です。「LAND 攻撃」を防ぐフィルタは、セキュリティ保護機能の「使用する」がチェックされていなくても有効になります。		使用する
NAPT 設定			
TCP タイマ (秒)	NAPT 機能を使用する際の IP アドレス / ポート番号の動的変換テーブルの有効保持時間 (秒) を入力します。NAPT テーブルが枯渇して通信ができなくなるアプリケーションを利用する場合は、本タイマを短めに設定すると解決できることがあります。入力できる値は、300 ~ 432000 (秒) です。	300 ~ 432000 (秒)	3600
UDP タイマ (秒)	NAPT 機能を使用する際の IP アドレス / ポート番号の動的変換テーブルの有効保持時間 (秒) を入力します。NAPT テーブルが枯渇して通信ができなくなるアプリケーションを利用する場合は、本タイマを短めに設定すると解決できることがあります。入力できる値は、30 ~ 3600 (秒) です。	30 ~ 3600 (秒)	300
UPnP 設定			
UPnP 機能	UPnP (ユニバーサル・プラグアンドプレイ) 機能を使用します。最大 10 台までの端末で UPnP 機能が利用可能となります。		使用する
DMZ ホスト設定			
DMZ ホスト機能	DMZ ホスト機能によって外部に公開する端末 (ホスト) の設定ができます。使用する場合はチェックをします。NAPT 機能を使用する場合のみ有効です。		(チェックなし)
DMZ ホストの IP アドレス	DMZ ホストの IP アドレスを入力します。本製品の LAN 側の設定で指定したネットワークアドレス範囲内の IP アドレスを入力してください。		(なし)
通信情報ログ設定			
ロギング機能	通信情報ログを出力します。		使用する
ログ保存方法	ログの保存方法を選択します。「サイクリック」は、ログ保存用メモリの範囲内で常に最新 500 件のログが保存され、古いログは廃棄されます。「ワンタイム」は、ログ保存用メモリから 500 件を超えた新しいログが廃棄されます。	サイクリック、ワンタイム	サイクリック
補助設定			
ファームウェア更新通知機能	ファームウェア更新通知機能を使用する場合は、チェックをします。ファームウェアのバージョンアップが可能な場合に、本製品のディスプレイ上に、新しいファームウェアの提供を通知する機能です。		使用する
USB 接続時			
無線スリープ設定	無線スリープ機能を使用する場合はチェックをします。USB 通信をしているときに無線 LAN (Wi-Fi [®]) および Bluetooth [®] 機能を停止します。		(チェックなし)
USB 通信	USB 通信する場合はチェックをします。		使用する
クレードル接続時の動作モード設定			
アクセスポイントモード	Wi-Fi アクセスポイントモードを使用する場合はチェックをします。		(チェックなし)
時刻常時表示	クレードル接続時にディスプレイの時刻常時表示する場合はチェックをします。		使用する
WAN 設定			
MTU (Bytes)	データ通信の最大転送値の設定をします。	1400 ~ 1440	1440

設定項目	説明	設定範囲	初期値
PING 応答機能	PING 応答機能を使用する場合は、チェックをします。本機能を使用する場合は、WAN 側からの PING に応答をします。		(チェックなし)
品質情報収集機能			
品質情報収集機能	品質情報収集機能を使用する場合は、チェックをします。		(チェックなし) ※

※本製品をご使用開始時、最初に電源を入れたとき (または初期化したあと) に表示される「本製品をご利用にあたってのお願い」画面で、「[はい]」を選択した場合は、「使用する」になります。

2 [設定] をクリックする

8-9 メンテナンス

本製品の管理者パスワードを変更したり、ファームウェアの更新をしたりするなど、本製品の設定や操作ができます。

管理者パスワードの変更

本製品の設定変更や不正アクセスを防止するために設けたパスワードです。

クイック設定 Web の各種設定をするために詳細設定へログインするときに必要です。



1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
現在のパスワード	現在のパスワードを入力します。		(なし)
新しいパスワード	新しいパスワードを入力します。	最大 64 文字までの半角英数字、- (ハイフン)、_ (アンダースコア)	(なし)
新しいパスワード再入力	確認のため新しいパスワードを再入力します。		(なし)

2 [設定] をクリックする

設定値の保存&復元

本製品の設定内容をパソコンに保存したり、保存した設定内容を読み込むことができます。

！ ご注意

- 設定値の保存と復元は同じ動作モードで行ってください。動作モードとは、クイック設定 Web 「詳細設定」の「その他の設定」での項目「クレードル接続時の動作モード設定」です。(本製品のディスプレイ画面でも、ホーム画面 - [設定] - [アクセスポイントモード] で設定できる項目です。)
- 管理者パスワードは保存されません。
- 設定値のファイルは圧縮形式となっており、編集はできません。



■ 保存方法

- 1 [ファイルへ保存] をクリックする
- 2 パソコンのデスクトップなどわかりやすい場所へ保存する
お使いのパソコンの環境によっては、保存先とファイル名の指定を求められる場合があります。

■ 復元方法

- 1 「設定ファイル」欄にあるボタン（[参照] など）をクリックする
表示された画面で復元するファイルを選択します。
- 2 選択したファイルの保存先が「設定ファイル」欄に入るので、[設定値の復元] をクリックする
- 3 再起動のメッセージが表示されるので [OK] をクリックする
- 4 再起動が完了したメッセージが表示されるので [OK] をクリックする
Web ブラウザを終了し、クイック設定 Web を開き直してください。

設定値の初期化

設定内容を工場出荷時の状態に戻します。

！ ご注意

- 設定値を初期化すると、今までに設定した内容は消去されます。設定内容を復元したい場合は、「設定値の保存 & 復元」(▶ P.98)で現在の設定内容を保存し、初期化後に復元してください。
- 初期化をしてもお客様が設定した au IC カードの PIN コードは変更されません。



1 [設定値の初期化] をクリックする

2 [OK] をクリックする

再起動します。

！ ご注意

- 再起動後は、本製品にアクセスできなくなる場合があります。その場合は、Web ブラウザを一度終了し、接続する無線 LAN (Wi-Fi®) 端末と本製品の設定をあわせた後、Web ブラウザを開き直してください。

ファームウェア更新

ファームウェアとは、本製品を動かすソフトウェアのことです。ファームウェアを更新することで動作の改善や新機能が追加されたりします。ファームウェアは最新のバージョンで使用してください。

詳細は、「11-1 ファームウェアを更新する」(▶ P.119)を参照してください。



現在のバージョンで、ファームウェアのバージョンを確認してから、以下の手順で更新してください。

1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
更新方法	ファームウェアの更新方法を選択します。	ローカルファイル指定、オンラインバージョンアップ	ローカルファイル指定
ファームウェアファイル	あらかじめホームページなどから入手したファームウェアファイル (BIN ファイル) を指定します。		(なし)

2 [確認 / 更新] をクリックする

最新のファームウェアがある場合は、ファームウェア更新が開始されます。

PING テスト

PING テストを行います。対象ホストに IP パケットを送信し、通信確認することができます。

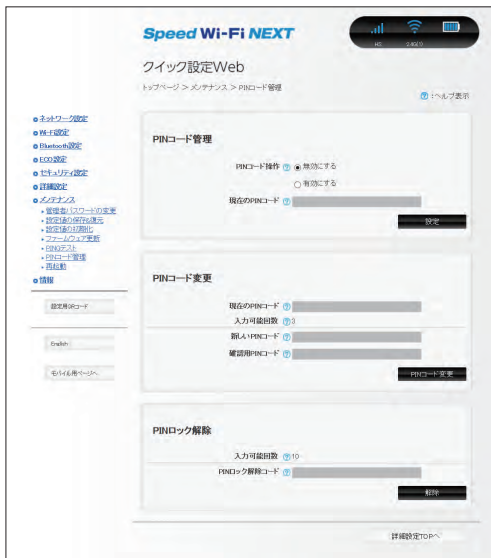


対象プロトコルの選択

- 1 PING テストの対象となるホストの IP アドレスまたはホスト名を入力する
- 2 [テスト実行] をクリックする
数秒後に画面が切り替わり、PING テスト結果が表示されます。
テスト結果に「0% packet loss」という表示があれば、通信状態は正常です。

PIN コード管理

au IC カードに PIN コード（暗証番号）を設定すると、本製品を使用するときに PIN コードを入力しないと使用できなくなるので、不正使用を防ぐことができます。



PIN コードを有効にする

- 1 「PIN コード操作」 から「有効にする」を選択する
- 2 「現在の PIN コード」 に PIN コードを入力する
お買い上げ時の PIN コードは「1234」が設定されています。
- 3 [設定] をクリックし、再起動のメッセージが表示されるので [OK] をクリックする
再起動します。

PIN コードを無効にする場合

PIN コードが有効の場合、PIN コードを無効にします。

- 1 「PIN コード操作」 から「無効にする」を選択する
- 2 「現在の PIN コード」 に PIN コードを入力する
- 3 [設定] をクリックし、再起動のメッセージが表示されるので [OK] をクリックする
再起動します。

認証を行う

PIN 認証を行うまでは、インターネットに接続できません。

本製品で PIN 認証を行う

「PIN コード操作」を有効に設定してから再起動すると、ディスプレイに「PIN コード/PIN ロック解除コードを入力しますか?」と表示されます。

- 1 [はい] をタップして、PIN コード入力画面が表示されたら PIN コード入力し、[↵] ボタンをタップする
数字の入力方法は「2-1 基本的な操作を覚える」(▶ P.27) を参照してください。
- 2 PIN コードが正しければ、ディスプレイに「PIN コード認証が正常に処理されました。」と表示されるので、[終了] をタップして、ホーム画面表示する
PIN コードの入力に失敗すると、「PIN コードが違います。再入力してください。」と表示されます。

PIN コードを変更する

PIN コード操作が有効のとき、必要に応じて 4 ～ 8 桁のお好きな番号に変更することができます。

1 項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
現在の PIN コード	現在設定されている PIN コードを入力します。	4 ～ 8 桁の数字	(1234) ※
新しい PIN コード	新しい PIN コードを入力します。	4 ～ 8 桁の数字	(なし)
確認用 PIN コード	確認のため新しい PIN コードを再入力します	4 ～ 8 桁の数字	(なし)

※ お買い上げ時の au IC カードの PIN コードは、「1234」に設定されています。

※ 本製品を初期化した場合でも、変更した PIN コードはお買い上げ時の状態には戻りません。

2 [PIN コード変更] をクリックする

■ PIN ロックを解除する

PIN コード入力に3回失敗した場合、ディスプレイに「PIN ロック」と表示され、PIN ロックがかかります。

PIN ロックを解除するためには、PIN ロック解除コード (PUK) が必要です。PIN ロック解除コード (PUK) については「PIN コードについて」(▶ P.10) をご参照ください。

■ クイック設定 Web で PIN ロックを解除する

1 「PIN ロック解除コード」に、PIN ロック解除コード (PUK) を入力する

2 「解除」をクリックする

■ 本製品で PIN ロックを解除する

1 ディスプレイを点灯させると「PIN コード / PIN ロック解除コードを入力しますか?」と表示される

2 「はい」をタップし、PIN ロック解除コード (PUK) を入力する

PIN ロック解除コード (PUK) については「PIN コードについて」(▶ P.10) をご参照ください。

3 「PIN ロック解除コード認証が成功しました。【●●●●】で PIN コードを設定しました。」と表示されるので、【OK】をタップする

PIN ロック解除コード (PUK) の入力に失敗すると「PIN ロック解除コードが違います。再入力してください。」と表示されます。

4 「PIN コードはクイック設定 Web にて変更できます。」と表示されるので、【終了】をタップして、ホーム画面表示する

! ご注意

- 同じ au IC カードに対して PIN コードの入力を3回失敗すると認証エラーメッセージが表示されます。(PIN コードの入力可能回数は表示されます。) その場合は、PIN ロック状態となり、PIN ロック解除コード (PUK) が必要となります。本製品の PIN ロック解除コード (PUK) 入力画面またはクイック設定 Web の [PIN ロック解除] で PIN ロック状態を解除してください。
- PIN ロック解除コード (PUK) を入力した場合は、新しく PIN コードを設定してください。
- PIN ロック解除コード (PUK) を10回連続して間違えると、完全にロックされます。auショップ、トヨタ au取扱店もしくはお客さまセンターへお問い合わせください。

再起動

本製品を再起動することができます。



1 「再起動」をクリックする

2 「OK」をクリックする

3 「再起動中」のメッセージが表示される
再起動するまでに時間がかかる場合があります。

4 「再起動が完了しました」とメッセージが表示されるので、【OK】をクリックする

8-10 情報

本製品に設定されている内容などの情報を確認できます。

現在の状態

本製品の装置情報や設定内容を表示します。



通信情報ログ

通信情報ログ（接続動作履歴）を表示できます。

例えば、外部からの不正と思われるアクセスを表示できます。

ただし、「詳細設定」の「その他の設定」-「通信情報ログ設定」で「ロギング機能」を「使用する」にしていない場合には、「ログデータはありません」と表示されます。

なお、ログ情報表示の内容に関するお問い合わせは、サポートしておりますのでご了承ください。



1 ログを選択で、表示したいログ(一般ログ、セキュリティログ、WiMAX 2+/LTE ログ)を選択し、[選択]をクリックする

2 ログが表示される

通信情報ログをテキストファイルで保存したい場合は[ファイルへ保存]をクリックし、保存してください。

UPnPの状態

現在UPnP利用中のパソコンのIPアドレスとポート番号を表示します。



マニュアル

[マニュアル]をクリックすると『取扱説明書 詳細版』（本書）を表示します。

インターネットに接続しているときは、WiMAX Support Information ホームページにある最新版のファイルが表示されます。ただし、インターネット接続の packets 通信料はお客様ご負担となります。

・インターネットに接続していないときは、本製品に格納しているファイルを表示します。



9章 スマートフォン用クイック設定 Web

9-1 スマートフォン用クイック設定 Web について	104
9-2 各種機能の詳細設定をする（詳細設定）	106
9-3 ネットワーク設定	107
9-4 Wi-Fi 設定	109
9-5 ECO 設定	110
9-6 詳細設定	111
9-7 メンテナンス	112

9-1 スマートフォン用クイック設定 Web について

本製品に接続したスマートフォンなどの Web ブラウザから、Speed Wi-Fi NEXT WX05 の設定ツールを使用して本製品に設定することができます。手順は無線 LAN (Wi-Fi®) で接続した場合を例にしています。本製品では、Speed Wi-Fi NEXT WX05 の設定ツールを「クイック設定 Web」と呼びます。

memo

- ◎ クイック設定 Web が利用できる Web ブラウザについては「接続端末の準備」(▶ P.23) を参照してください。
- ◎ 説明に使用している画面表示は、お使いの Web ブラウザや OS によって異なります。
- ◎ クイック設定 Web の画面デザインは変更になることがあります。
- ◎ スマートフォン用のクイック設定 Web では設定できない項目があります。その場合は、PC 用のクイック設定 Web で設定を行ってください。
- ◎ 無線 LAN (Wi-Fi®) 接続でクイック設定 Web を表示させる場合は、プライマリ SSID に接続してください。

クイック設定 Web を起動する

- 1** 本製品とスマートフォンなどが無線 LAN (Wi-Fi®) 接続されていることを確認する
- 2** Web ブラウザを起動し、アドレス入力欄に「http://192.168.179.1/」を入力する
クイック設定 Web が表示されます。
- 3** 管理者パスワードの初期設定画面が表示されたら、「パスワード」(パスワード再入力) 欄にパスワード(任意の文字列)を入力し、[設定] をタップする
 - パスワードに使用できる文字は、0~9、a~z、A~Z、-(ハイフン)、_(アンダースコア) で、最大半角 64 文字まで有効です。このパスワードは、本製品「クイック設定 Web」を開くときに必要となります。忘れないように控えておいてください。
 - この画面は管理者パスワードが未設定の場合に表示されます。
- 4** ユーザー名とパスワードを入力する
「ユーザー名」(上段) には「admin」と半角小文字で入力し、「パスワード」(下段) には、手順 3 で控えた管理者パスワードを入力してください。
- 5** [ログイン] をタップする

クイック設定 Web のトップページ



① ピクト情報

WAN 側回線の電波状態、Bluetooth (接続台数)、Wi-Fi (接続台数)、電池残量を表示します。

② PC 用ページに戻ります

パソコンから操作するための画面を表示します。

③ 装置情報

以下の情報が表示されます。

- 機種名
- ファームウェアバージョン
- 接続ステータス
- プロファイル
- データ通信量（月次、日次）
- 接続時間

④ 簡易設定

簡単な設定ができます。

- プロファイルの設定
使用するプロファイルを選択します。
- LAN 側無線選択
Wi-Fi/Bluetooth を選択します。

⑤ 詳細設定 TOP へ

詳細設定をする場合は、ここをタップし、各種機能の詳細設定をします。

詳細設定のトップページ設定画面



① 設定メニュー

- ネットワーク設定
- Wi-Fi 設定
- ECO 設定
- 詳細設定
- メンテナンス

② 設定用 QR コード

Wi-Fi 設定用の QR コードを作成します。

③ 言語

日本語と英語の切り替えができます。

④ トップページ

クイック設定 Web のトップページを表示します。

9-2 各種機能の詳細設定をする (詳細設定)

メニューから設定する機能を選択する

- ネットワーク設定
WAN 側回線の接続に関する詳細機能を設定します。(▶ P.107)
- Wi-Fi 設定
無線 LAN (Wi-Fi[®]) 機能に関する詳細機能を設定します。(▶ P.109)
- ECO 設定
ECO 機能に関する詳細機能を設定します。(▶ P.110)
- 詳細設定
ファームウェアの更新通知機能の設定をします。(▶ P.111)
- メンテナンス
ファームウェアの更新の設定をします。(▶ P.112)

9-3 ネットワーク設定

WAN 側回線への接続方法などを設定します。

基本設定

パフォーマンスの設定ができます。ハイパフォーマンスモード、ノーマルモード、エコモードから選択します。

ハイパフォーマンスモードは、通信速度は制限しませんが、連続動作時間は短くなります。

エコモードは、通信速度を制限して、連続動作時間が長くなるようにします。

ノーマルモードは、電池残量が十分にある状態では通信速度は制限しませんが、電池残量が少ない状態では通信速度を制限し連続動作時間が長くなるようにします。この切替は、WAN 側回線の無通信状態が継続した際に行います。



1 項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
省電力モード	本製品を省電力モードにすると WAN 側回線および無線 LAN (Wi-Fi®) の通信を制限して省電力化します。	ハイパフォーマンス、ノーマル、エコ	ノーマル

2 [設定] をタップする

3 モード変更確認画面が表示されるので、[OK] をタップする

接続設定

プロファイルの選択ができます。



1 項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
プロファイル選択	使用するプロファイルを選択します。	お買い上げ時に登録されているプロファイルを含む最大 12 件※	Internet (登録されているプロファイル名) ※

※ お買い上げ時に設定されているプロファイル「Internet」は、変更、削除できません。

2 [設定] をタップする

3 [詳細設定 TOP へ] をタップする

プロファイル設定

プロファイル（インターネットサービスプロバイダなどの接続設定）の登録、編集ができます。

(画面は登録されているプロファイルです)

■ プロファイルを新規に設定する場合

- 1 「プロファイルリスト」から「no setup」を選択し、[選択]をタップする
- 2 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
プロファイル名	新規に設定する場合、任意のプロファイル名を入力します。	最大 64 文字 (半角) までの文字列。全角の場合は 32 文字まで (?、半角スペースを除く)	Internet (登録されているプロファイル名) ※ 1、※ 2
APN (接続先情報)	アクセスポイント名 (APN) を設定します。	最大 63 文字 (半角英数記号) (?、半角スペース、", &, ., :, ;, <, >, \ を除く)	●●●●●●●● ※ 1、※ 2
ユーザー名	ユーザー名を設定します。	最大 63 文字 (半角英数記号) (?、半角スペースを除く)	●●●●●●●● ※ 1、※ 2
パスワード	パスワードを設定します。	最大 63 文字 (半角英数記号) (?、半角スペースを除く)	●●●●●●●● ※ 1、※ 2
認証タイプ	認証方式を設定します。	CHAP、PAP	CHAP ※ 1、※ 2
IP タイプ	IP タイプを選択します。	IPv4、IPv4&IPv6、IPv6	IPv4&IPv6 ※ 2

※ 1 お買い上げ時に設定されているプロファイル「Internet」は、変更、削除できません。

※ 2 新規設定では、「プロファイル名」から「パスワード」までは空欄です。「認証タイプ」の「CHAP」、「IP タイプ」の「IPv4」が表示されます。

- 3 [設定] をタップし、[詳細設定 TOP へ] をタップする

■ 作成したプロファイルを編集する場合

- 1 「プロファイルリスト」から編集したいプロファイルを選択し、[選択] をタップする
- 2 編集が終了したら [設定] をタップする
- 3 [詳細設定 TOP へ] をタップする

9-4 Wi-Fi 設定

無線 LAN (Wi-Fi[®]) 機能の各種設定ができます。

Wi-Fi 設定

Wi-Fiアクセスポイント(親機)設定

対象ネットワークを選択 [?](#)

プライマリSSID : SPWN_N35* [選択](#)

ネットワーク名(SSID) [?](#)

SPWN_N35_XXXXXX

SSID・暗号化キー表示 [?](#)

使用する

暗号化

WPA暗号化キー(PSK) [?](#)

XXXXXXXXXXXX

[設定](#)

[詳細設定TOPへ](#)

1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
Wi-Fi アクセスポイント (親機) 設定			
対象ネットワークを選択	設定したいネットワークを選択します。	プライマリ SSID、セカンダリ SSID	プライマリ SSID
ネットワーク名 (SSID)	ネットワーク名 (SSID) を入力します。	最大 32 文字までの半角英数字、- (ハイフン)、_ (アンダースコア)	SPWN_N35_XXXXXX ※
SSID・暗号化キー表示	SSID 表示を有効にする場合はチェックします。「使用する」に設定した場合は、ディスプレイメニューにて SSID と暗号化キーを表示できます。		使用する
暗号化			
WPA 暗号化キー (PSK)	暗号化キーを入力します。プライマリ SSID の場合のみ設定できます。	8 文字以上 63 文字までの英数記号 (0 ~ 9、a ~ z、A ~ Z) または、64 桁の 16 進数 (0 ~ 9、a ~ f、A ~ F)	XXXXXXXXXX XXX

※ ご利用の端末ごとの SSID が表示されます。

2 [設定] をタップする

3 確認画面が表示されるので、[OK] をタップする

4 クイック設定 Web を開き、[詳細設定 TOP へ] をタップする

WPS 設定

WPS設定

WPS(PIN方式)を使用する場合は、[PIN方式]の「使用する」にチェックをして、[設定]ボタンをクリックしてください。

WPS(PIN方式) [?](#)

使用する

Wi-Fi端末のPINコード [?](#)

WPS(PIN方式)

[設定](#)

[詳細設定TOPへ](#)

1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
WPS (PIN 方式)	WPS の PIN 方式を使用する場合は、チェックします。		使用する
Wi-Fi 端末の PIN コード	無線 LAN (Wi-Fi [®]) 端末の PIN コードを入力します。		(なし)

2 [WPS (PIN 方式)] をタップする

3 [設定] をタップする

9-5 ECO 設定

本製品の省電力に関する設定やリモート起動の設定をします。
詳細は、「5-3 ECO 機能を使う」(▶ P.58) を参照してください。

ECO 設定



1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
自動省電力設定			
自動消灯時間	ディスプレイが自動消灯するまでの時間を選択します。	15 秒、30 秒、60 秒、120 秒※	15 秒
省電力状態切り替え機能	省電力状態切り替え機能のモードを設定します。	ウェイティング、休止状態、電源 OFF、使用しない	休止状態
省電力状態切り替え設定時間	省電力状態切り替え機能で設定したモードになるまでの時間を入力します。	1 ~ 60 分	10

※ 自動消灯時間の設定にかかわらず、ディスプレイの「Wi-Fi 情報」画面は約 10 分表示します。

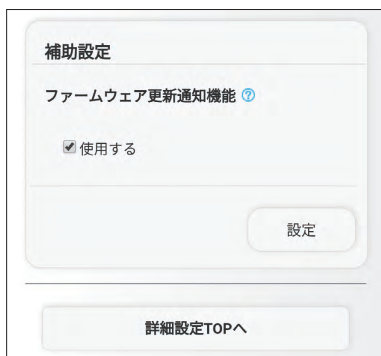
2 [設定] をタップする

3 確認画面が表示されるので、[OK] をタップする

4 [詳細設定 TOP へ] をタップする

9-6 詳細設定

その他の設定



1 項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
ファームウェア更新通知機能	ファームウェア更新通知機能を使用する場合は、チェックを入れます。ファームウェアのバージョンアップが可能な場合に、お使いのブラウザ上、または本製品のディスプレイ上に、新しいファームウェアの提供を通知する機能です。		使用する

2 [設定] をタップする

3 [詳細設定 TOP へ] をタップする

9-7 メンテナンス

本製品の管理者パスワードを変更したり、ファームウェアの更新をしたりするなど、本製品の設定や操作ができます。

管理者パスワードの変更

本製品の設定変更や不正アクセスを防止するためにパスワードを設定します。

クイック設定 Web へログインするときに必要です。

1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
現在のパスワード	現在のパスワードを入力します。		(なし)
新しいパスワード	新しいパスワードを入力します。	最大 64 文字までの半角英数字、- (ハイフン)、_ (アンダースコア)	(なし)
新しいパスワード再入力	確認のため新しいパスワードを再入力します。		(なし)

2 [設定] をタップする

3 [詳細設定 TOP へ] をタップする

設定値の初期化

設定内容を工場出荷時の状態に戻します。詳細は「7 章 工場出荷時の状態に戻す (初期化)」(▶ P.77) を参照してください。

1 [設定値の初期化] をタップする

2 [OK] をタップする

再起動します。

ファームウェア更新

ファームウェアとは、本製品を動かすソフトウェアのことです。ファームウェアを更新することで動作の改善や新機能が追加されたりします。ファームウェアは最新のバージョンで使用してください。詳細は、「11-1 ファームウェアを更新する」(▶ P.119) を参照してください。

1 [確認 / 更新] をタップする

バージョン情報を取得します。

2 新しいファームウェアが存在していたら、[最新バージョンへ更新] をタップする

以降の手順は P.120 を参照してください。

10章 本製品のディスプレイメニューについて

10-1 ディスプレイメニュー一覧.....	114
10-2 メッセージ一覧.....	117

10-1 ディスプレイメニュー一覧

メニュー項目/設定項目	設定範囲	初期値	初期化対象	設定値の保存&復元
クイックメニュー				
戻る	—	—	—	—
ファームウェア更新 *1	—	—	—	—
おまかせ一括設定	通信速度を優先、スタンダード設定、バッテリー持ちを優先、一括設定しない(個別設定)	一括設定しない(個別設定)	○	○
通信モード	ハイスピード、ハイスピードプラスエリア *2	ハイスピード	○	○
ECO 設定	—	—	—	—
Wi-Fi 設定	2.4GHz、5GHz (屋内/W52)、5GHz (屋外/W56)、OFF	2.4GHz	○	○
電波インジケータ	—	—	—	—
通信量表示	—	—	—	—
ワンタイム HS+A *2	—	—	—	—
情報				
通信状態				
接続先	—	Internet	—	—
電波インジケータ	—	—	—	—
端末情報				
端末名	—	WX05	—	—
電話番号 *3	—	—	—	—
ICCID *3	—	—	—	—
IMEI	—	—	—	—
シリアル番号	—	—	—	—
ファームウェアバージョン	—	—	—	—
電池残量	—	—	—	—
電池残量推移	—	—	—	—
省電力モード	—	—	—	—
WAN 側 IP アドレス *3	—	—	—	—
LAN 側 IP アドレス *3	—	—	—	—
USB MAC アドレス	—	—	—	—
UIM/PIN	—	—	—	—
クイック設定 Web への URL *3	—	—	—	—
認証情報	—	—	—	—
Wi-Fi 情報				
プライマリ SSID	—	SPWN_N35_xxxxxx	—	—
パスワード	—	—	—	—
使用チャンネル	—	—	—	—
セカンダリ SSID	—	SPWN_N35_xxxxxx_2	—	—
パスワード	—	—	—	—
使用チャンネル	—	—	—	—
Wi-Fi チャンネル使用状況	—	—	—	—
CH 変更	—	—	—	—
APN 情報 *4				
接続先名	—	—	—	—
APN (接続先)	—	—	—	—
ユーザー名	—	—	—	—
パスワード	—	—	—	—
認証方式	—	CHAP	—	—
接続方式	—	IPv4/IPv6	—	—
Bluetooth 情報				
デバイス名 (テザリング)	—	SPWN_N35_xxxxxx	—	—
MAC アドレス (テザリング)	—	—	—	—
デバイス名 (リモート起動)	—	xxxxxx-bt	—	—
MAC アドレス (リモート起動)	—	—	—	—
データ通信量				
前日までの3日間	—	—	○	—
本日までの3日間	—	—	○	—
今月	—	—	○	—

メニュー項目/設定項目	設定範囲	初期値	初期化対象	設定値の保存&復元
情報				
データ通信量				
データ通信量推移	—	—	—	—
通信量設定	—	—	—	—
リセット	—	—	—	—
接続機器管理				
接続機器数	—	—	—	—
接続機器 MAC アドレス	—	—	—	—
5GHz 帯 Wi-Fi 利用上の注意事項	—	—	—	—
設定				
簡単無線設定	らくらく無線、WPS、らくらくQR、Wi-Fi 設定お引越し	—	—	—
ネットワーク設定				
通信モード設定	ハイスピード、ハイスピードプラスエリア *2	ハイスピード	○	○
ワントタイム HS+A 設定				
ワントタイム HS+A	ON、OFF	OFF	○	—
解除するデータ通信量	1 ~ 99 [GB]	6 GB	○	○
WiMAX ハイパワー	充電時のみ ON、常時 ON、OFF	常時 ON	○	○
APN 設定 *4		Internet	○	○
おまかせ一括設定	通信速度を優先、スタンダード設定、バッテリー持ちを優先、一括設定しない (個別設定)	一括設定しない (個別設定)	○	○
LAN 側設定				
LAN 側無線選択	Wi-Fi、Bluetooth	Wi-Fi	○	○
Wi-Fi 設定	2.4GHz、5GHz (屋内/W52)、5GHz (屋外/W56)、OFF	2.4GHz	○	○
セカンダリ SSID	ON、OFF	OFF	○	○
Wi-Fi 暗号化強化	ON、OFF	ON *5	○	○
USB 通信	ON、OFF	ON	○	○
ECO 設定				
省電力モード	ハイパフォーマンス、ノーマル、エコ	ノーマル	○	○
切り忘れ防止タイマー	ON、OFF	OFF	○	○
スケジュール設定				
スケジュール	ON、OFF	OFF	○	○
電源 OFF	0000 ~ 2359	2200	○	○
電源 ON	0000 ~ 2359	0600	○	○
ロングライフ充電	ON、OFF	OFF	○	○
ディスプレイ設定				
輝度調整	明るい、普通、暗い	普通	○	○
点灯時間	15 秒、30 秒、60 秒、120 秒	15 秒	○	○
ホームメニュー設定	クイックメニュー、おまかせ一括設定	クイックメニュー	○	○
時刻常時表示	ON、OFF	ON	○	○
電池残量表示 (%)	ON、OFF	OFF	○	○
セキュリティ設定				
パスコード	OFF、ディスプレイ、セキュリティ	OFF	○	○
パスコード変更 *6				
現在のパスコードを入力	半角数字 4 文字	1234	○	○
新しいパスコードを入力	半角数字 4 文字	—	—	—
新しいパスコードを再度入力	半角数字 4 文字	—	—	—
PIN コード / PIN ロック解除コード入力 *4				
PIN コード入力	半角数字 4 ~ 8 文字	1234	—	—
PIN ロック解除コード入力	半角数字 8 文字	—	—	—
Bluetooth 設定				
Bluetooth ペ어링	—	—	—	—
設定ウィザード	—	—	—	—
メンテナンス				
ファームウェア更新 *1	—	—	—	—
インターネット接続確認 *1	—	—	—	—
言語設定 (Language)	日本語、English	日本語	○	○
初期化	—	—	—	—
アクセスポイントモード	使用しない、使用する	使用しない	○	○

メニュー項目／設定項目	設定範囲	初期値	初期化対象	設定値の保存&復元
設定				
データ通信量設定				
データ通信量表示機能	使用しない、3日、1ヶ月	使用しない	○	○
月次通信量設定				
通信量カウント (HS)	ON、OFF	ON	○	○
通信量カウント (HS+A)	ON、OFF	ON	○	○
データ通信量超過通知機能	使用しない、通知する、通知して通信を停止	通知する	○	○
通知する設定値	1～99 [GB]	6 GB	○	○
日次通信量設定				
通信量カウント (HS)	ON、OFF	ON	○	○
通信量カウント (HS+A)	ON、OFF	ON	○	○
ロック画面				
スライドでロック解除	—	—	—	—
電源オプション				
電源 OFF	—	—	—	—
休止	—	—	—	—
再起動	—	—	—	—
キャンセル	—	—	—	—

※ 1 Wi-Fi アクセスポイントモードでクレードル（別売）に接続しているときは、設定／表示できません。

※ 2 「ハイスピードプラスエリア」モードまたは「ワンタイム HS-A」モードに切り替えてご利用の場合、所定の追加料金が別途かかる場合があります。

※ 3 「アクセスポイントモード」が「使用しない」設定（ルータモード）のとき、表示できます。

※ 4 「アクセスポイントモード」が「使用しない」設定（ルータモード）のとき、設定／表示できます。

※ 5 本製品をご使用開始時、最初に電源を入れたとき（または初期化したあと）に表示される「ご利用にあたっての注意事項」画面で、[はい] を選択した場合、または「NEC WiMAX 2+ Tool」を起動時の「Wi-Fi の通信性能を最適にしますか？」画面で [はい] を選択した場合は、「OFF」になります。

※ 6 「パスコード」が「ディスプレイ」／「セキュリティ」のときに設定できます。

10-2 メッセージ一覧

■ 本製品のディスプレイ（タッチパネル）に表示されるメッセージ

メッセージは、ディスプレイ画面の下に表示されます。（▶ P.13）

メッセージ	チェック内容	参照ページ
UIM カード未挿入または無効です	au Nano IC Card 04 LE が取り付けられていません。au Nano IC Card 04 LE を取り付けてください。または無効な UIM カードが挿入されています。	P.15
APN 設定を確認してください	APN（接続先）設定内容が間違っている場合に 표시됩니다。APN 設定内容を確認してください。ネットワーク障害のときも、このメッセージが表示されます。	P.52 P.85 P.114
PIN コードを入力してください	PIN コード認証が有効になっており、PIN コードの入力待ちです。解除されるまで表示されます。PIN コードを入力して解除してください。	P.100
PIN ロック中です	PIN コードの入力を 3 回失敗して、ロックされているときに表示されます。PIN ロック解除コード（PUK）と新しい PIN コードを入力してください。	P.10 P.100
PIN 完全ロック中です	PIN ロック解除コードの入力に 10 回失敗したため、au Nano IC Card 04 LE がロックされました。au ショップ、トヨタ au 取扱店もしくはお客さまセンターにお問い合わせください。	P.10
データ通信量が超過しました	データ通信管理機能で設定した場合、データ通信量が設定した上限値を超過したときに表示されます。 データ通信管理機能の設定値を変更するか、データ通信量をリセットしてください。	P.85 P.114 P.116
最新ファームウェアがあります	ファームウェアをバージョンアップしてください。	P.119
高温のため速度制限・充電機能停止中	本製品が高温になったとき表示され、通信速度が遅くなります。また、充電機能も停止します。本製品の温度が下がるまでお待ちください。	—
高温のため通信を切断しています	本製品が高温になったとき表示され、ネットワークから切断されます。本製品の温度が下がるまでお待ちください。	—
高温のため充電を停止しています	充電中またはパソコンと USB ケーブルで接続中などの本製品が高温になっています。USB ケーブルを取り外し、本製品の温度が下がるまでお待ちください。	—
充電してください	電池残量が 5% 以下で表示されます。 充電してください。	P.18





11章 付録

11-1	ファームウェアを更新する	119
11-2	故障とお考えになる前に	123
11-3	アフターサービスについて	125
11-4	周辺機器	126
11-5	製品仕様	127
11-6	データ通信端末の比吸収率 (SAR) について	129
11-7	輸出管理規制	130
11-8	知的財産権について	131


11-1 ファームウェアを更新する

ファームウェアとは、本製品を動かすソフトウェアのことです。ファームウェアを更新することで動作の改善や新機能が追加されたりします。ファームウェアは最新のバージョンで使用してください。

！ ご注意

- ファームウェアのバージョンアップの際は、本製品の電池残量が十分あることを確認してから行ってください。電池残量が41%未満のときは、バージョンアップをすることはできません。電池残量が少ない場合（電池状態：、、、）には、十分に充電してから行ってください。（充電中は電池残量が41%未満でもバージョンアップできます。）
- データ通信量超過通知機能が「通知して通信を停止」設定し、現在のデータ通信量が「通知する設定値」まで残り50MB未満の場合、ファームウェアダウンロードが中断される場合があります。

memo





- ファームウェアのバージョンアップ中は絶対に本製品の電源を切らないでください。
- 本製品用以外のファームウェアを使ってバージョンアップを行うことはできません。無理にバージョンアップを行うと、本製品が動作しなくなります。
- パソコンからクイック設定 Web 画面でバージョンアップを開始するときは、先に、パソコンのすべてのアプリケーションと、通知領域（タスクトレイ）などに常駐しているアプリケーションを終了させてください。
- 省電力モードが「ハイパフォーマンス」()でのバージョンアップをお勧めします。


ディスプレイメニューからのバージョンアップ

本製品のディスプレイに「新しいファームウェアが見つかりました。更新しますか?」と表示された場合は、新しいファームウェアが存在しています。その場合、ディスプレイ（タッチパネル）で「はい」をタップしてファームウェアの更新を行うことができます。ただし、本製品をクレードル（別売）に接続し、Wi-Fi アクセスポイントモードで使用している場合は、ファームウェアの更新ができません。本製品をクレードル（別売）から外して「アクセスポイントモード」が「使用しない」設定（ルータモード）のときに行ってください。

- 本製品からインターネットに接続できている必要があります。
- 本機能は、「ファームウェア更新通知機能」の設定が「使用する」に設定されている必要があります。工場出荷時は「使用する」に設定されています。「ファームウェア更新通知機能」の設定は、クイック設定 Web の「詳細設定」-「その他の設定」-「補助設定」で行います。（▶ P.97）

！ ご注意

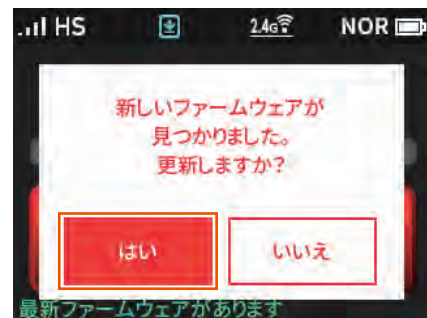
- ファームウェアのバージョンアップの際は、本製品の電池残量が十分あることを確認してから行ってください。電池残量が41%未満のときは、バージョンアップをすることはできません。電池残量が少ない場合（電池状態：、、、）には、十分に充電してから行ってください。（充電中は電池残量が41%未満でもバージョンアップできます。）
- データ通信量超過通知機能が「通知して通信を停止」設定し、現在のデータ通信量が「通知する設定値」まで残り50MB未満の場合、ファームウェアダウンロードが中断される場合があります。

- 1** ディ스플레이がホーム画面表示されていることを確認する
ディスプレイにホーム画面が表示されていることを確認してください。
消灯している場合は電源ボタン  を押して表示させてください。

- 2** [クイックメニュー] - [ファームウェア更新] をタップする

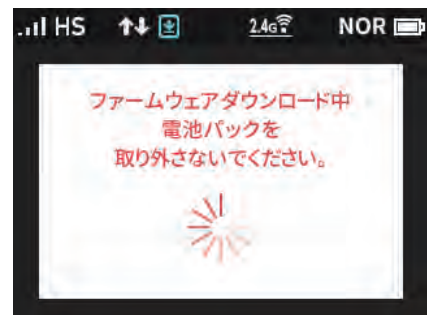


- 3** ディ스플레이（タッチパネル）に「新しいファームウェアが見つかりました。更新しますか?」と表示されたら、[はい] をタップする



- 4** ディ스플레이に「ファームウェアダウンロード中 電池パックを取り外さないでください。」と表示される
処理中は「ファームウェア更新中 電池パックを取り外さないでください。」と表示されます。

バージョンアップ中はWiMAX 2+ 接続はいったん切断されます。



！ ご注意

- ファームウェアの更新中は絶対に本製品の電源を切らないでください。
- ディ스플레이に「ファームウェアの更新に失敗しました。」と表示されたら、[終了] をタップして、手順 **1** からやり直してください。

- 5** 自動で再起動し、ディスプレイがホーム画面表示されたらファームウェアの更新は完了です





クイック設定 Web 画面でのバージョンアップ

■ オンラインバージョンアップ

クイック設定 Web からファームウェアのバージョンアップを行うことができます。

本製品からインターネットに接続できている必要があります。

！ ご注意

- ファームウェアのバージョンアップの際は、本製品の電池残量が十分あることを確認してから行ってください。電池残量が41%未満のときは、バージョンアップをすることができません。電池残量が少ない場合（電池状態：、、、）には、十分に充電してから行ってください。（充電中は電池残量が41%未満でもバージョンアップできます。）
- データ通信量超過通知機能が「通知して通信を停止」設定し、現在のデータ通信量が「通知する設定値」まで残り50MB未満の場合、ファームウェアダウンロードが中断される場合があります。
- Bluetooth® テザリングでは、ファームウェアを更新できません。

■ パソコンの場合

1 パソコンを起動する

本製品とパソコンがネットワーク接続されていることを確認します。

2 Web ブラウザを起動し、「http://192.168.179.1/」を入力してクイック設定 Web を開く

3 [詳細設定 TOP へ] ボタンをクリックする

4 ログイン画面が表示されたらユーザー名／管理者パスワードを入力し、[OK] を選択する

「ユーザー名」(上段)には「admin」と半角小文字で入力し、「パスワード」(下段)には管理者パスワードを入力してください。

- ・ 管理者パスワードについては「詳細設定にログインする」(▶ P.82)を参照してください。

管理者パスワード未設定の場合はパスワードの設定画面が表示されます。(▶ P.82)

5 「メンテナンス」の [ファームウェア更新] を選択する

6 [オンラインバージョンアップ] を選択する



7 [確認 / 更新] をクリックする

8 次の画面が表示されるので、そのまましばらく待つ



！ ご注意

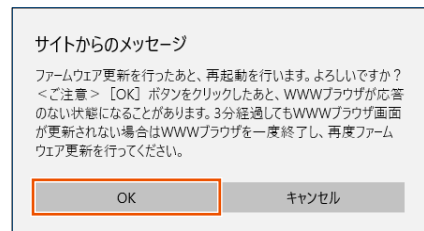
- ファームウェアの確認中は絶対に本製品の電源を切らないでください。
- 「ファームウェア取得失敗」と表示されたら、[Top Page] をクリックし、手順 3 からやり直してください。Web ブラウザが閉じてしまった場合は、手順 2 からやり直してください。

9 次の画面で、最新のファームウェアバージョンの数字が新しい場合は、[最新バージョンへ更新] をクリックする

「現在のバージョン」と「最新のバージョン」が同じ場合はここで終了です。



10 [OK] をクリックする

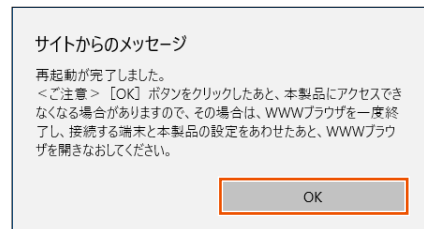


11 しばらくすると、クイック設定 Web 画面に「ファームウェア更新中です。しばらくお待ちください」と表示される

！ ご注意

- ファームウェアの更新中は絶対に本製品の電源を切らないでください。
- 「ファームウェア更新失敗」と表示されたら、[Top Page] をクリックし、手順 3 からやり直してください。Web ブラウザが閉じてしまった場合は、手順 2 からやり直してください。

12 [OK] をクリックする



■ スマートフォン / タブレット端末の場合

1 スマートフォン / タブレット端末を起動する

本製品とスマートフォン / タブレット端末がネットワーク接続されていることを確認します。

2 Web ブラウザを起動し、「http://192.168.179.1/」を入力してクイック設定 Web を開く

3 [詳細設定 TOP へ] ボタンをタップする

4 ログイン画面が表示されたらユーザー名／管理者パスワードを入力し、[OK] を選択する

「ユーザー名」(上段)には「admin」と半角小文字で入力し、「パスワード」(下段)には管理者パスワードを入力してください。

- 管理者パスワードについては「クイック設定 Web を起動する」(▶ P.104) を参照してください。

管理者パスワード未設定の場合はパスワードの設定画面が表示されません。(▶ P.104)

5 「メンテナンス」の「ファームウェア更新」を選択する

6 「確認 / 更新」をタップする

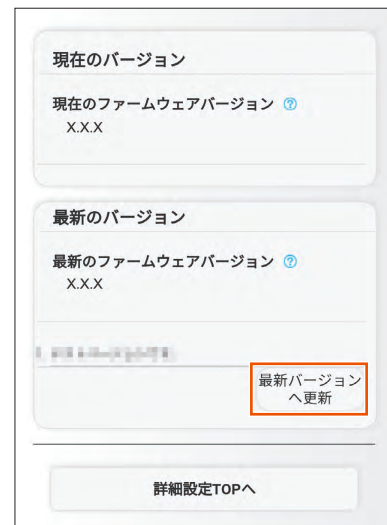


7 次の画面が表示されるので、そのまましばらく待つ

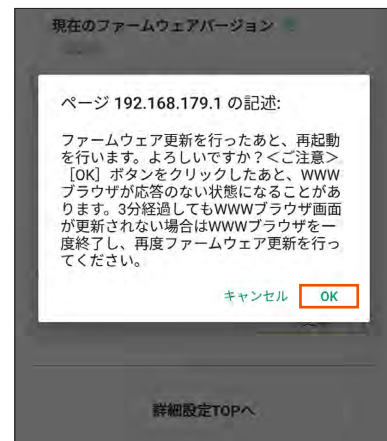


8 次の画面で、最新のファームウェアバージョンの数字が新しい場合は、「最新バージョンへ更新」をタップする

「現在のバージョン」と「最新のバージョン」が同じ場合はここで終了です。



9 [OK] をタップする

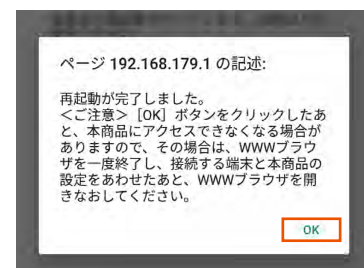


10 しばらくすると、クイック設定 Web 画面に「ファームウェア更新中です。しばらくお待ちください」と表示される

! ご注意

- ファームウェアの更新中は絶対に本製品の電源を切らないでください。
- 「ファームウェア更新失敗」と表示されたら、[Top Page] をタップし、手順 3 からやり直してください。Web ブラウザが閉じてしまった場合は、手順 2 からやり直してください。

11 [OK] をタップする







! ご注意

- ファームウェアの確認中は絶対に本製品の電源を切らないでください。
- 「ファームウェア取得失敗」と表示されたら、[Top Page] をタップし、手順 3 からやり直してください。Web ブラウザが閉じてしまった場合は、手順 2 からやり直してください。

■ ファームウェアをダウンロードし、バージョンアップする

パソコンと接続してホームページから、ファームウェアをダウンロードしてバージョンアップを行う機能です。

! ご注意

- ファームウェアのバージョンアップの際は、本製品の電池残量が十分あることを確認してから行ってください。電池残量が41%未満のときは、バージョンアップをすることができません。電池残量が少ない場合（電池状態：、、、）には、十分に充電してから行ってください。
(充電中は電池残量が41%未満でもバージョンアップできます。)
- データ通信量超過通知機能が「通知して通信を停止」設定し、現在のデータ通信量が「通知する設定値」まで残り50MB未満の場合、ファームウェアダウンロードが中断される場合があります。

1 パソコンを起動する

本製品とパソコンがネットワーク接続されていることを確認します。

2 Web ブラウザを起動し、「http://192.168.179.1/」を入力してクイック設定 Web を開く

3 [詳細設定 TOP へ] ボタンをクリックする

4 ログイン画面が表示されたらユーザー名/管理者パスワードを入力し、[OK] を選択する

「ユーザー名」(上段)には「admin」と半角小文字で入力し、「パスワード」(下段)には管理者パスワードを入力してください。

- ・ 管理者パスワードについては「詳細設定にログインする」(▶ P.82)を参照してください。

管理者パスワード未設定の場合はパスワードの設定画面が表示されません。(▶ P.82)

5 「メンテナンス」の「ファームウェア更新」を選択する

6 「更新方法」で「ローカルファイル指定」を選択する

7 「ファームウェアファイル」欄にあるボタン（[参照] など）をクリックする

8 ダウンロードして解凍したファームウェアのファイルを指定する

9 [確認/更新] をクリックする


10 [OK] をクリックする


11-2 故障とお考えになる前に

本書を参照して設定を行っても、インターネット接続ができない場合など、お困りのときは、以下の項目を確認ください。

症状	原因と対策
充電できない	<ul style="list-style-type: none"> ● 指定の充電用機器（別売）をご使用ください。 <ul style="list-style-type: none"> ・ クレードル（別売）使用時は、TypeC 共通 AC アダプタ 01（0601PQA）（別売）の使用を推奨します。 ● 以下の状態により、充電できない場合があります。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 電池寿命を長持ちさせるために充電を停止することがあります。 ・ 電源 ON の状態で長時間充電を続けると、電池保護のため自動的に電池残量を徐々に減少させロングライフ充電状態（最大充電容量が約 70%）になります。 ・ 電池残量が約 80%以上の状態では、充電を開始しない場合があります。 ・ ロングライフ充電を「ON」に設定した場合、電池残量が約 60%以上の状態では、充電を開始しない場合があります。 ● AC アダプタ（別売）またはクレードル（別売）との接続をいったん外して、10 秒以上待ってから再度接続すると、充電を再開します。
電池残量が減るのが早く感じる	<ul style="list-style-type: none"> ● 省電力モードが「ハイパフォーマンス」モードに設定されているときは、「エコ」モードに設定変更する。 ● ネットワーク設定の「WiMAX ハイパワー」を OFF に設定する。 ● 電池パックは消耗品です。充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合は寿命ですのご使用をおやめになり、指定の新しい電池パックをお買い求めください。なお、寿命は使用状態などにより異なります。
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ● 電池残量がない場合は、充電してください。
電源が切れてしまった	<ul style="list-style-type: none"> ● 電池パックの電池残量がありません。充電してください。（▶ P.18） ● 下記のような使用状況により、本体が高温になった場合は、自動的に電源を OFF にします。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 直射日光に当たるところで使用した場合 ・ 高温下で充電しながら使用した場合 ・ かばんなどに入れて密封して使用した場合 <p>その場合、本体温度が下がってから電源を入れてください。</p>
インターネットに接続できない	<ul style="list-style-type: none"> ● サービスエリア内であることを確認してください。 ● 電波状態が良くない場合があります。電波状態の良い場所でもう一度接続してください。 ● ディスプレイに「HS」または「HS+A」のアイコンが表示されないときは、クイック設定 Web を起動し、インターネット接続が正しく設定されていることを確認してください。 ● 接続先情報が正しく設定されているかクイック設定 Web 等で確認してください。 ● Bluetooth® 接続していて、いったん接続が切れてしまうと自動で接続できません。手動で再接続してください。 ● Windows 10 で「ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）」が有効になっているとネットワークに接続できない場合があります。 <ul style="list-style-type: none"> → 本製品の「ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）」を無効にするか、以下の手順で接続を行ってください。 <ol style="list-style-type: none"> ① 通知領域（タスクトレイ）に表示されているネットワークアイコンを右クリックし、[ネットワークと共有センターを開く] - [新しい接続またはネットワークのセットアップ] をクリックする ② [ワイヤレスネットワークに手動で接続します] を選択し、[次へ] をクリックする ③ ネットワーク名（SSID）とセキュリティキーを入力して [次へ] をクリック <p>その際、「ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する」のチェックを入れてください。</p>

症状	原因と対策
通信がすぐ切れる	<ul style="list-style-type: none"> ● 電波状態が良くない場合があります。電波受信レベルを確認し、電波状態の良いところに移動してください。 ● 電池残量を確認してください。電池残量が少ない場合は、充電してから接続し直してください。 ● 本製品とパソコンなどが無線 LAN（Wi-Fi®）や Bluetooth® 機能および USB ケーブルで正しく接続されているか確認してください。 ● 本製品とパソコンなどが無線 LAN（Wi-Fi®）や Bluetooth® 機能で接続している場合は、本製品を再起動してください。 ● 周辺に複数のアクセスポイントが設置されているなど、他のネットワークからの電波干渉がある場合は、本製品の「使用チャンネル」を変更することで改善される場合があります。（▶ P.87） ● 最新のファームウェアであることを確認してください。（確認方法：ホーム画面 - [設定] - [メンテナンス] - [ファームウェア更新]） ファームウェアのバージョンアップ方法は、「11-1 ファームウェアを更新する」を参照してください。（▶ P.119）
通信速度が遅く感じる	<ul style="list-style-type: none"> ● 接続先が混雑している場合があります。時間を置いて再度試してください。 ● 近くに隣接する無線チャンネルを使っている人がいる、または「チャンネル状況」には表示されないデジタルコードレス電話機、ワイヤレスマウス、ワイヤレスキーボード、Bluetooth® 機能などの電波を放射する装置で電波干渉がある。 <ul style="list-style-type: none"> → クイック設定 Web を起動して「Wi-Fi 設定」- [Wi-Fi 設定] の「2.4GHz 設定」で「使用チャンネル」の番号を変更します。設定値の目安として、他の無線設備が使用しているチャンネルから 4 チャンネル以上ずらすようにしてください。 ● 本製品と無線 LAN（Wi-Fi®）端末が近すぎる <ul style="list-style-type: none"> → 1m 以上離してください。
無線 LAN（Wi-Fi®）接続できない	<ul style="list-style-type: none"> ● ディスプレイメニューまたはクイック設定 Web 画面で「Wi-Fi 暗号強化」を「OFF」に設定または「使用する」のチェックを外すことで接続できる場合があります。 ● Windows 10 で「ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）」が有効になっている本製品と接続できない場合があります。 <ul style="list-style-type: none"> → 本製品の「ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）」を無効にするか、以下の手順で接続を行ってください。 <ol style="list-style-type: none"> ① 通知領域（タスクトレイ）に表示されているネットワークアイコンを右クリックし、[ネットワークと共有センターを開く] - [新しい接続またはネットワークのセットアップ] をクリックする ② [ワイヤレスネットワークに手動で接続します] を選択し、[次へ] をクリックする ③ ネットワーク名（SSID）とセキュリティキーを入力して [次へ] をクリック <p>その際、「ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する」のチェックを入れてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 一部の無線 LAN（Wi-Fi®）端末で、らくらく無線スタートを使った無線 LAN（Wi-Fi®）接続ができない場合があります。 <ul style="list-style-type: none"> → 本製品の「ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）」が無効になっていることを確認し、無線 LAN（Wi-Fi®）端末の Wi-Fi 接続をいったん削除（※）して、手動で無線 LAN（Wi-Fi®）接続し直してください。 （※）無線 LAN（Wi-Fi®）端末のネットワーク（Wi-Fi）画面から本製品を削除する。（削除の方法は、無線 LAN（Wi-Fi®）端末の取扱説明書を参照してください。） ● 電波状態やご利用帯域によっては、らくらく無線スタートを使った無線 LAN（Wi-Fi®）接続ができない場合があります。 <ul style="list-style-type: none"> → 「Wi-Fi 設定」を「5GHz」でご利用のときは、電波状態のよい場所に移動するか、「Wi-Fi 設定」を「2.4GHz」（▶ P.114）に変更すると接続できる場合があります。改善しない場合は、WPS または手動での無線 LAN（Wi-Fi®）接続を行ってください。 ● 電波状態やご利用帯域によっては、WPS を使った無線 LAN（Wi-Fi®）接続ができない場合があります。 <ul style="list-style-type: none"> → 手動での無線 LAN（Wi-Fi®）接続を行ってください。 ● 本製品の暗号化モード（▶ P.87）を「WPA/WPA2-PSK（TKIP/AES）」に設定してお使いの際に、無線 LAN（Wi-Fi®）端末の暗号化モードが「TKIP」で接続できない場合は、無線 LAN（Wi-Fi®）端末の暗号化設定を「AES」または「WEP」に変更すると、接続できる場合があります。（暗号化モードを「WEP」で使用するには、本製品側の Wi-Fi 設定を、「セカンダリ SSID（WEP）」の「無線機能」を「使用する」に設定することが必要です。（▶ P.88）

症状	原因と対策
Bluetooth® 接続できない	<ul style="list-style-type: none"> ● 複数台接続した状態からペアリングを行う際、接続台数が3台以下でもペアリングできないことがあります。その場合は、他のBluetooth® 搭載端末を切断してからペアリングを行ってください。 ● 無線 LAN (Wi-Fi®) 機能と Bluetooth® 機能は同時に利用することはできません。 ● ご利用の Bluetooth® 搭載端末が Bluetooth 2.1 以上に対応し、かつ、ネットワーク接続ができるプロファイル (PANU) に対応していることを確認してください。
Web ブラウザのアドレス入力欄に「http://192.168.179.1/」と入力してもクイック設定 Web が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> ● プロキシの設定をしていませんか → プロキシの設定をしている場合、受け付けが拒否されます。 Internet Explorer の場合以下の設定を行ってください。 ① [ツール] - [インターネットオプション] - [接続] - [LAN の設定] の順にクリックする ② [LAN にプロキシサーバーを使用する] の [詳細設定] をクリックして、例外に「http://192.168.179.1/」を入れる ● お使いのパソコンにプロキシが設定されていたり、ファイアウォール、ウイルスチェックなどのソフトがインストールされている場合に、設定ができなかったり、通信が正常に行えない場合があります。(▶ P.23) ● 無線 LAN (Wi-Fi®) 接続してクイック設定 Web を表示させる場合、セカンダリ SSID に無線 LAN (Wi-Fi®) 接続していると、クイック設定 Web は表示できません。その場合は、AES の暗号化モードに対応した無線 LAN (Wi-Fi®) 端末からプライマリ SSID に無線 LAN (Wi-Fi®) 接続してクイック設定 Web を表示してください。 ● 本製品をクレードル (別売) から外して「アクセスポイントモード」を「使用しない」設定 (ルータモード) にしてからクイック設定 Web を開いてください。 ● JavaScript が無効に設定されている → Web ブラウザの設定で JavaScript を有効に設定してください。(▶ P.24) ● IP アドレスの取得がうまくいっていないことが考えられます。パソコンの IP アドレスを自動取得に設定してみてください。 ● 本製品のディスプレイが消灯していても、消灯前に「電波インジケータ」画面または「Wi-Fi チャンネル使用状況」画面が表示していたときはクイック設定 Web 画面が表示しません。電源ボタン  を押してディスプレイを表示させ、「電波インジケータ」画面または「Wi-Fi チャンネル使用状況」画面からホーム画面に戻ってください。
Web ブラウザでクイック設定 Web にアクセスすると、ユーザー名と管理者パスワードを要求される	<ul style="list-style-type: none"> ● Web ブラウザでクイック設定 Web にアクセスすると、ユーザー名と管理者パスワードを要求されます。 → 「ユーザー名」(上段) には、「admin」を入力してください。「パスワード」(下段) には、Web ブラウザでクイック設定 Web に最初にアクセスした際に、登録したパスワードを入力してください。(▶ P.29、82)
管理者パスワードを忘れてしまった	<ul style="list-style-type: none"> ● 本製品を工場出荷状態に初期化してください。この場合、設定した値はすべて初期値に戻ってしまいます。(▶ P.78) ただし、クイック設定 Web の「メンテナンス」 - [設定値の保存 & 復元] で以前の設定値をファイルに保存してあると簡単に復元させることができます。設定変更する場合は設定値を保存しておくことをおすすめします。(▶ P.98、82)

症状	原因と対策
使用可能状態において突然「IP アドレス 192.168.179.XXX は、ハードウェアのアドレスが ... と競合していることが検出されました。」というアドレス競合に関するエラーが表示された	<ul style="list-style-type: none"> ● [OK] をクリックして次の手順で IP アドレスを取り直してください。なお、このエラーが表示された場合、他のパソコンで同様のエラーが表示されることがあります。その場合はエラー表示されたすべてのパソコンで下記の手順を行って IP アドレスを再取得してください。 < IP アドレスの再取得 > < Windows 10/8.1/7 の場合 > ① [Windows] キーを押し、表示された一覧から [Windows システムツール] - [コマンドプロンプト] を右クリックし、[管理者として実行] をクリックする ・ Windows 7 の場合は、[スタート] (Windows のロゴボタン) - [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト] を右クリックし、[管理者として実行] をクリックします。 ② ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、[はい] または [続行] をクリックする ③ [ipconfig/release] と入力して [Enter] キーを押し、IP アドレスを解放する ④ [ipconfig/renew] と入力して [Enter] キーを押し、IP アドレスを取り直す ⑤ IPv4 アドレスが「192.168.179.XXX」になることを確認する (XXX は 1 を除く任意の数字) < macOS の場合 > 以下は macOS v10.12 の場合の例です。 ① アップルメニューの [システム環境設定] を開き、[ネットワーク] アイコンを選択する ② [ネットワーク] 画面で [Wi-Fi] を選択し、[詳細] をクリックする ③ [TCP/IP] タブをクリックする ④ [DHCP リースを更新] をクリックし、IPv4 アドレスが「192.168.179.XXX」になることを確認する (XXX は 1 を除く任意の数字) < iOS の場合 > 以下は iOS 11.4 の場合の例です。 ① 「ホーム」画面の [設定] アイコンをタップする ② 設定メニューの [Wi-Fi] をタップする ③ チェックが入っている接続中のネットワーク名 (SSID) の右側にある  ボタンをタップする ④ [リースを更新] をタップする ⑤ [リースを更新] をタップする
本製品のバージョンを確認したい	<ul style="list-style-type: none"> ● 本製品のディスプレイ (タッチパネル) で、ホーム画面 - [情報] - [端末情報] とタップしてスライドし、「ファームウェアバージョン」で確認します。 ● クイック設定 Web トップページ [装置情報] 欄で確認します。
ブラウザからの応答がなくなりました	<ul style="list-style-type: none"> ● クイック設定 Web では、[設定] をクリックすると設定値は即時有効となりますので、「詳細設定」 - [LAN 側設定]、または [Wi-Fi 設定] - [Wi-Fi 設定] の変更では、[設定] をクリックするとブラウザからの応答がなくなる場合があります。その場合は、いったんクイック設定 Web を終了させてください。(Wi-Fi 設定を変更した場合は、本製品と無線 LAN (Wi-Fi®) 端末との無線設定をし直して、接続を確認させてください。)
本製品をクレードル (別売) に設置すると再起動する	<ul style="list-style-type: none"> ● Wi-Fi アクセスポイントモードになっています。本製品をクレードル (別売) から着脱するたびに再起動します。Wi-Fi アクセスポイントモードを無効にする場合は、本製品のディスプレイ (タッチパネル) で、ホーム画面 - [設定] - [アクセスポイントモード] をタップし、[使用しない] を選択してください。
本製品を工場出荷時の状態に戻したい	<ul style="list-style-type: none"> ● 本製品のディスプレイ (タッチパネル) で、ホーム画面 - [設定] - [メンテナンス] - [初期化] をタップします。本製品を初期化すると、すべての設定内容が工場出荷時の状態に戻ります。

11-3 アフターサービスについて

■ 修理を依頼されるときは

修理については故障紛失サポートセンターまでお問い合わせください。

保証期間中	当社無償修理規定に基づき、修理いたします。
保証期間外	修理により使用できる場合はお客様のご要望により、有償修理いたします。

※保証期間は、本製品をお客様が新規ご購入された日より1年間です。

memo

- ◎ メモリの内容などは、修理する際に消えてしまうことがありますので、控えておいてください。なお、メモリの内容などが変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ◎ 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
- ◎ 交換用携帯電話機お届けサービスにて回収した今までお使いの au の端末は、再生修理した上で交換用携帯端末として再利用します。また、au アフターサービスにて交換した機械部品は、当社にて回収しリサイクルを行います。そのため、お客様へ返却することはできません。
- ◎ 本製品を加工、改造、解析（ソフトウェアの改造、解析（ルート化などを含む）、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、または逆アセンブルを含む）されたもの、または当社などが指定する正規の修理拠点以外で修理されたものは保証対象外または修理をお断りする場合があります。
- ◎ 電池パックは、電池の材質上または製造上の瑕疵により生じる事象を除き無償修理保証の対象外です。
- ◎ USB2.0 TypeC 変換ケーブル（試供品）は無償修理保証の対象外です。

■ 補修用性能部品について

当社はこの Speed Wi-Fi NEXT WX05 本体およびその周辺機器の補修用性能部品を、製造終了後4年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 保証書について

保証書は、お買い上げの販売店で、「販売店名、お買い上げ日」などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。

■ 故障紛失サポートについて

au の端末を長期間安心してご利用いただくために、月額会員アフターサービス制度「故障紛失サポート」をご用意しています。故障や盗難・紛失など、あらゆるトラブルの補償を拡大するサービスです。

月額利用料およびサービスの詳細については、au ホームページをご確認ください。

<https://www.au.com/mobile/service/kosho-funshitsu/>

memo

- ◎ ご入会は、au の端末のご購入時のお申し込みに限ります。
- ◎ ご退会された場合は、次回の au の端末のご購入時まで再入会はできません。
- ◎ 機種変更・端末増設などをされた場合、最新の販売履歴のある au の端末のみが本サービスの提供対象となります。
- ◎ au の端末を譲渡・承継された場合、故障紛失サポートの加入状態は譲受者に引き継がれます。
- ◎ 機種変更・端末増設などにより、新しい au の端末をご購入いただいた場合、以前にご利用の au の端末に対する「故障紛失サポート」は自動的に退会となります。
- ◎ サービス内容は予告なく変更する場合があります。

■ au IC カード について

au IC カードは、au からお客様にお貸し出したものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますので、ご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、au ショップもしくはトヨタ au 取扱店までお問い合わせください。

11-4 周辺機器

充電するときやパソコンなどとの接続に使用可能な周辺機器は以下の通りです。

電池パック	NAD35UAA
WX05 クレードル ^(*1)	NAD35PUA(別売)
TypeC 共通ACアダプタ 01 ^(*2)	0601PQA (別売)
TypeC 共通ACアダプタ 02	0602PQA (別売)
共通ACアダプタ 05 ^(*3)	0501PWA (別売)
MicroB-TypeC 変換アダプタ	0601PHA (別売)

(*1) 本製品と WX05 クレードル (別売) を接続するときは、クレードルに同梱されている『WX05 クレードル (NAD35PUA) 取扱説明書』を参照してください。

(*2) 本製品を WX05 クレードル (別売) にセットして充電するときは、TypeC 共通 AC アダプタ 01 (別売) のご使用を推奨します。

(*3) ご利用には MicroB-TypeC 変換アダプタ (0601PHA) (別売) が必要です。

- 最新の対応周辺機器については、au ホームページをご確認いただくか、au ショップ、トヨタ au 取扱店もしくはお客さまセンターへお問い合わせください。
- 周辺機器は、au オンラインショップでご購入いただけます。
<http://onlineshop.au.com/>

11-5 製品仕様

Speed Wi-Fi NEXT WX05 本体仕様

項目		諸元および機能		備考
WAN インタ フェース	WiMAX 2+/ LTE	周波数範囲	WiMAX 2+ LTE	
		伝送速度 (*1)	ハイスピードモード 下り最大：440Mbps 上り最大：30Mbps ハイスピードプラスエリアモード 下り最大：440Mbps 上り最大：75Mbps (*2)	
		アンテナ	WiMAX 2+：送信 1 × 受信 4 (内蔵アンテナ) LTE：送信 1 × 受信 2 (内蔵アンテナ)	
無線 LAN (Wi-Fi®) イ ンタフェ ース	IEEE802.11ac	周波数範囲 /チャンネル	5GHz 帯 W52、W56 (*4)	
		伝送速度 (*1)	最大 867Mbps	
	IEEE802.11n	周波数範囲 /チャンネル	2.4GHz 帯 2,400 ~ 2,484MHz 1 ~ 13ch (*3) 5GHz 帯 W52、W56 (*4)	
		伝送速度 (*1)	最大 300Mbps	
	IEEE802.11a	周波数範囲 /チャンネル	5GHz 帯 W52、W56 (*4)	
		伝送速度 (*1)	最大 54Mbps	
	IEEE802.11g	周波数範囲 /チャンネル	2.4GHz 帯 2,400 ~ 2,484MHz 1 ~ 13ch (*3)	
		伝送速度 (*1)	最大 54Mbps	
	IEEE802.11b	周波数範囲 /チャンネル	2.4GHz 帯 2,400 ~ 2,484MHz 1 ~ 13ch (*3)	
		伝送速度 (*1)	最大 11Mbps	
	アンテナ	送信 2 × 受信 2 (内蔵アンテナ)		
	セキュリティ	SSID、MAC アドレスフィルタリング、ネット ワーク分離機能、プライバシーセパレータ機能、 WEP (128bit)、WPA2-PSK (AES)、WPA/ WPA2-PSK (AES)、WPA/WPA2-PSK (TKIP/ AES)		
最大同時接続数 (*5)	Wi-Fi®：10 台 / USB：1 台 / Bluetooth®：3 台			
Bluetooth® インタフェース	対応バージョン	Bluetooth 4.0 ワイヤレステクノ ロジー準拠		
	周波数範囲	2.4GHz 帯 2402 ~ 2480MHz 79ch		
外部インタ フェース	USB ポート	USB 2.0 コネクタ (Type C) × 1	USB2.0 推奨 (*6)	
	クレードル ポート	USB ポート兼用		
	SIM カードス ロット	au Nano IC Card 04 LE × 1		

項目	諸元および機能	備考
連続動作時間	連続通信時間 (*1) (*3) (ハイスピード モード：Wi- Fi® 接続時)	おまかせ一括設定 (スタンダード設定) / ノーマルモード 約 690 分
		おまかせ一括設定 (通信速度を優先) / ハイパフォーマンスモード 約 490 分
		おまかせ一括設定 (バッテリー持ちを優先) / エコモード 約 840 分
	連続通信時間 (*1) (*3) (ハイスピード プラスエリア モード：Wi- Fi® 接続時)	おまかせ一括設定 (スタンダード設定) / ノーマルモード 約 630 分 おまかせ一括設定 (通信速度を優先) / ハイパフォーマンスモード 約 480 分 おまかせ一括設定 (バッテリー持ちを優先) / エコモード 約 800 分
連続動作時間	連続通信時間 (*1) (ハイス ピードモード： Bluetooth® 接続時)	エコモード 約 1,080 分
	連続通信時間 (*1) (*3) (ハイスピード プラスエ リアモード： Bluetooth® 接続時)	エコモード 約 1,010 分
	休止状態(リモ ート起動・有り)	約 700 時間
	ウェイトイン グ時	約 50 時間
ヒューマン インタ フェース	ディスプレイ (タッチパネル) ボタン	2.4 インチ (320 × 240 ドット) カラー LCD 電源ボタン × 1
外形寸法	約 111 (W) × 62 (H) × 13.3 (D) mm	
電池	電池パック (リチウムイオン電池) 定格 3.8V 3,200mAh	
電源	AC アダプタ AC100V ~ 240V ± 10%、50/60Hz	
消費電力	最大約 11 W	本体のみ
質量	約 128g	電池パック装着時
動作環境	温度 5 ~ 35℃、 湿度 35 ~ 85%	結露しないこと
充電時間	約 160 分 (TypeC 共通ACアダプタ O1 (O601PQA) (別売) 使用時) 約 180 分 (TypeC 共通ACアダプタ O2 (O602PQA) (別売) 使用時)	

(*1)：表記の通信速度はシステム上の最大速度となります。通信速度は、通信環境やネットワークの混雑状況などに応じて変化します。

(*2)：全国 (各都道府県一部エリア) で提供。(2019年3月現在)

(*3)：オートチャンネルセレクト時は、1 / 6 / 11ch

(*4)：[W52] 5.2GHz 帯 (5150 ~ 5250MHz)：36 / 40 / 44 / 48ch ※屋内限定
[W53] 5.3GHz 帯 (5250 ~ 5350MHz)：52 / 56 / 60 / 64ch ※屋内限定
[W56] 5.6GHz 帯 (5470 ~ 5725MHz)：100 / 104 / 108 / 112 / 116 / 120 / 124 / 128 / 132 / 136 / 140ch
・W53 (5.3GHz 帯) と W56 (5.6GHz 帯：132/136/140ch) は、ご利用できません。(2019年3月現在)

(*5)：無線 LAN (Wi-Fi®) と Bluetooth® は同時に利用することはできません。

(*6)：USB 1.1 の環境では十分なデータ転送速度が得られないため、USB 2.0 以上でのご使用をおすすめします。なお、すべてのパソコンについて動作保証するものではありません。

USB2.0 TypeC-A変換ケーブル(試供品)仕様

項目	諸元および機能	備考
コード長さ	約 1.0m	
質量	約 27g	
インタフェース	USB 2.0 Type A USB 2.0 Type C	

WX05 クレードル (NAD35PUA) (別売) 仕様

項目	諸元および機能	備考	
ETHERNET ポート	物理インタフェース	8ピンモジュラージャック (RJ-45) × 1 ポート	
	インタフェース	1000BASE-T/100BASE-TX	
	伝送速度	1000Mbps/100Mbps	
	全二重/半二重	全二重/半二重	
ACアダプタ 接続ポート	物理インタフェース	USB コネクタ (Type C) (シ セプタクル) × 1 ポート	USB 通信は できません。
クレードルポート (本体とのインタフェース)		USB コネクタ (Type C) (プラグ) × 1 ポ ート	
状態表示ラ ンプ	POWER	電源通電時点灯	
	LINK	有線 LAN の通信状態表示	
クレードルアンテナ		無給電非接触アンテナ	
電源		DC 5V	
外形寸法		約 135 (W) × 61 (H) × 58 (D) mm	
質量		約 102g	

※本製品の電源 ON 時に WX05 クレードル (別売) で充電する場合は、消費電力が大きいため、TypeC 共通 AC アダプタ 01 (0601PQA) (別売) の使用を推奨します。

11-6 データ通信端末の比吸収率 (SAR) について

この機種 Speed Wi-Fi NEXT WX05 は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

このデータ通信端末は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準（※ 1）ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、本データ通信端末に対する SAR の許容値は 2.0W/kg です。このデータ通信端末を本取扱説明書に記述する通常使用の場合の SAR の最大値は 0.376W/kg（※ 2）です。個々の製品によって SAR に多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

データ通信端末は、携帯電話等基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通信している状態では、通常 SAR はより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、データ通信端末の出力は小さくなります。

通信中は、身体から 1.5 センチ以上離し、かつその間に金属（部分）が含まれないようにしてください。このことにより、本データ通信端末が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで 20 年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用を原因とするいかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

<https://www.who.int/emf/>

SAR について、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

○総務省のホームページ：

<https://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>

○一般社団法人電波産業会のホームページ：

<https://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html>

○ NEC プラットフォームズ株式会社のホームページ：

<https://www.necplatforms.co.jp/support/wimax/wx05/index.html>

○ au のホームページ：

<https://www.au.com/>

※ 1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第 14 条の 2）で規定されています。

※ 2 この値は同時に使用可能な無線機能を含みます。

11-7 輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

11-8 知的財産権について

商標について

- Aterm は、日本電気株式会社の登録商標です。
- らくらく無線スタート、らくらく QR スタートは、NEC プラットフォームズ株式会社の登録商標です。
- Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mac、Macintosh、Mac OS、macOS、OS X、AirMac、iPad、iPhone、iPod、iPod touch、Safari は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- App Store は Apple Inc. のサービスマークです。
- iPhone 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- インテル、Intel は、米国およびその他の国におけるインテルコーポレーションの商標です。
- Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Google、Android、Google Chrome、Google Play は、Google LLC の商標または登録商標です。
- 「PlayStation」、 「プレイステーション」 および 「PSP」 は株式会社ソニー・インタラクティブエンタテインメントの登録商標です。
また、「PSP®」「プレイステーション・ポータブル」 および 「Play Station® Vita」 は同社の商品です。
©Sony Interactive Entertainment Inc.
- Wii、Wii U、ニンテンドー DS、ニンテンドー 3DS は任天堂の登録商標または商標です。
- Wi-Fi®、Wi-Fi Alliance®、Wi-Fi CERTIFIED®、WPA™、WPA2™、Wi-Fi Protected Setup™ とそのロゴは、Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。
- Bluetooth および Bluetooth ロゴは、Bluetooth SIG, Inc. の登録商標であり、ライセンスを受けて使用しています。



- Oracle と Java は、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。
- Linux は、Linus Torvalds 氏の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Adobe Reader、Acrobat Reader は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- 「QR コード」 は、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- その他、各会社名、各製品名およびサービス名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中では、TM、® マークを省略している場合があります。

© NEC Platforms, Ltd. 2019

NEC プラットフォームズ株式会社の許可なくソフトウェア、および取扱説明書の全部または一部を複製・改版、および複製物を配布することはできません。

11-9 索引

数字

2.4GHz 帯	9
5GHz 帯	9、67

[A ~ Z]

AC アダプタ	1、18、126
AC アダプタ接続ポート	14、128
AES	75
APN	52、85、108、114、115
au IC カード	2、7、9、15
取り付け	15
取り外し	16
Bluetooth® インタフェース	127
Bluetooth® 機能で接続する	12、47
Bluetooth 設定	90、115
Bluetooth ペアリング	90、115
CH 変更	69
DHCP 固定割当設定	94
DHCP サーバ機能	93
DHCP 除外設定	93
ECO	58、91、110、114、115
ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽)	75、87、88
ETHERNET ポート	14、128
IEEE802.11a	127
IEEE802.11ac	127
IEEE802.11b	127
IEEE802.11g	127
IEEE802.11n	127
IPv4 パケットフィルタ設定	94
IPv6 パケットフィルタ設定	95
IP パケットフィルタリング	73
JavaScript	24
LAN 側設定	93、115
LAN 側無線設定	93
LAN 側無線選択	115
LINK ランプ	14
LTE	2、12、127
MAC アドレスフィルタリング	76、87、88
NAPT	76、97
PING テスト	100
PIN コード管理	100
PIN 方式	44、89、109
POWER ランプ	14
SIM カードスロット	13、127
TKIP	75
UPnP	73、97、102
USB ケーブル	2、12、46、128
USB で接続する	12、46
USB ポート	13、127
WAN 側回線	15、52、84、107
Web ブラウザの設定	24
WEP	75
Wi-Fi 暗号化強化	87、115
Wi-Fi 情報	32
Wi-Fi 設定	87、109
Wi-Fi 設定お引越し	32、57、115
Wi-Fi チャンネル	69
Wi-Fi チャンネル使用状況	69
WiMAX 2+	2、12、127
WiMAX ハイパワー	84、115

WPS	32、44、89、109、115
-----	------------------

[ア行]

アクセスポイントモード	97、115
アドバンスド NAT (IP マスカレード /NAPT)	76
アフターサービス	125
暗号化	75
暗号化キー	32
安全上のご注意	5
一括設定しない (個別設定)	60、114、115
ウェイトング	58、91、110
お知らせ機能	66
おまかせ一括設定	60

[カ行]

外部インタフェース	127
各種機能の詳細設定	83、106
各部の名称と機能	13、14
画面ロック	10、20
簡単無線設定	115
管理者パスワードの変更	98、112
輝度調整	115
基本設定 (ネットワーク設定)	84、107
基本的な操作	27
休止状態	13、58、65、91、110
切り忘れ防止タイマー	58、91
クイック設定 Web	28、81、104
~画面でのバージョンアップ	120
~で初期化する	79
~のトップページ	28、81、104
~を起動する	28、81、104
クイックメニュー	114
クイックメニュー画面	13
グラフ	63
クレードル	12、13、14、128
クレードルポート	14、127、128
現在の状態	102
故障とお考えになる前に	123

[サ行]

再起動	20、101、116
材質一覧	7
時刻常時表示	97、115
自動省電力	58、91、110
自動消灯時間	20、91、110
充電時間	18、127
充電する	18
周辺機器	126
詳細設定	29、82、83、93、105、106、111
各種機能の~	83、106
~にログイン	29、82
~のトップページ設定画面	29、82、105
省電力モード	13、58、70、115
情報	102、114、115
情報表示 (スマートフォンアプリ)	62
初期化	78、99、112、115
クイック設定 Web で~	79
設定値の~	99、112
ディスプレイメニューで~	78
数字入力画面	13、27
スケジュール	13、61、91、115
スタンダード設定	60、114、115
ステータスアイコン	13
ストラップ取り付け穴	13
スマートフォンアプリ	62

スマートフォン用クイック設定 Web	104
～起動する	104
～のトップページ	104
製品仕様	127
セカンダリ SSID	32、88、114
セキュリティ機能	75
セキュリティ設定	92、115
接続先設定	52
接続状態	13
接続する	31、46、47
Bluetooth® 機能で～	12、47
iPhone/iPod touch/iPad/iPad mini を～	38
Mac を～	37
PlayStation® Vita を～	42
PSP®「プレイステーション・ポータブル」を～	44
USB で～	46
Wii U を～	41
Windows パソコンを～	35
WPS 対応の無線 LAN (Wi-Fi®) 端末を～	44
スマートフォンを～	37
タブレット (Android 端末) を～	37
ニンテンドー 3DS を～	40
無線 LAN (Wi-Fi®) で～	12、31
有線 LAN で～	12
接続設定	84、107
接続設定ウィザード	62
接続端末の準備	23
設定ウィザード	32、115
設定値の初期化	99、112
設定値の保存&復元	98
設定メッセージ表示	13
設定メニュー	13

【タ行】

ダイナミックポートコントロール機能	76
タッチパネル	13、27、127
端末情報	22、114
知的財産権	131
注意事項	5
通信情報ログ	102
通信速度を優先	60、114、115
通信モード	53、84、114、115
通信量カウンター	85
通信量カウント	86、116
通信量設定	71
通信量表示	114
ディスプレイ表示	13
ディスプレイメニュー	32、44、78、114
～からのバージョンアップ	119
～で初期化する	78
データ通信量	71、72、85、114、116
データ通信量推移	63、71
電源ボタン	1、13、20
電源を入れる/切る	20
電池残量	18、91、114、115
電池残量推移	70
電池残量表示	18、70、115
電池状態	13
電池パック	1、6、17、126
取り付ける	17
取り外す	17
点灯時間	115
電波インジケータ	68、114
電波受信レベル	13
電波レベル	68
同梱品一覧	1
取り扱い上のご注意	7
取扱説明書について	1

【ナ行】

ネットワーク設定	84、107
ネットワーク分離機能	76
ネットワーク名 (SSID)	31、87、109

【ハ行】

バージョンアップ	119、120
ハイスピードプラスエリアモード	53、63、84、114、115
ハイスピードモード	53、63、84、114、115
背面カバー	1、15、16、17
パスコード	20、92、115
パソコンのネットワークの確認	23
バッテリー待ちを優先	60、114、115
比吸収率 (SAR)	129
ヒューマンインタフェース	127
ファームウェア更新	13、97、99、111、112、114、115、119
ファイアウォール	23
不正アクセス検出機能	76
プライバシーセパレータ機能	76
プライマリ SSID	32、87、114
プロファイル設定	85、108
便利な機能	73
ポートマッピング	73、96
ホーム画面	13、27
本製品のご利用について	2
本製品の使いかた	12

【マ行】

マニュアル	102
無線 LAN (Wi-Fi®) 帯域	13
無線 LAN (Wi-Fi®) で接続する	12、31
無線スリープ	58
メッセージ	13、117
メンテナンス	98、112、115
目次	3

【ヤ行】

有線 LAN で接続する	12
輸出管理規制	130

【ラ行】

らくらく QR スタート	37、38、56
らくらく無線スタート	31、40、41、42、44
ランプ表示	14
リセット	63、71、115
リチウムイオン電池	8
リモート起動	64、65
ロック画面	13、27、116
ロングライフ充電	19、91、115

【ワ行】

ワンタイム HS+A	53、63、84、114、115
------------	------------------

■ 本製品で使用しているソフトウェアについて

本製品には、GNU General Public License (GPL) または GNU Lesser General Public License (LGPL) に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。お客様は、当該ソフトウェアのソースコードを入手し、GPL または LGPL に従い、複製、頒布および改変することができます。詳細は、WiMAX Support Information ホームページを参照してください。

<https://www.necplatforms.co.jp/support/wimax/wx05/index.html>

■ MII interface

Copyright (c) 1997 Manuel Bouyer. All rights reserved.

Modification to match BSD/OS 3.0 MII interface by Jason R. Thorpe, Numerical Aerospace Simulation Facility, NASA Ames Research Center.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
This product includes software developed by Manuel Bouyer.
4. The name of the author may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Copyright (c) 1998, 1999, 2000, 2001 The NetBSD Foundation, Inc.

All rights reserved.

This code is derived from software contributed to The NetBSD Foundation by Jason R. Thorpe of the Numerical Aerospace Simulation Facility, NASA Ames Research Center.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
This product includes software developed by the NetBSD Foundation, Inc. and its contributors.
4. Neither the name of The NetBSD Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE NETBSD FOUNDATION, INC. AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

■ cgi

Copyright (c) 1996-1998

John-Mark Gurney. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
This product includes software developed by John-Mark Gurney
4. Neither the name of the author nor the names of any co-contributors may be used to endorse or promote products derived from this software

without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY John-Mark Gurney AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

■ libmrvlencrypt

Copyright (C) 2002-2006, Jouni Malinen <jkmaline@cc.hut.fi>
Copyright (C) 2003-2005, Jouni Malinen <jkmaline@cc.hut.fi>
Copyright (C) 2004-2005, Jouni Malinen <jkmaline@cc.hut.fi>
Copyright (C) 2003-2006, Jouni Malinen <jkmaline@cc.hut.fi>
Copyright (C) 2005-2006, Jouni Malinen <jkmaline@cc.hut.fi>
Copyright (C) 2006, Jouni Malinen <j@w1.fi>
Copyright (C) 2006-2007, Marvell International Ltd. and its affiliates
Copyright (C) 2009, Marvell International Ltd. and its affiliates
All rights reserved.

1. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
2. Neither the name of Jouni Malinen, Marvell nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

@author Vincent Rijmen <vincent.rijmen@esat.kuleuven.ac.be>
@author Antoon Bosselaers <antoon.bosselaers@esat.kuleuven.ac.be>
@author Paulo Barreto <paulo.barreto@terra.com.br>

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

■ HTTP-C

```
/* -  
 * Copyright (c) 1998 Dag-Erling Coodan Smxgrav  
 * All rights reserved.  
 *  
 * Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:  
 * 1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in this position and  
 * unchanged.  
 * 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the  
 * documentation and/or other materials provided with the distribution.  
 * 3. The name of the author may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission  
 *  
 * THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO,  
 * THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE  
 * AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT  
 * NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)  
 * HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR  
 * OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.  
 */
```

■ HTTP-S 1.18

```
/*  
**
```



```
** Copyright 1999,2000 by Jef Poskanzer <jef@acme.com>.
** All rights reserved.
**
** Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
** 1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
** 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
**    documentation and/or other materials provided with the distribution.
**
** THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING,
** BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
** IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR
** CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE,
** DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT
** LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED
** OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.
*/
```

```
/* Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com)
* All rights reserved.
*
* This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
* The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.
*
* This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to
* all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this
* distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).
*
* Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed.
* If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used.
* This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.
*
* Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
* 1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
* 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
*    documentation and/or other materials provided with the distribution.
* 3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
*    "This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)" The word 'cryptographic' can be left out if the rouines
*    from the library being used are not cryptographic related :-).
* 4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an
*    acknowledgement:
*    "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"
*
* THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO,
* THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE
* AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES
* (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS
* INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING
* NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH
* DAMAGE.
*
* The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be
* copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]
*/
```

```
/* =====
* The Apache Software License, Version 1.1
*
* Copyright (c) 2000 The Apache Software Foundation. All rights reserved.
*
* Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
*
* 1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
*
*/
```

- * 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- *
 - * 3. The end-user documentation included with the redistribution, if any, must include the following acknowledgment:
 - * "This product includes software developed by the Apache Software Foundation (<http://www.apache.org/>)."
 - * Alternately, this acknowledgment may appear in the software itself, if and wherever such third-party acknowledgments normally appear.
 - * 4. The names "Apache" and "Apache Software Foundation" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact apache@apache.org.
 - * 5. Products derived from this software may not be called "Apache", nor may "Apache" appear in their name, without prior written permission of the Apache Software Foundation.

* THIS SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE APACHE SOFTWARE FOUNDATION OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

* =====

* This software consists of voluntary contributions made by many individuals on behalf of the Apache Software Foundation. For more information on the Apache Software Foundation, please see <http://www.apache.org/>.

* Portions of this software are based upon public domain software originally written at the National Center for Supercomputing Applications, University of Illinois, Urbana-Champaign.

*/

Apache License
Version 2.0, January 2004
<http://www.apache.org/licenses/>

TERMS AND CONDITIONS FOR USE, REPRODUCTION, AND DISTRIBUTION

1. Definitions.

"License" shall mean the terms and conditions for use, reproduction, and distribution as defined by Sections 1 through 9 of this document.

"Licensor" shall mean the copyright owner or entity authorized by the copyright owner that is granting the License.

"Legal Entity" shall mean the union of the acting entity and all other entities that control, are controlled by, or are under common control with that entity. For the purposes of this definition, "control" means (i) the power, direct or indirect, to cause the direction or management of such entity, whether by contract or otherwise, or (ii) ownership of fifty percent (50%) or more of the outstanding shares, or (iii) beneficial ownership of such entity.

"You" (or "Your") shall mean an individual or Legal Entity exercising permissions granted by this License.

"Source" form shall mean the preferred form for making modifications, including but not limited to software source code, documentation source, and configuration files.

"Object" form shall mean any form resulting from mechanical transformation or translation of a Source form, including but not limited to compiled object code, generated documentation, and conversions to other media types.

"Work" shall mean the work of authorship, whether in Source or Object form, made available under the License, as indicated by a copyright notice that is included in or attached to the work (an example is provided in the Appendix below).

"Derivative Works" shall mean any work, whether in Source or Object form, that is based on (or derived from) the Work and for which the editorial revisions, annotations, elaborations, or other modifications represent, as a whole, an original work of authorship. For the purposes of this License, Derivative Works shall not include works that remain separable from, or merely link (or bind by name) to the interfaces of, the Work and Derivative Works thereof.

"Contribution" shall mean any work of authorship, including the original version of the Work and any modifications or additions to that Work or Derivative Works thereof, that is intentionally submitted to Licensor for inclusion in the Work by the copyright owner or by an individual or Legal Entity authorized to submit on behalf of the copyright owner. For the purposes of this definition, "submitted" means any form of electronic, verbal, or written communication sent to the Licensor or its representatives, including but not limited to communication on electronic mailing lists, source code control systems, and issue tracking systems that are managed by, or on behalf of, the Licensor for the purpose of discussing and improving the Work, but excluding communication that is conspicuously marked or otherwise designated in writing by the copyright owner as "Not a Contribution."

"Contributor" shall mean Licensor and any individual or Legal Entity on behalf of whom a Contribution has been received by Licensor and subsequently incorporated within the Work.

2. **Grant of Copyright License.** Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable copyright license to reproduce, prepare Derivative Works of, publicly display, publicly perform, sublicense, and distribute the Work and such Derivative Works in Source or Object form.
3. **Grant of Patent License.** Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable (except as stated in this section) patent license to make, have made, use, offer to sell, sell, import, and otherwise transfer the Work, where such license applies only to those patent claims licensable by such Contributor that are necessarily infringed by their Contribution(s) alone or by combination of their Contribution(s) with the Work to which such Contribution(s) was submitted. If You institute patent litigation against any entity (including a cross-claim or counterclaim in a lawsuit) alleging that the Work or a Contribution incorporated within the Work constitutes direct or contributory patent infringement, then any patent licenses granted to You under this License for that Work shall terminate as of the date such litigation is filed.
4. **Redistribution.** You may reproduce and distribute copies of the Work or Derivative Works thereof in any medium, with or without modifications, and in Source or Object form, provided that You meet the following conditions:
 - (a) You must give any other recipients of the Work or Derivative Works a copy of this License; and
 - (b) You must cause any modified files to carry prominent notices stating that You changed the files; and
 - (c) You must retain, in the Source form of any Derivative Works that You distribute, all copyright, patent, trademark, and attribution notices from the Source form of the Work, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works; and
 - (d) If the Work includes a "NOTICE" text file as part of its distribution, then any Derivative Works that You distribute must include a readable copy of the attribution notices contained within such NOTICE file, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works, in at least one of the following places: within a NOTICE text file distributed as part of the Derivative Works; within the Source form or documentation, if provided along with the Derivative Works; or, within a display generated by the Derivative Works, if and wherever such third-party notices normally appear. The contents of the NOTICE file are for informational purposes only and do not modify the License. You may add Your own attribution notices within Derivative Works that You distribute, alongside or as an addendum to the NOTICE text from the Work, provided that such additional attribution notices cannot be construed as modifying the License.

You may add Your own copyright statement to Your modifications and may provide additional or different license terms and conditions for use, reproduction, or distribution of Your modifications, or for any such Derivative Works as a whole, provided Your use, reproduction, and distribution of the Work otherwise complies with the conditions stated in this License.

5. **Submission of Contributions.** Unless You explicitly state otherwise, any Contribution intentionally submitted for inclusion in the Work by You to the Licensor shall be under the terms and conditions of this License, without any additional terms or conditions. Notwithstanding the above, nothing herein shall supersede or modify the terms of any separate license agreement you may have executed with Licensor regarding such Contributions.
6. **Trademarks.** This License does not grant permission to use the trade names, trademarks, service marks, or product names of the Licensor, except as required for reasonable and customary use in describing the origin of the Work and reproducing the content of the NOTICE file.
7. **Disclaimer of Warranty.** Unless required by applicable law or agreed to in writing, Licensor provides the Work (and each Contributor provides its Contributions) on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied, including, without limitation, any warranties or conditions of TITLE, NON-INFRINGEMENT, MERCHANTABILITY, or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. You are solely responsible for determining the appropriateness of using or redistributing the Work and assume any risks associated with Your exercise of permissions under this License.
8. **Limitation of Liability.** In no event and under no legal theory, whether in tort (including negligence), contract, or otherwise, unless required by applicable law (such as deliberate and grossly negligent acts) or agreed to in writing, shall any Contributor be liable to You for damages, including any direct, indirect, special, incidental, or consequential damages of any character arising as a result of this License or out of the use or inability to use the Work (including but not limited to damages for loss of goodwill, work stoppage, computer failure or malfunction, or any and all other commercial damages or losses), even if such Contributor has been advised of the possibility of such damages.
9. **Accepting Warranty or Additional Liability.** While redistributing the Work or Derivative Works thereof, You may choose to offer, and charge a fee for, acceptance of support, warranty, indemnity, or other liability obligations and/or rights consistent with this License. However, in accepting such obligations, You may act only on Your own behalf and on Your sole responsibility, not on behalf of any other Contributor, and only if You

agree to indemnify, defend, and hold each Contributor harmless for any liability incurred by, or claims asserted against, such Contributor by reason of your accepting any such warranty or additional liability.

END OF TERMS AND CONDITIONS

APPENDIX: How to apply the Apache License to your work.

To apply the Apache License to your work, attach the following boilerplate notice, with the fields enclosed by brackets "[]" replaced with your own identifying information. (Don't include the brackets!) The text should be enclosed in the appropriate comment syntax for the file format. We also recommend that a file or class name and description of purpose be included on the same "printed page" as the copyright notice for easier identification within third-party archives.

Copyright [yyyy] [name of copyright owner]

Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License"); you may not use this file except in compliance with the License. You may obtain a copy of the License at

<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software distributed under the License is distributed on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied. See the License for the specific language governing permissions and limitations under the License.

■ STLport

LEGALESE

This software is being distributed under the following terms:

*

* Copyright (c) 1994

* Hewlett-Packard Company

*

* Copyright (c) 1996-1999

* Silicon Graphics Computer Systems, Inc.

*

* Copyright (c) 1997

* Moscow Center for SPARC Technology

*

* Copyright (c) 1999-2003

* Boris Fomitchev

*

* This material is provided "as is", with absolutely no warranty expressed or implied. Any use is at your own risk.

*

* Permission to use or copy this software for any purpose is hereby granted without fee, provided the above notices are retained on all copies.

* Permission to modify the code and to distribute modified code is granted, provided the above notices are retained, and a notice that the code was

* modified is included with the above copyright notice.

*

■ expat

Copyright (c) 1998, 1999, 2000 Thai Open Source Software Center Ltd

and Clark Cooper

Copyright (c) 2001, 2002 Expat maintainers.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the Software), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS

OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

■ fontconfig

fontconfig/COPYING

Copyright © 2000,2001,2002,2003,2004,2006,2007 Keith Packard

Copyright © 2005 Patrick Lam

Copyright © 2009 Roozbeh Pournader

Copyright © 2008,2009 Red Hat, Inc.

Copyright © 2008 Danilo Šegan

Copyright © 2012 Google, Inc.

Permission to use, copy, modify, distribute, and sell this software and its documentation for any purpose is hereby granted without fee, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name of the author(s) not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific, written prior permission. The authors make no representations about the suitability of this software for any purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty.

THE AUTHOR(S) DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE, INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS, IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR(S) BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

■ harfbuzz

HarfBuzz is licensed under the so-called "Old MIT" license. Details follow. For parts of HarfBuzz that are licensed under different licenses see individual files names COPYING in subdirectories where applicable.

Copyright © 2010,2011,2012 Google, Inc.

Copyright © 2012 Mozilla Foundation

Copyright © 2011 Codethink Limited

Copyright © 2008,2010 Nokia Corporation and/or its subsidiary(-ies)

Copyright © 2009 Keith Stribley

Copyright © 2009 Martin Hosken and SIL International

Copyright © 2007 Chris Wilson

Copyright © 2006 Behdad Esfahbod

Copyright © 2005 David Turner

Copyright © 2004,2007,2008,2009,2010 Red Hat, Inc.

Copyright © 1998-2004 David Turner and Werner Lemberg

For full copyright notices consult the individual files in the package.

Permission is hereby granted, without written agreement and without license or royalty fees, to use, copy, modify, and distribute this software and its documentation for any purpose, provided that the above copyright notice and the following two paragraphs appear in all copies of this software.

IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER BE LIABLE TO ANY PARTY FOR DIRECT, INDIRECT, SPECIAL, INCIDENTAL, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE AND ITS DOCUMENTATION, EVEN IF THE COPYRIGHT HOLDER HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

THE COPYRIGHT HOLDER SPECIFICALLY DISCLAIMS ANY WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE SOFTWARE PROVIDED HEREUNDER IS ON AN "AS IS" BASIS, AND THE COPYRIGHT HOLDER HAS NO OBLIGATION TO PROVIDE MAINTENANCE, SUPPORT, UPDATES, ENHANCEMENTS, OR MODIFICATIONS.

■ jpeg

"this software is based in part on the work of the Independent JPEG Group".

■ libcurl

COPYRIGHT AND PERMISSION NOTICE

Copyright (c) 1996 - 2015, Daniel Stenberg, <daniel@haxx.se>.

All rights reserved.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF THIRD PARTY RIGHTS. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of a copyright holder shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization of the copyright holder.

■ libffi-3.0.13

libffi - Copyright (c) 1996-2012 Anthony Green, Red Hat, Inc and others.

See source files for details.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

■ libpcap

LICENSE ISSUES

The OpenSSL toolkit stays under a double license, i.e. both the conditions of the OpenSSL License and the original SSLeay license apply to the toolkit. See below for the actual license texts. Actually both licenses are BSD-style

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. The names of the authors may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

■ openssl

LICENSE ISSUES

=====

The OpenSSL toolkit stays under a double license, i.e. both the conditions of the OpenSSL License and the original SSLeay license apply to the toolkit. See below for the actual license texts. Actually both licenses are BSD-style Open Source licenses. In case of any license issues related to OpenSSL please contact openssl-core@openssl.org.

OpenSSL License

/* =====

* Copyright (c) 1998-2018 The OpenSSL Project. All rights reserved.

*

```

* Redistribution and use in source and binary forms, with or without
* modification, are permitted provided that the following conditions
* are met:
*
* 1. Redistributions of source code must retain the above copyright
* notice, this list of conditions and the following disclaimer.
*
* 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
* notice, this list of conditions and the following disclaimer in
* the documentation and/or other materials provided with the
* distribution.
*
* 3. All advertising materials mentioning features or use of this
* software must display the following acknowledgment:
* "This product includes software developed by the OpenSSL Project
* for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)"
*
* 4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to
* endorse or promote products derived from this software without
* prior written permission. For written permission, please contact
* openssl-core@openssl.org.
*
* 5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL"
* nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written
* permission of the OpenSSL Project.
*
* 6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following
* acknowledgment:
* "This product includes software developed by the OpenSSL Project
* for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)"
*
* THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY
* EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE
* IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR
* PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR
* ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL,
* SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT
* NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES;
* LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
* HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT,
* STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE)
* ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED
* OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.
* =====
*
* This product includes cryptographic software written by Eric Young
* (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim
* Hudson (tjh@cryptsoft.com).
*
*/

Original SSLeay License
-----

/* Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com)
* All rights reserved.
*
* This package is an SSL implementation written
* by Eric Young (eay@cryptsoft.com).

```

```

* The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.
*
* This library is free for commercial and non-commercial use as long as
* the following conditions are aheared to. The following conditions
* apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA,
* lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation
* included with this distribution is covered by the same copyright terms
* except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).
*
* Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in
* the code are not to be removed.
* If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution
* as the author of the parts of the library used.
* This can be in the form of a textual message at program startup or
* in documentation (online or textual) provided with the package.
*
* Redistribution and use in source and binary forms, with or without
* modification, are permitted provided that the following conditions
* are met:
* 1. Redistributions of source code must retain the copyright
* notice, this list of conditions and the following disclaimer.
* 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
* notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
* documentation and/or other materials provided with the distribution.
* 3. All advertising materials mentioning features or use of this software
* must display the following acknowledgement:
* "This product includes cryptographic software written by
* Eric Young (eay@cryptsoft.com)"
* The word 'cryptographic' can be left out if the rouines from the library
* being used are not cryptographic related :-).
* 4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from
* the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:
* "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"
*
* THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG ``AS IS" AND
* ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE
* IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE
* ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE
* FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL
* DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS
* OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
* HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT
* LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY
* OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF
* SUCH DAMAGE.
*
* The licence and distribution terms for any publically available version or
* derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be
* copied and put under another distribution licence
* [including the GNU Public Licence.]
*/

```

■ libxml2

Except where otherwise noted in the source code (e.g. the files hash.c, list.c and the trio files, which are covered by a similar licence but with different Copyright notices) all the files are:

Copyright (C) 1998-2012 Daniel Veillard. All Rights Reserved.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to

deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

■ ncurses

```
-----
-- Copyright (c) 1998-2004,2006 Free Software Foundation, Inc.      --
--                                                                    --
-- Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a --
-- copy of this software and associated documentation files (the      --
-- "Software"), to deal in the Software without restriction, including --
-- without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, --
-- distribute, distribute with modifications, sublicense, and/or sell copies --
-- of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished --
-- to do so, subject to the following conditions:                      --
--                                                                    --
-- The above copyright notice and this permission notice shall be included --
-- in all copies or substantial portions of the Software.            --
--                                                                    --
-- THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS --
-- OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF        --
-- MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN --
-- NO EVENT SHALL THE ABOVE COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, --
-- DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR --
-- OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE --
-- USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.                            --
--                                                                    --
-- Except as contained in this notice, the name(s) of the above copyright --
-- holders shall not be used in advertising or otherwise to promote the --
-- sale, use or other dealings in this Software without prior written --
-- authorization.                                                    --
-----
-- $Id: README,v 1.23 2006/04/22 22:19:37 tom Exp $
```

README file for the ncurses package

See the file ANNOUNCE for a summary of ncurses features and ports.

See the file INSTALL for instructions on how to build and install ncurses.

See the file NEWS for a release history and bug-fix notes.

See the file TO-DO for things that still need doing, including known bugs.

Browse the file misc/ncurses-intro.html for narrative descriptions of how to use ncurses and the panel, menu, and form libraries.

Browse the file doc/html/hackguide.html for a tour of the package internals.

ROADMAP AND PACKAGE OVERVIEW:

You should be reading this file in a directory called: ncurses-d.d, where d.d is the current version number (see the dist.mk file in this directory for that). There should be a number of subdirectories, including 'c++', 'form', 'man', 'menu', 'misc', 'ncurses', 'panel', 'progs', 'test', 'tack' and 'Ada95'. (The 'tack' program may be distributed separately).

A full build/install of this package typically installs several libraries, a handful of utilities, and a database hierarchy. Here is an inventory of the pieces:

The libraries are:

libncurses.a	(normal)
libncurses.so	(shared)
libncurses_g.a	(debug and trace code enabled)
libncurses_p.a	(profiling enabled)
libpanel.a	(normal)
libpanel.so	(shared)
libpanel_g.a	(debug and trace code enabled)
libmenu.a	(normal)
libmenu.so	(shared)
libmenu_g.a	(debug enabled)
libform.a	(normal)
libform.so	(shared)
libform_g.a	(debug enabled)

If you configure using the `--enable-widec` option, a "w" is appended to the library names (e.g., `libncursesw.a`), and the resulting libraries support wide-characters, e.g., via a UTF-8 locale. The corresponding header files are compatible with the non-wide-character configuration; wide-character features are provided by `ifdef's` in the header files. The wide-character library interfaces are not binary-compatible with the non-wide-character version.

The ncurses libraries implement the curses API. The panel, menu and forms libraries implement clones of the SVr4 panel, menu and forms APIs. The source code for these lives in the 'ncurses', 'panel', 'menu', and 'form' directories respectively.

In the 'c++' directory, you'll find code that defines an interface to the curses, forms, menus and panels library packaged as C++ classes, and a demo program in C++ to test it. These class definition modules are not installed by the 'make install.libs' rule as `libncurses++`.

In the 'Ada95' directory, you'll find code and documentation for an Ada95 binding of the curses API, to be used with the GNAT compiler. This binding is built by a normal top-level 'make' if configure detects an usable version of GNAT (3.11 or above). It is not installed automatically. See the Ada95 directory for more build and installation instructions and for documentation of the binding.

To do its job, the ncurses code needs your terminal type to be set in the environment variable TERM (normally set by your OS; under UNIX, `getty(1)` typically does this, but you can override it in your `.profile`); and, it needs a database of terminal descriptions in which to look up your terminal type's capabilities.

In older (V7/BSD) versions of curses, the database was a flat text file, `/etc/termcap`; in newer (USG/USL) versions, the database is a hierarchy of fast-loading binary description blocks under `/usr/lib/terminfo`. These binary blocks are compiled from an improved editable text representation called 'terminfo' format (documented in `man/terminfo.5`). The ncurses library can use either `/etc/termcap` or the compiled binary terminfo blocks, but prefers the second form.

In the 'misc' directory, there is a text file `terminfo.src`, in editable terminfo format, which can be used to generate the terminfo binaries (that's what `make install.data` does). If the package was built with the `--enable-termcap` option enabled, and the ncurses library cannot find a terminfo description for your terminal, it will fall back to the `termcap` file supplied with your system (which the ncurses package installation leaves strictly alone).

The utilities are as follows:

tic	-- terminfo source to binary compiler
infocmp	-- terminfo binary to source decompiler/comparator
clear	-- emits clear-screen for current terminal
tput	-- shell-script access to terminal capabilities.
toe	-- table of entries utility
tset	-- terminal-initialization utility

The first two (`tic` and `infocmp`) are used for manipulating terminfo descriptions; the next two (`clear` and `tput`) are for use in shell scripts. The last (`tset`) is provided for 4.4BSD compatibility. The source code for all of these lives in the 'progs' directory.

Detailed documentation for all libraries and utilities can be found in the 'man' and 'doc' directories. An HTML introduction to ncurses, panels, and menus programming lives in the 'doc/html' directory. Manpages in HTML format are under 'doc/html/man'.

The 'test' directory contains programs that can be used to verify or demonstrate the functions of the ncurses libraries. See `test/README` for descriptions of these programs. Notably, the 'ncurses' utility is designed to help you systematically exercise the library functions.

AUTHORS:

Pavel Curtis:

wrote the original ncurses

Zeyd M. Ben-Halim:

port of original to Linux and many enhancements.

Thomas Dickey (maintainer for 1.9.9g through 4.1, resuming with FSF's 5.0):

configuration scripts, porting, mods to adhere to XSI Curses in the areas of background color, terminal modes. Also memory leak testing, the wresize, default colors and key definition extensions and numerous bug fixes (more than half of those enumerated in NEWS beginning with the internal release 1.8.9).

Florian La Roche (official maintainer for FSF's ncurses 4.2)

Beginning with release 4.2, ncurses is distributed under an MIT-style license.

Eric S. Raymond:

the man pages, infocmp(1), tput(1), clear(1), captinfo(1), tset(1), toe(1), most of tic(1), trace levels, the HTML intro, wgetnstr() and many other entry points, the cursor-movement optimization, the scroll-pack optimizer for vertical motions, the mouse interface and xterm mouse support, and the ncurses test program.

Juergen Pfeifer

The menu and form libraries, C++ bindings for ncurses, menus, forms and panels, as well as the Ada95 binding. Ongoing support for panel.

CONTRIBUTORS:

Alexander V. Lukyanov

for numerous fixes and improvements to the optimization logic.

David MacKenzie

for first-class bug-chasing and methodical testing.

Ross Ridge

for the code that hacks termcap parameterized strings into terminfo.

Warren Tucker and Gerhard Fuernkranz,

for writing and sending the panel library.

Hellmuth Michaelis,

for many patches and testing the optimization code.

Eric Newton, Ulrich Drepper, and Anatoly Ivasyuk:

the C++ code.

Jonathan Ross,

for lessons in using sed.

Keith Bostic (maintainer of 4.4BSD curses)

for help, criticism, comments, bug-finding, and being willing to deep-six BSD curses for this one when it grew up.

Richard Stallman,

for his commitment to making ncurses free software.

Countless other people have contributed by reporting bugs, sending fixes, suggesting improvements, and generally whining about ncurses :-)

BUGS:

See the INSTALL file for bug and developer-list addresses. The Hacker's Guide in the doc directory includes some guidelines on how to report bugs in ways that will get them fixed most quickly.

■ pcre_n
PCRE LICENCE

PCRE is a library of functions to support regular expressions whose syntax and semantics are as close as possible to those of the Perl 5 language.

Release 8 of PCRE is distributed under the terms of the "BSD" licence, as specified below. The documentation for PCRE, supplied in the "doc" directory, is distributed under the same terms as the software itself.

The basic library functions are written in C and are freestanding. Also included in the distribution is a set of C++ wrapper functions, and a just-in-time compiler that can be used to optimize pattern matching. These are both optional features that can be omitted when the library is built.

THE BASIC LIBRARY FUNCTIONS

Written by: Philip Hazel
Email local part: ph10
Email domain: cam.ac.uk

University of Cambridge Computing Service, Cambridge, England.

Copyright (c) 1997-2014 University of Cambridge
All rights reserved.

PCRE JUST-IN-TIME COMPILATION SUPPORT

Written by: Zoltan Herczeg
Email local part: hzmester
Email domain: freemail.hu

Copyright(c) 2010-2014 Zoltan Herczeg
All rights reserved.

STACK-LESS JUST-IN-TIME COMPILER

Written by: Zoltan Herczeg
Email local part: hzmester
Email domain: freemail.hu

Copyright(c) 2009-2014 Zoltan Herczeg
All rights reserved.

THE C++ WRAPPER FUNCTIONS

Contributed by: Google Inc.

Copyright (c) 2007-2012, Google Inc.
All rights reserved.

THE "BSD" LICENCE

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

* Neither the name of the University of Cambridge nor the name of Google Inc. nor the names of their contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

End

■ pixman

The following is the MIT license, agreed upon by most contributors. Copyright holders of new code should use this license statement where possible. They may also add themselves to the list below.

```
/*
 * Copyright 1987, 1988, 1989, 1998 The Open Group
 * Copyright 1987, 1988, 1989 Digital Equipment Corporation
 * Copyright 1999, 2004, 2008 Keith Packard
 * Copyright 2000 SuSE, Inc.
 * Copyright 2000 Keith Packard, member of The XFree86 Project, Inc.
 * Copyright 2004, 2005, 2007, 2008, 2009, 2010 Red Hat, Inc.
 * Copyright 2004 Nicholas Miell
 * Copyright 2005 Lars Knoll & Zack Rusin, Trolltech
 * Copyright 2005 Trolltech AS
 * Copyright 2007 Luca Barbato
 * Copyright 2008 Aaron Plattner, NVIDIA Corporation
 * Copyright 2008 Rodrigo Kumpeta
 * Copyright 2008 André Tupinambá
 * Copyright 2008 Mozilla Corporation
 * Copyright 2008 Frederic Plourde
 * Copyright 2009, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.
 * Copyright 2009, 2010 Nokia Corporation
 *
 * Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"),
 * to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/
 * or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:
 *
 * The above copyright notice and this permission notice (including the next paragraph) shall be included in all copies or substantial portions of the
 * Software.
 *
 * THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE
 * WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS
 * OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR
 * OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.
*/
```

■ zlib

ZLIB DATA COMPRESSION LIBRARY

zlib 1.2.3 is a general purpose data compression library. All the code is thread safe. The data format used by the zlib library is described by RFCs (Request for Comments) 1950 to 1952 in the files <http://www.ietf.org/rfc/rfc1950.txt> (zlib format), [rfc1951.txt](http://www.ietf.org/rfc/rfc1951.txt) (deflate format) and [rfc1952.txt](http://www.ietf.org/rfc/rfc1952.txt) (gzip format). These documents are also available in other formats from <ftp://ftp.uu.net/graphics/png/documents/zlib/zdoc-index.html>

All functions of the compression library are documented in the file `zlib.h` (volunteer to write man pages welcome, contact zlib@gzip.org). A usage example of the library is given in the file `example.c` which also tests that the library is working correctly. Another example is given in the file `minigzip.c`.

The compression library itself is composed of all source files except `example.c` and `minigzip.c`.

To compile all files and run the test program, follow the instructions given at the top of `Makefile`. In short "make test; make install" should work for most machines. For Unix: `./configure; make test; make install`. For MSDOS, use one of the special makefiles such as `Makefile.msc`. For VMS, use `make_vms.com`.

Questions about zlib should be sent to zlib@gzip.org, or to Gilles Vollant info@winimage.com for the Windows DLL version. The zlib home page is <http://www.zlib.org> or <http://www.gzip.org/zlib/>. Before reporting a problem, please check this site to verify that you have the latest version of zlib; otherwise get the latest version and check whether the problem still exists or not.

PLEASE read the zlib FAQ http://www.gzip.org/zlib/zlib_faq.html before asking for help.

Mark Nelson markn@ieee.org wrote an article about zlib for the Jan. 1997 issue of Dr. Dobb's Journal; a copy of the article is available in <http://dogma.net/markn/articles/zlibtool/zlibtool.htm>

The changes made in version 1.2.3 are documented in the file `ChangeLog`.

Unsupported third party contributions are provided in directory "contrib".

A Java implementation of zlib is available in the Java Development Kit <http://java.sun.com/j2se/1.4.2/docs/api/java/util/zip/package-summary.html>. See the zlib home page <http://www.zlib.org> for details.

A Perl interface to zlib written by Paul Marquess pmqs@cpan.org is in the CPAN (Comprehensive Perl Archive Network) sites <http://www.cpan.org/modules/by-module/Compress/>

A Python interface to zlib written by A.M. Kuchling amk@amk.ca is available in Python 1.5 and later versions, see <http://www.python.org/doc/lib/module-zlib.html>

A zlib binding for TCL written by Andreas Kupries a.kupries@westend.com is available at http://www.ochs.de/~akupries/soft/trf/trf_zip.html

An experimental package to read and write files in .zip format, written on top of zlib by Gilles Vollant info@winimage.com, is available in the `contrib/minizip` directory of zlib.

Notes for some targets:

- FOR Windows DLL versions, please see `WIN32/DLL_FAQ.txt`

- For 64-bit Irix, `deflate.c` must be compiled without any optimization. With `-O`, one `libpng` test fails. The test works in 32 bit mode (with the `-n32` compiler flag). The compiler bug has been reported to SGI.

- zlib doesn't work with `gcc 2.6.3` on a DEC 3000/300LX under OSF/1 2.1 it works when compiled with `cc`.

- On Digital Unix 4.0D (formely OSF/1) on AlphaServer, the `cc` option `-std1` is necessary to get `gzprintf` working correctly. This is done by `configure`.

- zlib doesn't work on HP-UX 9.05 with some versions of `/bin/cc`. It works with other compilers. Use "make test" to check your compiler.

- `gzdopen` is NOT supported On RISCOS, BEOS and by some Mac compilers.

- For PalmOs, see <http://palmzlib.sourceforge.net/>

- When building a shared, i.e. dynamic library On Mac OS X, the library must be installed before testing (do "make install" before "make test"), since the library location is specified in the library.

Acknowledgments:

The deflate format used by zlib was defined by Phil Katz. The deflate and zlib specifications were written by L. Peter Deutsch. Thanks to all the people who reported problems and suggested various improvements in zlib; they are too numerous to cite here.

Copyright notice:

(C) 1995-2004 Jean-loup Gailly and Mark Adler

This software is provided 'as-is', without any express or implied warranty. In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.
2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.
3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.

Jean-loup Gailly Mark Adler
jloup@gzip.org madler@alumni.caltech.edu

If you use the zlib library in a product, we would appreciate *not* receiving lengthy legal documents to sign. The sources are provided for free but without warranty of any kind. The library has been entirely written by Jean-loup Gailly and Mark Adler; it does not include third-party code.

If you redistribute modified sources, we would appreciate that you include in the file ChangeLog history information documenting your changes. Please read the FAQ for more information on the distribution of modified source versions.

■ dhcp-isc

```
# Copyright (c) 2004-2014 by Internet Systems Consortium, Inc. ("ISC")
# Copyright (c) 1995-2003 by Internet Software Consortium
#
# Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above
# copyright notice and this permission notice appear in all copies.
#
# THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND ISC DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE INCLUDING ALL IMPLIED
# WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS. IN NO EVENT SHALL ISC BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, DIRECT, INDIRECT, OR
# CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION
# OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS
# SOFTWARE.
#
# Internet Systems Consortium, Inc.
# 950 Charter Street
# Redwood City, CA 94063
# <info@isc.org>
# https://www.isc.org/
```

See the specific source files for any additional copyright or license statements.

■ iperf

Copyright (c) 1999-2007, The Board of Trustees of the University of Illinois
All Rights Reserved.

Iperf performance test
Mark Gates
Ajay Tirumala
Jim Ferguson
Jon Dugan
Feng Qin
Kevin Gibbs
John Estabrook
National Laboratory for Applied Network Research
National Center for Supercomputing Applications
University of Illinois at Urbana-Champaign
<http://www.ncsa.uiuc.edu>

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software (Iperf) and associated documentation files (the

"Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimers.

Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimers in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

Neither the names of the University of Illinois, NCSA, nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this Software without specific prior written permission. THE SOFTWARE IS PROVIDED AS IS, WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE CONTRIBUTORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

■ iw-4.9

Copyright (c) 2007, 2008 Johannes Berg

Copyright (c) 2007 Andy Lutomirski

Copyright (c) 2007 Mike Kershaw

Copyright (c) 2008-2009 Luis R. Rodriguez

Permission to use, copy, modify, and/or distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND THE AUTHOR DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, DIRECT, INDIRECT, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

■ MiniUPnPd

Copyright (c) 2006-2011, Thomas BERNARD

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- * Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- * Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- * The name of the author may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

■ radvd

The author(s) grant permission for redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, of the software and documentation provided that the following conditions are met:

0. If you receive a version of the software that is specifically labelled as not being for redistribution (check the version message and/or README), you are not permitted to redistribute that version of the software in any way or form.
1. All terms of all other applicable copyrights and licenses must be followed.
2. Redistributions of source code must retain the authors' copyright notice(s), this list of conditions, and the following disclaimer.
3. Redistributions in binary form must reproduce the authors' copyright notice(s), this list of conditions, and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
4. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement with the name(s) of the authors as specified in the copyright notice(s) substituted where indicated:

This product includes software developed by the authors which are mentioned at the start of the source files and other contributors.

5. Neither the name(s) of the author(s) nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ITS AUTHORS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

■ tcpdump

License: BSD

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. The names of the authors may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

■ telnetd

*/

* Copyright (c) 1989 Regents of the University of California.

* All rights reserved.

*

* Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- * 1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- * 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- * 3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
- * 4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

*

* THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

*/

■ SIL Open Font License 1.1

SIL OPEN FONT LICENSE

Version 1.1 - 26 February 2007

PREAMBLE

The goals of the Open Font License (OFL) are to stimulate worldwide development of collaborative font projects, to support the font creation efforts of academic and linguistic communities, and to provide a free and open framework in which fonts may be shared and improved in partnership with others.

The OFL allows the licensed fonts to be used, studied, modified and redistributed freely as long as they are not sold by themselves. The fonts, including any derivative works, can be bundled, embedded, redistributed and/or sold with any software provided that any reserved names are not used by derivative works. The fonts and derivatives, however, cannot be released under any other type of license. The requirement for fonts to remain under this license does not apply to any document created using the fonts or their derivatives.

DEFINITIONS

Font Software refers to the set of files released by the Copyright Holder(s) under this license and clearly marked as such. This may include source files, build scripts and documentation.

Reserved Font Name refers to any names specified as such after the copyright statement(s).

Original Version refers to the collection of Font Software components as distributed by the Copyright Holder(s).

Modified Version refers to any derivative made by adding to, deleting, or substituting - in part or in whole - any of the components of the Original Version, by changing formats or by porting the Font Software to a new environment.

Author refers to any designer, engineer, programmer, technical writer or other person who contributed to the Font Software.

PERMISSION & CONDITIONS

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of the Font Software, to use, study, copy, merge, embed, modify, redistribute, and sell modified and unmodified copies of the Font Software, subject to the following conditions:

- 1) Neither the Font Software nor any of its individual components, in Original or Modified Versions, may be sold by itself.
- 2) Original or Modified Versions of the Font Software may be bundled, redistributed and/or sold with any software, provided that each copy contains the above copyright notice and this license. These can be included either as stand-alone text files, human-readable headers or in the appropriate machine-readable metadata fields within text or binary files as long as those fields can be easily viewed by the user.
- 3) No Modified Version of the Font Software may use the Reserved Font Name(s) unless explicit written permission is granted by the corresponding Copyright Holder. This restriction only applies to the primary font name as presented to the users.
- 4) The name(s) of the Copyright Holder(s) or the Author(s) of the Font Software shall not be used to promote, endorse or advertise any Modified Version, except to acknowledge the contribution(s) of the Copyright Holder(s) and the Author(s) or with their explicit written permission.
- 5) The Font Software, modified or unmodified, in part or in whole, must be distributed entirely under this license, and must not be distributed under any other license. The requirement for fonts to remain under this license does not apply to any document created using the Font Software.

TERMINATION

This license becomes null and void if any of the above conditions are not met.

DISCLAIMER

THE FONT SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO ANY WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF COPYRIGHT, PATENT, TRADEMARK, OR OTHER RIGHT. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INDIRECT, INCIDENTAL, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE FONT SOFTWARE OR FROM OTHER DEALINGS IN THE FONT SOFTWARE.

■ wpa_suppllicant / hostapd

wpa_suppllicant and hostapd

Copyright (c) 2002-2016, Jouni Malinen <j@w1.fi> and contributors All Rights Reserved.

These programs are licensed under the BSD license (the one with advertisement clause removed).

If you are submitting changes to the project, please see CONTRIBUTIONS file for more instructions.

This package may include either wpa_supplciant, hostapd, or both. See README file respective subdirectories (wpa_supplciant/README or hostapd/README) for more details.

Source code files were moved around in v0.6.x releases and compared to earlier releases, the programs are now built by first going to a subdirectory (wpa_supplciant or hostapd) and creating build configuration (.config) and running 'make' there (for Linux/BSD/cygwin builds).

License

This software may be distributed, used, and modified under the terms of BSD license:

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name(s) of the above-listed copyright holder(s) nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

■ Info-ZIP

This is version 2007-Mar-4 of the Info-ZIP license.

The definitive version of this document should be available at <ftp://ftp.info-zip.org/pub/infozip/license.html> indefinitely and a copy at <http://www.info-zip.org/pub/infozip/license.html>.

Copyright (c) 1990-2007 Info-ZIP. All rights reserved.

For the purposes of this copyright and license, "Info-ZIP" is defined as the following set of individuals:

Mark Adler, John Bush, Karl Davis, Harald Denker, Jean-Michel Dubois, Jean-loup Gailly, Hunter Goatley, Ed Gordon, Ian Gorman, Chris Herborth, Dirk Haase, Greg Hartwig, Robert Heath, Jonathan Hudson, Paul Kienitz, David Kirschbaum, Johnny Lee, Onno van der Linden, Igor Mandrichenko, Steve P. Miller, Sergio Monesi, Keith Owens, George Petrov, Greg Roelofs, Kai Uwe Rommel, Steve Salisbury, Dave Smith, Steven M. Schweda, Christian Spieler, Cosmin Truta, Antoine Verheijen, Paul von Behren, Rich Wales, Mike White.

This software is provided "as is," without warranty of any kind, express or implied. In no event shall Info-ZIP or its contributors be held liable for any direct, indirect, incidental, special or consequential damages arising out of the use of or inability to use this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the above disclaimer and the following restrictions:

1. Redistributions of source code (in whole or in part) must retain the above copyright notice, definition, disclaimer, and this list of conditions.
2. Redistributions in binary form (compiled executables and libraries) must reproduce the above copyright notice, definition, disclaimer, and this list of conditions in documentation and/or other materials provided with the distribution. The sole exception to this condition is redistribution of a standard UnZipSFX binary (including SFXWiz) as part of a self-extracting archive; that is permitted without inclusion of this license, as long as the normal SFX banner has not been removed from the binary or disabled.
3. Altered versions--including, but not limited to, ports to new operating systems, existing ports with new graphical interfaces, versions with modified or added functionality, and dynamic, shared, or static library versions not from Info-ZIP--must be plainly marked as such and must not be misrepresented as being the original source or, if binaries, compiled from the original source. Such altered versions also must not be misrepresented as being Info-ZIP releases--including, but not limited to, labeling of the altered versions with the names "Info-ZIP" (or any variation thereof, including, but not limited to, different capitalizations), "Pocket UnZip," "WiZ" or "MacZip" without the explicit permission of Info-ZIP. Such altered versions are further prohibited from misrepresentative use of the Zip-Bugs or Info-ZIP e-mail addresses or the Info-ZIP URL(s), such as to imply Info-ZIP will provide support for the altered versions.

4. Info-ZIP retains the right to use the names "Info-ZIP," "Zip," "UnZip," "UnZipSFX," "WiZ," "Pocket UnZip," "Pocket Zip," and "MacZip" for its own source and binary releases.

お客様各位

このたびは、Speed Wi-Fi NEXT WX05 をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

Speed Wi-Fi NEXT WX05『取扱説明書 詳細版』の記載内容に誤りがございましたのでお詫び申し上げますとともに、以下の内容を訂正させていただきます。また、機能改善と記載内容の変更がございましたので、あわせて以下の内容を変更をさせていただきます。

〈1.3 版〉

■ 「電池パックを取り外す」のご注意 (P.17)

変更前：

(文章なし)

変更後：

！ **ご注意**

- 本製品の設定変更直後に電池パックを取り外す場合は、本製品の電源を完全電源 OFF (▶ P.20) にしてから取り外してください。完全電源 OFF にしないで電池パックを取り外すと、設定が保持されていない場合があります。

■ 「3-1 無線 LAN (Wi-Fi®) で接続する」の「■無線 LAN (Wi-Fi®) 機能について」の memo (P.31)

誤：

memo

- ◎ セキュリティを確保するため、お買い上げ時に設定されているネットワーク名 (SSID) および暗号化キー (パスワード) を変更してお使いいただくことをおすすめします。変更のしかたは「6-1 セキュリティ機能について」(▶ P.75) を参照してください。

正：

memo

- ◎ セキュリティを確保するため、お買い上げ時に設定されているネットワーク名 (SSID) および暗号化キー (パスワード) を変更してお使いいただくことをおすすめします。変更のしかたは「8-4 Wi-Fi 設定」(▶ P.87)、
「9-4 Wi-Fi 設定」(▶ P.109) を参照してください。

■ 「3-1 無線 LAN (Wi-Fi®) で接続する」の「■ 5GHz 帯の使用について」(P.31)

誤：

・ DFS 機能

本製品は無線 LAN (Wi-Fi®) 5GHz 帯での電波干渉を避けるため、法令 (電波法) により、DFS 機能を搭載しています。本製品が利用する無線 LAN (Wi-Fi®) 5GHz の周波数帯は、気象レーダーなどでも利用されているため、本製品を利用する場所によっては気象レーダーなどとの電波干渉が起きる可能性があります。そこで、本製品が無線 LAN (Wi-Fi®) 5GHz 帯を利用中に気象レーダーなどの電波を検知したときは、DFS 機能が作動し、電波干渉を起こさない無線 LAN (Wi-Fi®) 5GHz 帯の別のチャンネルに自動的に切り替えます。

正：

・ DFS 機能

本製品は無線 LAN (Wi-Fi®) 5GHz 帯での電波干渉を避けるため、法令 (電波法) により、DFS 機能を搭載しています。本製品が利用する無線 LAN (Wi-Fi®) 5GHz の周波数帯は、気象レーダーなどでも利用されているため、本製品を利用する場所によっては気象レーダーなどとの電波干渉が起きる可能性があります。そこで、本製品が無線 LAN (Wi-Fi®) 5GHz 帯を利用中に気象レーダーなどの電波を検知したときは、DFS 機能が作動し、電波干渉を起こさない無線 LAN (Wi-Fi®) 2.4GHz 帯に自動的に切り替えます。

誤：

・ DFS チェックについて

無線 LAN (Wi-Fi®) 5GHz 帯を利用して、屋外で本製品を使用する場合、周囲に電波干渉を起こす気象レーダーなどがないかを最低でも 1 分間確認し、電波干渉を起こさないチャンネルを使ってネットワークに接続します。この動作を本書では「DFS チェック」と呼びます。本製品を無線 LAN (Wi-Fi®) 2.4GHz 帯から無線 LAN (Wi-Fi®) 5GHz 帯に切り替えたときや、無線 LAN (Wi-Fi®) 5GHz 帯の設定で本製品の電源を入れたときなどに、DFS チェックが作動します。DFS チェック中は、無線 LAN (Wi-Fi®) 機能が一時的に停止され、無線 LAN (Wi-Fi®) 機能が再開するまでに 1 分間*程度の時間がかかります。その間はネットワークに接続することができません。本製品に接続している無線 LAN (Wi-Fi®) 端末との接続も切断されますので、必要に応じて無線 LAN (Wi-Fi®) 端末側で再接続の操作を行ってください。5GHz から 2.4GHz に切り替えるときは、DFS チェックは作動せず、ネットワーク接続は切断されません。

正：

・ DFS チェックについて

無線 LAN (Wi-Fi®) 5GHz 帯を利用して、屋外で本製品を使用する場合、周囲に電波干渉を起こす気象レーダーなどがないかを最低でも 1 分間確認し、電波干渉を起こさないチャンネルを使ってネットワークに接続します。この動作を本書では「DFS チェック」と呼びます。本製品を無線 LAN (Wi-Fi®) 2.4GHz 帯から無線 LAN (Wi-Fi®) 5GHz 帯に切り替えたときや、無線 LAN (Wi-Fi®) 5GHz 帯の設定で本製品の電源を入れたときなどに、DFS チェックが作動します。DFS チェック中は、無線 LAN (Wi-Fi®) 機能が一時的に停止され、無線 LAN (Wi-Fi®) 機能が再開するまでに 1 分間*程度の時間がかかります。その間はネットワークに接続することができません。本製品に接続している無線 LAN (Wi-Fi®) 端末との接続も切断されますので、必要に応じて無線 LAN (Wi-Fi®) 端末側で再接続の操作を行ってください。5GHz から 2.4GHz に切り替えるときは、DFS チェックは作動しません。

以上

auのお客さまサポート

Webサイトやアプリなら、その場で解決。

auホームページ <https://www.au.com/>

My au (Web版)

- パソコン・スマートフォン・タブレット・4G LTE ケータイから
<https://my.au.com>
- 3G ケータイから
EZ ボタン▶トップメニューまたはauポータルトップ▶My au

My au (アプリ版)

- au Market もしくは App Store から「My au」で検索

詳細は
コチラ



よくあるご質問

「よくあるご質問」を集めた総合 Q&A サイト。 [au よくあるご質問](#) で検索

au動画ガイド

スマホの操作やアプリの使い方などは動画で。 [au動画ガイド](#) で検索

お客さまセンター (年中無休 / 通話料無料)	au 携帯電話(スマホ/ケータイ)	au 携帯電話以外/一般電話	左記番号がつかない場合
総合案内 (受付 9:00~20:00)	局番なし 157	0077-7-111	0120-977-033
盗難・紛失 (24 時間受付)	局番なし 113	0077-7-113	0120-977-699 <small>[沖縄の方は]</small>

※ ご契約内容の変更や照会の場合には、ご利用の「au 携帯電話番号」と「暗証番号」が必要です。
※ 音声応答メニューのご利用料金照会、回線停止、再開手続きは 24 時間でご利用いただけます (メンテナンス時を除く)。

故障紛失サポートセンター (年中無休 / 通話料無料)	au 携帯電話(スマートフォン/ケータイ)/一般電話
盗難・紛失・故障 (受付 9:00~20:00)	0120-925-919

※ 上記の電話番号がつかない場合があります。



携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し、貴重な資源を再利用するためにお客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器を、ブランド・メーカーを問わず マークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

モバイル・リサイクルネットワーク
携帯電話・PHSのリサイクルにご協力を。



濡れた状態での充電は、異常な発熱・焼損などの原因となり大変危険です。



衝撃や過度な外圧を加えると、電池の破損・変形等により発煙・発火等の原因となり大変危険です。

発売元：KDDI株式会社・沖縄セルラー電話株式会社
製造元：NECプラットフォームズ株式会社

NWA-A09403-002-00
2019年9月 第1.3版